

神戸大学データ資料集 2023

—データと資料が語る神戸大学の今の姿—



神戸大学データ資料集は、データを通して本学の特徴や状況を客観的な視点で把握することを目的に作成しています。過去からの推移や他大学との比較により、神戸大学の歩みや現状が分かりやすくまとめられています。

※他大学との比較では、国立大学法人運営費交付金「成果を中心とする実績状況に基づく配分」において、規模や組織体制の観点から設定されたグループのうち、グループ④及び⑤に属する、本学を含む**17大学で比較**を行っています。

【参考】

グループ④

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学のうち、指定国立大学

東北大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、一橋大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学

グループ⑤

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学

北海道大学、千葉大学、東京農工大学、金沢大学、神戸大学、岡山大学、広島大学

目次

概要

1.概要・ランキング	… 1
------------	-----

教育

2.学生数	… 8
3.学部一般選抜志願状況	…10
4.入学状況 -学部-	…13
5.入学状況 -大学院-	…15
6.学位授与状況 -授与率-	…19
7.進路・就職状況	…21
8.資格試験合格状況	…30
9.学生生活状況	…32
10.リカレント教育	…35

研究

11.国際的な研究論文	…38
12.科学研究費	…44
13.日本学術振興会特別研究員	…49
14.研究プログラムの採択状況	…50
15.研究業績に関する主な受賞	…53

産学官連携

16.産学官連携状況	…55
17.国内の大学・自治体・企業等との連携協定	…59
18.連携大学院等実施状況	…60
19.教育関係共同利用拠点	…62

国際

20.留学	…64
21.海外大学との交流状況	…68
22.外国人教員・研究者等交流状況	…71
23.国際化の状況	…73

附属病院

24.附属病院	…75
---------	-----

附属学校

25.附属学校	…79
---------	-----

社会貢献

26.学外機関への参画状況	…80
---------------	-----

教職員

27.教員	…81
28.職員	…84

財務

29.財務	…85
-------	-----

附属図書館・その他一般開放施設

30.附属図書館・その他一般開放施設	…92
--------------------	-----

1. 概要・ランキング

1-1 神戸大学の概要

2023年5月1日現在

区 分		入学定員 (※1)	入学者数	総定員	在籍者数 (女子内数)		
学生等数	学部	2,670	2,721	10,639	11,411	(4,043)	
	大学院	修士課程・博士課程前期課程	1,280	1,170	2,534	2,598	(916)
		博士課程・博士課程後期課程	403	310	1,293	1,557	(524)
		専門職学位課程	149	140	378	305	(84)
	合計		4,502	4,341	14,844	15,871	(5,567)
	外国人留学生数		学部生 (内数)	大学院生 (内数)	研究生等	計	
			111	829	351	1,291	(646)
附属学校		学級数		在籍者数 (※2)			
		44		1,280 [24]			
区 分		教員数 (※4)	附属学校教諭	その他職員数	計		
教職員数 (※3)		1,572 (承継内1,242)	110	2,593	4,275		
	女性教職員数	305	48	1,893	2,246		
	女性比率	19.4%	43.6%	73.0%	52.5%		
予算規模		2023年度 約786億円 (うち運営費交付金等 約206億円)					

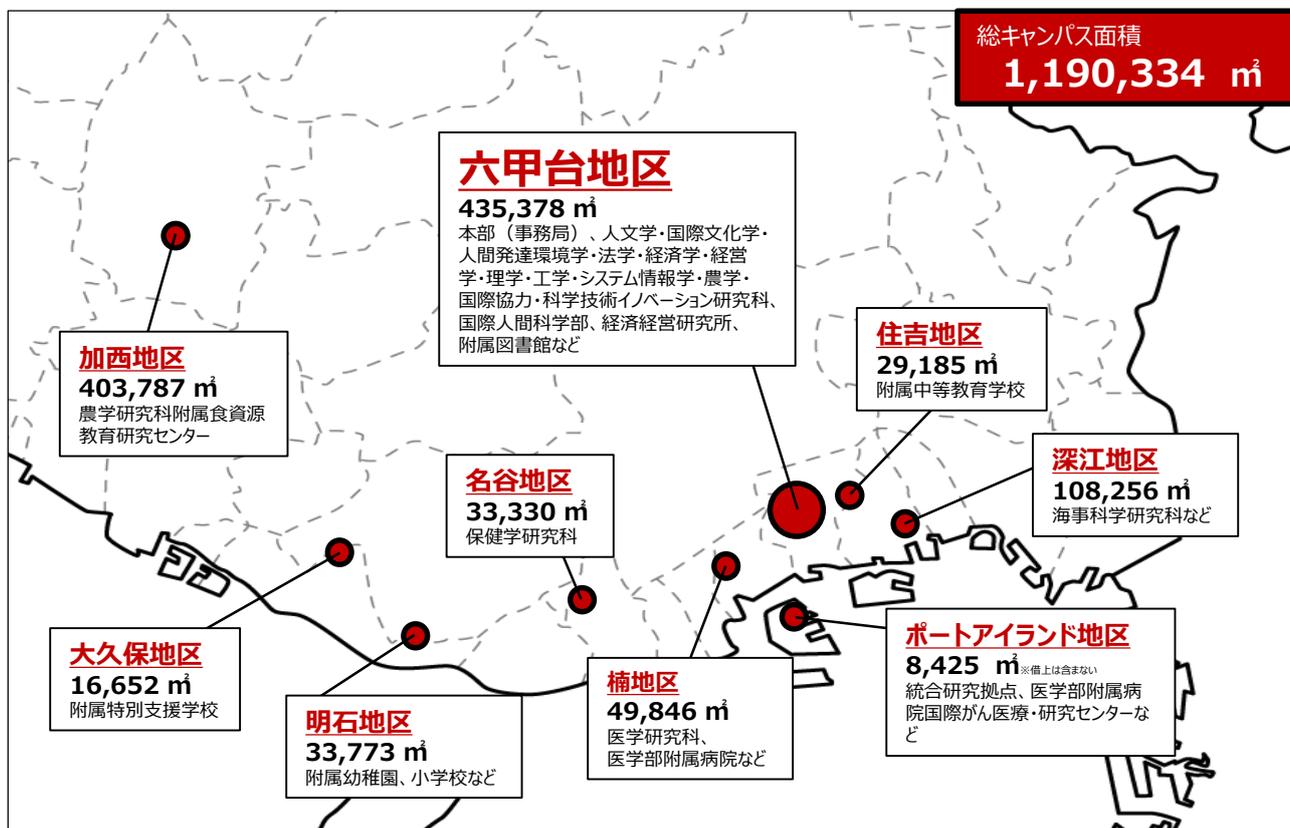
※1：入学定員は編入学定員を含む。

※2：在籍者数の[]は、帰国子女数を内数で示す。

※3：教職員数は休職者を含む。

※4：教員数は役員を含む。

◆主要キャンパス◆



学外オフィス等 [国内] 神戸大学東京オフィス

[海外] 包括的海外拠点：神戸大学ブリュッセル拠点 (ベルギー)、神戸大学北京拠点 (中国)、神戸大学シアトル拠点 (アメリカ合衆国)

海外拠点：神戸大学ポーランド拠点、神戸大学/パベシュ・ポヨイ大学国際協力センター (ルーマニア)、ハノイ神戸大学連絡拠点 (ベトナム)、神戸大学・北京外国語大学国際共同研究拠点 (中国)、神戸大学・上海交通大学文理融合国際共同研究拠点 (中国)

1-2 神戸大学の概要（詳細データ）

◆教職員数（現員）◆

(2023年5月1日現在)

	学長	理事	監事	特別顧問	教授	准教授	講師	助教	助手	特命/特定教員	小計	教諭	事務系職員	医療系職員	再雇用職員	準正規職員	特命職員	小計	合計
学長	1										1							0	1
理事		8 (2)									8 (2)							0	8 (2)
監事			2 (1)								2 (1)							0	2 (1)
特別顧問				2 (2)							2 (2)							0	2 (2)
戦略企画室						1				4	5		2				1	3	8
産官学連携本部					1	1				1	3						4	4	7
地域連携推進本部										2	2							0	2
DX・情報統括本部					3	2		1		1	7							0	7
カーボンニュートラル推進本部										1	1						2	2	3
安全保障輸出管理室										1	1		1					1	2
大学文書史料室										1	1		1					1	2
学術研究推進機構										5	5		3				1	4	9
大学教育推進機構					11	7	4	6		13	41							0	41
国際連携推進機構						1					1							0	1
監査室											0		3					3	3
内部統制室											0		1				1	2	2
事務局	総務部										0		42		26	8	1	77	77
	企画部										0		25			2	2	29	29
	研究推進部										0		23			7	2	32	32
	財務部										0		45				7	52	52
	学務部										0		62		1	6	3	72	72
	施設部										0		31					31	31
	情報推進課										0		12		1	3	2	18	18
附属図書館											0		42			2		44	44
人文学研究科・文学部					23	15	9	2		4	53		8			1		9	62
国際文化学研究科・国際文化学部					32	11	14	2		2	61							0	61
人間発達環境学研究科・発達科学部					37	34		16		2	89							0	89
国際人間科学部						1	1	3			5		19		2	4		25	30
法学研究科・法学部					41	8		1	5	2	57		10			1	2	13	70
経済学研究科・経済学部					29	8	4		1	1	43		8		1	1		10	53
経営学研究科・経営学部					32	16	1	2	3	3	57		9		1	2	1	13	70
理学研究科・理学部					37	28	5	8	1	6	85		14		1		3	18	103
医学部										1	1								
附属病院					6	8	30	80		75	205								
附属病院国際がん医療・研究センター					1					4									
医学研究科					31	29	14	45	1	83	203		396	1339	11	21	59	1826	2246
附属動物実験施設						1					1								
附属感染症センター					2	1		4	1	3	11								
保健学研究科					22	17	5	20	1	3	68		9			3	1	13	81
工学研究科・工学部					42	41	3	22	4	4	116		47		5	4		56	172
システム情報学研究科					15	15	1	4		4	39		9				1	1	40
農学研究科・農学部					28	22		23		4	77		9		1	3		13	90
附属食資源教育研究センター					1	2		2			5		16		1			17	22
海事科学研究科・海事科学部					24	31	2	6	1	2	66		26		1	2		29	95
附属国際海事研究センター					1	3					4							0	4
附属練習船海神丸					1		1				2		8		1			9	11
国際協力研究科					11	7		4			22		5			1	1	7	29
科学技術イノベーション研究科					10	5				31	46		17		1	2	7	27	73
経済経営研究所					10	9	1	4	3	2	29		4		1	2		7	36
附属企業資料総合センター							1				1							0	1
バリュースクール					2	2					4							0	4
バイオシグナル総合研究センター					6	6		6	1		19							0	19
内海環境教育研究センター					3	2	1	1		2	9							0	9
都市安全研究センター					7	5			1	1	14							0	14
分子フォトサイエンス研究センター					4	2			1	2	9							0	9
海洋底探査センター					3	1				6	10							0	10
社会システムイノベーションセンター					5					2	7							0	7
数理・データサイエンスセンター					5					6	11							0	11
計算社会科学研究センター					2	1		1	1	5	10							0	10
先端バイオ工学研究センター					2	1				17	20						2	2	22
先端膜工学研究センター					3			2		10	15							0	15
未来医学工学研究開発センター					1	1				7	9						2	2	11
次世代光散乱イメージング科学研究センター					1					1	2							0	2
ウェルビーイング先端研究センター					1						1							0	1
研究基盤センター					1			3			4		3				2	5	9
環境保全推進センター						1		1			2		1					1	3
インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター					2			4			6		2	3	2			7	13
キャリアセンター									2	2	2		1					1	3
附属学校部											0		10					10	10
附属幼稚園											0		8					8	8
附属小学校											0		21		1			22	22
附属中等教育学校											0		47					47	47
附属特別支援学校											0		33					33	33
総計	1	8 (2)	2 (1)	2 (2)	499	346	97	273	25	326	1,579 (5)	109	915	1342	58	82	100	2606	4,185 (5)

(注) () は、非常勤を内数で示す。

◆ 学生数等 ◆

(2023年5月1日現在)

学部	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数	備考
文学部	100	447	103	400	450 (253)	・在籍者数の()は女子を内数で示す。 ・国際文化学部及び発達科学部は、平成29年度入試より募集停止。発達科学部は3年次編入学を令和元年度より廃止。 ・海事科学部は令和3年度入試より募集停止、3年次編入学入試を令和5年度より廃止。
3年次編入学	若干名	5	1			
国際人間科学部	370	1,338	378	1,500	1,598 (1,014)	
3年次編入学	10	14	2			
国際文化学部					2 (2)	
発達科学部					4 (2)	
法学部	180	907	182	760	781 (317)	
3年次編入学	20	76	16			
経済学部	270	1074	287	1,120	1,273 (306)	
3年次編入学	20	71	15			
経営学部	260	1029	261	1,080	1,177 (370)	
3年次編入学	20	94	18			
理学部	153	713	163	662	725 (160)	
3年次編入学	25	97	26			
医学部	112	366	112	697	716 (245)	
医学科	5	86	5			
保健学科	160	516	166			
工学部	565	2,987	577	2,300	2,453 (348)	
3年次編入学	20	102	25			
農学部	160	628	168	660	682 (356)	
3年次編入学	10	21	2			
海事科学部				210	279 (36)	
3年次編入学						
海洋政策科学部	200	732	200	610	617 (98)	
3年次編入学	10	27	14			
小計	2,670	11,330	2,721	10,639	11,411 (4,043)	
大学院	修士(博士前期)					備考
	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数	
人文学研究科	44	85	37	88	95 (58)	・在籍者数の()は女子を内数で示す。
国際文化学研究科	47	82	43	94	109 (63)	
人間発達環境学研究科	91	134	82	178	173 (103)	
法学研究科	37	72	27	74	71 (32)	
経済学研究科	83	192	55	166	122 (52)	
経営学研究科	51	225	38	102	96 (52)	
理学研究科	122	173	119	244	264 (58)	
医学研究科(修士課程)	25	29	19	50	40 (21)	
医学研究科(博士課程前期課程)	15	17	15	15	15 (6)	
保健学研究科	64	105	67	128	144 (91)	
工学研究科	316	399	310	632	643 (106)	
システム情報学研究科	80	105	84	153	178 (19)	
農学研究科	120	148	125	240	259 (133)	
海事科学研究科	75	104	74	150	166 (28)	
国際協力研究科	70	59	31	140	135 (65)	
科学技術イノベーション研究科	40	69	44	80	88 (29)	
小計	1,280	1,998	1,170	2,534	2,598 (916)	
大学院	博士(博士後期)					
	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数	
人文学研究科	20	29	16	60	89 (49)	・在籍者数の()は女子を内数で示す。
国際文化学研究科	15	15	13	45	62 (34)	
人間発達環境学研究科	17	24	21	51	88 (43)	
法学研究科	18	15	9	54	52 (16)	
経済学研究科	20	22	18	60	88 (30)	
経営学研究科	32	25	20	96	101 (30)	
理学研究科	27	16	15	81	68 (16)	
医学研究科(博士課程)	100	120	100	400	490 (140)	
医学研究科(博士課程後期課程)	8	12	12	8	12	
保健学研究科	25	25	20	75	132 (66)	
工学研究科	42	19	18	126	121 (24)	
システム情報学研究科	12	7	6	36	53 (10)	
農学研究科	23	14	13	69	60 (24)	
海事科学研究科	11	12	11	33	38 (5)	
国際協力研究科	23	9	8	69	63 (28)	
科学技術イノベーション研究科	10	10	10	30	40 (9)	
小計	403	374	310	1,293	1,557 (524)	
大学院	専門職学位課程					
	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数	
法学研究科	80	648	71	240	166 (54)	・在籍者数の()は女子を内数で示す。
経営学研究科	69	181	69	138	139 (30)	
小計	149	829	140	378	305 (84)	
合計	4,502	14,531	4,341	14,844	15,871 (5567)	
附属学校	学級数	在籍者数	備考			
附属幼稚園	6	116	・在籍者数の()は、帰国子女を内数で示す。			
附属小学校	12	409				
附属中等教育学校	19	705 (24)				
附属特別支援学校	8	50				
計	45	1,280 (24)				

◆就職・進学状況◆

2022年度 学部卒業者の進路状況

2023年5月1日現在

学部名	卒業者	進学者	就職者	就職者内訳			臨床研修医	その他
				企業等	官公庁	教員		
文学部	108	15	79	63	13	3	-	14
国際人間科学部	351	61	272	231	28	13	-	19
国際文化学部	1	0	1	1	0	0	-	0
発達科学部	4	0	2	1	0	1	-	2
法学部	213	33	147	101	46	0	-	33
経済学部	289	20	239	215	24	0	-	31
経営学部	291	5	254	242	12	0	-	32
理学部	172	128	32	20	6	6	-	12
医学部（医学科）	105	1	1	1	0	0	99	4
医学部（保健学科）	161	57	100	100	0	0	-	4
工学部	572	405	149	138	11	0	-	18
農学部	169	126	37	31	6	0	-	6
海事科学部	192	94	88	83	5	0	-	10
合計	2,628	945	1,401	1,227	151	23	99	185

※「進学者」は、大学院研究科、大学・学部、短期大学本科、専攻科、別科、専修学校・外国の学校等の入学者の合計。

※「就職者」は、正規の職員等、正規の職員等でない就職者の総数のうち雇用計画が1年未満又は短時間勤務の者を除いた者の合計で、進学者のうち就職している者を含む。

※「その他」は、公務員試験受験者、司法試験・公認会計士等の資格試験受験者を含む。

2022年度 大学院（修士・博士前期課程）修了者の進路状況

2023年5月1日現在

学部名	卒業者	進学者	就職者	就職者内訳			臨床研修医	その他
				企業等	官公庁	教員		
人文学研究科	37	10	21	14	4	3	-	7
国際文化学研究科	44	6	21	19	0	2	-	19
人間発達環境学研究科	80	9	51	36	2	13	-	22
法学研究科	23	5	13	13	0	0	-	5
経済学研究科	65	11	36	33	3	0	-	18
経営学研究科	43	8	29	27	2	0	-	6
理学研究科	98	15	80	74	3	3	-	4
医学研究科（バイオメディカルサイエンス専攻）	13	5	5	5	0	0	0	3
保健学研究科	59	6	42	37	5	0	-	11
工学研究科	325	10	303	301	2	0	-	12
システム情報学研究科	75	8	58	58	0	0	-	9
農学研究科	123	9	106	98	8	0	-	8
海事科学研究科	83	6	75	74	1	0	-	2
国際協力研究科	59	10	47	24	22	1	-	3
科学技術イノベーション研究科	46	0	46	46	0	0	-	0
合計	1,173	118	933	859	52	22	0	129
法学研究科（法科大学院）	53							
経営学研究科（MBA）	67							
総計	1,293							

※「進学者」は、大学院研究科、大学・学部、短期大学本科、専攻科、別科、専修学校・外国の学校等の入学者の合計。

※「就職者」は、正規の職員等、正規の職員等でない就職者の総数のうち雇用計画が1年未満又は短時間勤務の者を除いた者の合計で、進学者のうち就職している者を含む。

※「その他」は、公務員試験受験者、司法試験・公認会計士等の資格試験受験者を含む。

◆学位授与者数◆（博士号）

2023年5月1日現在

区分	旧制	平3.6までの累計		平3.7以降の累計		総累計
		課程	論文	課程	論文	
博士（学術）		192	47	1,214	146	1,599
博士（文学）		1		158	49	208
博士（法学）		22	24	200	40	286
博士（政治学）				86	12	98
博士（経済学）	37	5	81	385	117	625
博士（経営学）	25	4	46	397	79	551
博士（商学）	14	1	19	110	24	168
博士（理学）		10	21	668	81	780
博士（医学）		748	1,252	2,566	934	5,500
博士（保健学）				352	11	363
博士（工学）		36	51	1,143	289	1,519
博士（農学）		2	14	278	100	394
博士（商船学）				10	0	10
博士（海事科学）				37	6	43
博士（教育学）				39	3	42
博士（システム情報学）				6	0	6
博士（計算科学）				10	0	10
博士（科学技術イノベーション）				20	0	20
合計	76	1,021	1,555	7,679	1,891	12,222

◆土地建物面積◆

2023年5月1日現在

区分	土地 (m ²)	建物延面積 (m ²) 計	区分	土地 (m ²)	建物延面積 (m ²) 計	
						六甲台地区
事務局	21,017	6,525	保健学研究科	33,330	17,575	
保健管理センター			小 計	33,330	17,575	
情報基盤センター(本館)		1,208	深江地区			
自然科学系図書館		4,182	海事科学研究科・海洋政策科学部	94,547	41,681	
神大会館		3,989	海事科学研究科附属国際海事研究センター			
大学教育推進機構グローバル教育センター	海洋底探査センター					
山口誓子記念館	148		寄宿舎(白鷗寮)	13,709	11,368	
法学研究科・法学部	103,097	27,737	小 計	108,256	53,049	
経済学研究科・経済学部				その他の地区		
経営学研究科・経営学部				農学研究科附属食資源教育研究センター	403,787	7,071
国際協力研究科		4,984	内海域環境教育研究センター	3,122	1,183	
経済経営研究所		7,005	附属中等教育学校(住吉校舎)	29,185	11,843	
附属企業資料総合センター			749	附属小学校	33,773	4,324
社会科学系図書館		6,676	旧附属中等教育学校(明石校舎)			4,225
講堂		9,140	附属幼稚園		1,236	
浄水場		352	0	附属特別支援学校	16,652	3,642
六甲台1団地水源地		(190)	0	インターナショナル・レジデンス	2,500	4,416
人間発達環境学研究科・国際人間科学部	45,863	25,427	寄宿舎(国維寮)	5,235	3,640	
人間発達環境学研究科附属発達支援インスティテュート			寄宿舎(住吉寮)	18,772	11,049	
人間発達環境学研究科実習観察園	1,949	289	氷の山体育所	(2,500)	95	
国際文化学研究科・国際人間科学部	68,347	40,934	鹿島体育所	(1,000)	98	
大学教育推進機構			淀川艇庫	434	745	
工学研究科・工学部・システム情報学研究科	194,555	43,485	新西宮艇庫	(205)	201	
都市安全研究センター			海事科学研究科附属国際海事研究センター・海洋実習施設	7,681	1,641	
自然科学総合研究棟3号館		17,519				
エレベーター棟		98	BT・インキュベーションセンター	(2,000)	3,059	
情報基盤センター(分館)		1,111	統合研究拠点・	5,925	9,349	
馬術練習場		148	計算科学教育センター			
学生会館		2,721	国際がん医療・研究センター	(6,395)	13,258	
人文学研究科・文学部		10,372	学而荘	421	395	
瀧川記念学術交流会館		941	旧住吉寮急傾斜地	2,026	0	
眺望館		998	小 計	(12,100)	81,470	
理学研究科・理学部		14,646		529,513		
バイオンガナル総合研究センター		194,555	4,278	職員宿舎		
自然科学総合研究棟1号館				5,781	住吉宿舎	10,442
自然科学総合研究棟2号館			5,825	工学部宿舎	工学部を含む	112
産官学連携本部			2,253	五宮宿舎	475	292
自然科学総合研究棟4号館			6,559	加西宿舎	1,607	399
研究基盤センター(アイソトープ部門)	2,650		宝塚宿舎	1,002	1,240	
研究基盤センター(機器分析部門)	1,267		看護師宿舎	1,217	2,048	
研究基盤センター(極低温部門)	677		山の街宿舎	244	260	
共同実験室	206		踊松宿舎	1,171	368	
環境保全推進センター	274		赤塚山第二合同宿舎	住吉宿舎を含む	3,661	
農学研究科・農学部	18,967		1,155	青木合同宿舎	3,655	3,027
ライフサイエンスラボラトリー			0	北青木合同宿舎	2,687	1,853
旧工学部急傾斜地	198		生田合同宿舎	2,262	1,898	
小 計	(190)	280,924	鈴蘭台合同宿舎	2,905	2,040	
	435,378		ひよどり台合同宿舎	6,344	3,422	
楠地区			小 計	34,011	22,137	
医学研究科・医学部	8,665	35,300	合 計	(13,792)	601,586	
医学研究科附属動物実験施設				1,190,334		
医学研究科附属感染症センター						
医学部附属病院			41,181	107,739		
地域医療活性化センター			(1,502)	3,392		
小 計	(1,502)	146,431				
	49,846					

(注) 土地欄の()は借上を示す。

1-3 神戸大学の位置

◆近隣国立大学との比較◆

大学名	神戸大学	京都大学	大阪大学	岡山大学	広島大学
学部	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 国際人間科学部 法学部 経済学部 経営学部 理学部 医学部 工学部 農学部 海洋政策科学部 	<ul style="list-style-type: none"> 総合人間学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 農学部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 人間科学部 外国語学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 基礎工学部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 環境理工学部 農学部 	<ul style="list-style-type: none"> 総合科学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 生物生産学部 情報科学部
大学院	<ul style="list-style-type: none"> 人文学研究科 国際文化科学研究科 人間発達環境学研究科 法学研究科 (法科大学院) 経済学研究科 経営学研究科 (経営専門職大学院) 理学研究科 医学研究科 保健学研究科 工学研究科 システム情報学研究科 農学研究科 海事科学研究科 国際協力研究科 科学技術イノベーション研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 文学研究科 教育学研究科 法学研究科 (法科大学院) 経済学研究科 理学研究科 医学研究科 薬学研究科 工学研究科 農学研究科 人間・環境学研究科 エネルギー科学研究科 アジア・アフリカ地域研究研究科 情報学研究科 生命科学研究科 総合生存学館 地球環境学舎 公共政策教育部 経営管理教育部 	<ul style="list-style-type: none"> 人文学研究科 人間科学研究科 法学研究科 経済学研究科 理学研究科 医学系研究科 歯学研究科 薬学研究科 工学研究科 基礎工学研究科 国際公共政策研究科 情報科学研究科 生命機能研究科 高等司法研究科 (法科大学院) (大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学) 連合小児発達学研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 教育学研究科 (教職大学院) 社会文化科学研究科 自然科学研究科 保健学研究科 環境生命科学研究科 医歯薬学総合研究科 ヘルスシステム統合科学研究科 法務研究科 (法科大学院) 環境生命自然科学研究科 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 人間社会科学研究科 (教職大学院) (法科大学院) 先進理工系科学研究科 統合生命科学研究科 医系科学研究科 スマートソサイエティ実践科学研究科
附置研究所	<ul style="list-style-type: none"> 経済経営研究所 	<ul style="list-style-type: none"> 化学研究所 人文科学研究所 医学生物学研究所 エネルギー理工学研究所 生体圏研究所 防災研究所 基礎物理学研究所 経済研究所 数理解析研究所 複合原子力科学研究所 東南アジア地域研究研究所 iPS細胞研究所 	<ul style="list-style-type: none"> 微生物病研究所 産業科学研究所 蛋白質研究所 社会経済研究所 接合科学研究所 レーザー科学研究所 	<ul style="list-style-type: none"> 資源植物科学研究所 惑星物質研究所 異分野基礎科学研究所 文明動態学研究所 	<ul style="list-style-type: none"> 原爆放射線医学研究所
附属学校	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中等教育学校 附属特別支援学校 			<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属特別支援学校 	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属高等学校

出典：各大学ホームページ

◆17大学間の比較◆

学部

大学名	入学定員	学部数
大阪大学	3,252	11
東京大学	3,060	10
京都大学	2,823	10
九州大学	2,549	12
神戸大学	2,530	10
北海道大学	2,478	12
広島大学	2,386	12
東北大学	2,377	10
千葉大学	2,317	10
岡山大学	2,192	11
名古屋大学	2,107	9
筑波大学	2,101	9
金沢大学	1,726	4
東京工業大学	1,068	6
一橋大学	955	5
東京農工大学	821	2
東京医科歯科大学	276	2

(2023)

大学院

大学名	入学定員	入学定員 (M)	入学定員 (D)	入学定員 (P)	大学院数
東京大学	5,057	2,928	1,719	410	15
京都大学	3,798	2,353	1,111	334	18
大阪大学	3,026	2,023	923	80	15
九州大学	2,718	1,799	779	140	19
東北大学	2,689	1,801	768	120	15
筑波大学	2,508	1,831	611	66	7
名古屋大学	2,455	1,673	732	50	13
北海道大学	2,392	1,649	643	100	21
東京工業大学	2,151	1,544	567	40	6
神戸大学	1,832	1,280	403	149	15
広島大学	1,624	1,119	455	50	5
千葉大学	1,375	993	322	60	7
岡山大学	1,126	789	268	69	9
金沢大学	935	654	251	30	8
一橋大学	788	452	138	198	6
東京農工大学	776	590	146	40	4
東京医科歯科大学	359	131	228	-	2

(2023)

概要

◆世界ランキングによる比較◆

QS社・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	28
2	京都大学	46
3	大阪大学	80
4	東京工業大学	91
5	東北大学	113
6	九州大学	164
7	名古屋大学	176
8	北海道大学	196
9	早稲田大学	199
10	慶應義塾大学	214
11	筑波大学	355
12	豊田工業大学	446
13	広島大学	472
14	神戸大学	476
15	一橋大学	481

(2023-2024)

QS社・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	14
2	京都大学	17
3	東北大学	20
4	大阪大学	24
5	東京工業大学	27
6	名古屋大学	30
7	九州大学	31
8	北海道大学	32
9	早稲田大学	43
10	慶應義塾大学	45
11	筑波大学	55
12	神戸大学	76
13	広島大学	97
14	一橋大学	119
15	立命館大学	125

(2023-2024)

上海交通大学・世界大学学術ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	27
2	京都大学	39
3	名古屋大学	101-150
4	大阪大学 東京工業大学	151-200
6	北海道大学 東北大学 筑波大学	201-300
9	慶應義塾大学 九州大学 沖縄科学技術大学院大学	301-400
12	広島大学	401-500
13	神戸大学 岡山大学	501-600
15	千葉大学 北里大学 大阪公立大学 信州大学 東京理科大学	601-700

(2023)

THE誌・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	29
2	京都大学	55
3	東北大学	130
4	大阪大学	175
5	東京工業大学	191
6	名古屋大学	201-250
7	九州大学	301-350
8	北海道大学 筑波大学	351-400
10	東京医科歯科大学	401-500
11	会津大学 広島大学 順天堂大学 慶應義塾大学 神戸大学	601-800
16	千葉大学 熊本大学 京都府立医科大学 岡山大学 東京農工大学 東京医科大学 早稲田大学 横浜市立大学	801-1000

(2023-2024)

THE誌・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	8
2	京都大学	18
3	東北大学	34
4	大阪大学	47
5	名古屋大学	49
6	東京工業大学	56
7	九州大学	108
8	東京医科歯科大学	112
9	筑波大学	131
10	北海道大学	134
11	横浜市立大学	142
12	関西医科大学	164
13	産業医科大学	168
14	藤田医科大学 順天堂大学 慶應義塾大学 神戸大学	201-250

(2023)

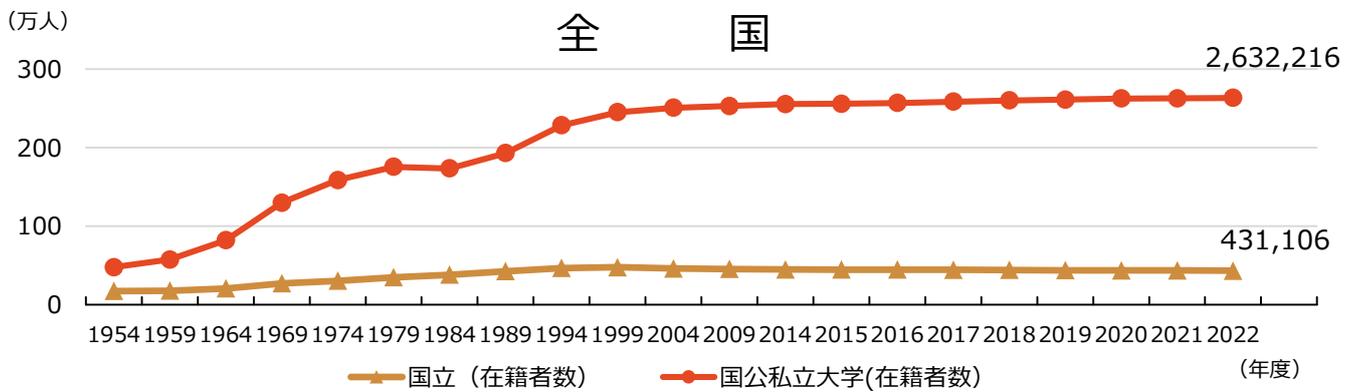
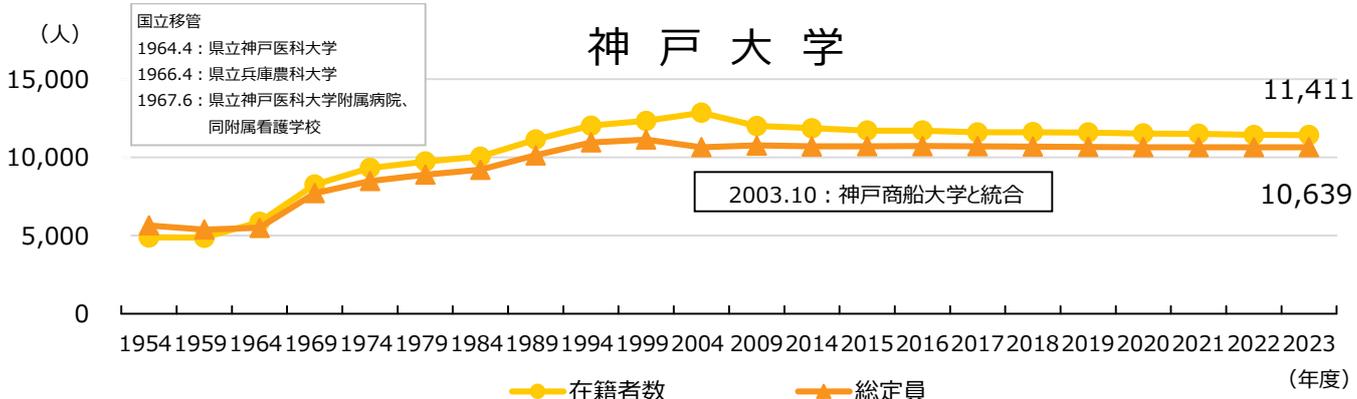
出典:各発表機関ウェブサイト

※「-」についてはその順位グループに属していることを示している。(例:「201-300」は、201位から300位のグループ)

2. 学生数

2-1 学生数の推移 — 学士課程 —

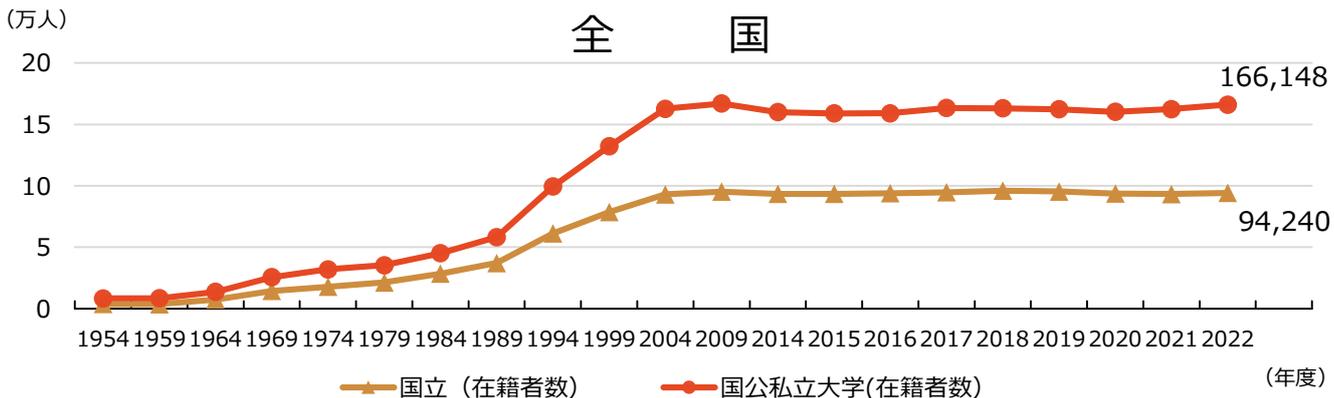
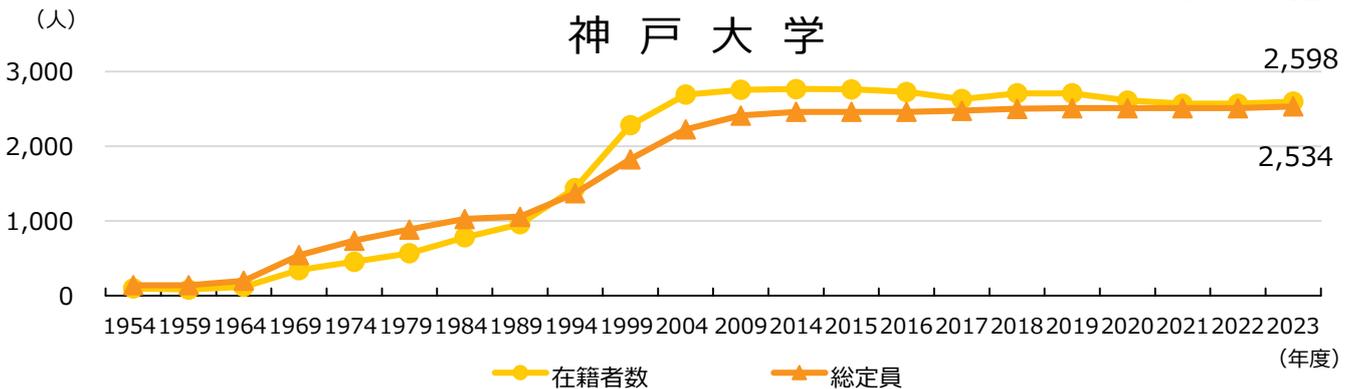
各年度5月1日現在



出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

2-2 学生数の推移 — 修士課程・博士課程前期課程 —

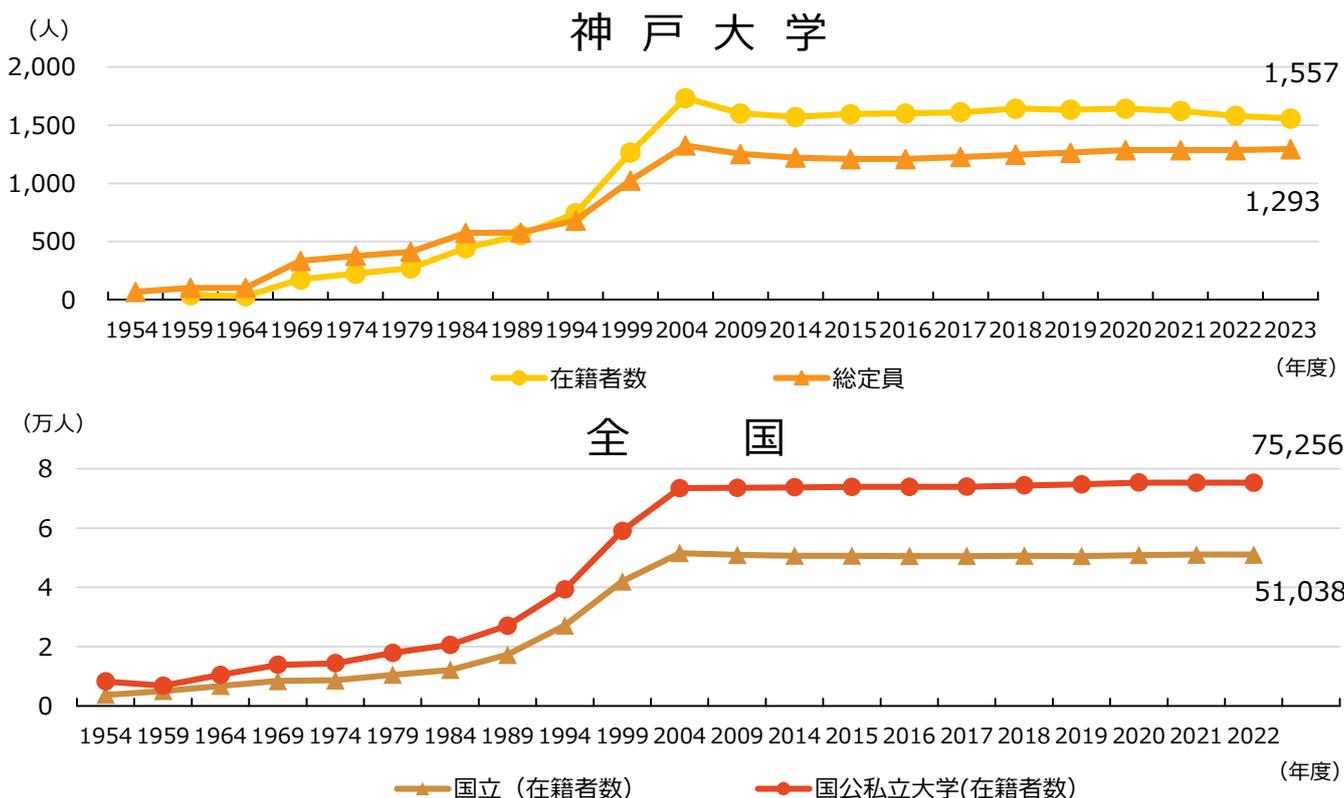
各年度5月1日現在



出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

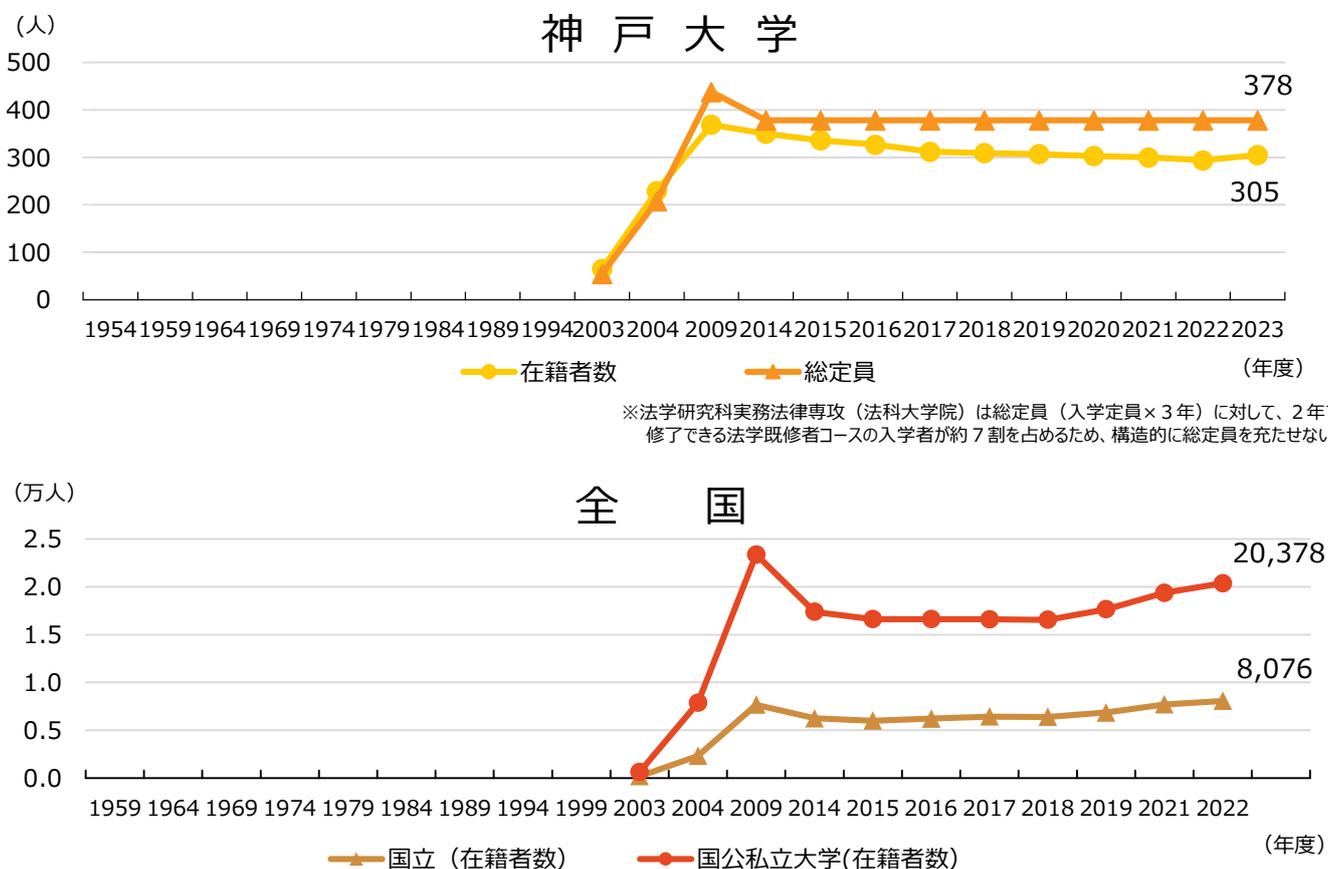
2-3 学生数の推移 — 博士課程・博士課程後期課程 —

各年度5月1日現在



2-4 学生数の推移 — 専門職学位課程 —

各年度5月1日現在



※法学研究科実務法律専攻（法科大学院）は総定員（入学定員×3年）に対して、2年で修了できる法学既修者コースの入学者が約7割を占めるため、構造的に総定員を充たせない。

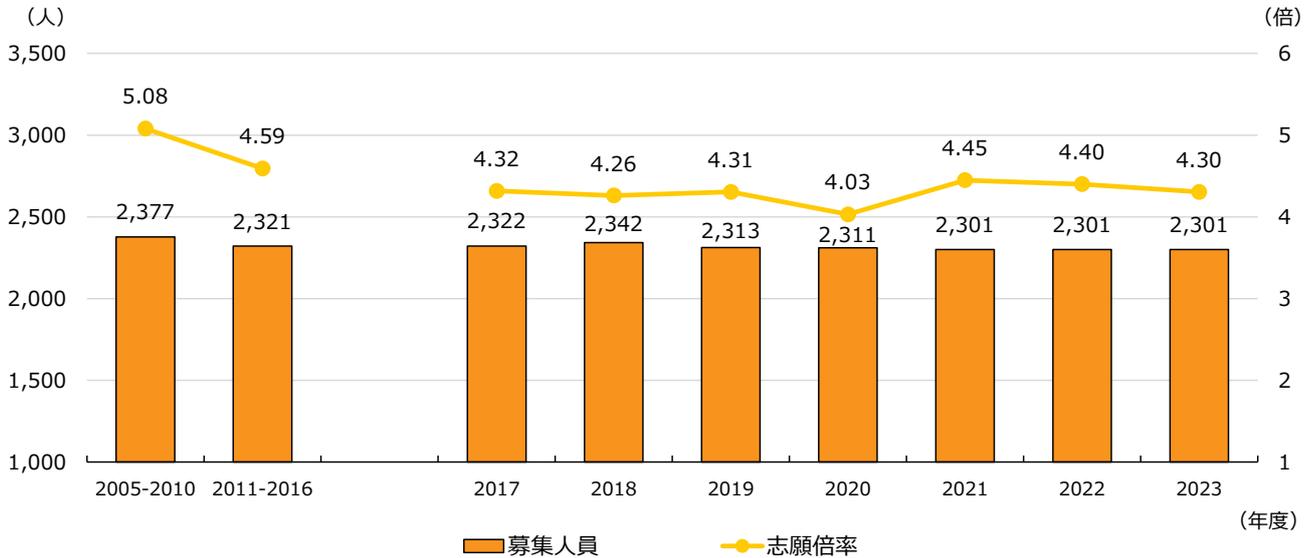
※2004年度から法科大学院制度が創設されたことに伴い、専門職大学院の在籍者数が急激に増加し、2009年度以降に一旦減少したが、近年は同水準を維持している。

出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

3. 学部一般選抜志願状況

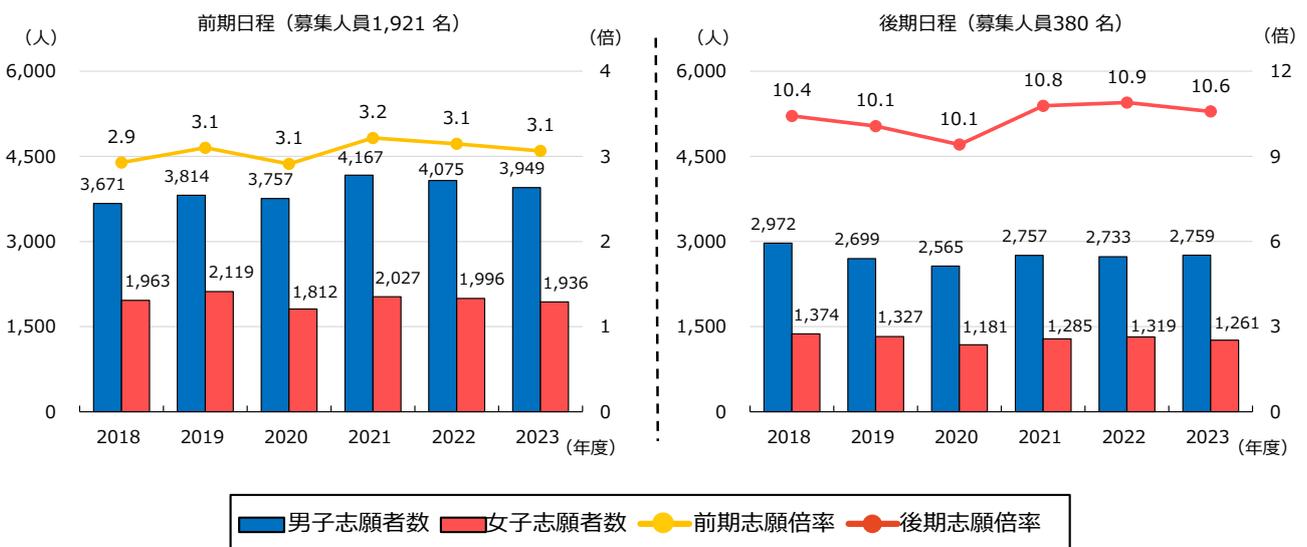
3-1 学部一般選抜志願状況（推移）

○ 本学の学部一般選抜（一般入試）の志願倍率は、2020年度（センター試験最終年度、新型コロナウイルス感染症拡大）に4.03倍と法人化以降、最低水準となったが、2021年度（共通テスト開始）以降は以前の水準を維持している。



3-2 学部一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

○ 前期日程（左図）は3倍程度、後期日程（右図）は10倍程度の志願倍率で推移している。
 ○ 志願者の男女比については、年度によってやや差があるものの、概して2対1の割合で推移している。



※各日程の募集人員は2023年度の数値を記載している。その他の各年度の募集人員は以下のとおり。

2018 前期：1,925名 後期：417名 2020 前期：1,913名 後期：398名 2022 前期：1,929名 後期：372名
 2019 前期：1,913名 後期：400名 2021 前期：1,926名 後期：375名

3-3 全国の大学の志願状況及び入学定員

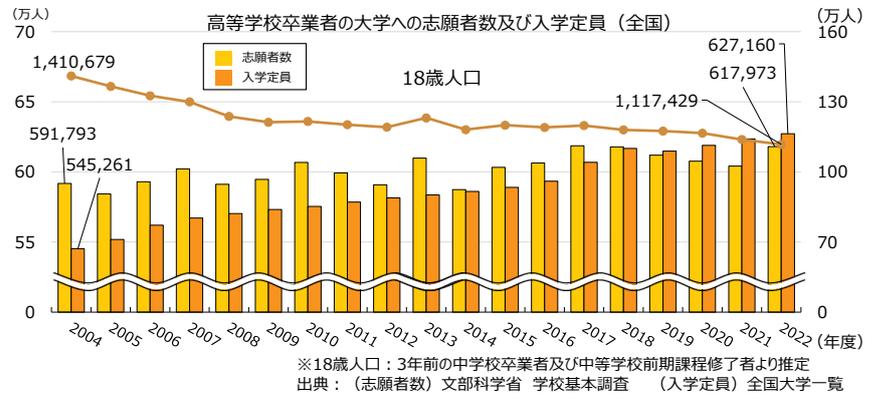
◆17大学の状況（2022年度入試）

大学名	北海道	東北	筑波	千葉	東京	東京医科歯科	東京農工	東京工業	一橋	金沢	名古屋	京都	大阪	神戸	岡山	広島	九州	17大学平均	(参考) 神戸2023
募集人員	2,392人	1,693人	1,474人	2,069人	2,960人	227人	724人	930人	885人	1,539人	1,739人	2,649人	2,878人	2,301人	1,619人	2,015人	2,243人	1,785人	2,301人
志願者数	9,516人	5,724人	5,545人	10,631人	9,507人	879人	3,215人	3,802人	3,832人	3,823人	4,377人	7,570人	7,501人	10,123人	4,678人	6,890人	7,692人	6,194人	9,905人
志願倍率	4.0	3.4	3.8	5.1	3.2	3.9	4.4	4.1	4.3	2.5	2.5	2.9	2.6	4.4	2.9	3.4	3.4	3.5	4.3
合格者の入学率	94.0%	96.3%	94.9%	89.7%	99.6%	88.1%	92.3%	98.3%	98.9%	94.7%	98.1%	99.6%	98.5%	95.3%	94.5%	95.1%	95.5%	95.5%	95.3%

出典（募集人員・志願者数・志願倍率）：令和4年度国公立大学入学者選抜確定志願状況，文部科学省HP
出典（合格者の入学率）：朝日大学ランキング2024



◆全国の大学志願者数および入学定員（推移）



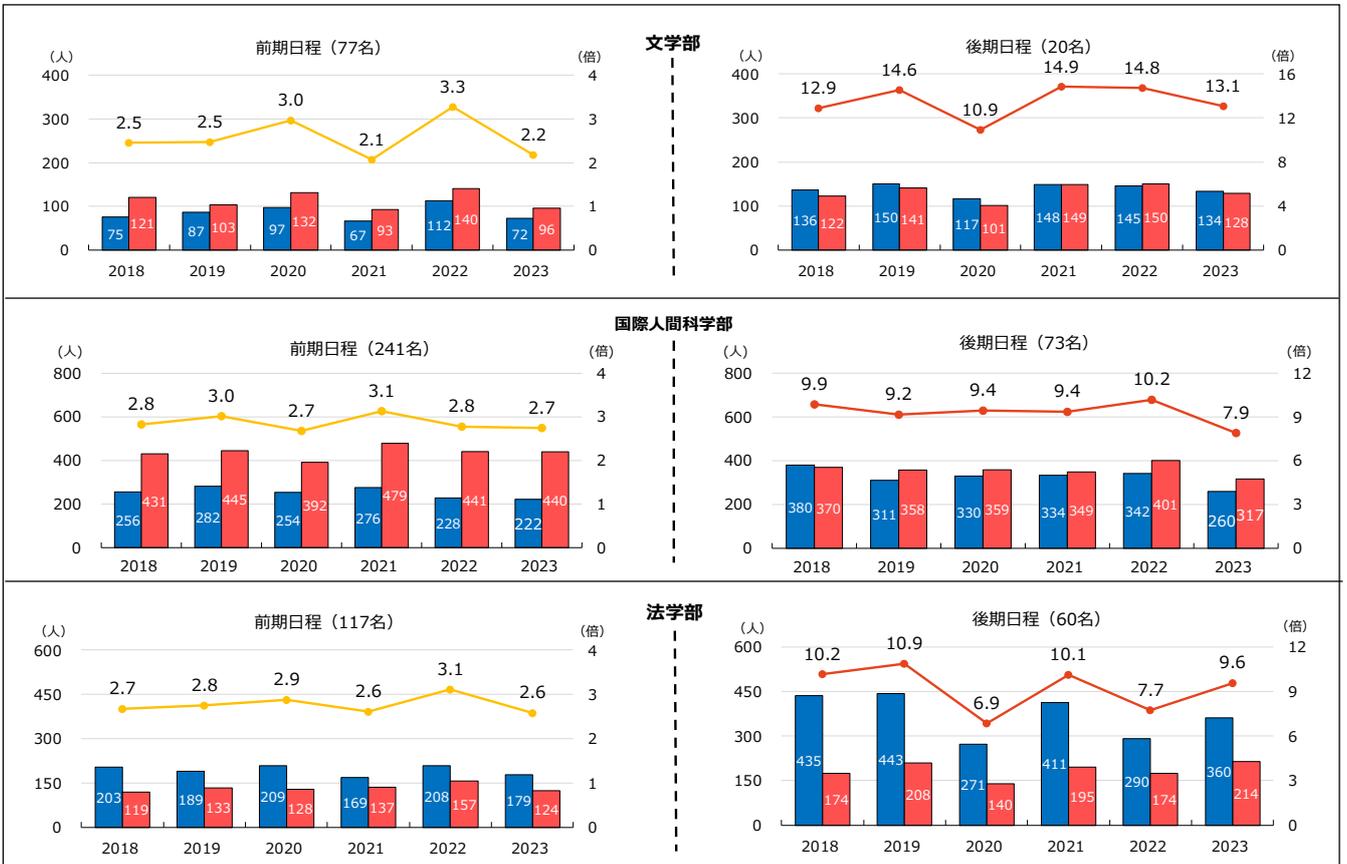
※18歳人口：3年前の中学校卒業生及び中等学校前期課程修了者より推定
出典：（志願者数）文部科学省 学校基本調査 （入学定員）全国大学一覽

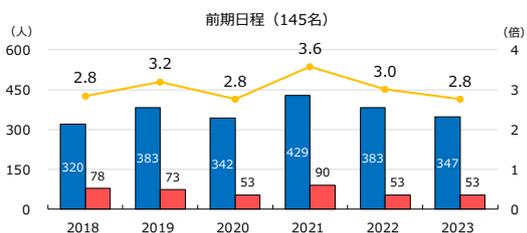
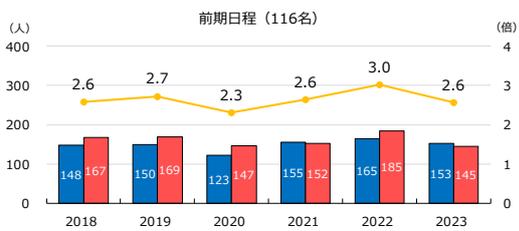
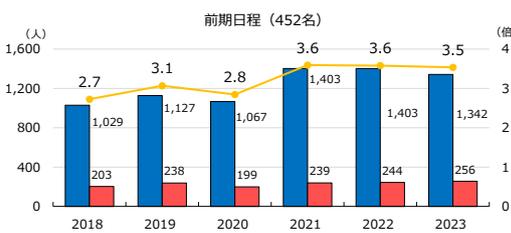
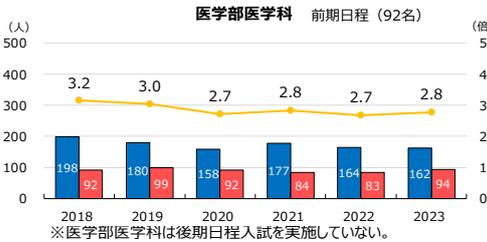
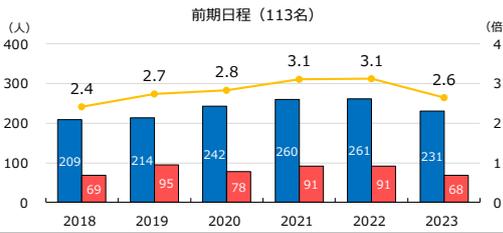
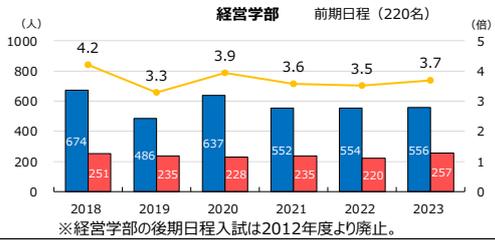
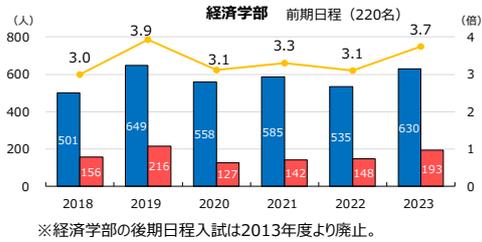
3-4 学部ごとの一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

- 志願倍率は各学部とも毎年上下しているが、近年、工学部の倍率が高くなっている。
- 理学部の後期日程の志願倍率が近年で最高となった一方、国際人間科学部の後期日程及び医学部保健学科の前期日程は低水準であった。

■ 男子志願者数 ■ 女子志願者数 ● 前期志願倍率 ● 後期志願倍率

・（ ）書きは各日程の2023年度募集定員





※募集定員が年度によりグラフ内に記載の人数と異なる学部は以下のとおり。

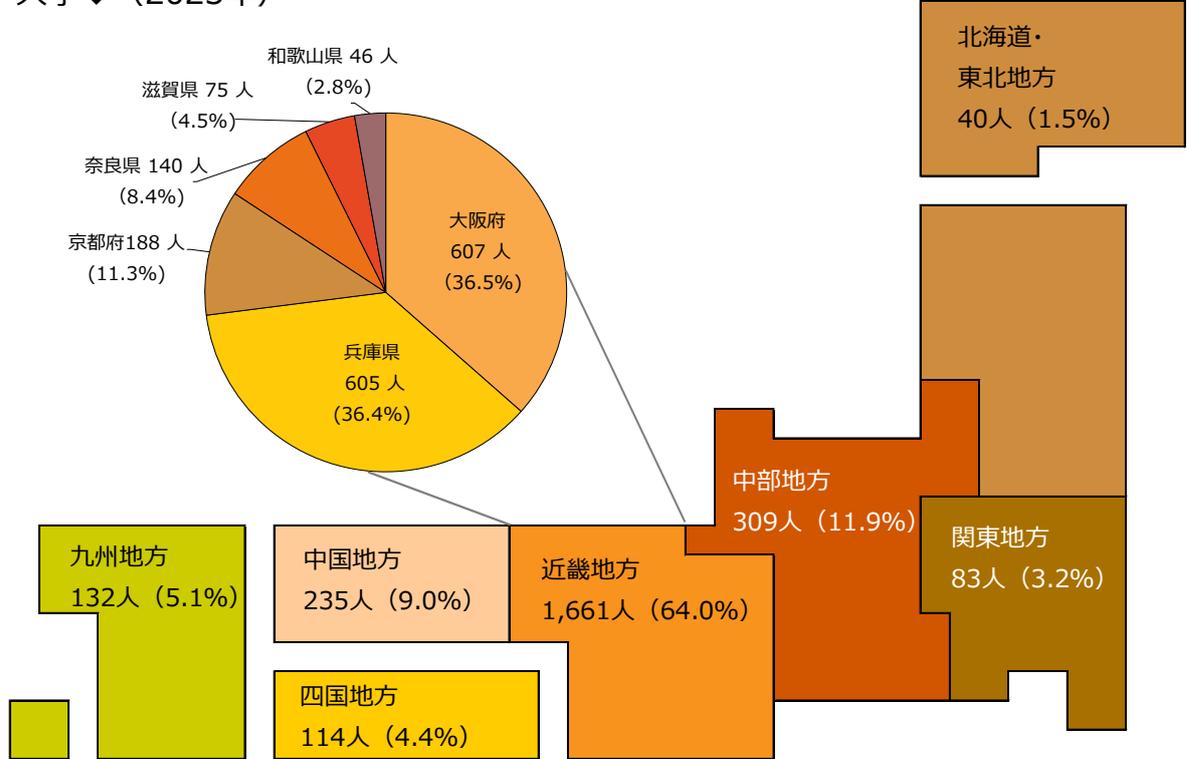
- 文学部 (前) 2017~2018:80名
- 国際文化学部 (前) 2015:100名 (後) 2015:40名
- 国際人間科学部 (前) 2017~2018:243名 (後) 2017~2018:76名
- 法学部 (前) 2017~2018:120名
- 経済学部 (前) 2017:200名
- 理学部 (前) 2017~2018:115名 (後) 2017~2018:38名
- 医学部保健学科 (前) 2017~2018:121名 (後) 2017~2018:30名、2019:24名、2020:22名
- 工学部 (前) 2017~2018:452名、2019~2020:445名、2021:457名、2022:460名 (後) 2017~2018:113名、2019~2020:108名、2021:95名、2022:92名
- 農学部 (前) 2017~2018:122名、2019~2020:117名
- 海事科学部 (前) 2017~2018:140名、2019~2020:143名 (後) 2016:40名、2017~2020:47名

4. 入学状況 - 学部 -

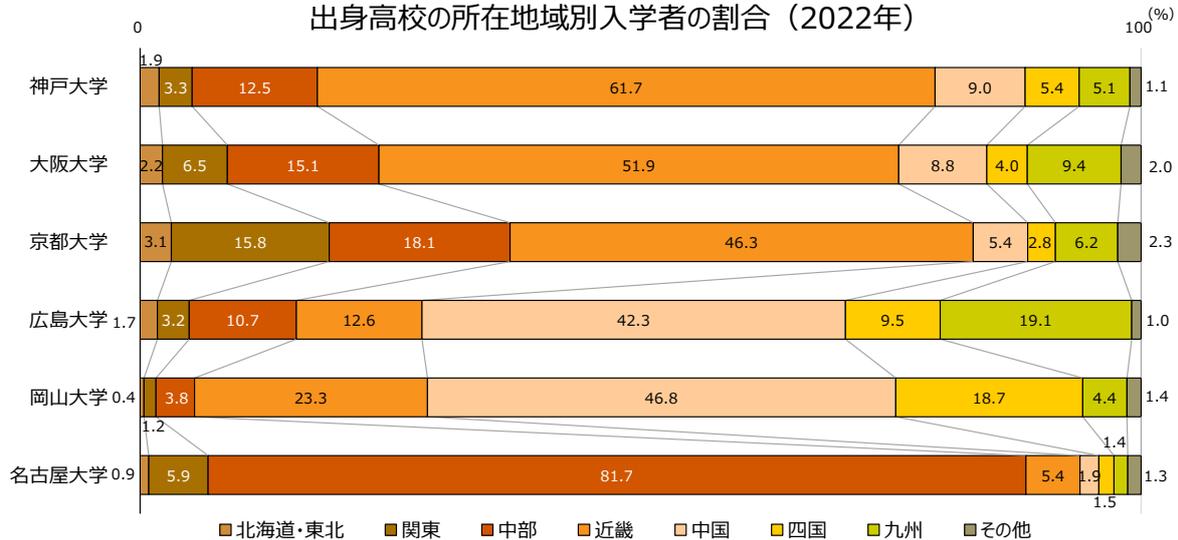
4-1 出身高校の所在地別入学者状況

○ 神戸大学では入学者のおよそ3分の2を近畿地方の高校出身者が占めており、その詳細を見ると（円グラフ）、7割以上が大阪府または兵庫県に所在する高校の出身者である。

◆神戸大学◆（2023年）



出身高校の所在地域別入学者の割合（2022年）



- 【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
- 【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
- 【中部地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
- 【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- 【その他】外国の学校等

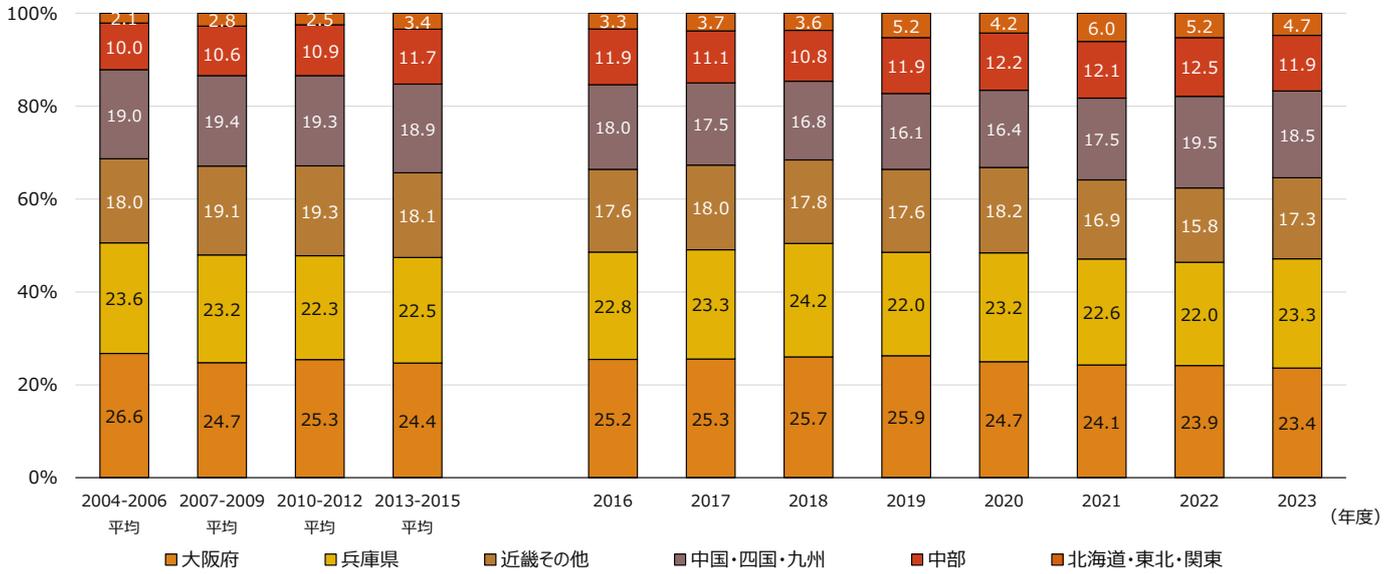
出典：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(8-G) 出身高校の所在地別入学者数」
 ※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

4-2 出身高校の所在地別入学者状況の経年推移

○ 出身地の割合は約20年間おおむね変化がなく、入学者のおよそ3分の2を近畿地方の高校出身者が占めている。北海道・東北・関東・中部地方の高校出身者は徐々に増加傾向であるが、2023年度は若干減少した。

◆神戸大学◆

出身高校の所在地別入学者状況の経年推移



※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

5. 入学状況 — 大学院 —

5-1 大学院入学状況

◆神戸大学◆

□ 本学出身 □ 他学出身 □ その他（外国の学校を卒業した者等）

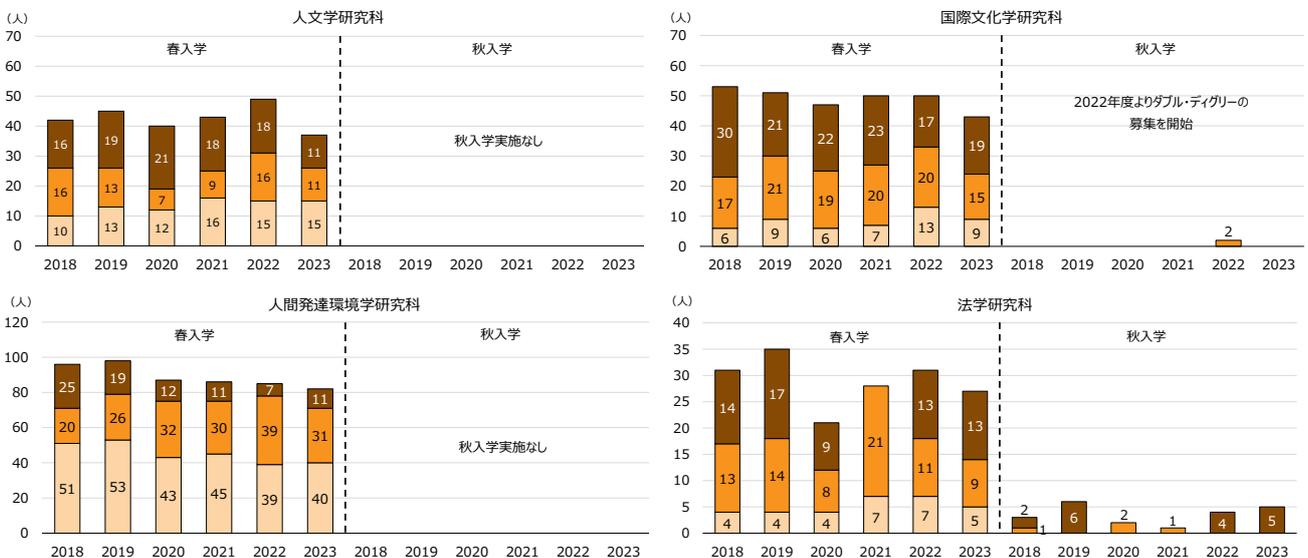


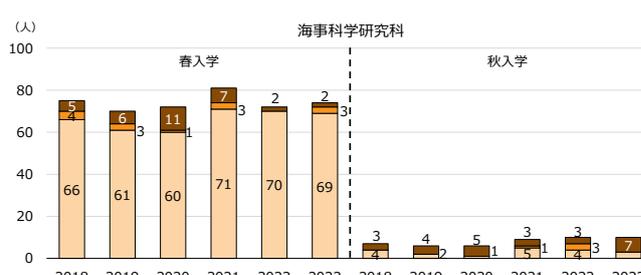
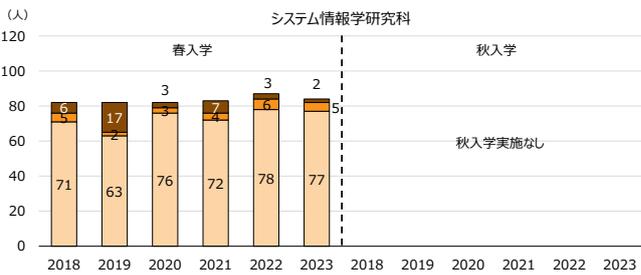
5-2 大学院入学状況 — 研究科別・出身大学別 —

- 博士課程前期課程・修士課程において、自然科学系の研究科は、本学出身の学生がそのまま進学するケースが多いが、人文科学系、社会科学系及び医学系の研究科においては、多くの他学出身者が入学している傾向が見られる。
- 博士課程後期課程においては、研究科によりばらつきはあるが、入学者の半数以上を本学出身の学生が占める研究科が多い。また、工学研究科や国際協力研究科は秋入学で比較的多くの学生を受け入れている。

◆博士課程前期課程・修士課程◆

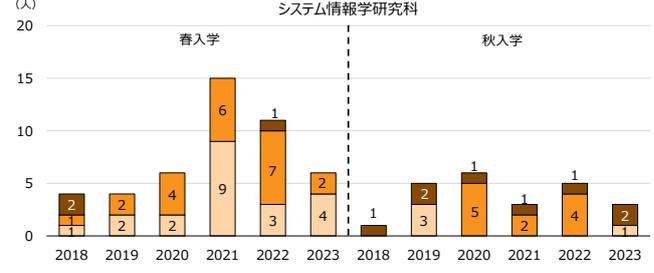
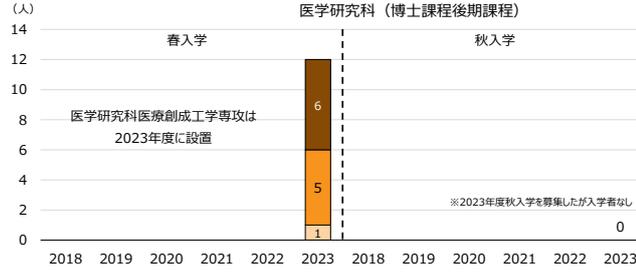
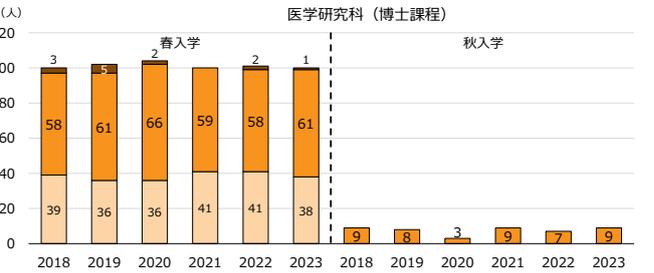
□ 本学出身 □ 他学出身 □ その他（外国の学校を卒業した者等）

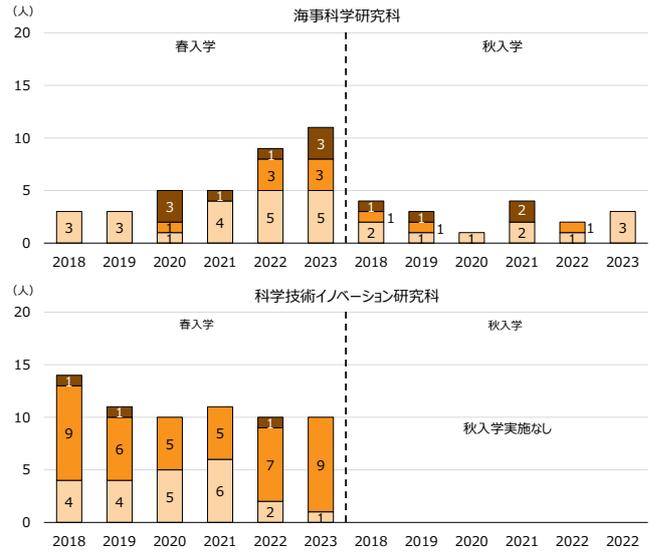
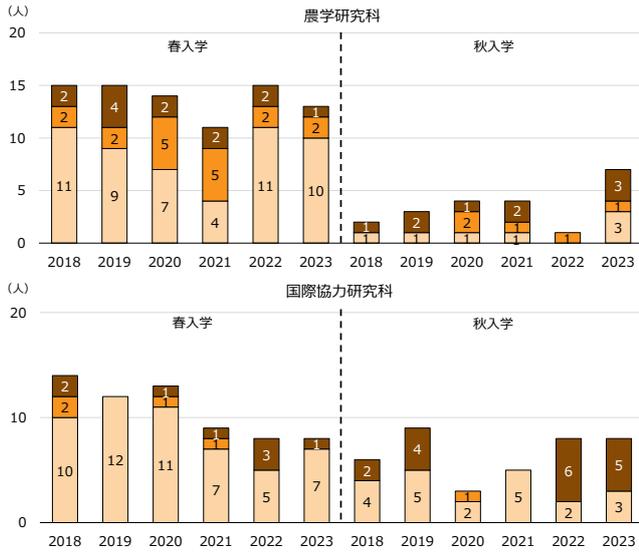




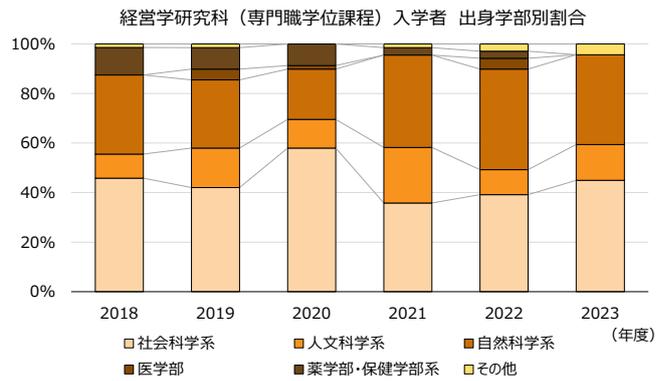
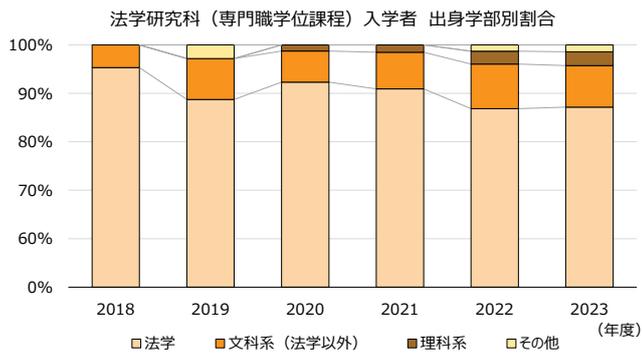
◆博士課程後期課程・博士課程◆

□ 本学出身 □ 他学出身 ■ その他（外国の学校を卒業した者等）





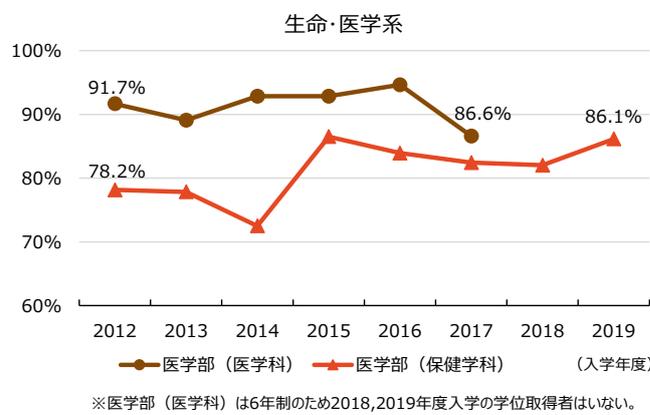
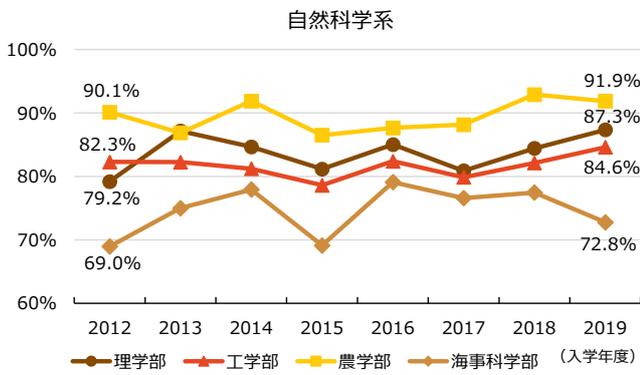
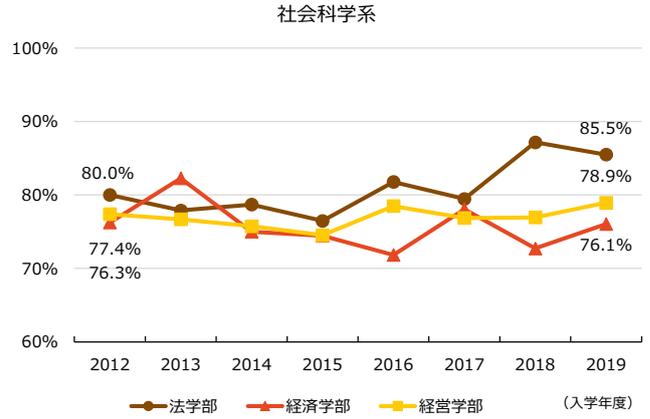
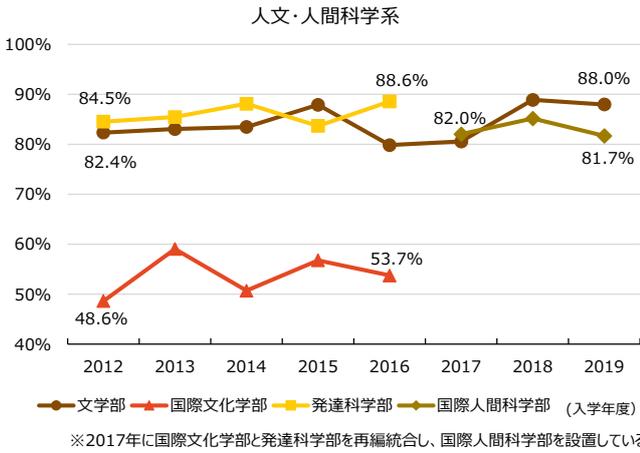
◆ 専門職学位課程 ◆



6. 学位授与状況 — 授与率 —

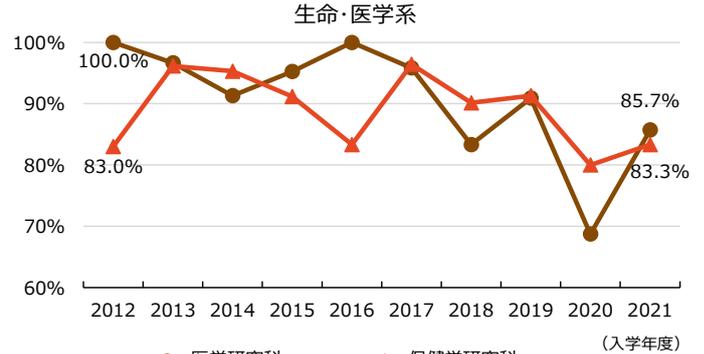
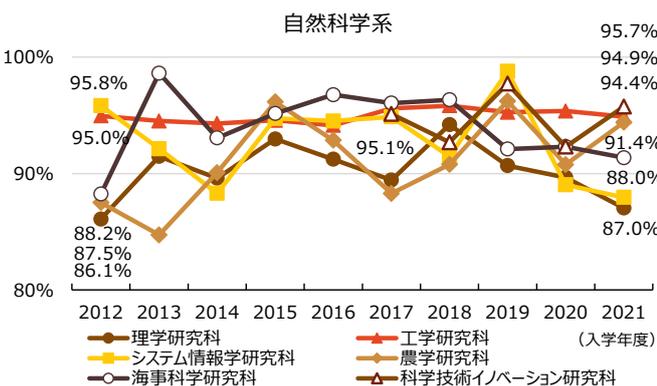
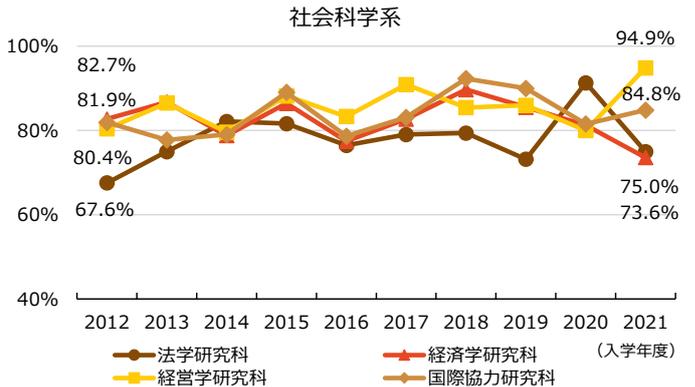
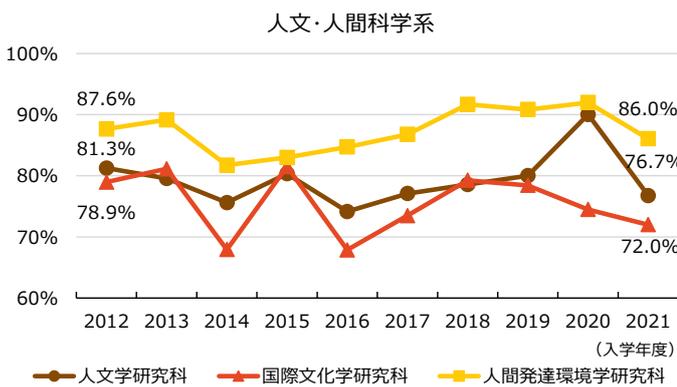
◆ 学士課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率=修了者数/入学者数



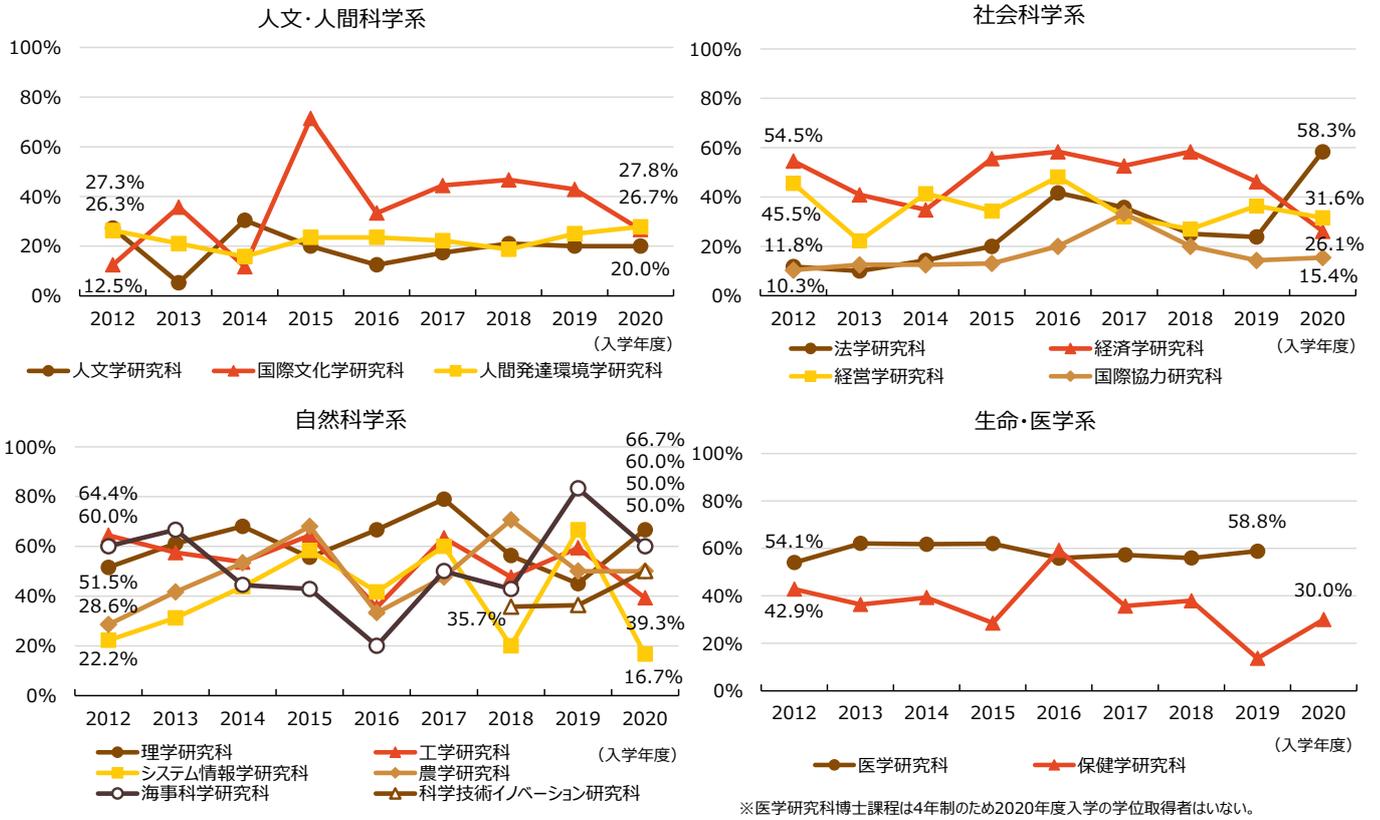
◆ 修士課程・博士課程前期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率=修了者数/入学者数（秋入学者を含む。ただし、2021年度入学生は春入学者のみ。）

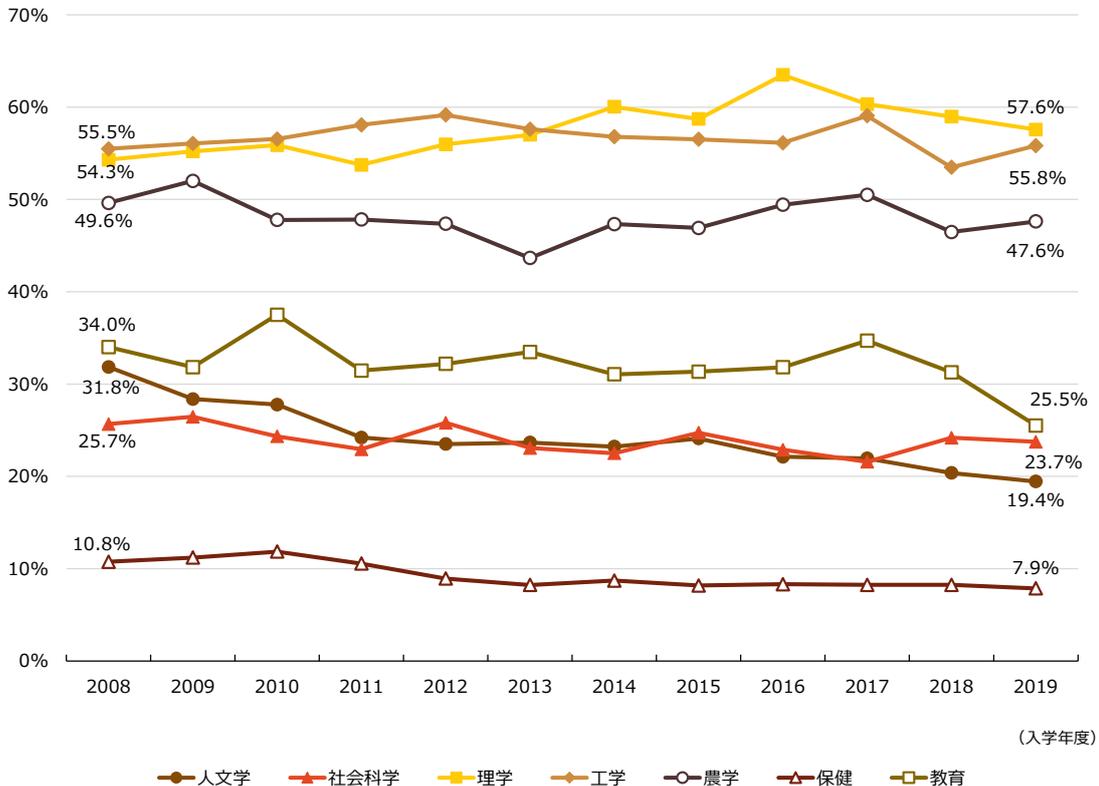


◆博士課程・博士課程後期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率＝修了者数/入学者数（秋入学者を含む。ただし、2020年度入学生は春入学者のみ。）



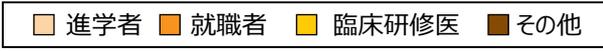
◆全国（入学年度別標準修業年限内修業率 博士課程専攻分野別）



出典：文部科学省 学校基本調査
博士課程の「専攻分野別最低修業年数卒業生数/博士課程の専攻分野別入学者数」の推移を入学年度別に示した。

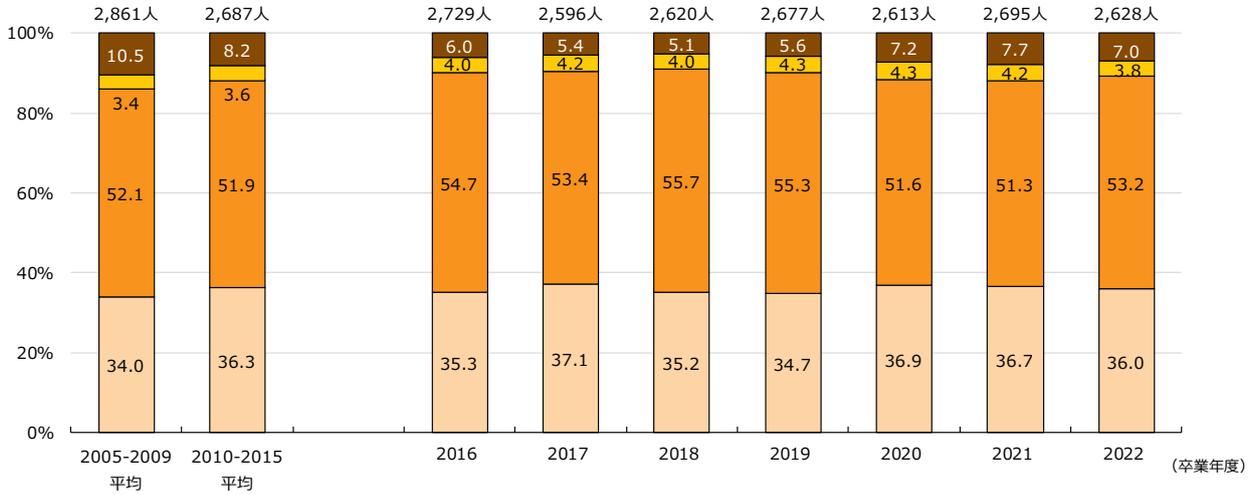
7. 進路・就職状況

7-1 学士課程卒業生の進路・就職状況

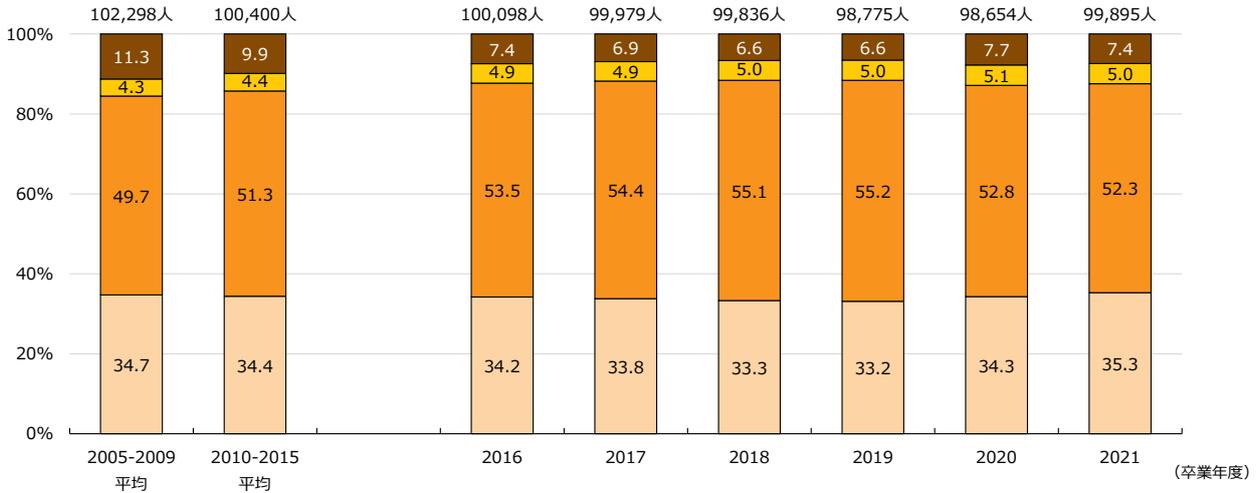


※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

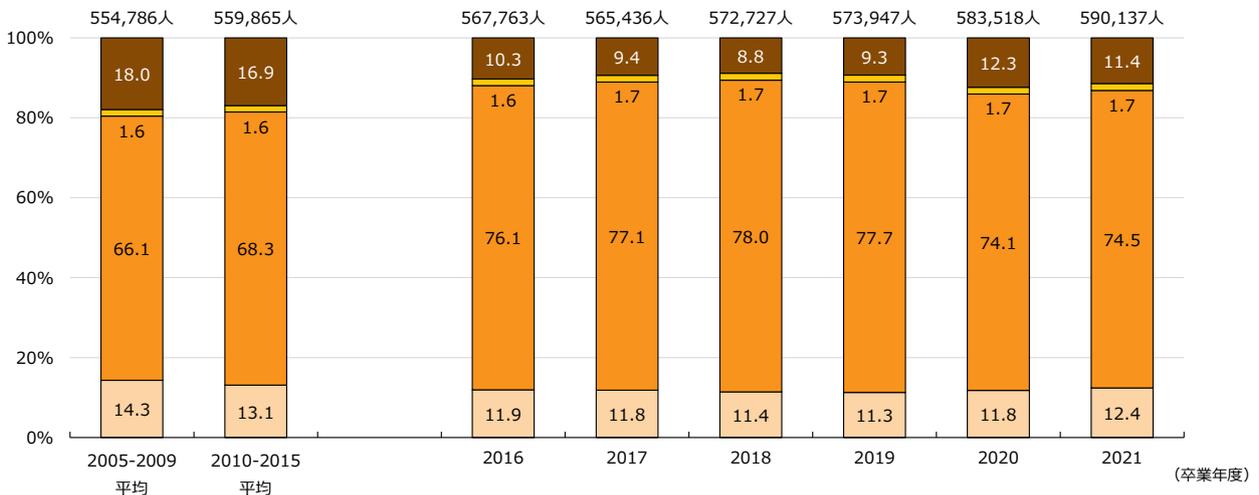
神戸大学



国立大



全国

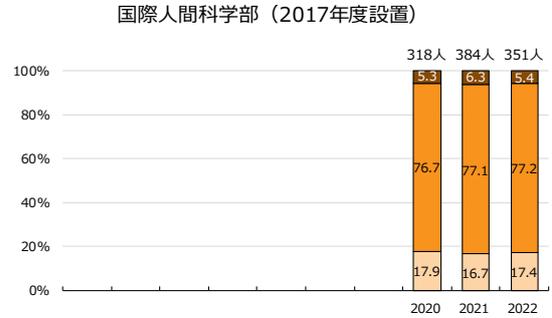


出典：文部科学省 学校基本調査
 ※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-2 学士課程卒業生の学部別進路・就職状況

- 文科系の学部においては就職する学生の割合が高く、理科系の学部においては医学部を除き、進学する学生が多い。
- 2005～2009年度の平均と比較すると、文学部、法学部、経済学部、経営学部、工学部では就職者の割合が上昇し、医学部保健学科では進学者の割合が上昇している。

◆神戸大学◆（学士課程 卒業年度）

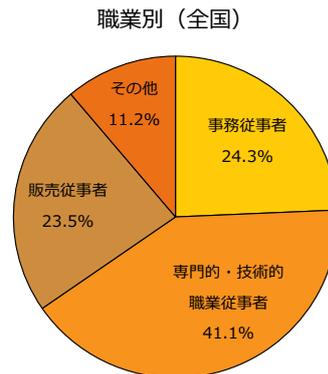
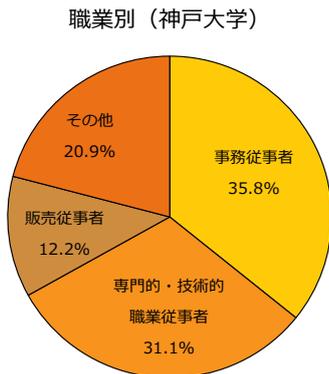
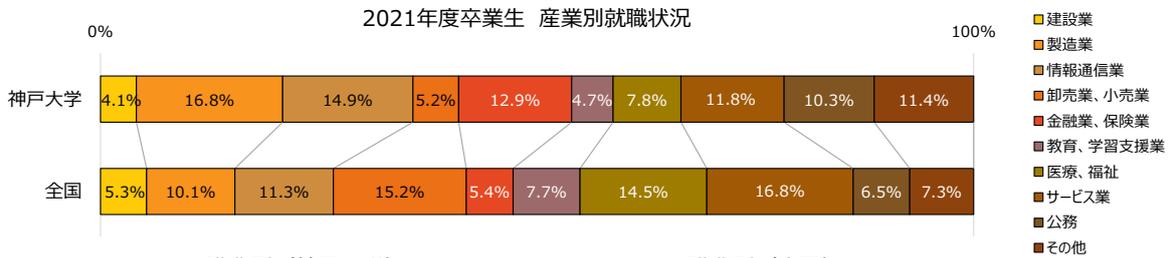




※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-3 学士課程卒業生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では「製造業」、「情報通信業」、「金融業、保険業」、「公務」に就職している割合が高い。



出典：文部科学省 学校基本調査

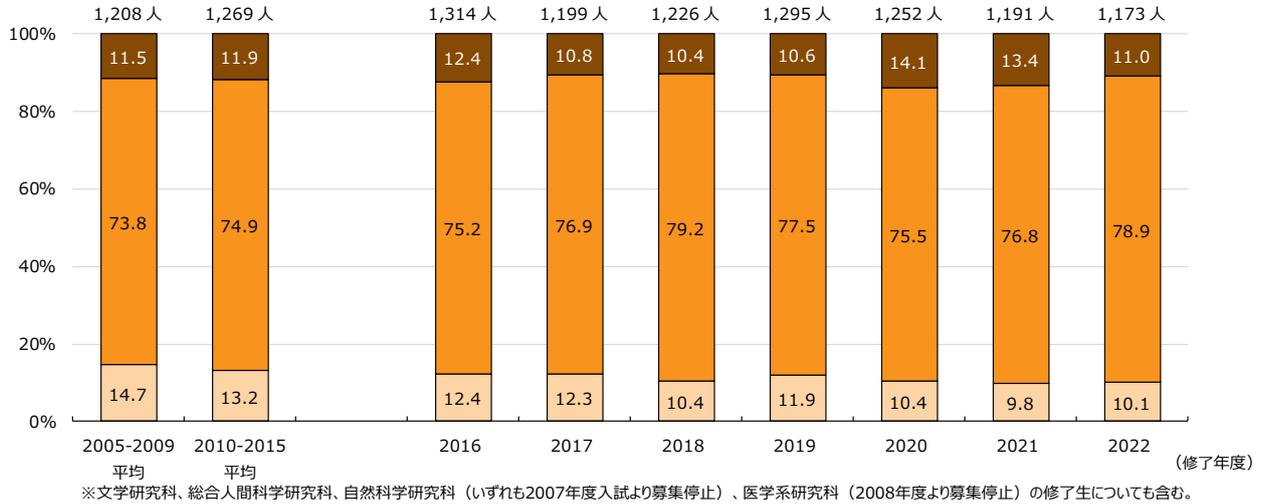
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-4 修士課程・博士課程前期課程修了生の進路・就職状況

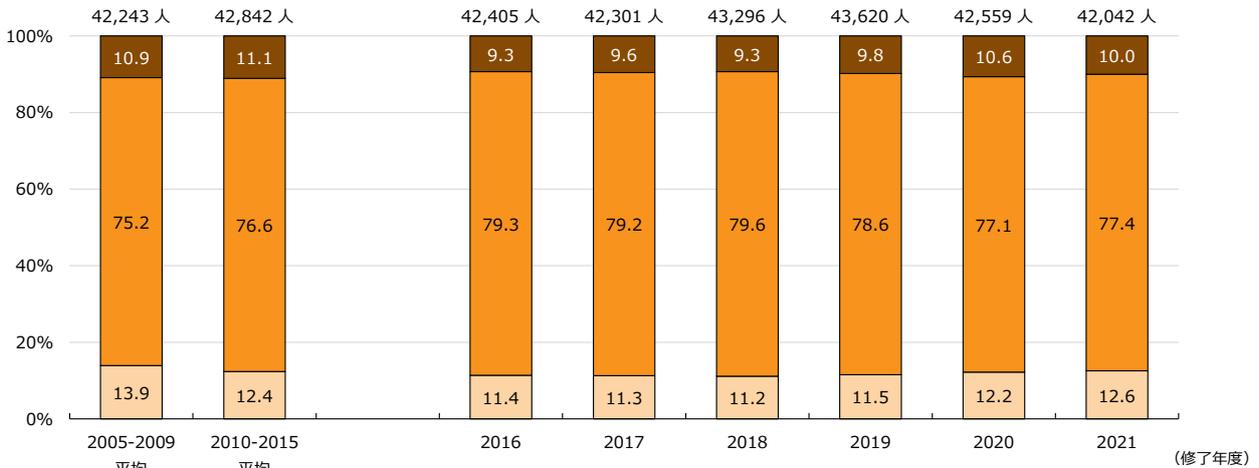
進学者
 就職者
 その他

※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「臨床研修医」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

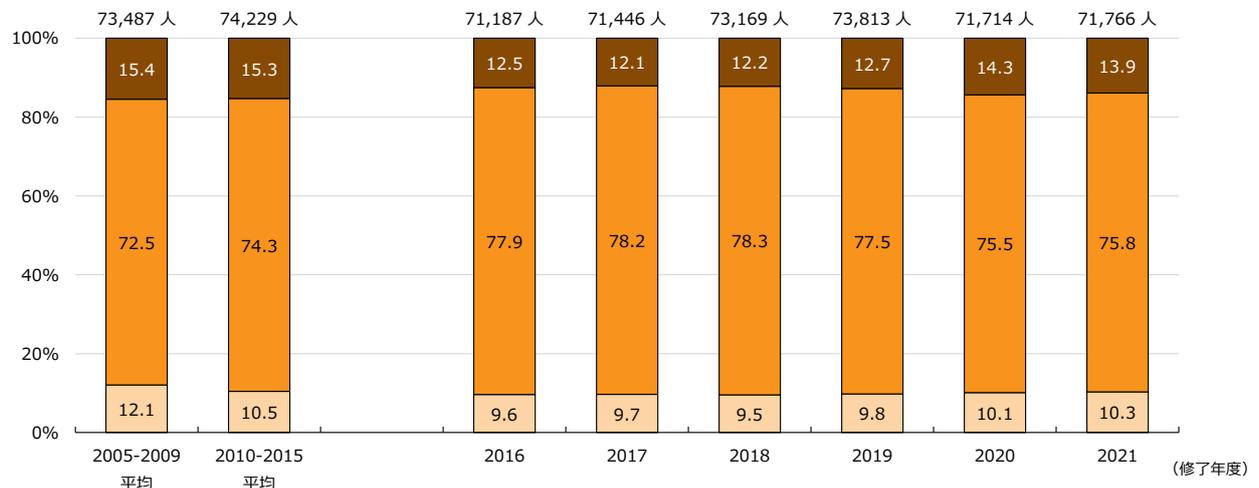
神戸大学



国立大



全国



出典：文部科学省 学校基本調査

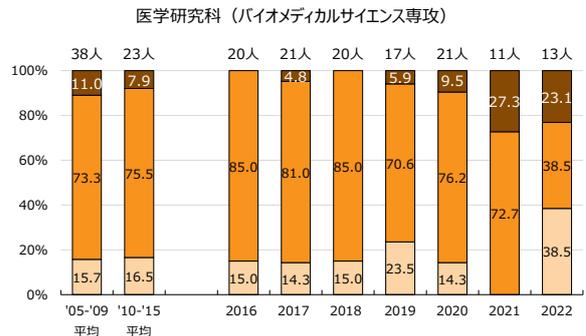
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

修士課程・博士課程前期課程修了生の研究科別進路・就職状況

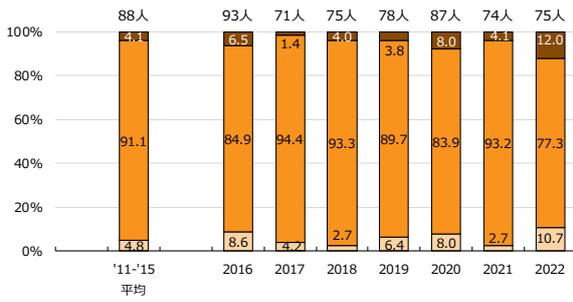
○ 文科系の研究科において進学率が一定程度あり、学士課程卒業生とは異なる傾向がみられるが近年若干減少している。

◆神戸大学◆ (修士課程・博士課程前期課程 修了年度)

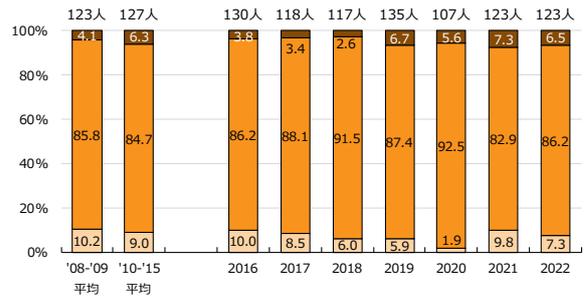
進学者 就職者 その他



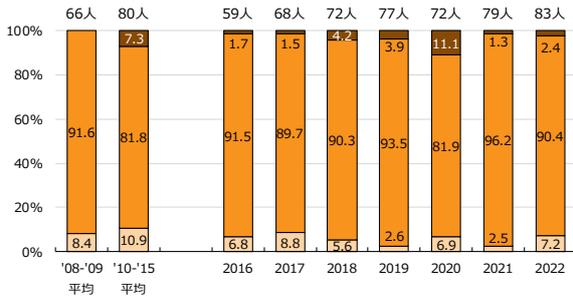
システム情報学研究科（2010年度設置）



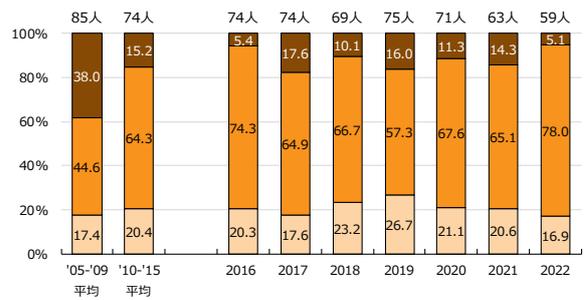
農学研究科（2007年度設置）



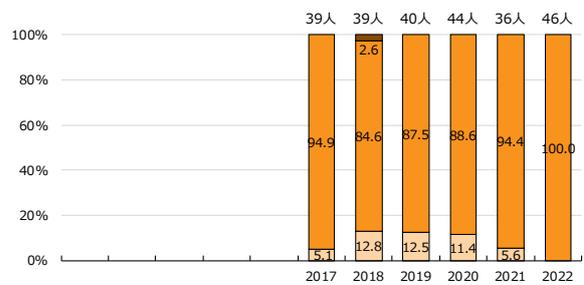
海事科学研究科（2007年度設置）



国際協力研究科



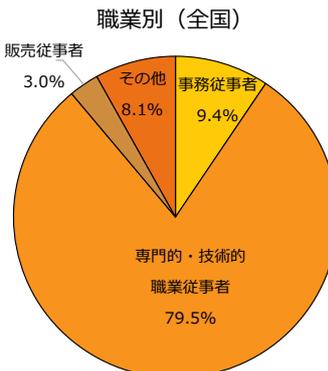
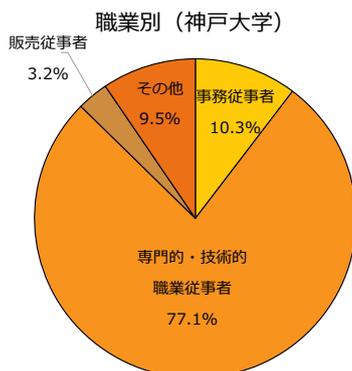
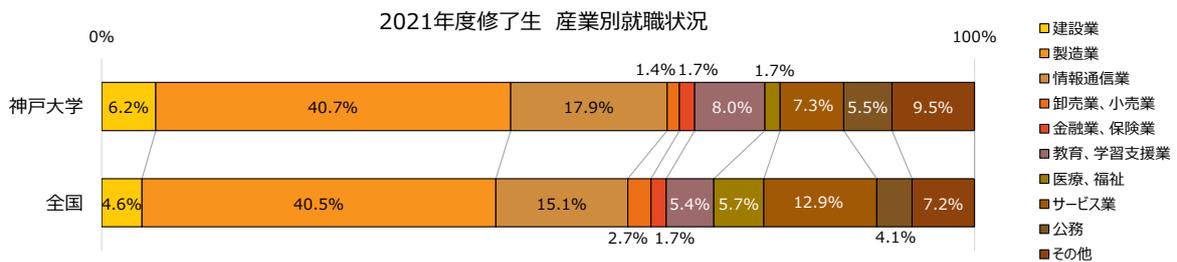
科学技術イノベーション研究科（2016年度設置）



※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-6 修士課程・博士課程前期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 産業別、職業別ともに概ね全国と同様の傾向が見られる。



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

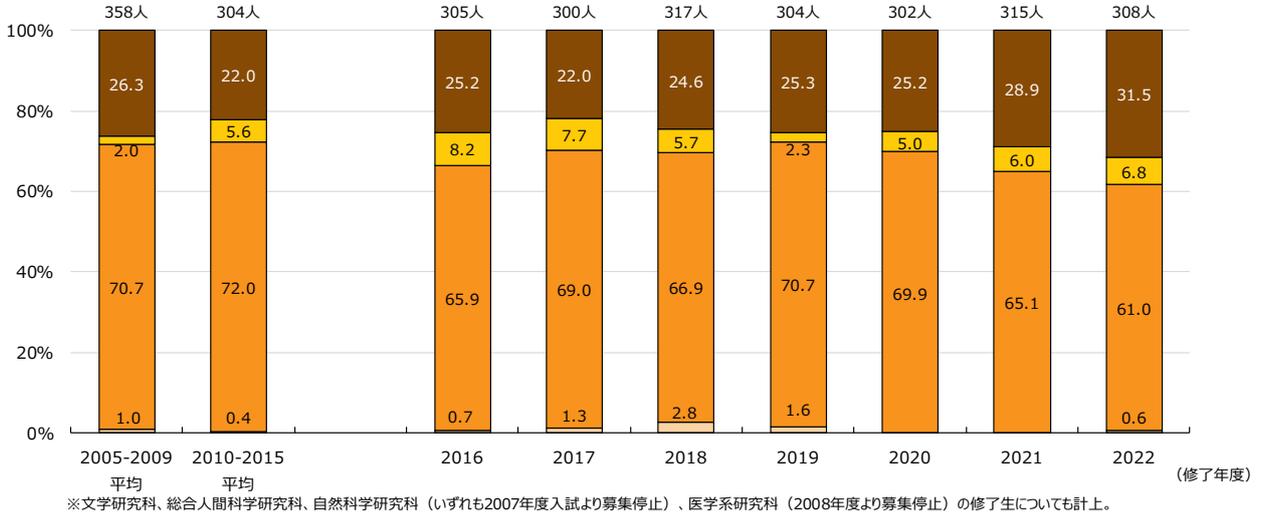
7-7 博士課程・博士課程後期課程修了生の進路・就職状況

○ 研究科によって傾向が異なるが、全体的には就職者の割合が低下している。(研究科別のデータは7-8参照)

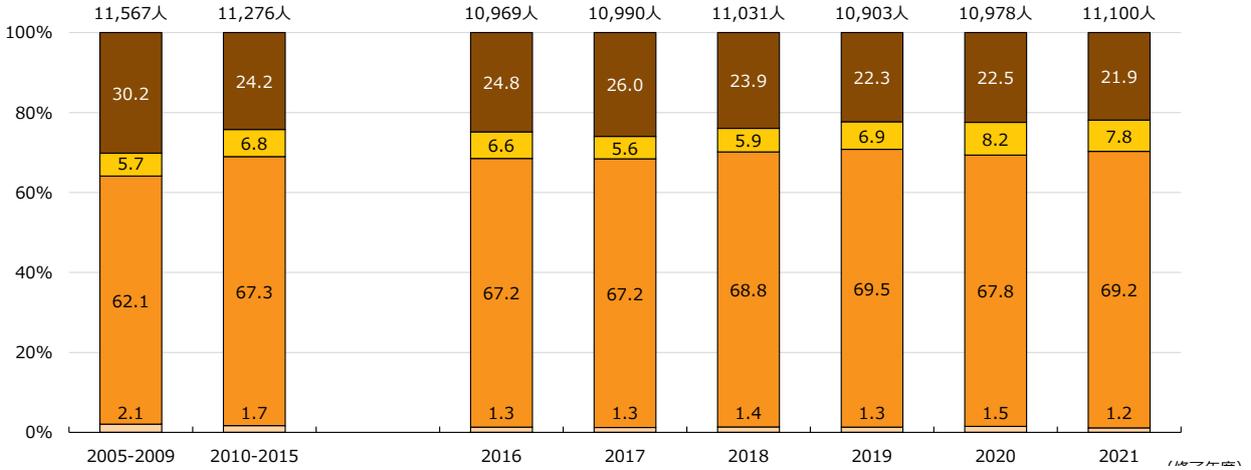
■ 進学者 ■ 就職者(自営, 雇用期間一年以上でフルタイム相当)
■ 一時的な仕事に就いた者等(雇用期間1年未満) ■ その他

※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「一時的な仕事に就いた者等」とは、「(有期雇用労働者) - (雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者) + (臨時労働者)」である。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

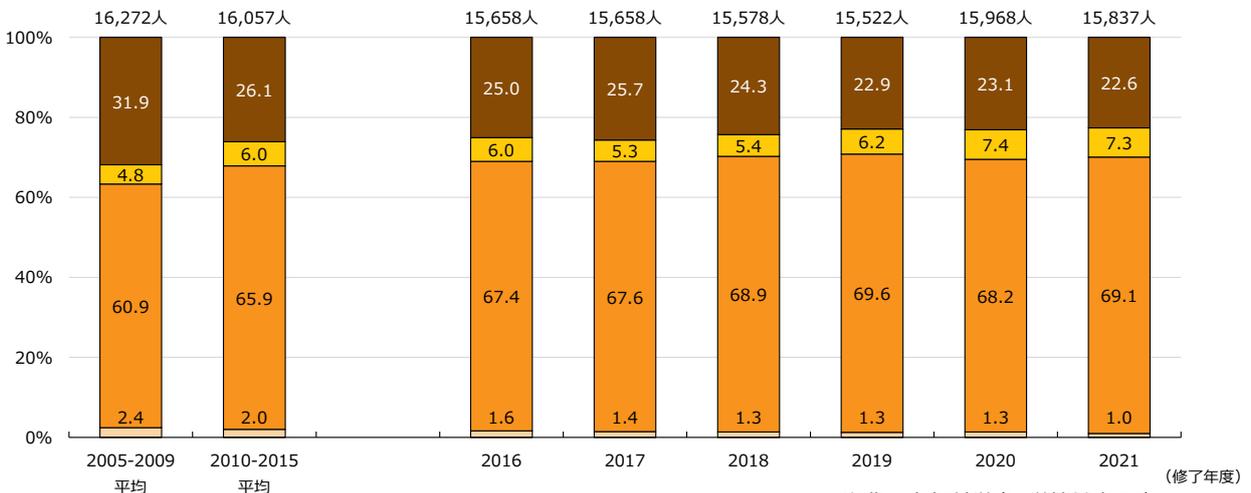
神戸大学



国立大



全国



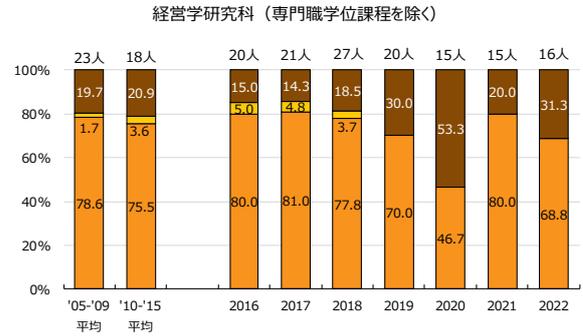
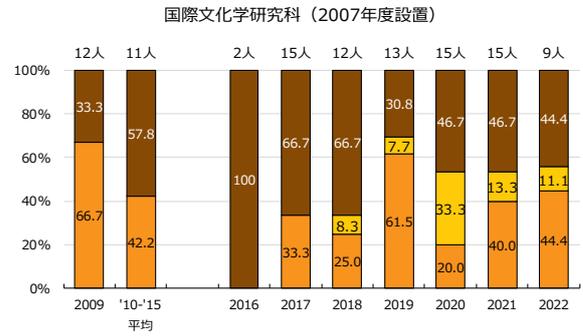
出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-8 博士課程・博士課程後期課程修了生の研究科別進路・就職状況

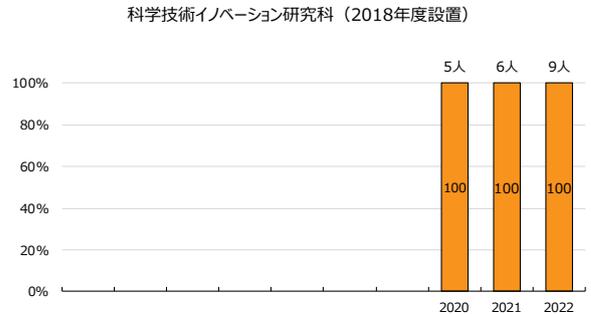
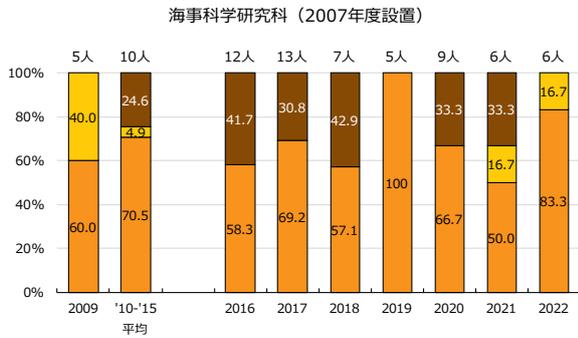
■ 進学者 ■ 就職者（自営，雇用期間1年以上でフルタイム相当）
■ 一時的な仕事に就いた者等（雇用期間1年未満） ■ その他

◆神戸大学◆（博士課程・博士課程後期課程 修了年度）



※医学系研究科保健学専攻（2008年度入試より募集停止）の修了生を含む。

※2008年度修了生には，転入学した者を含む。

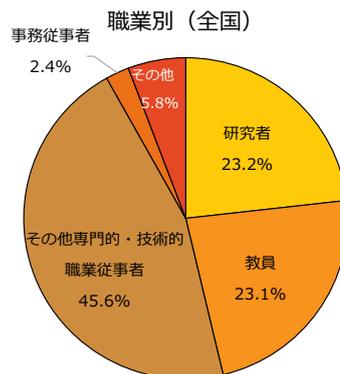
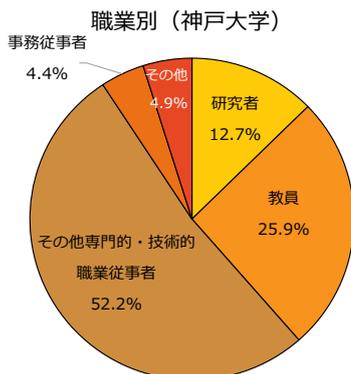
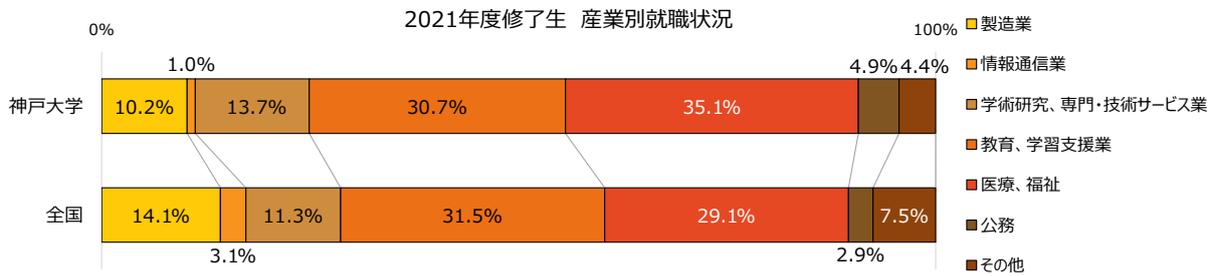


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-9

博士課程・博士課程後期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では「医療、福祉」の割合が多く、職業別では「研究者」の割合が少ない傾向にある。



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

8. 資格試験合格状況

8-1 司法試験合格状況

- 毎年40人以上の司法試験合格者を安定して輩出している。

【合格率推移（上位20大学）】

順位	2019年度			2020年度			2021年度			2022年度			2023年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	京都大	62.7%	126	愛知大	77.8%	7	愛知大	66.7%	2	京都大	68.0%	119	京都大	68.4%	188
2	一橋大	59.8%	67	一橋大	70.6%	84	京都大	61.6%	114	東京大	60.9%	117	一橋大	67.2%	121
3	東京大	56.3%	134	東京大	59.4%	126	一橋大	58.2%	64	一橋大	60.0%	66	慶應義塾大	60.0%	186
4	慶應義塾大	50.7%	152	京都大	57.8%	107	慶應義塾大	55.1%	125	慶應義塾大	57.5%	104	東京大	59.0%	186
5	愛知学院大	42.9%	3	東北大	53.1%	26	東北大	51.3%	20	東北大	56.3%	27	神戸大	48.6%	71
6	早稲田大	42.1%	106	鹿児島大	50.0%	1	山梨学院大	50.0%	2	愛知大	50.0%	2	名古屋大	47.2%	42
7	大阪大	41.1%	46	慶應義塾大	49.8%	125	東洋大	50.0%	1	神戸大	48.6%	54	早稲田大	44.7%	174
8	東北大	38.5%	20	神戸大	49.2%	62	早稲田大	49.8%	115	大阪大	45.9%	51	大阪大	42.9%	78
9	名古屋大	37.3%	25	九州大	46.7%	21	岡山大	48.5%	16	早稲田大	44.8%	104	中央大	39.3%	90
10	広島大	35.9%	14	名古屋大	40.4%	23	東京大	48.2%	96	創価大	37.5%	12	北海道大	37.8%	28
11	九州大	33.9%	20	大阪大	37.8%	34	名古屋大	45.5%	25	大阪市立大	36.6%	15	岡山大	36.4%	12
12	神戸大	33.8%	44	早稲田大	36.1%	75	神戸大	41.6%	47	九州大	33.3%	22	同志社大	33.3%	29
13	東海大	28.6%	2	創価大	34.0%	16	大阪大	40.9%	47	南山大	33.3%	5	筑波大	33.3%	17
14	中央大	28.4%	109	中央大	29.4%	85	獨協大	40.0%	2	筑波大	32.7%	18	愛知大	33.3%	2
15	創価大	24.6%	16	広島修道大	28.6%	2	同志社大	35.5%	39	日本大	32.0%	24	成蹊大	33.3%	1
16	北海道大	24.0%	25	筑波大	26.8%	15	中央大	31.8%	83	同志社大	30.9%	25	創価大	32.4%	12
17	筑波大	23.4%	18	岡山大	26.7%	8	筑波大	31.7%	19	岡山大	30.8%	8	東北大	30.5%	25
18	首都大東京	22.9%	22	日本大	25.9%	21	創価大	30.8%	12	関西大	28.3%	15	専修大	28.6%	10
19	大宮法科大学院 神奈川大	22.2%	2	同志社大	23.7%	28	首都大東京	29.6%	24	北海道大	27.8%	15	明治大	27.4%	29
20				明治大	23.6%	30	関西学院大	29.4%	10	近畿大	27.3%	3	法政大	25.0%	15

【既修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2021年度			2022年度			2023年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	山梨学院大	100.0%	1	名城大	100.0%	1	京都大	73.6%	81
2	獨協大	100.0%	1	成蹊大	100.0%	1	東京大	69.7%	69
3	岡山大	80.0%	8	京都大	84.8%	112	一橋大	64.4%	56
4	京都大	75.4%	101	東京大	76.3%	90	筑波大	64.3%	9
5	東京大	67.6%	73	一橋大	70.4%	57	慶應義塾大	59.9%	82
6	一橋大	65.4%	51	東北大	67.6%	25	創価大	54.5%	6
7	名古屋大	63.0%	17	琉球大	66.7%	2	神戸大	52.5%	42
8	創価大	60.0%	6	慶應義塾大	63.6%	89	大阪大	51.8%	43
9	金沢大	60.0%	3	岡山大	62.5%	5	名古屋大	50.0%	14
10	慶應義塾大	59.8%	107	大阪大	58.3%	42	北海道大	50.0%	11
11	東北大	57.1%	20	神戸大	56.8%	50	早稲田大	43.5%	77
12	早稲田大	56.7%	93	創価大	53.8%	7	岡山大	42.9%	3
13	大阪大	54.7%	41	早稲田大	50.0%	80	専修大	37.5%	3
14	筑波大	47.4%	9	専修大	50.0%	5	広島大	36.4%	4
15	神戸大	45.5%	40	大阪市立大	45.8%	11	明治大	33.9%	21
16	同志社大	42.9%	36	名古屋大	44.0%	11	金沢大	33.3%	2
17	九州大	41.7%	15	日本大	42.9%	21	千葉大	32.4%	12
18	専修大	40.0%	6	北海道大	36.0%	9	中央大	31.9%	37
19	中央大	38.9%	75	筑波大	35.3%	6	九州大	31.1%	14
20	北海道大	37.9%	11	九州大	35.1%	13	同志社大	30.9%	17

【未修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2021年度			2022年度			2023年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	愛知大	66.7%	2	愛知大	50.0%	2	法政大	42.1%	8
2	東洋大	50.0%	1	南山大	37.5%	3	愛知大	33.3%	2
3	一橋大	40.6%	13	慶應義塾大	36.6%	15	東京都立大		
4	慶應義塾大	37.5%	18	東京大	36.5%	27	成蹊大	33.3%	1
5	岡山大	34.8%	8	早稲田大	33.3%	24	慶應義塾大	32.5%	13
6	山梨学院大	33.3%	1	筑波大	31.6%	12	東京大	27.7%	23
7	早稲田大	32.8%	22	一橋大	31.0%	9	京都大	27.7%	13
8	名古屋大	28.6%	8	九州大	31.0%	9	名古屋大	26.7%	8
9	神戸大	28.0%	7	関西学院大	28.6%	4	専修大	25.0%	5
10	京都大	25.5%	13	同志社大	27.8%	5	一橋大	23.8%	5
11	東京大	25.3%	23	近畿大	27.3%	3	東北大	23.5%	4
12	神奈川大			西南学院大	26.7%	4	南山大	22.2%	2
13	関西学院大	25.0%	1	創価大	26.3%	5	早稲田大	19.7%	13
14	獨協大			上智大	25.0%	5	同志社大	18.2%	2
15	筑波大	24.4%	10	大阪市立大	23.5%	4	大阪大	17.4%	8
16	日本大	22.2%	6	大阪大	23.1%	9	関西学院大	16.7%	3
17	南山大	22.2%	2	立教大	23.1%	3	西南学院大	16.7%	1
18	創価大	20.7%	6	熊本大	22.2%	2	広島大		
19	青山学院大			千葉大	21.1%	4	中央大	16.2%	6
20	関西学院大	20.0%	3	福岡大			桐蔭横浜大	15.4%	2
(25)				神戸大	11.1%	2			
(26)				神戸大	17.4%	4			

出典：法務省ホームページ「司法試験の結果について」

※このランキングは法科大学院卒業生のみを対象とし、予備試験合格者については含めていない。

8-2 各種資格試験・採用試験合格状況

○ 各種資格試験・採用試験において、安定して合格者を輩出している。

国家公務員総合職			弁理士			公認会計士			一級建築士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1 (1)	東京大	102	1 (1)	東京大	21	1	慶應義塾大	187	1	日本大	149
2 (2)	京都大	74	2 (2)	京都大	16	2	早稲田大	109	2	東京理科大	123
3 (3)	北海道大	69	3 (3)	東京工業大	11	3	明治大	85	3	芝浦工業大	96
4	早稲田大	64	4 (4)	大阪大	8	4 (1)	東京大	57	4	早稲田大	79
5 (4)	岡山大、慶応義塾大	55	5 (5)	東北大	6	5	中央大、立命館大	54	5	近畿大	74
7	立命館大	52	6 (6)	神戸大、筑波大、名古屋大、早稲田大、東京理科大	5	7 (2)	神戸大	50	6	工学院大	63
8 (5)	東北大	42		8 (3)		京都大	47	7	明治大	60	
9 (6)	千葉大	38		9		同志社大	44	8	法政大	56	
10 (7)	広島大	37		10 (4)		一橋大	38	9 (1)	神戸大	55	
15 (10)	神戸大、大阪大	23		10 (2)		千葉大	52				
16.0 (11.0)	神戸大 過去三力年平均	33.0	8.3 (6.7)	神戸大 過去三力年平均	6.0	7.3 (2.3)	神戸大 過去三力年平均	45.0	10.7 (3.0)	神戸大 過去三力年平均	55.7

技術士			医師国家試験			看護師		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格率	順位	大学名	合格者
1 (1)	九州大	102	1	自治医科大	100.0%	1	順天堂大[医療看護]、東京医療保健大[東が丘看護]	197
2 (2)	京都大、日本大	99	2 (1)	筑波大	99.3%	3	聖隷クリストファー大	169
4 (3)	東京大、北海道大	81	3	横浜市立大	98.7%	4	日本赤十字広島看護大	166
6	早稲田大	76	4	東京慈恵会医科大	97.4%	5	川崎医療福祉大	144
7 (5)	大阪大	59	5 (2)	東京医科歯科大	97.3%	6	杏林大	139
8 (6)	東北大	57	6	近畿大	97.0%	7	日本赤十字看護大	138
9 (7)	東京工業大	53	7 (3)	浜松医科大、東北医科薬科大	96.8%	8	九州看護福祉大	135
10 (8)	金沢大	48	9 (4)	秋田大	96.7%	9	日本赤十字豊田看護大	133
			10 (5)	東北大	96.6%	10	埼玉県立大、北里大	127
16 (12)	神戸大	38	55 (28)	神戸大、香川大	90.8%			
						109 (1)	大阪大、他6大学	86
						172 (12)	神戸大、他3大学	77
						神戸大学(2023年2月実施) ※入学定員80名 受験者数78人 合格者数77人 合格率98.7%		
13.7 (10.7)	神戸大 過去三力年平均	39.0	48.0 (21.7)	神戸大 過去三力年平均	92.3%	175.0 (13.7)	神戸大 過去三力年平均	74.0

臨床検査技師			作業療法士			理学療法士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1	藤田医科大	136	1	川崎医療福祉大	62	1	新潟医療福祉大	113
2	杏林大	107	2	杏林大	61	2	帝京科学大	108
3	熊本保健科学大	103	3	国際医療福祉大[保健医療]	60	3	国際医療福祉大[保健医療]	91
4	北里大[医療衛生]	97	4	兵庫医科大	47	4	藍野大	84
5	岐阜医療科学大	83	5	健康科学大、森ノ宮医療大	44	5	北海道文教大	81
6	神戸常盤大	82	7	埼玉県立大	42	6	東京工科大、北海道医療大	80
7	麻布大	81	8	東京都立大、北里大、国際医療福祉大[成田保健医療]	41	8	東京医療学院大	79
8	帝京大	77				9	国際医療福祉大[成田保健医療]	78
9	国際医療福祉大[成田保健医療]、文京学院大	69				10	文京学院大	77
20 (1)	鳥取大	50	46 (1)	広島大	24	68 (1)	大分大、他2大学	34
42 (12)	神戸大、筑波大	32	64 (6)	神戸大、他4大学	17	90 (3)	神戸大、他3大学	21
神戸大学(2023年2月実施) ※入学定員40名 受験者数43人 合格者数40人 合格率93%			神戸大学(2023年2月実施) ※入学定員20名 受験者数19人 合格者数19人 合格率100%			神戸大学(2023年2月実施) ※入学定員20名 受験者数20人 合格者数20人 合格率100%		
32.7 (6.3)	神戸大 過去三力年平均	37.3	67.3 (8.0)	神戸大 過去三力年平均	16.7	90.7 (4.7)	神戸大 過去三力年平均	20.7

※合格者数は(人)
カッコ内は国立大学内の順位

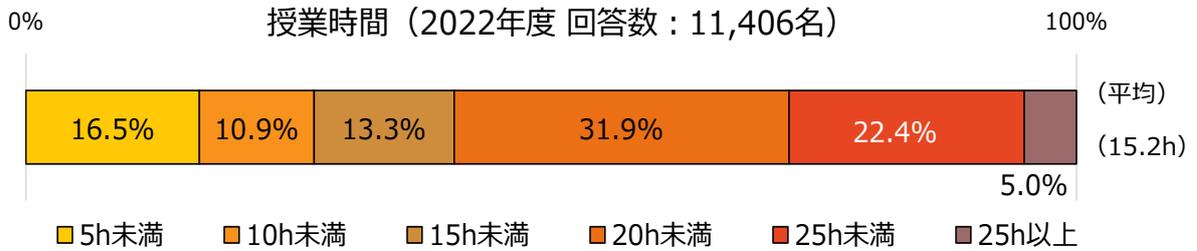
出典：朝日新聞出版
「大学ランキング2024年版」より作成。
※データは2022年の数値、過去三力年平均値は2020～2022年の平均値
(技術士のみ2021年の数値、2019～2021年の平均値)

9. 学生生活状況

9-1 学部学生の学修時間等について

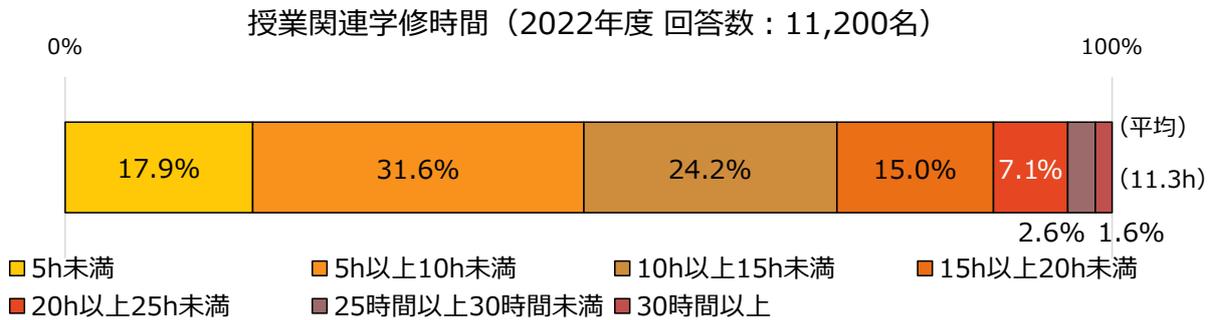
◆学部学生の1週間あたりの授業時間

○ 1週間に15時間以上の授業を受けている学生が、59.3%と半数以上を占めている。

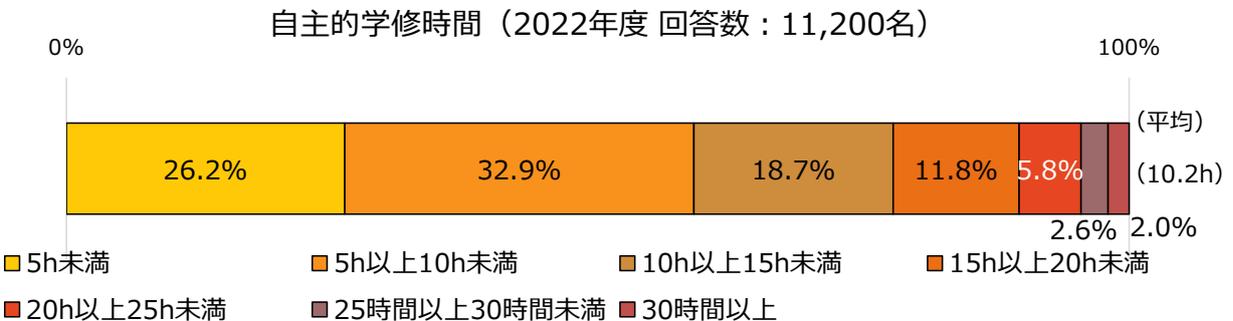


◆学部学生の1週間あたりの授業関連学修時間と自主的学修時間

○ 1週間に授業関連の学修をする時間（上図）が10時間以上である学生が50.5%、自主的学修をする時間（下図）が10時間以上である学生は、40.9%となっている。



授業関連学修時間… 履修している授業に関連した学修や、ゼミ・卒業論文・卒業研究等に関する学修
 (授業の予習・復習、課題やレポートの作成、定期試験の準備、資料検索、実験準備、実験実施、発表準備、論文執筆等)



自主的学修時間… 授業関連時間以外で、自主的に行った学修
 (資格試験学習、語学学習、大学院試験対策、就職試験対策、フィールドワーク、インターンシップ、ボランティア、セミナー、クラブ・サークル活動、教養のための読書等)

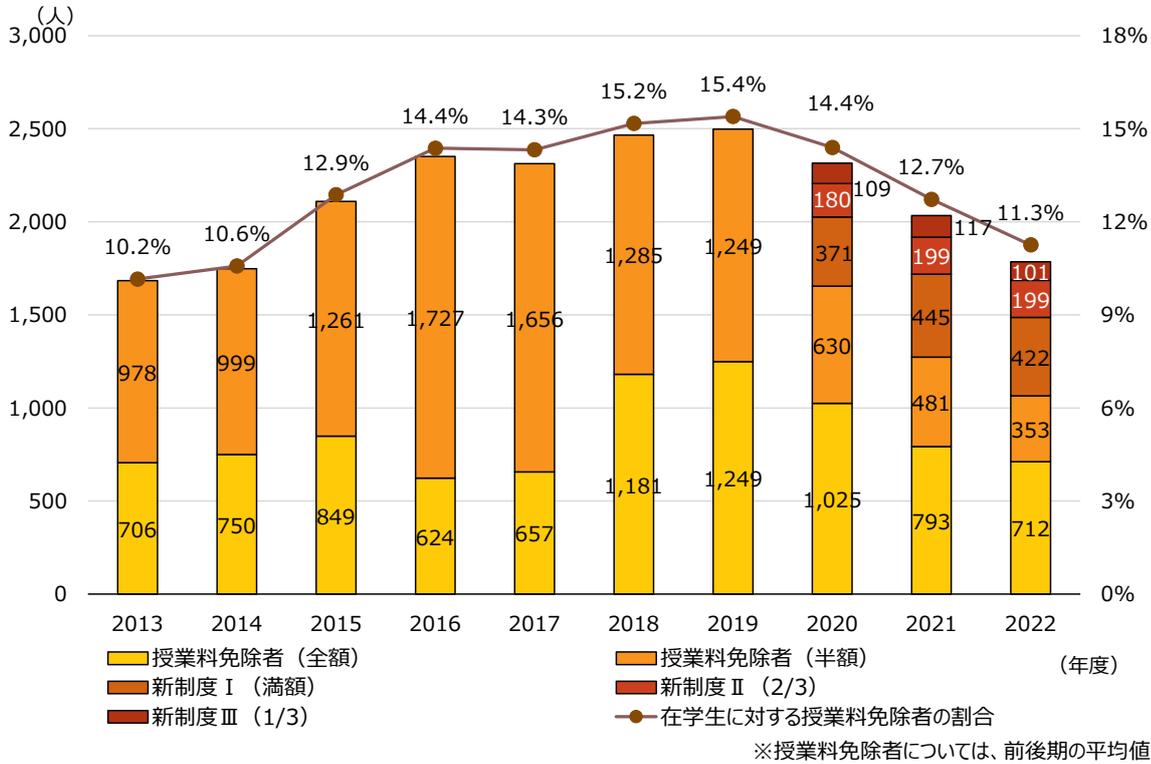
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

出典：神戸大学「学修の記録」全学集計結果

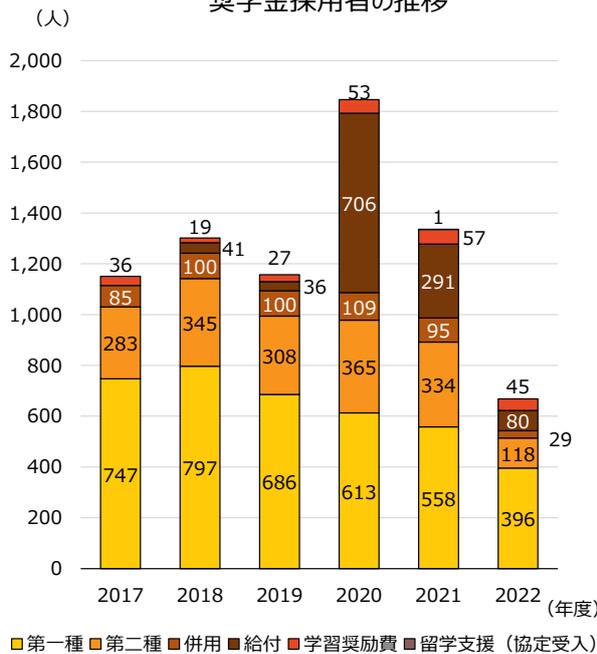
9-2 経済支援（授業料免除及び奨学金）について

- 2020年度より「高等教育の修学支援新制度」が実施され、学部学生等を対象として、給付奨学金と授業料減免の組み合わせによる支援を実施している。大学院生は、これまでどおり神戸大学授業料免除を継続している。
- 2020年度に、上記に伴う日本学生支援機構の給付型奨学金と、神戸大学独自の奨学金の採用者数が大幅に増加したが、その後は全体的に減少傾向である。

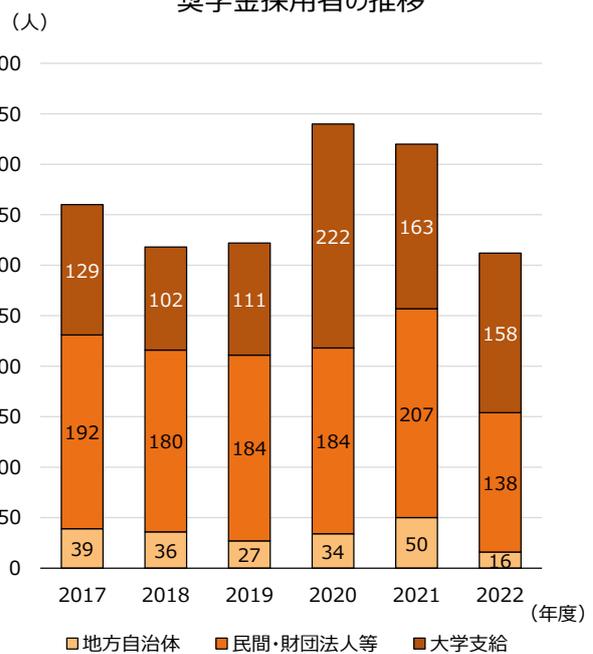
授業料免除者とその割合



日本学生支援機構の奨学金採用者の推移



日本学生支援機構以外の奨学金採用者の推移



※日本学生支援機構の内訳

第一種：第一種（無利息）のみ受給している学生

第二種：第二種（利息付）のみ受給している学生

併用：第一種、第二種併用して受給している学生

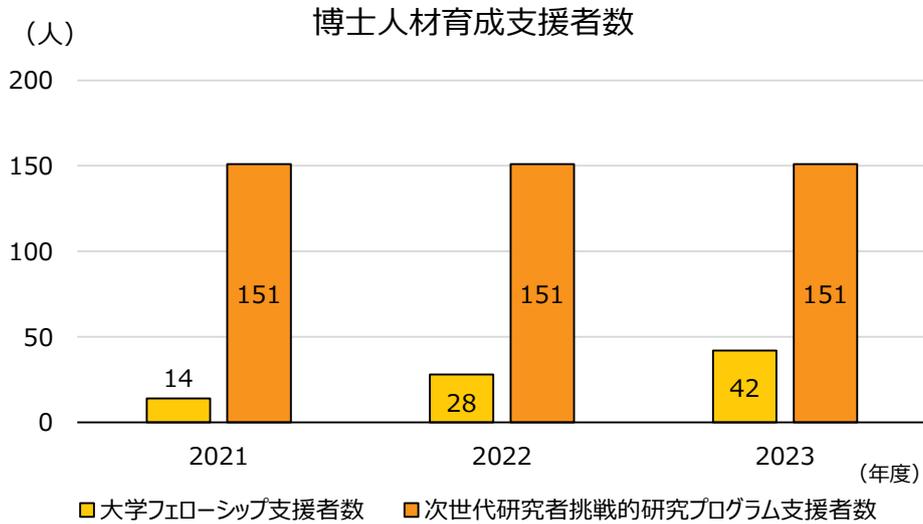
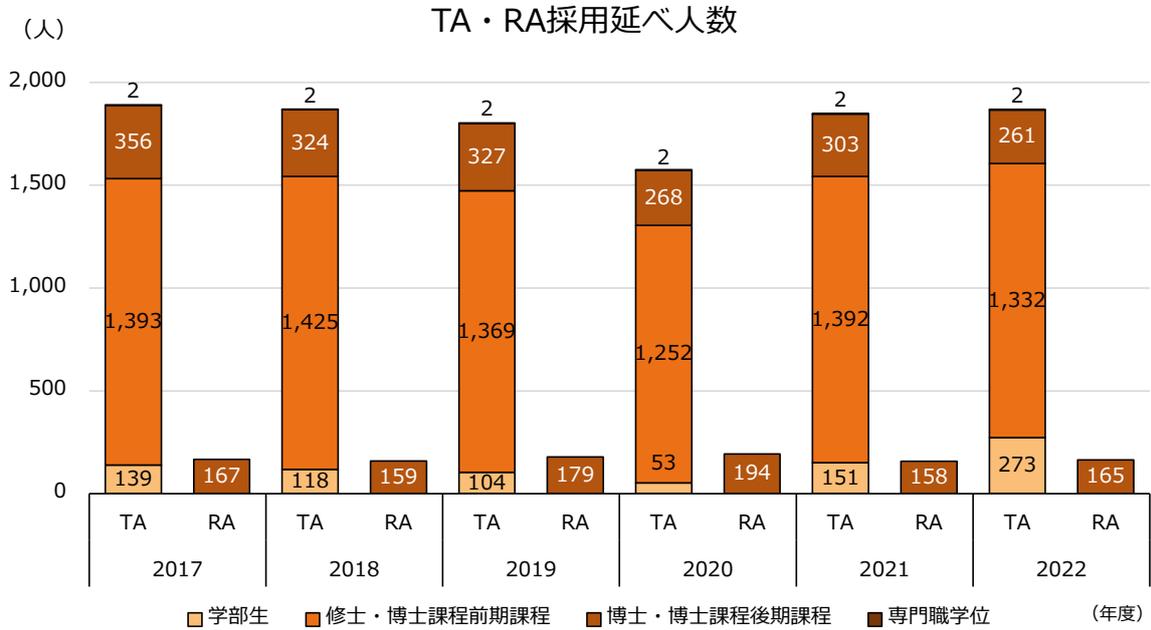
給付：給付型を受給している学生（2018年度から開始）

学習奨励費：学習奨励費（私費外国人学生対象の給与型奨学金）を受給している学生

留学支援（協定受入）：海外留学支援制度(協定受入)により受給している学生

9-3 経済支援（その他）について

- ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）として学生を採用することで、学生への経済的支援を図りながら、大学教育における教育的効果を高めるための学修サポートを提供している。
- 2021年3月に「神戸大学博士学生フェローシップ制度（研究専念支援金制度）」を設立した他、科学技術振興機構（JST）の次世代研究者挑戦的研究プログラムに採択され、優秀な博士人材への支援を実施している。

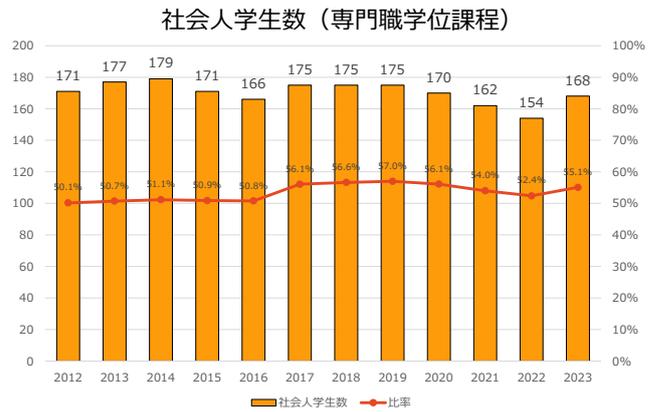
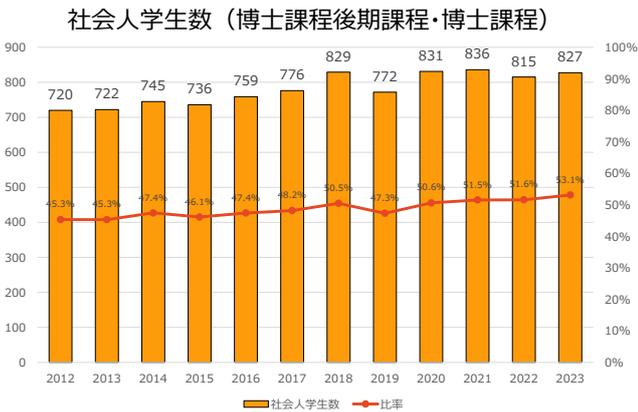
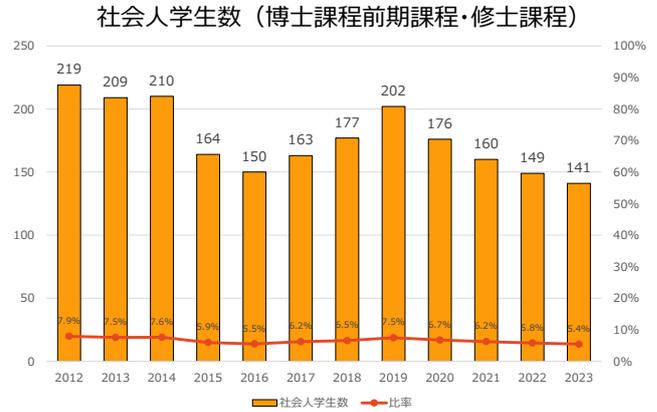


10. リカレント教育

10-1 社会人学生数

- 学士課程における社会人学生数はほとんどいないが、上位課程になるほど社会人学生の比率が上昇している。
- 課程別では、博士課程後期課程・博士課程において、社会人学生数・比率ともに長期的に上昇傾向である。

基準日：各年度5月1日



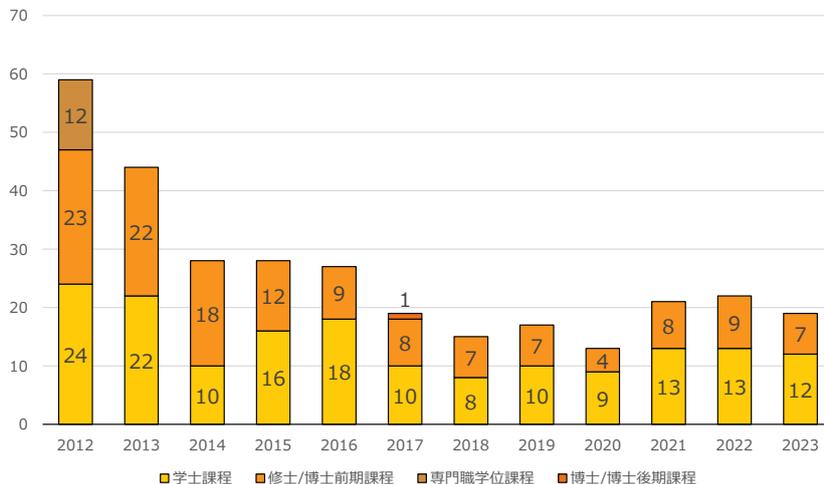
※「社会人学生数」は、（1）職に就いている者（給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、（2）給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した者、（3）主婦・主夫の合計。

10-2 科目等履修生数

- 年度によりばらつきはあるものの、近年では学士課程及び修士・博士前期課程において、それぞれ10名前後の科目等履修生を受け入れている。

科目等履修生数

基準日：各年度5月1日



10-3 リカレント教育プログラム・公開講座

- 急速に進化するデジタル技術・データサイエンスに対応するためのリカレント教育プログラムを開発し、デジタル社会において必要なリテラシーを備えた実践的卓越人材を育成している。
- 2022年度は5研究科・1学部において公開講座を開講した。

【2022年度】

リカレント教育プログラム

部局名	取組・事業名	取組・事業内容	受講対象者	募集人数 (人)
数理・データサイエンスセンター	次世代DXリーダー育成プログラム	リスキリングに注力している地元企業や自治体と連携し、DX分野でのベースとなる基礎的能力を育成し、キャリアアップに繋げるリスキリングプログラム。	企業や自治体、教育機関等の就業者等	30
数理・データサイエンスセンター	DX基礎講座	前項「次世代DXリーダー育成プログラム」にて作成した座学用教育コンテンツ「データ・サイエンスAI基礎」、 「Python基礎演習」を再編集したオンデマンドのe-ラーニング講座。	企業や自治体、教育機関等の就業者等	500

公開講座

部局名	講座等名	受講対象者	時間数 (時間)	募集人数 (人)	受講者数 (人)
人文学研究科	日常と非日常のはざま	一般市民、学生	6	対面80 オンライン150	53
人文学研究科	まちづくり地域歴史遺産活用講座2022	一般市民	13.75	20	8
人文学研究科	まちづくり地域歴史遺産活用講座2022 オプションプログラム古文書解読初級講座	一般市民（まちづくり講座受講生）	6	20	26
国際文化学研究科	観光を考える：グローバルとローカルをつなぐもの	一般社会人・学生（中学生以上）	2.25	200	36
人間発達環境学 研究科	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座 「健康体操教室」春（全5回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	2.5	-	124
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座 「園芸教室」春（全3回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	4.5	30	78
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座 「いきいきウォーキング」春（全4回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	6.0	-	140
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座 「健康体操教室」秋（全3回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	3.0	-	97
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座 「園芸教室」秋（全4回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	6.0	30	108
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座 「いきいきウォーキング」秋（全4回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	6.0	-	146
	学術WEEKS2022 音楽のトランスボーダーを めぐって vol.6 ～りゅうりえんれんの物語～	学生、研究者、一般市民	2.5	-	46
医学研究科	第39回医学研究科市民公開講座 最新の医療機器開発とその現状	一般市民、学生等	4	300	76
保健学研究科	最新の研究から家庭の保健・医療へ	一般市民、学生（高校生以上）	4	対面70 オンライン視聴 制限なし	対面73 オンライン88
工学部	これからの社会と生活を創る工学	一般社会人・大学生、高校生 （講義内容は高校生以上を想定）	9	100	72
海事科学研究科	ありがとう進徳丸・深江丸	一般市民・学生（高校生以上）	3.25	60	41

11. 国際的な研究論文

11-1 インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング

- 本学の2012年1月から2022年12月の11年間における高被引用論文数（各研究分野における被引用数が世界の上位1%に入る、卓越した論文の数）は、国内で17位、大学に限ると13位となっている。
- 18位以内にランクインした国立大学は、全て国立大学法人運営費交付金の「成果を中心とする実績状況に基づく配分」のグループ分けによる、グループ④及び⑤（主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学:17大学）に属する。
- ただし、データ元の「Web of Science™」（以下、WoS）は自然科学・生命医学系の学術論文を中心に収録しているデータベースであることに留意が必要である。（「11.国際的な研究論文」全体の項目について）

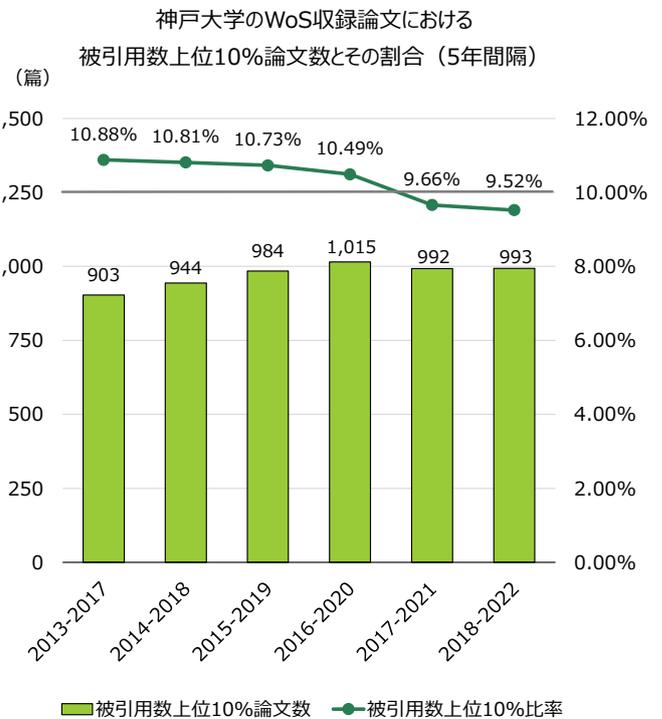
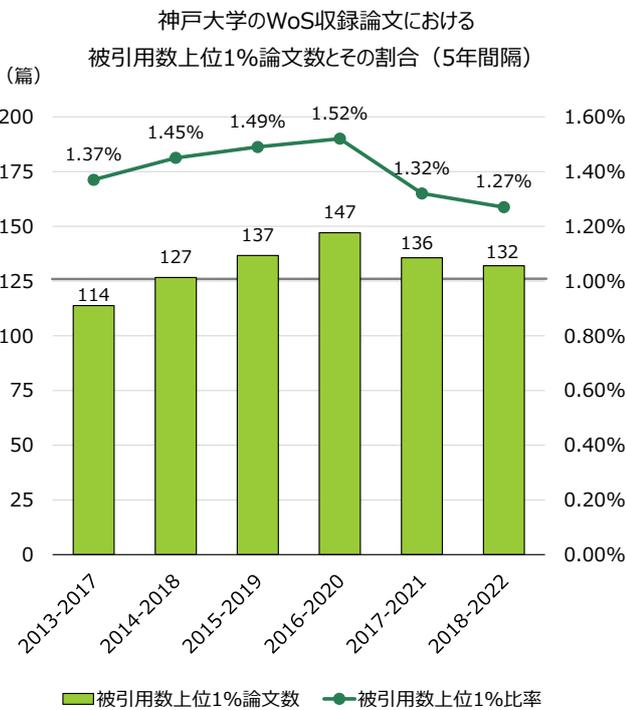
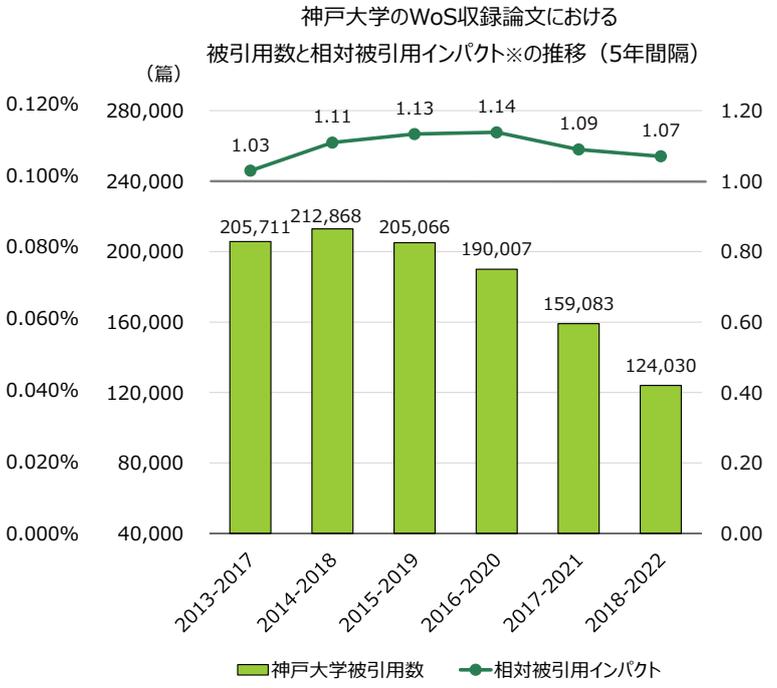
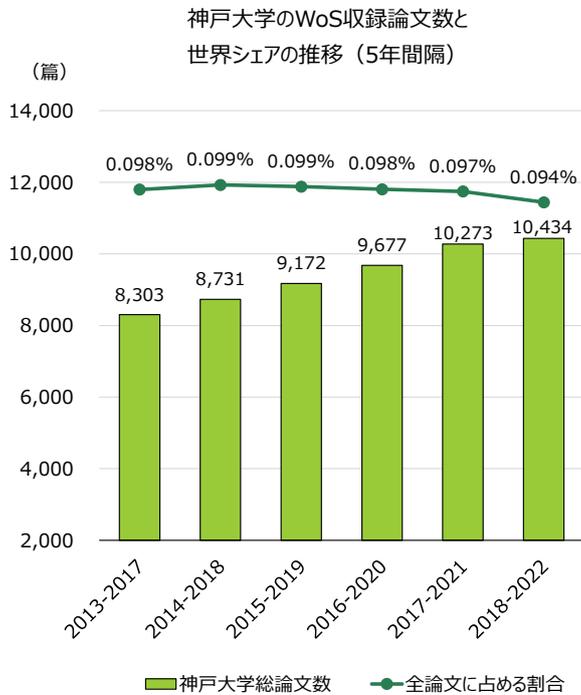
順位	機関名	高被引用論文数	当該機関の論文数に占める割合
1	東京大学	1,662	1.7%
2	京都大学	998	1.4%
3	国立研究開発法人 理化学研究所	702	2.3%
4	大阪大学	562	1.0%
5	東北大学	561	1.1%
6	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	536	3.2%
7	名古屋大学	485	1.2%
8	九州大学	436	1.1%
9	北海道大学	374	1.0%
10	国立研究開発法人 国立がん研究センター	348	3.5%
11	筑波大学	320	1.2%
11	東京工業大学	320	1.1%
13	慶應義塾大学	290	1.2%
14	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	284	1.1%
15	広島大学	258	1.1%
16	早稲田大学	234	1.5%
17	神戸大学	227	1.1%
18	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	222	1.6%

出典：クラリベイト・アナリティクス社プレスリリース「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング」

※当データは、同社が提供する学術文献データベース「Web of Science™」の収録レコードをもとにした引用動向の統計データベース「Essential Science Indicators™」に収録されている世界の研究機関情報から、同データベースの22研究分野において被引用数が上位1%の高被引用論文を集計し、ランキング化したものである。

11-2 論文の量と質についての比較 - 推移 -

- 総論文数（左上図）は増加傾向にあるが、世界シェアは若干減少傾向にある。
- 被引用数は、過去の論文であるほど増えるため傾向を一概には読み取れないが、被引用数上位1%論文数及び上位10%論文数はこれまで増加傾向であったものの、最新のデータでは若干停滞している。

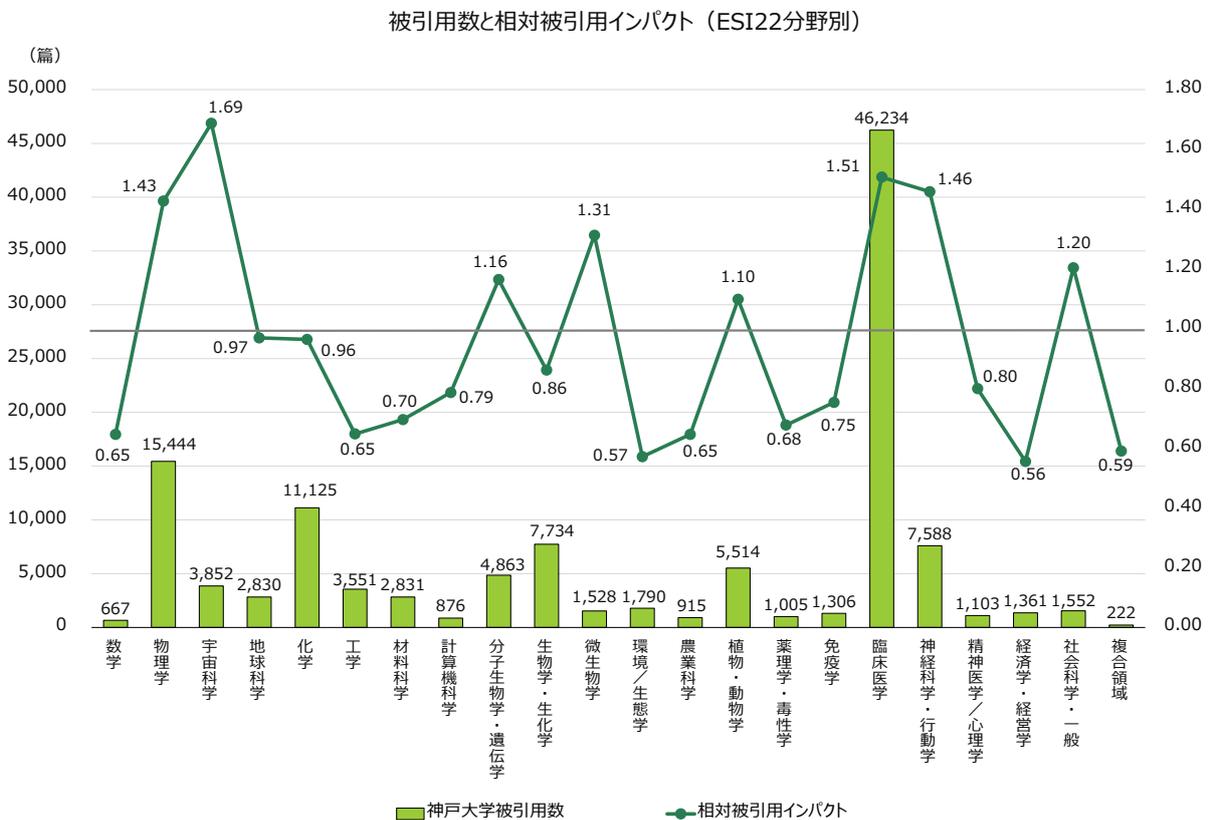
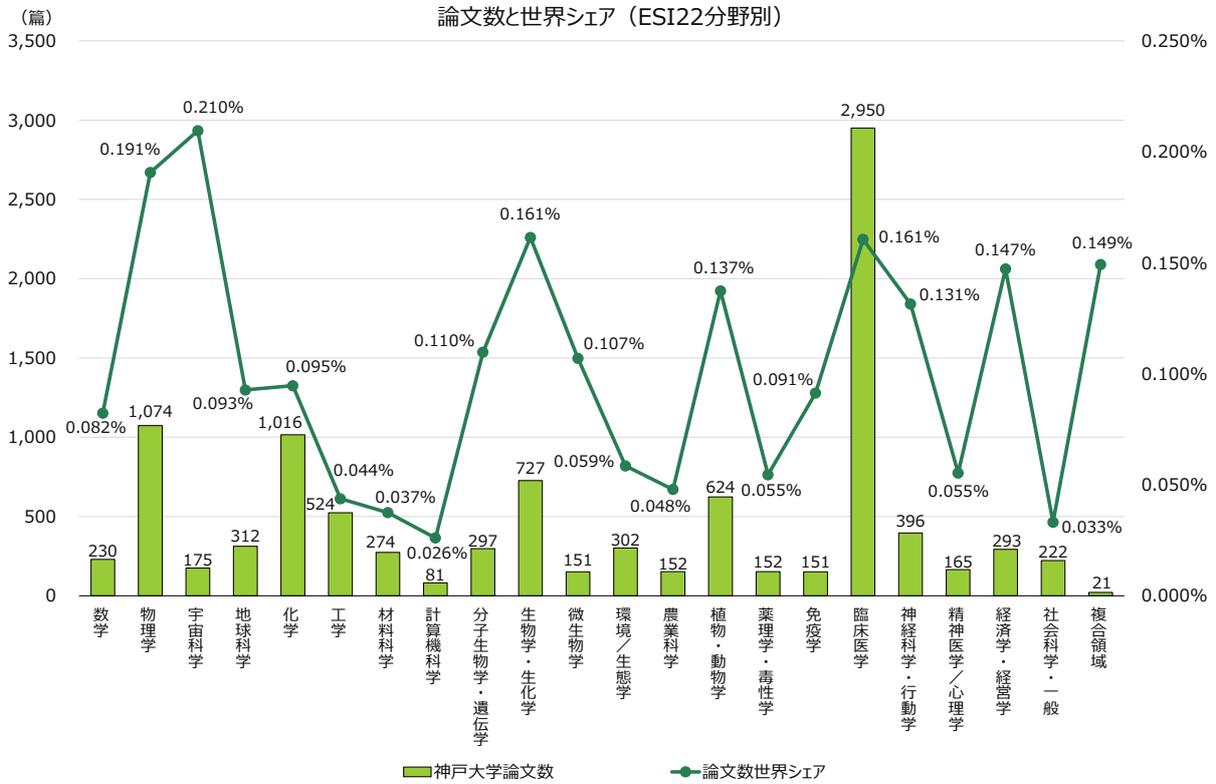


出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、本データは2023年8月1日現在の数値である。

※相対被引用インパクト：各分野における1論文あたりの被引用数を世界平均1.0とした場合の相対的な割合を示す数値。

11-3 論文の量と質についての比較 – ESI22分野別 –

- InCites™を用いて、本学の研究をESI22分野別に比較した結果である。
- 相対被引用インパクト（下図）が世界平均1.0を超える分野は学術的影響力の高い研究成果が多く生み出されていることを示している。

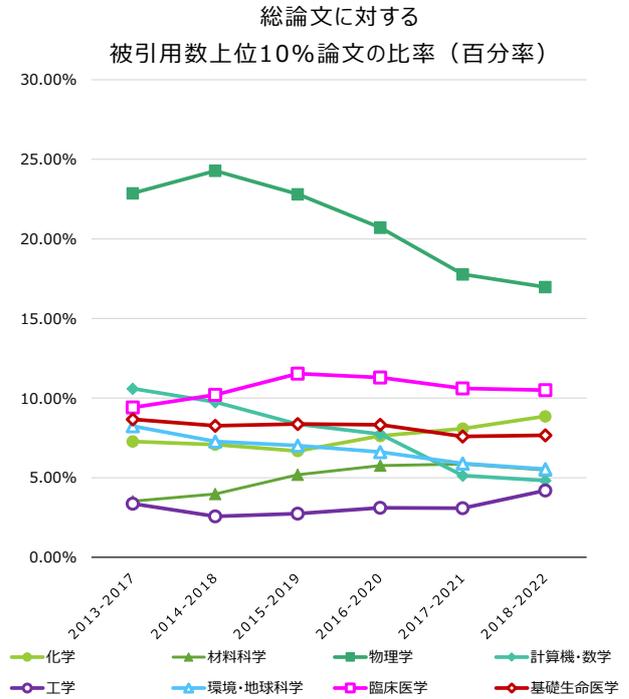
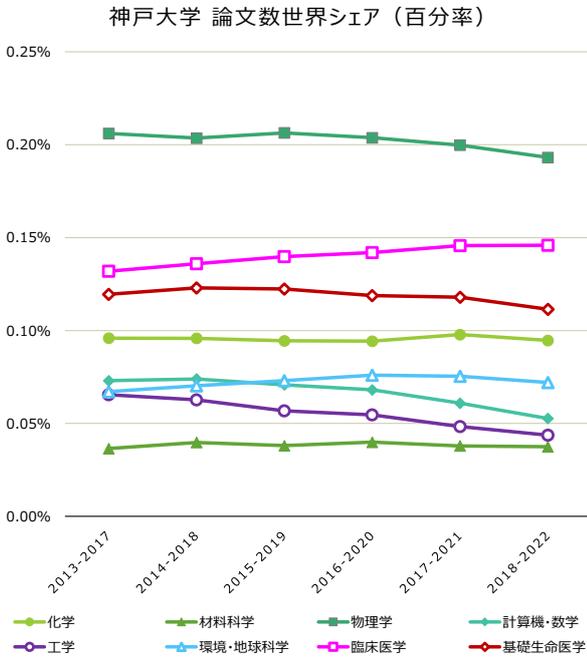


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2018～2022年の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、「Essential Science Indicators™」の22分野別でデータを分析した。なお、本データは2023年8月1日現在の数値である。

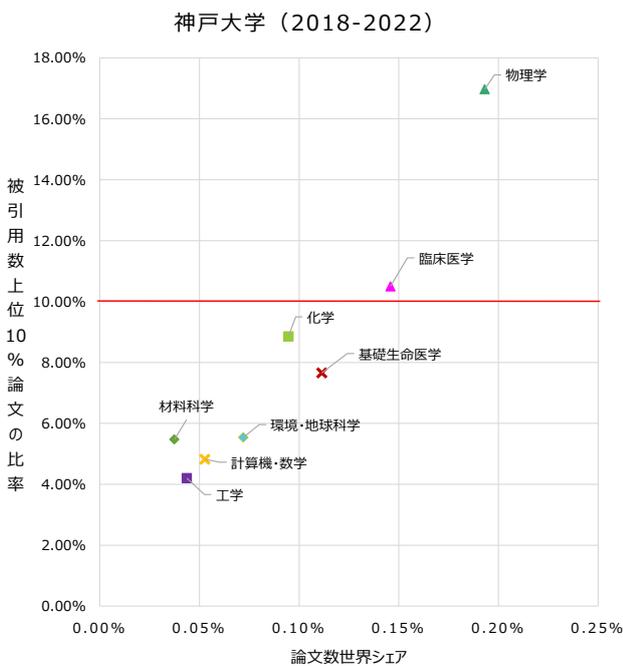
11-4 論文の量と質についての比較 – NS 8 分野別 –

○ 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が定義した研究ポートフォリオ8分野別に、本学の論文を分析した結果である。本学では物理学分野が突出していることがわかる。量で見ると（左上図）、臨床医学分野が増加傾向にあり、質で見ると（右上図）化学分野が数値を伸ばしている。

◆推移（2013-2022年、5年間隔）



◆マッピング

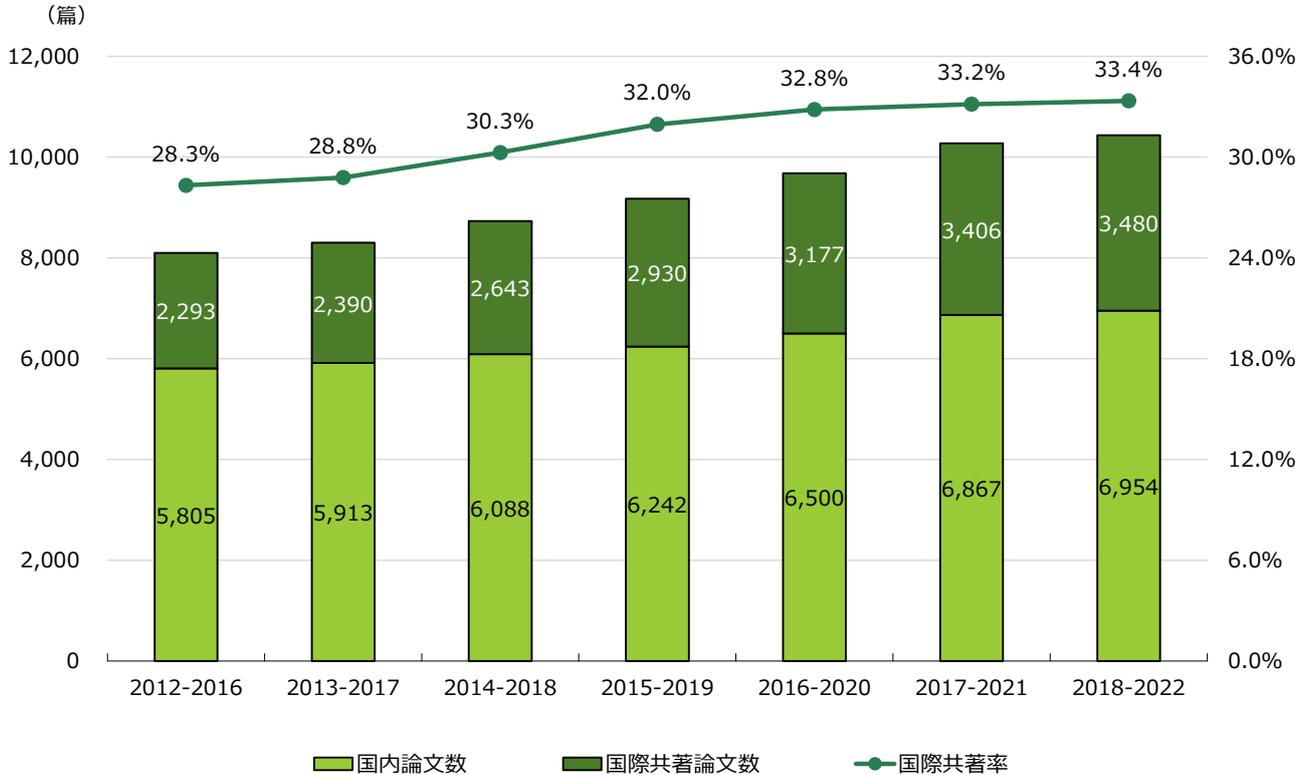


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、科学技術・学術政策研究所「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2015」において用いられていた「研究ポートフォリオ8分野（ESI22分野のうち19分野を再分類したもの）」別にデータを分析した。共著論文のカウント方法は整数カウント法である。また、本データは2023年8月1日現在の数値である。

11-5 論文の量と質についての比較 — 国際共著 —

○ 本学の国際共著論文数・国際共著率はともに増加傾向にある。分野別で見ると、物理学や天文学が特に高く、その他幅広い分野で積極的に国際連携して研究を行っていることがわかる。

◆神戸大学の国際共著論文数の推移（5年毎の合計値）



◆神戸大学の国際共著論文の多い分野（2018-2022年の合計）

分野名 (Web of Science252分野)	国際共著論文数	国際共著率
Physics, Particles & Fields (物理学、粒子、界)	459	85.32%
Astronomy & Astrophysics (天文学、宇宙物理学)	281	74.14%
Materials Science, Multidisciplinary (物質科学、総合)	165	36.67%
Biochemistry & Molecular Biology (生化学、分子生物学)	164	31.30%
Engineering, Chemical (工学、化学)	144	51.99%
Plant Sciences (植物学)	128	32.24%
Chemistry, Physical (化学、物理)	120	35.29%
Environmental Sciences (環境科学)	113	42.97%
Polymer Science (高分子科学)	112	50.22%
Neurosciences (神経科学)	102	33.77%
Physics, Applied (物理学、応用)	102	32.28%
Economics (経済学)	101	34.47%
Chemistry, Multidisciplinary (化学、総合)	98	29.25%
Physics, Nuclear (物理学、核)	98	89.91%
Physics, Multidisciplinary (物理学、総合)	94	50.27%
Oncology (腫瘍学)	93	16.70%

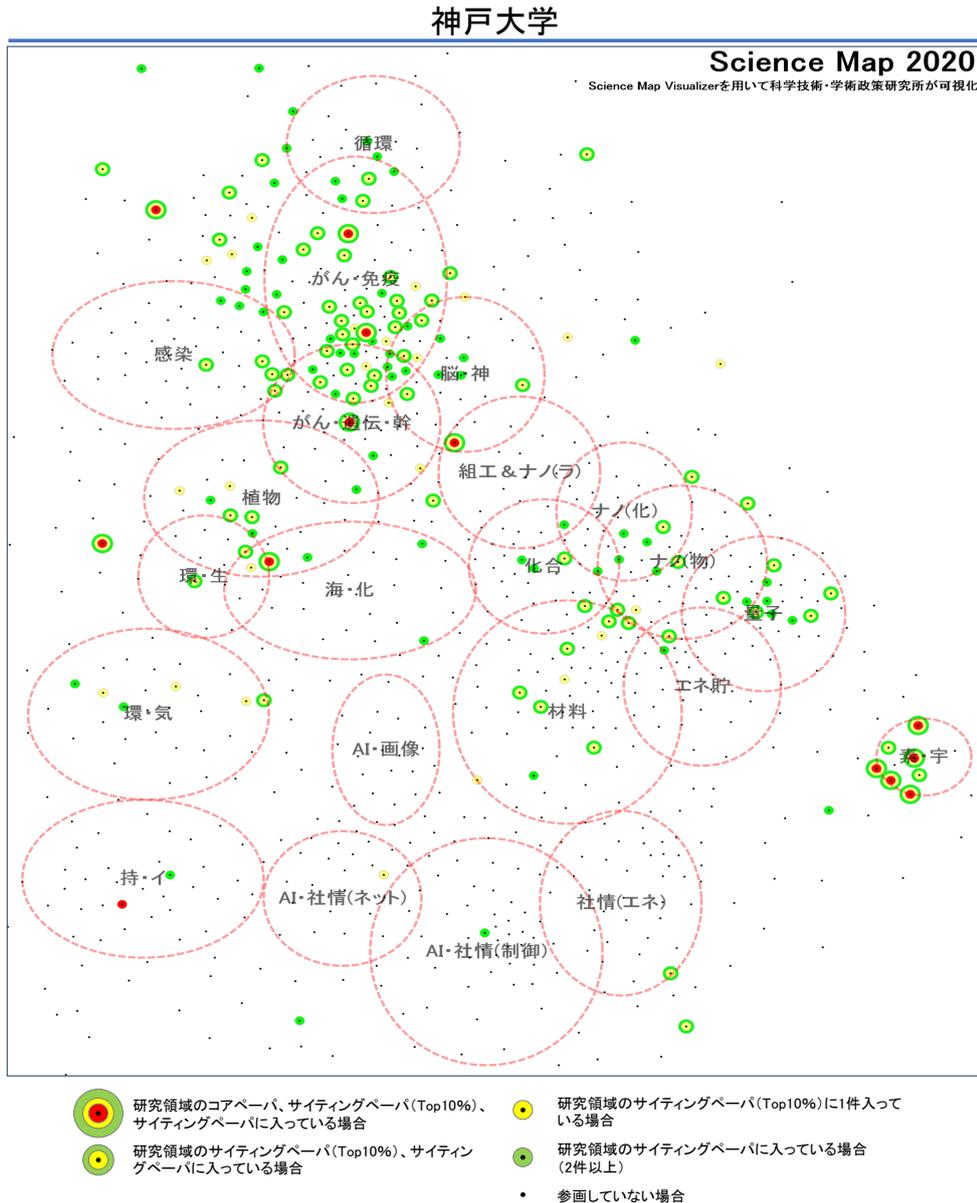
※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」より、2つのドキュメントタイプ (Article, Review) の論文についてデータを分析した。
また、本データは2023年8月1日現在の数値である。

11-6 サイエンスマップから見る本学の強みである研究領域

- 本学では従来からの強みである「がんゲノム解析・遺伝子、幹細胞研究」、「植物科学研究」、「ナノサイエンス研究(化学)」、「素粒子・宇宙論研究」の4分野に加え、「がん・免疫研究」、「環境・生態系研究」、「組織工学&ナノサイエンス研究(ライフサイエンス)」、「材料研究」、「量子情報処理・物性研究」分野でも世界をリードする研究が増加している。
- コアペーパーは減少しているものの、サイティングペーパーは堅調に増加しており、特に「素粒子・宇宙論研究」周辺領域の伸びが大きい。

サイエンスマップとは？

論文データベース分析により国際的に注目を集めている研究領域を定量的に把握し、それらが、互いにどのような位置関係にあるのか、どのような発展を見せているのかを示した科学研究の地図。



◆研究領域群名

- 【循環】循環器系疾患研究
- 【感染】感染症研究
- 【がん・免疫】がん・免疫研究
- 【がん・遺伝・幹】がんゲノム解析・遺伝子、幹細胞研究
- 【脳・神】脳・神経研究
- 【組工&ナノ(ラ)】組織工学&ナノサイエンス研究(ライフサイエンス)
- 【植物】植物科学研究
- 【ナノ(化)】ナノサイエンス研究(化学)
- 【ナノ(物)】ナノサイエンス研究(物理学)
- 【化合】化学合成研究
- 【環・生】環境・生態系研究
- 【環・気】環境・気候変動研究
- 【海・化】海洋汚染・化学物質研究
- 【量子】量子情報処理・物性研究
- 【エネ貯】エネルギー貯蔵研究
- 【材料】材料研究
- 【素・宇】素粒子・宇宙論研究
- 【AI・画像】AI関連研究(画像認識)
- 【AI・社情(ネット)】AI・社会情報インフラ関連研究(ネットワーク)
- 【AI・社情(制御)】AI・社会情報インフラ関連研究(自動制御)
- 【社情(エネ)】社会情報インフラ関連研究(エネルギー等)
- 【持・イ】持続可能な発展・イノベーション研究

◆用語

研究領域

2015～2020年の6年間に発行された論文の中で、各年、ESI22分野の被引用数Top1%論文に対し、「共引用」を用いたグループ化を行うことにより得られた919の研究領域。

コアペーパー

各研究領域を構成しているTop1%論文。

サイティングペーパー

コアペーパーを引用している論文。

神戸大学	コアペーパー		サイティングペーパーのうちTop10%論文		サイティングペーパー	
	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数
サイエンスマップ2008	12	21	79	188	100	592
サイエンスマップ2010	26	33	100	207	118	642
サイエンスマップ2012	21	53	76	284	106	821
サイエンスマップ2014	16	41	79	278	114	926
サイエンスマップ2016	13	49	86	334	133	1,038
サイエンスマップ2018	15	73	100	479	131	1,214
サイエンスマップ2020	13	49	104	374	143	1,259

出典：文部科学省 科学技術・学術政策研究所, NISTEP REPORT No. 196 (2023年3月)、No. 187 (2020年11月)、No. 178 (2018年10月)、No. 169 (2016年9月)、No. 159 (2014年7月)

12. 科学研究費

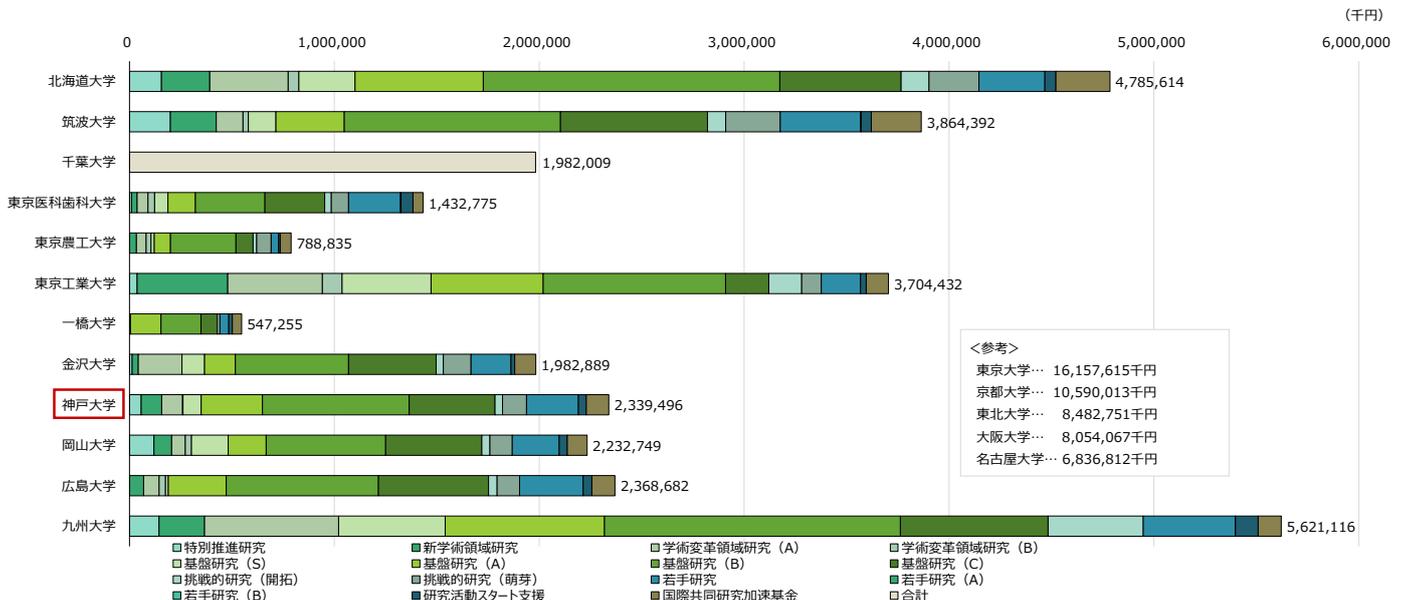
12-1 2023年度科学研究費助成事業獲得状況

種 目	新規申請件数	採択件数			新規採択率	配分額（新規+継続）		
		新規	継続	合計		直接経費（千円）	間接経費（千円）	合計（千円）
特別推進研究	1	0	1	1	-	58,900	17,670	76,570
	1	0	1	1	-	62,000	18,600	80,600
新学術領域研究（計画）	0	0	2	2	-	47,900	14,370	62,270
	0	0	3	3	-	69,400	20,820	90,220
新学術領域研究（公募）	0	0	7	7	-	19,300	5,790	25,090
	15	7	5	12	46.7%	31,000	9,300	40,300
学術変革領域研究（A） （計画研究）	16	0	5	5	-	69,000	20,700	89,700
	11	0	5	5	-	69,500	20,850	90,350
学術変革領域研究（A） （公募研究）	34	13	4	17	38.2%	53,000	15,900	68,900
	15	4	7	11	26.7%	34,200	10,260	44,460
学術変革領域研究（B）	11	0	0	0	-	0	0	0
	12	0	1	1	-	6,300	1,890	8,190
基盤研究（S）	4	0	3	3	-	82,100	24,630	106,730
	10	1	2	3	10.0%	84,300	25,290	109,590
基盤研究（A）	31	4	29	33	12.9%	225,200	67,560	292,760
	36	13	27	40	36.1%	317,500	95,250	412,750
基盤研究（B）	197	59	135	194	29.9%	655,000	196,500	851,500
	182	57	140	197	31.3%	674,100	202,230	876,330
基盤研究（C）	409	153	321	474	37.4%	460,267	138,080	598,347
	383	137	342	479	35.8%	428,300	128,490	556,790
挑戦的研究（開拓）	32	3	6	9	9.4%	40,500	12,150	52,650
	26	4	4	8	15.4%	28,000	8,400	36,400
挑戦的研究（萌芽）	142	21	40	61	14.8%	103,100	30,930	134,030
	137	28	37	65	20.4%	123,500	37,050	160,550
若手研究（B）	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
若手研究	201	86	140	226	42.8%	245,250	73,575	318,825
	170	73	186	259	42.9%	254,100	76,230	330,330
研究活動スタート支援	63	0	22	22	-	20,800	6,240	27,040
	55	23	16	39	41.8%	39,000	11,700	50,700
国際共同研究加速基金 （国際先導研究）	1	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
国際共同研究加速基金 （海外連携研究）	22	0	16	16	-	52,200	15,660	67,860
	16	3	22	25	-	78,400	23,520	101,920
合 計	1,163	339	731	1,070	29.1%	2,132,517	639,755	2,772,272
	1,070	350	798	1,148	32.7%	2,299,600	689,880	2,989,480

- 「学術変革領域研究(A)（計画研究）」、学術変革領域研究(B)」：2020年度から公募が始まった新規研究種目である。
- 「学術変革領域研究(A)（公募研究）」：2021年度から公募が始まった新規研究種目である。
※「新学術領域研究（計画）」の新規研究領域の公募は2020年度限りで新規の公募を終了。
- 「挑戦的研究(開拓)」、「挑戦的研究(萌芽)」：2017年度から公募が始まった新規研究種目である。
- 「若手研究」：2018年度から公募が始まった新規研究種目である。
※「若手研究(A)」、「若手研究(B)」は2017年度限りで新規の公募を終了。
- 2023年度公募から、「国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）」は「国際共同研究加速基金（海外連携研究）」に名称変更された。

上段：2023年度採択状況（2023.6現在）
 下段：2022年度採択状況（最終版）
 ※表中の件数欄の「-」は該当なし又は申請中を示す。
 ※研究代表者として申請した課題のみを集計。

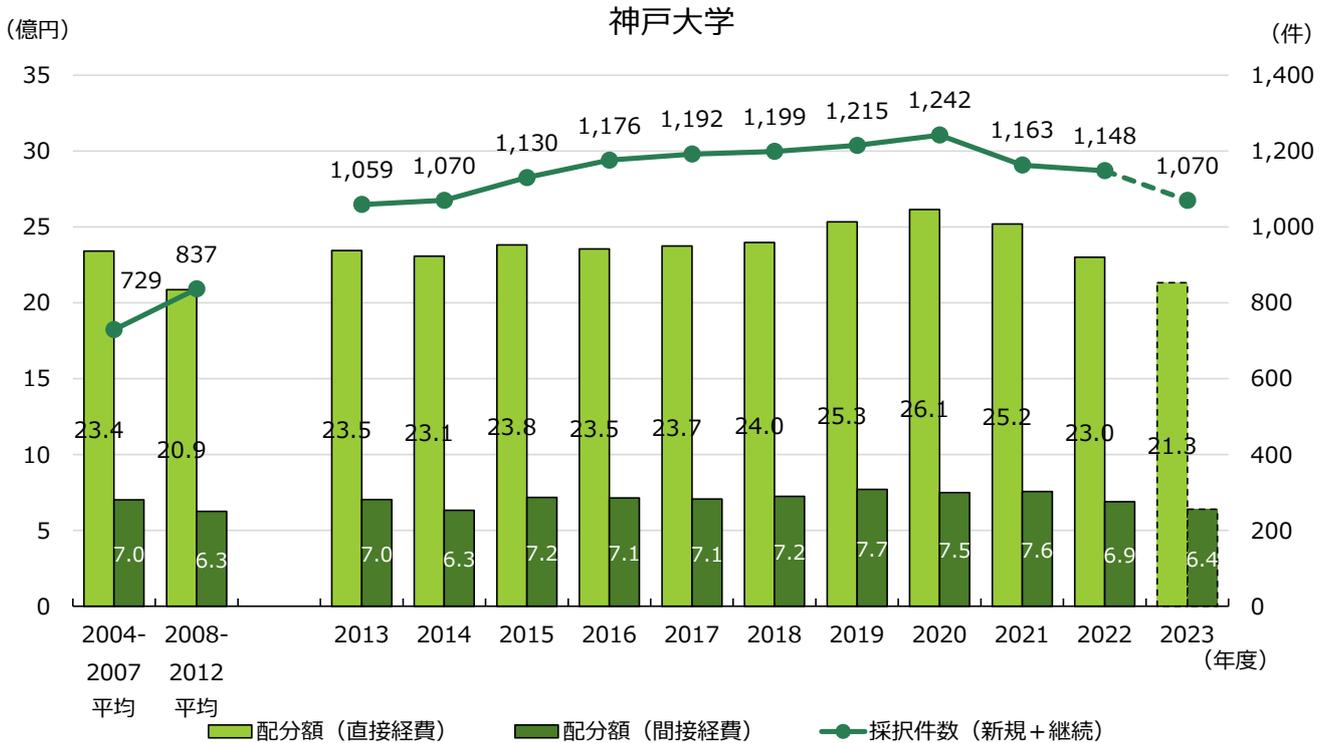
12-2 2022年度科学研究費助成事業獲得状況



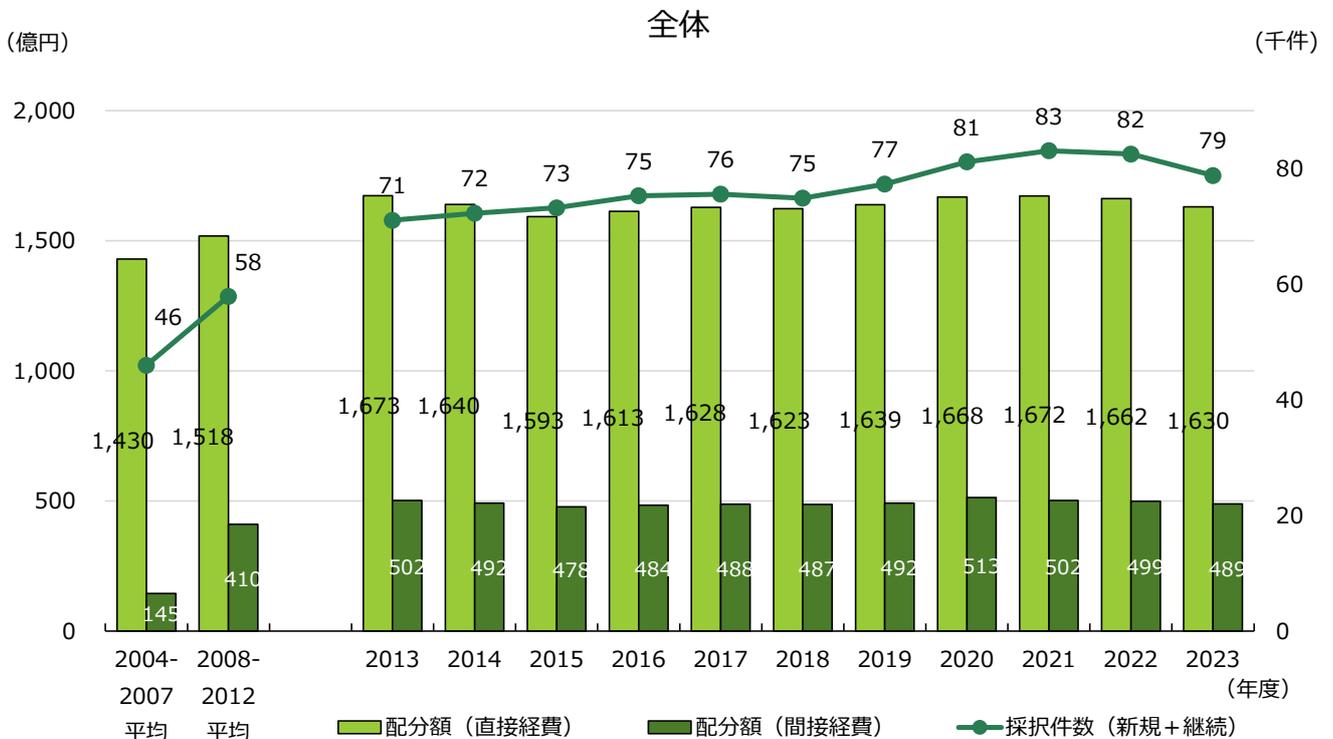
※本学を含む17大学を比較対象とし、各大学財務諸表（2022年度版）より科学研究費の明細が示されているものを集計した。
 ※配分額は直接経費相当額のみを示しており、研究分担者分も含む。

12-3 科学研究費助成事業採択状況 — 推移 —

○ 2014年度以降、科学研究費助成事業全体の傾向として緩やかな伸びになっており、本学も類似した傾向にあったが、2021年度以降は配分額及び採択件数が減少傾向に転じている。



※2015年度より「国際共同研究加速基金」を含む。
 ※2023年度は6月現在の数値である。

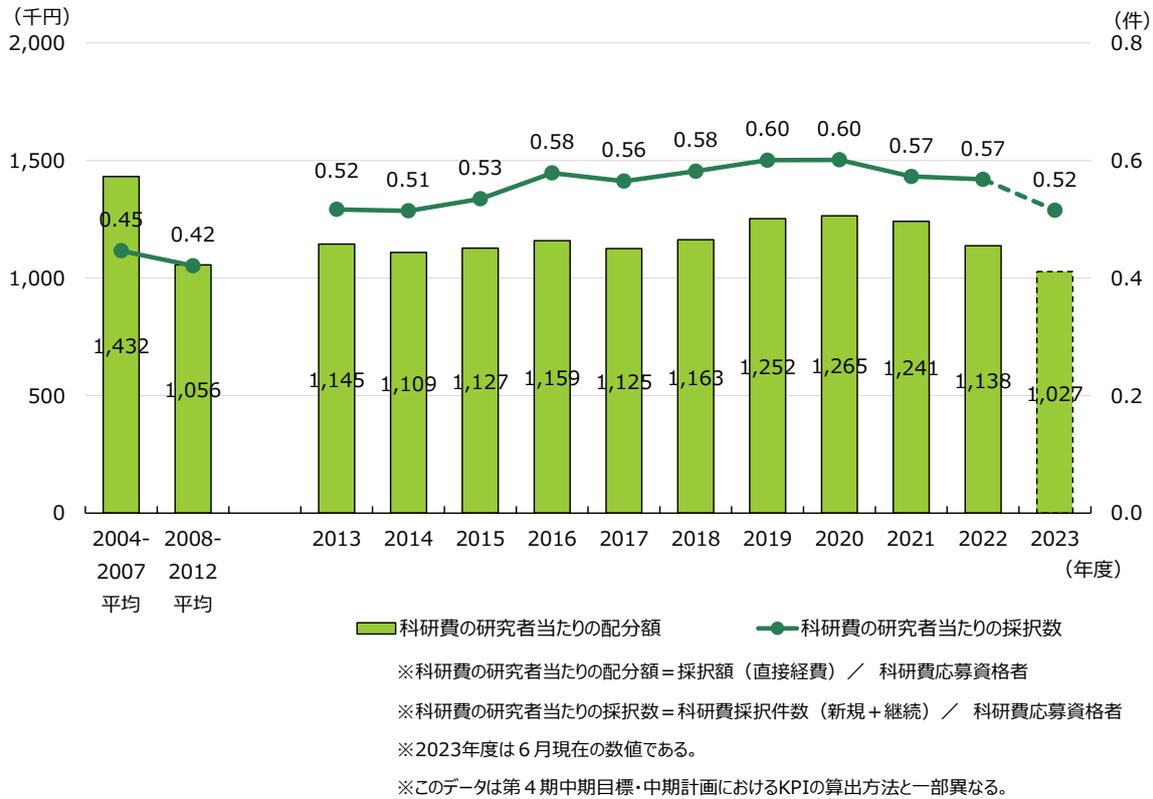


※科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究（A）」（計画研究、公募研究）、「学術変革領域研究（B）」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的萌芽研究」（※2017年以降は「挑戦的研究」（特設審査領域を除く））、「若手研究」、「研究活動スタート支援」について集計した。

出典：文部科学省「令和5年度科学研究費助成事業の配分について」

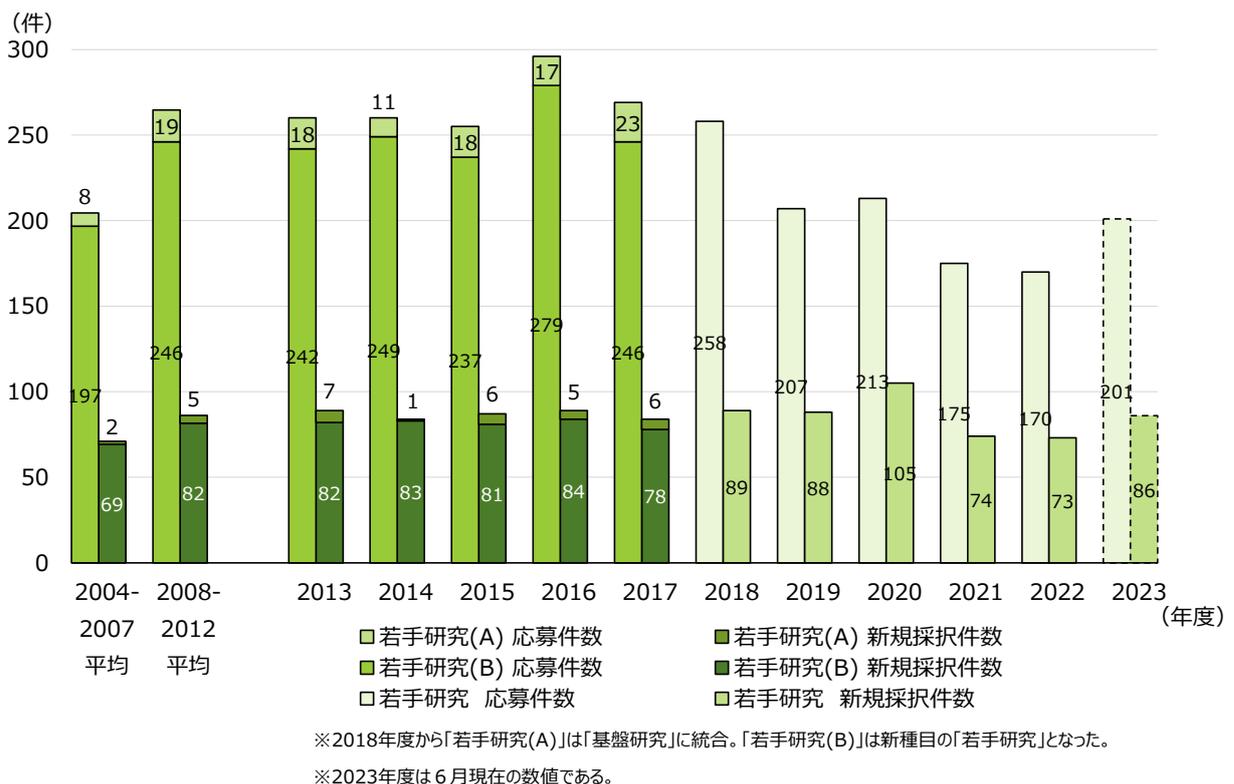
12-4 科研費の研究者当たりの配分額・採択数 — 推移 —

○ 科研費の研究者当たりの配分額及び採択数は2009年に底を打ち、近年は緩やかな増加傾向にあったが、2021年度以降は減少傾向となっている。



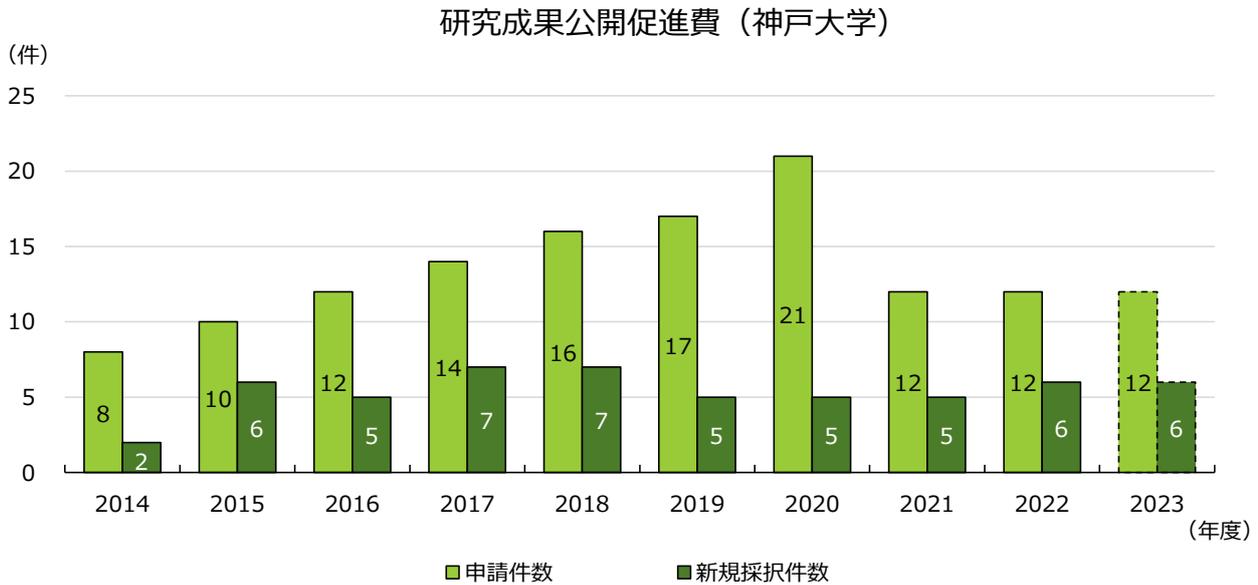
12-5 科研費若手種目の応募件数と新規採択件数 — 推移 —

○ 科研費の若手種目の応募件数は近年減少傾向にあったが、2023年度は前年度より増加している。



12-6 研究成果公開促進費 — 推移 —

○ 近年、申請件数は15件前後、新規採択件数は6件前後で推移しており、2023年度も同水準を維持した。



※2023年度は6月現在の数値である。

○研究成果公開促進費

科学研究費助成金の種目で、研究成果の公開発表、重要な学術研究の成果の発信及び、データベースの作成・公開について助成することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与することを目的とするものであり、優れた研究成果の公的流通の促進を図るもの。

12-7 2019-2023年度科学研究費助成事業新規採択状況

- 過去5年間の科学研究費（新規採択分）において、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしている中区分は13件ある。特に「経済学、経営学およびその関連分野」については第3位と、高い順位となっている。

大区分	(研究分野)	中区分数	本学が中区分別採択数上位10機関にランクインしている中区分名	順位	新規採択件数(件)	配分額(直接経費)(千円)
A	(人文学・社会科学)	10	法学およびその関連分野	8	46.0	83,300
			政治学およびその関連分野	7	31.7	62,183
			経済学、経営学およびその関連分野	3	150.0	306,100
C	(工学系科学)	8	航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	8	21.0	70,500
			社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	9	15.0	48,300
D		7	化学工学およびその関連分野	8	36.0	150,600
			応用物理工学およびその関連分野	9	12.0	88,700
F	(農学・環境学)	5	生産環境農学およびその関連分野	8	33.0	112,300
			社会経済農学、農業工学およびその関連分野	6	29.0	86,900
H		3	生体の構造と機能およびその関連分野	9	24.0	51,800
I	(医歯薬学)	11	内科学一般およびその関連分野	9	107.0	160,100
			生体情報内科学およびその関連分野	10	55.0	101,500
			恒常性維持器官の外科学およびその関連分野	8	83.0	126,200

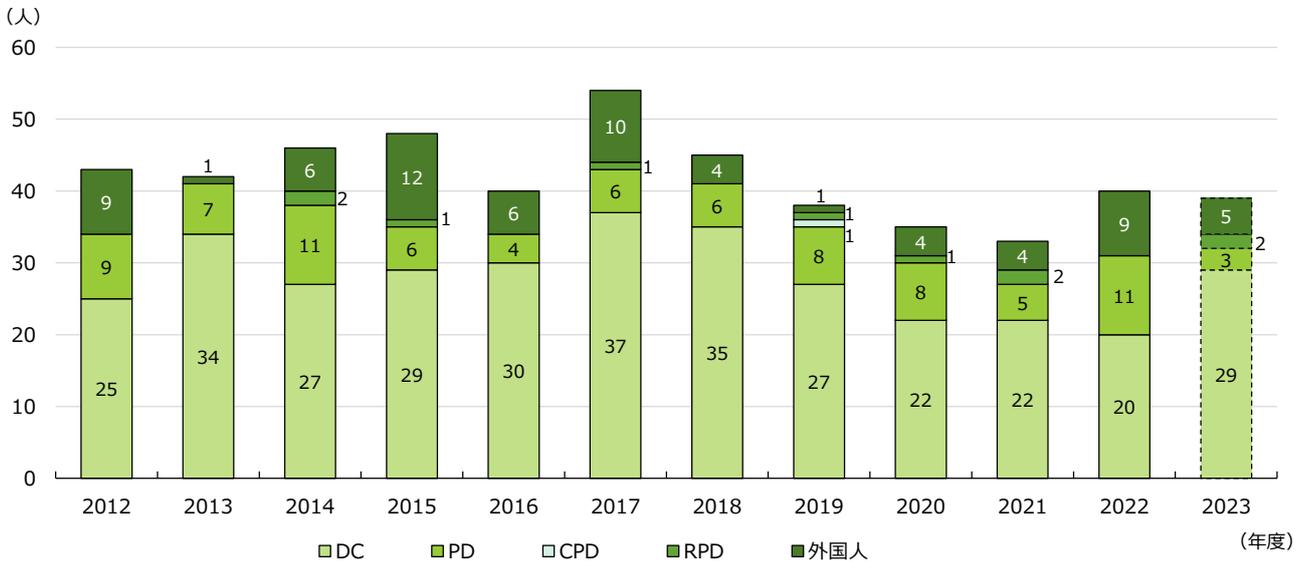
出典：文部科学省「令和5年度科学研究費助成事業の配分について」

※2019年度から2023年度科学研究費（新規採択分）のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(A)」（計画研究及び公募研究（令和5年度追加採択分除く））、「学術変革領域研究(B)」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的研究」（特設審査領域を除く）、「若手研究」及び「国際共同研究加速基金(国際先導研究及び国際共同研究強化(B))」について分類したもののうち、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしているものを集計した。（対応する中区分が複数ある小区分については、件数、配分額を按分して集計）

13. 日本学術振興会特別研究員

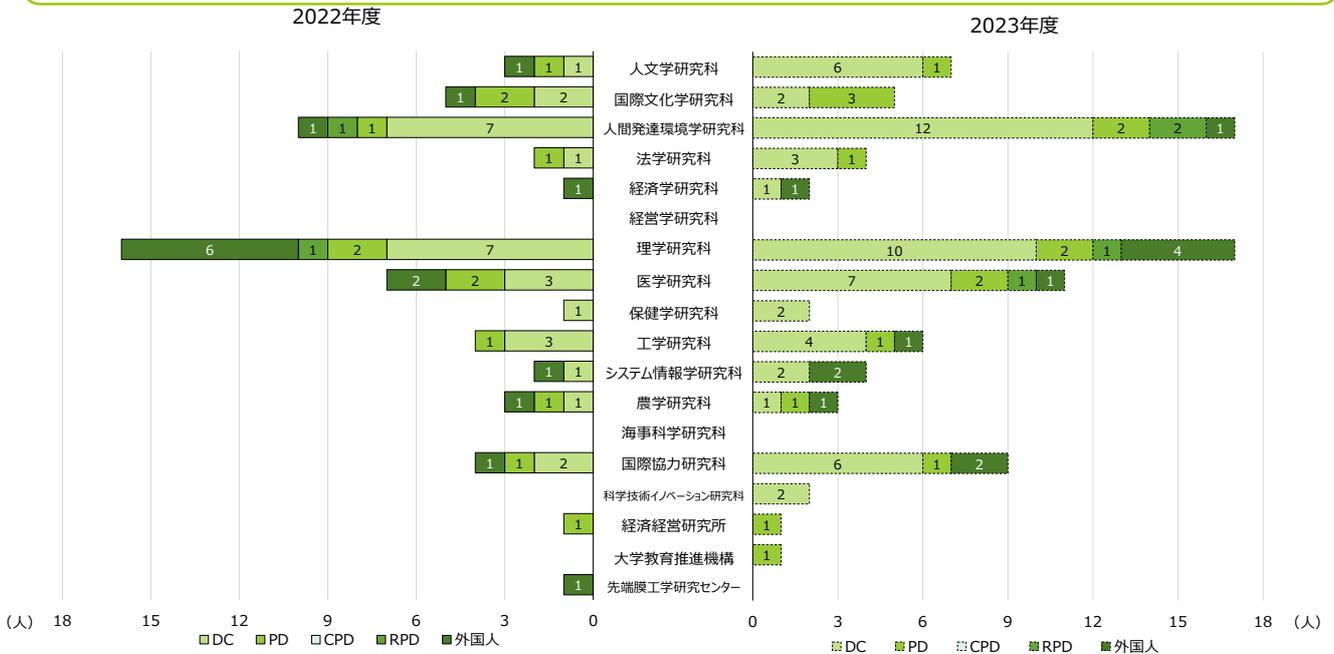
13-1 全学の受入れ状況 — 新規 —

○ 日本学術振興会特別研究員の新規受入れ状況については、2017年度以降は減少傾向が続いていたが、2022年度以降は回復傾向にある。



13-2 研究科別受入れ状況 — 在籍者 —

○ 2022年度は、理学研究科が最も多い16人を受け入れ、2023年7月1日時点では、人間発達環境学研究科及び理学研究科がともに17人で最も多く受け入れている。多くの研究科でDCの受け入れが増加した。



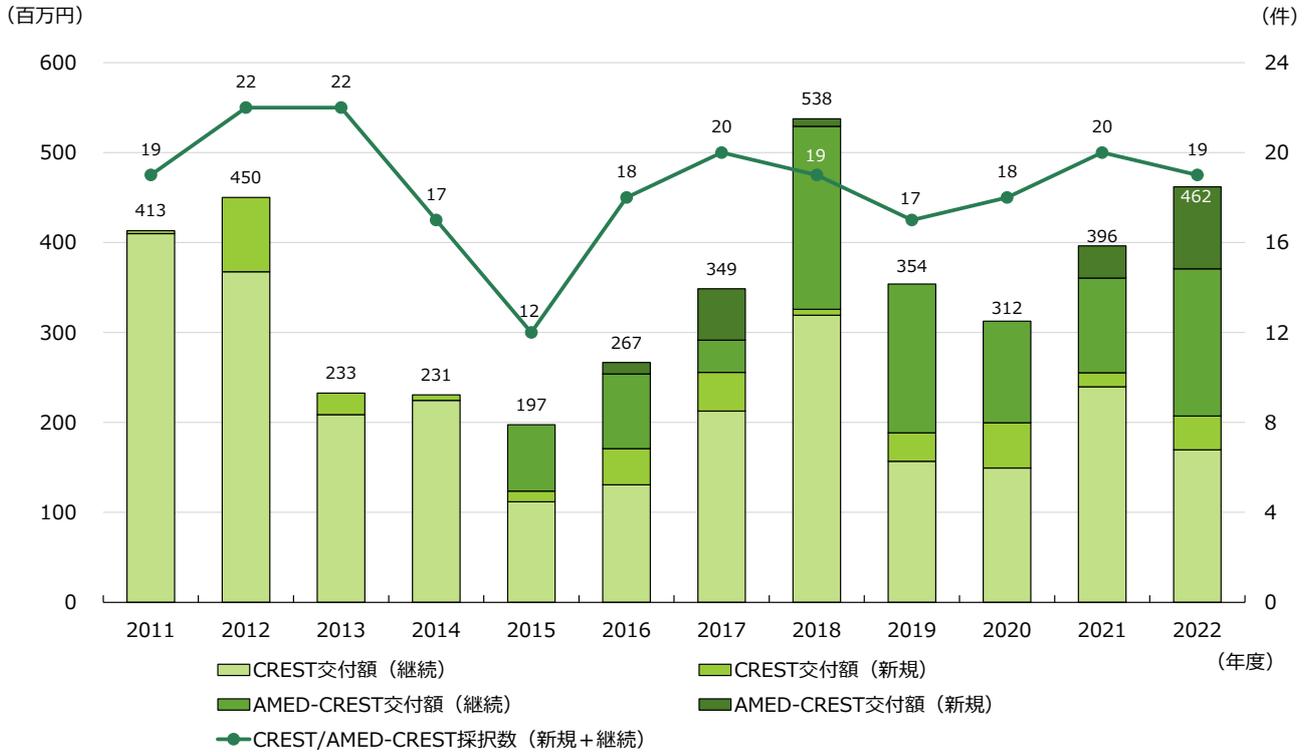
※2022年度データは2022年度内に在籍した者を集計。2023年度データは2023年7月1日時点で在籍している者を集計。

- DC : 博士課程に在籍中の日本学術振興会特別研究員
- PD : 博士の学位を取得後5年未満の日本学術振興会特別研究員
- CPD : 日本国内及び海外の大学その他の研究期間で研究に専念する日本学術振興会特別研究員
- RPD : 博士の学位取得者で、過去5年以内に出産又は子の養育のため研究活動を一定期間中断していた日本学術振興会特別研究員
- 外国人 : 博士の学位を取得前後の外国人日本学術振興会特別研究員

14. 研究プログラムの採択状況

14-1 戦略的創造研究推進事業「CREST」、 革新的先端研究開発支援事業「AMED-CREST」

○ 採択件数については、2011年度以降20件前後を保っており、2015年度に一旦落ち込んだものの、2016年度以降は再び同程度となっている。交付額については、AMED-CREST（新規）が近年で最高の数値となっている。



※グラフの「交付額」及び「採択数」には、分担研究分も含む。
※2014年度以前のCRESTには、AMED設立に伴い、2015年度以降AMED-CRESTへ承継された課題を含む。

CREST/AMED-CREST 2022年度継続中のプログラム一覧 (代表研究のみ)

プログラム名・取組名		実施担当部局
CREST	高効率非鉛圧電薄膜発電システムの実証展開	工学研究科
	提示系心理情報学に基づくインタラクション基盤確立	工学研究科
	幾何学的離散力学を核とする構造保存的システムモデリング・シミュレーション基盤	システム情報学研究科
	腸-脳機能コネクティクスによる腸内感覚の機能解明と操作	医学研究科
	スパコンによる統合的飛沫感染リスク評価システムの開発と社会実装	システム情報学研究科
	データ駆動型の次世代微生物進化育種	先端バイオ工学研究センター
AMED-CREST	ストレス関連疾患を担う機能性脂質の探索と機能解析に基づく臨床応用のための技術基盤の創出	医学研究科
	高齢者難治性骨髄疾患を担う神経ネットワークの探索と機能解析に基づく臨床応用のための技術基盤の創出	医学部附属病院
	神経細胞とグリア細胞の老化制御機構の解明とそのアルツハイマー型認知症の診断・治療法の開発への応用	医学研究科
	老化研究支援・推進に関する研究開発	医学研究科

○ 「CREST」

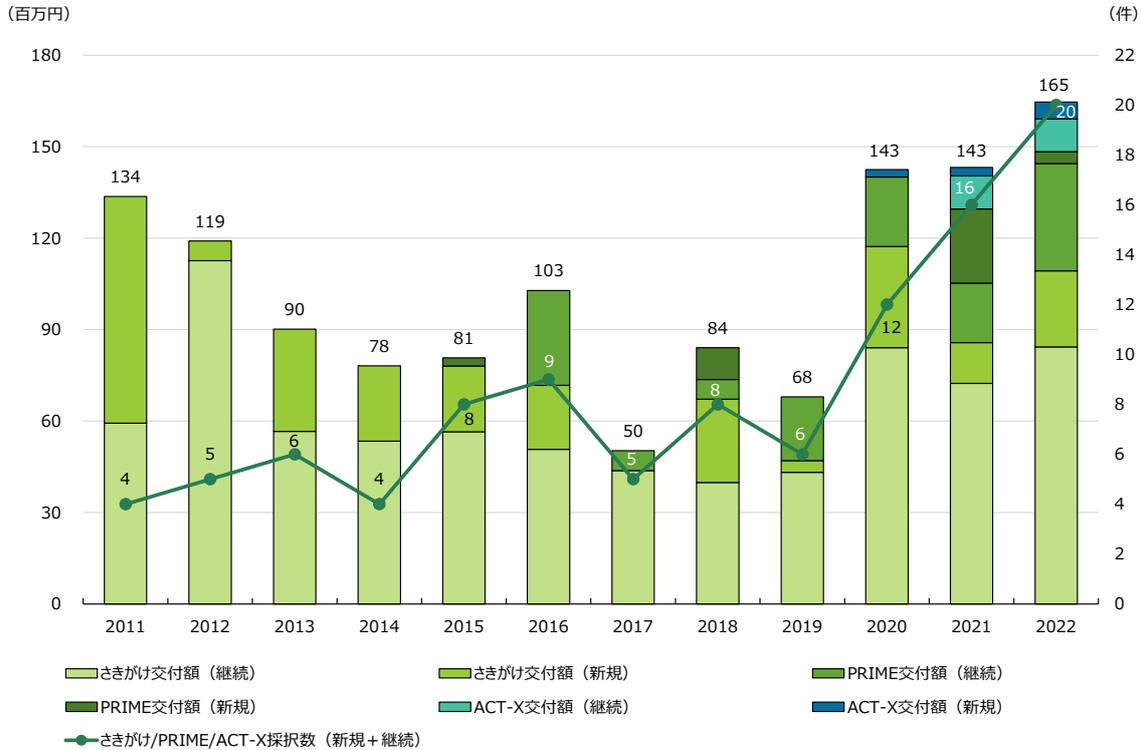
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、国が定める戦略目標の達成に向けて、課題型基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズを創出するためのチーム型研究プログラム。

○ 「AMED-CREST」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの創出に向けて国際的に高い水準の成果を目指すユニット型研究プログラム。

14-2 戦略的創造研究推進事業「さきがけ」、革新的先端研究開発支援事業「PRIME」、戦略的創造研究推進事業「ACT-X」

○ 採択件数、交付額ともに近年で最高の数値となった。



※2014年度以前のさきがけには、AMED設立に伴い、2015年度以降PRIMEへ承継された課題を含む。

さきがけ/PRIME/ACT-X 2022年度継続中のプログラム一覧

プログラム名・取組名		実施担当部局
さきがけ	接着の偏在によるモザイク形成メカニズム	医学研究科
	Mie共鳴による磁場増強を利用した光化学反応プラットフォームの構築	工学研究科
	クーロン効果潜熱輸送による放熱型熱発電素子	工学研究科
	顕微操作技術による初期胚の不安定なゲノムの分配システムの解明	農学研究科
	多様な電子状態計算を実現する包括的量子アルゴリズムの開発	システム情報学研究科
	接着接合ナノ構造の非破壊力学強度解析技術の確立	工学研究科
	情報分子が拓く植物による菌根菌への寄生能力獲得と制御	理学研究科
	量子環境ノイズ情報を組み入れる高忠実度量子制御技術の開拓	科学技術イノベーション研究科
	従来のOSSサプライチェーン脆弱性管理の問題点の明確化と、提案手法の有用性の検証	工学研究科
	緊急時における公益事業を中心とした企業間連携と住民間協力体制の構築	経営学研究科
民主主義のレジリエンスを高めるための社会変革技術	法学研究科	
PRIME	ストレスレジリエンスの個体差を生み出す分子・神経回路基盤の解明	医学研究科
	若年期体細胞モザイクの発生要因・拡大原理の解明とその制御による新規治療基盤の創出	医学研究科
	核内膜プロテオスタシスの制御	医学研究科
ACT-X	高密度分子集積ナノ界面による超高感度ウイルス検出	工学研究科
	疲労時五感の定式化と疲労時能力をAIで補正する五感拡張装置の開発	工学研究科
	シトセンチチュウ孵化促進物質生合成の解明と新奇防除法への応用	農学研究科
	個人特性を考慮したナースコール発生予測モデルの作成	保健学研究科
	聴覚的注意のモデリング：動的因果モデルと深層学習の連携	システム情報学研究科
網羅的タンパク電位決定手法の開発による光合成環境適応機構の解明	先端バイオ工学研究センター	

- 「さきがけ」 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、戦略目標に基づいて未来のイノベーションの芽を育む個人型研究プログラム。
- 「PRIME」 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの源泉となる成果の創出を目指す個人型研究プログラム。
- 「ACT-X」 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、独創的・挑戦的なアイデアを持つ若手研究者の「個の確立」を支援する個人型研究プログラム。

14-3 研究拠点形成事業

○ 全国で20件前後のプログラムが採択されており、本学は2014年度、2016年度、2018年度、2023年度に1件ずつ新規採択されている。



※2023年度は2023年7月1日時点の集計

研究拠点形成事業 2023年度継続中のプログラム一覧 (2023年7月1日現在)

プログラム名・取組名	実施担当部局
階層横断的グリア脳科学研究のための国際コンソーシアム拠点形成	次世代光散乱イメージング科学研究センター
テラヘルツ分子科学アジア研究拠点	分子フォトサイエンス研究センター

○ 研究拠点形成事業

我が国において先端かつ国際的に重要と認められる研究課題、または地域における諸課題解決に資する研究課題について、我が国と世界各国の研究教育拠点機関をつなぐ持続的な協力関係を確立することにより、当該分野において世界的水準または地域における中核的な研究交流拠点の構築とともに、次世代の中核を担う若手研究者の育成を目的とした、日本学術振興会 (JSPS) による事業。

15. 研究業績に関する主な受賞

15-1 代表的な受賞状況

2023年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（旧所属）	職名
【文化勲章】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【文化功労者】	西塚 泰美	1987年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	五百旗頭 真	2011年	法学研究科	名誉教授
	中井 久夫	2013年	医学部	名誉教授
【紫綬褒章】	岩井 誠三	1989年	医学部	教授
	三嶋 豊	1994年	医学部	教授
	天野 明弘	2000年	経営学部	教授
	岡村 均	2007年	医学系研究科	教授
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	清野 進	2011年	医学研究科	教授
	金井 壽宏	2019年	経営学研究科	教授
【ウルフ賞】	西塚 泰美	1994年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【アルバート・ラスカー医学研究賞】 基礎医学研究賞	西塚 泰美	1989年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【ガードナー国際賞】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【朝日賞】	西塚 泰美	1986年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	戸田 達史	2008年	医学研究科	教授
【京都賞】基礎科学部門	西塚 泰美	1992年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【女性化学賞】	相馬 芳枝	2011年	自然科学研究科	特別顧問
【武田医学賞】	西塚 泰美	1982年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	高井 義美	2014年	医学研究科	教授
【日本学士院賞】	西塚 泰美	1986年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	戸田 達史	2017年	医学研究科	教授
	清野 進	2018年	医学研究科	教授
【日本学士院会員】	西塚 泰美	1991年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	河本 一郎	1995年	法学部	名誉教授
	三宅 一郎	1999年	法学部	名誉教授
	西村 和雄	2012年	社会科学系教育研究府	特命教授
	根岸 哲	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授
	大塚 啓二郎	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授

※本学在籍時及び名誉教授の受賞等を掲載

15-2 若手教員による受賞状況

2023年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（受賞時）	職名（受賞時）
【科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞】	末次 健司	2018年	理学研究科	特命講師
	日出間 るり	2018年	工学研究科	助教
	近藤 侑貴	2022年	理学研究科	准教授
	杉本 泰	2023年	工学研究科	准教授

15-3 神戸大学出身者による受賞状況

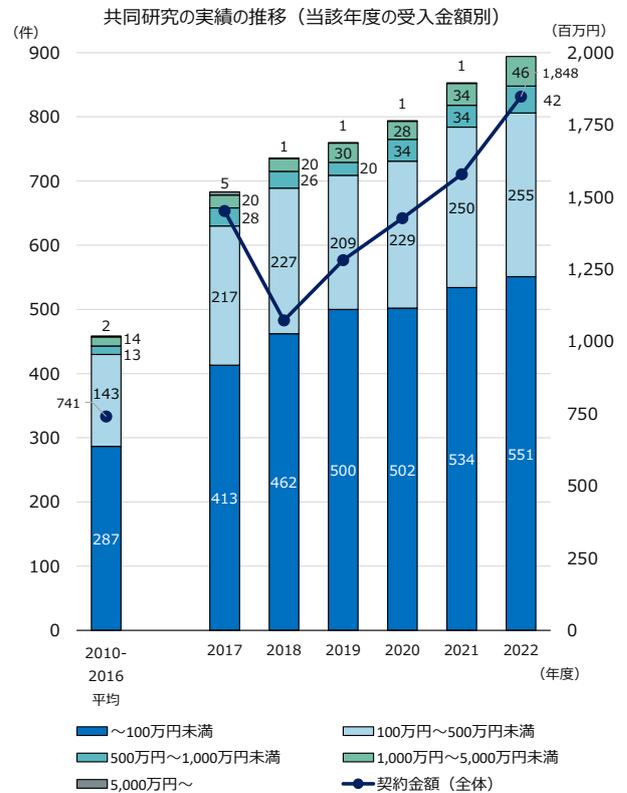
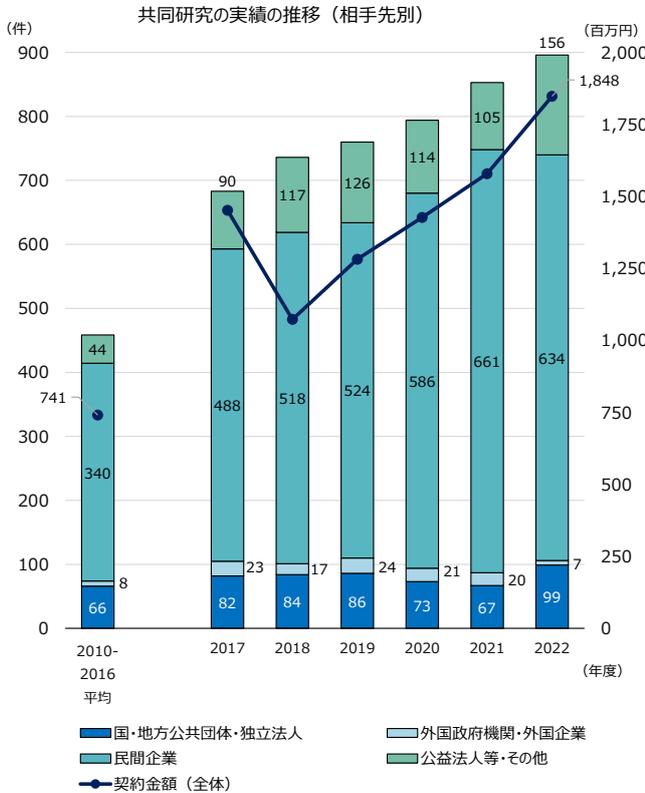
2023年7月現在

氏名	賞名等	受賞部門	決定年	卒業校等
岩井 誠三	【紫綬褒章】	-	1989年	兵庫県立医科大学医学部卒 (神戸大学医学部の前身)
江崎 玲於奈	【ノーベル賞】	物理学賞	1973年	兵庫県師範学校附属小学校高等科 (神戸大学附属中等教育学校の前身)
	【文化勲章】	-	1974年	
	【日本国際賞】	-	1998年	
河合 隼雄	【朝日賞】	-	1997年	神戸工業専門学校卒 (神戸大学工学部の前身)
佐川 真人	【朝日賞】	-	1990年	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
	【日本国際賞】	-	2012年	
	【エリザベス女王工学賞】	-	2022年	
清野 進	【紫綬褒章】	-	2011年	神戸大学医学部卒
	【日本学士院賞】	-	2018年	
高井 義美	【紫綬褒章】	-	2003年	神戸大学医学部卒 神戸大学大学院医学研究科（医学博士）
	【武田医学賞】	-	2014年	
野依 良治	【ノーベル賞】	化学賞	2001年	兵庫県師範学校男子部附属小学校卒 (神戸大学附属小学校の前身)
	【文化勲章】	-	2000年	
	【ウルフ賞】	化学部門	2001年	
	【朝日賞】	-	1992年	
山中 伸弥	【ノーベル賞】	生理学・医学賞	2012年	神戸大学医学部卒
	【文化勲章】	-	2012年	
	【ウルフ賞】	医学部門	2011年	
	【アルバート・ラスカー医学研究賞】	基礎医学研究賞	2009年	
	【ガードナー国際賞】	-	2009年	
	【ミレニアム技術賞】	-	2012年	
	【京都賞】	先端技術部門	2010年	
	【武田医学賞】	-	2008年	
	【朝日賞】	-	2007年	
	【恩賜賞・日本学士院賞】	-	2010年	
【日本学士院会員】	-	2010年		
脇田 晴子	【文化勲章】	-	2010年	神戸大学文学部卒

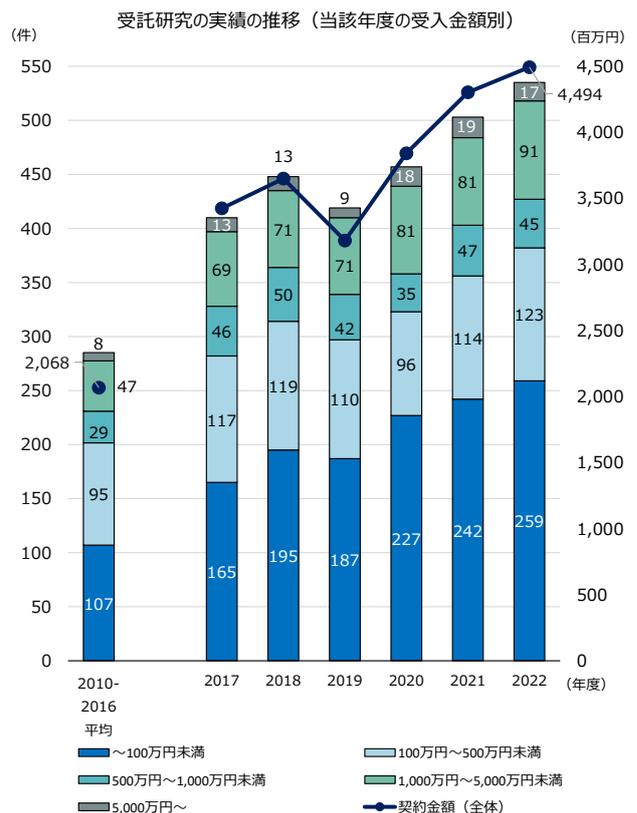
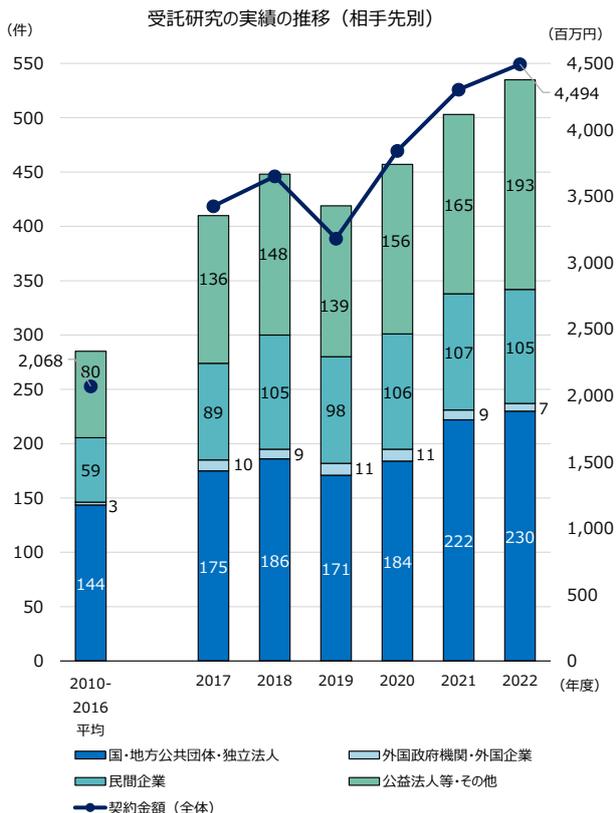
16. 産学官連携状況

16-1 共同研究・受託研究の状況

- 共同研究の件数は順調に増加傾向で推移している。2021年度までは「民間企業」との件数の増加が顕著であったが、2022年度は「国・地方公共団体・独立法人」及び「公益法人等・その他」との件数が大きく増加した。
- 共同研究の契約金額は増加傾向が続いており、2022年度は、過去最高額となった。

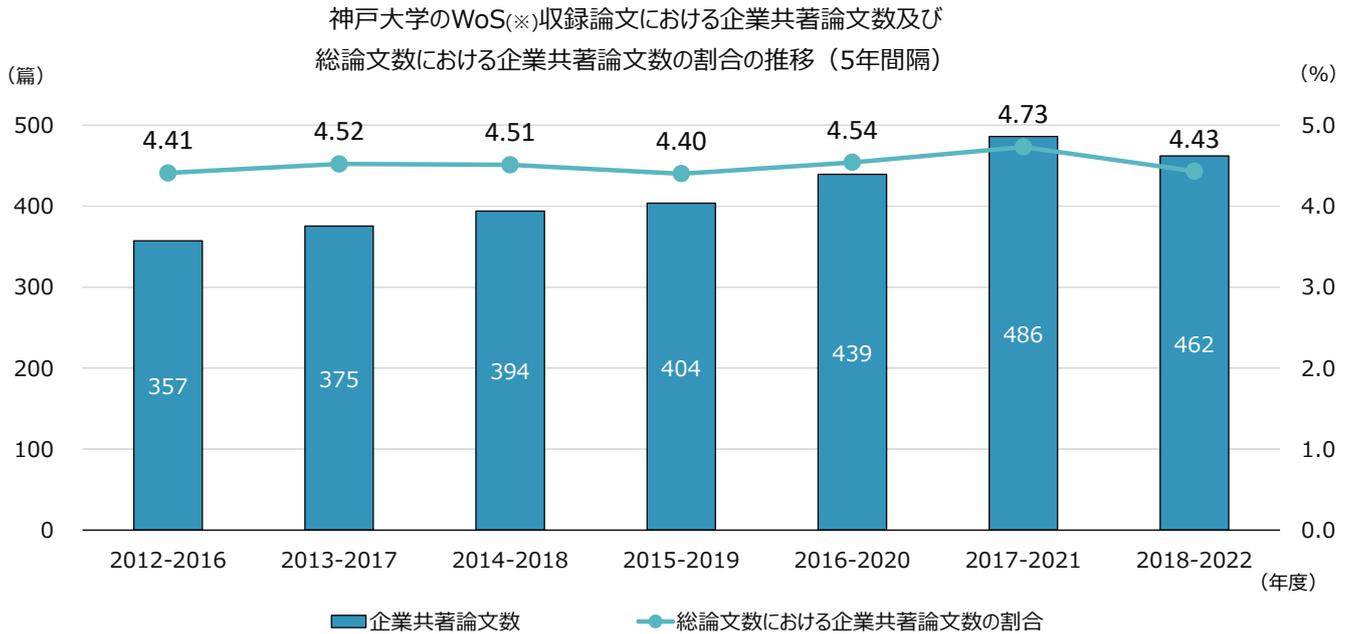


- 受託研究の件数、受入金額は2019年度に一旦減少したが、2020年度以降、再び増加傾向にある。



16-2 企業共著論文数の推移

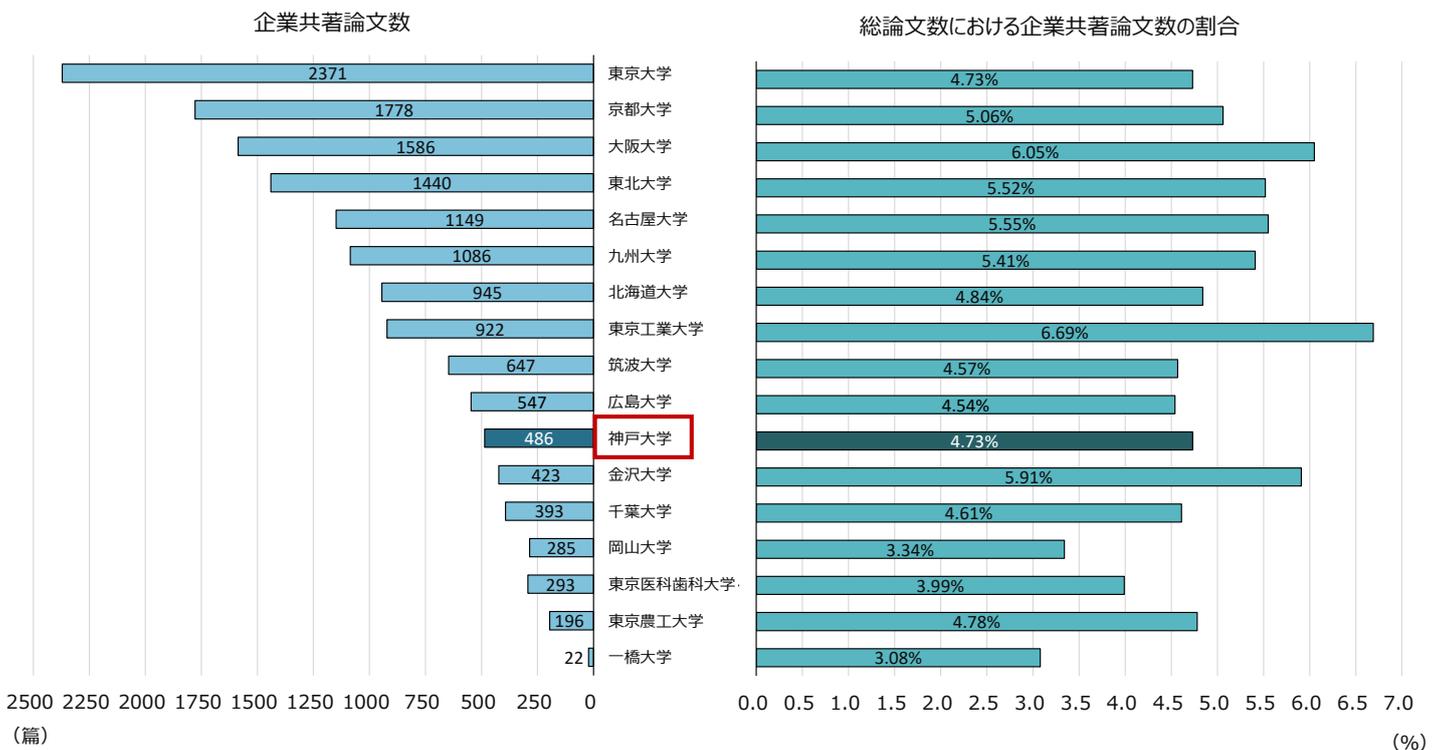
○ 企業共著論文数は緩やかな増加傾向にあったが、最新のデータでは若干減少している。



出典：「InCites™」によりWoS(※)収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、データは2023年8月1日現在の数値である。
 ※「WoS」＝「Web of Science™」（クラリベイト・アナリティクス社が提供する学術文献データベース）の略。

16-3 企業共著論文の状況 – 17大学間の比較 –

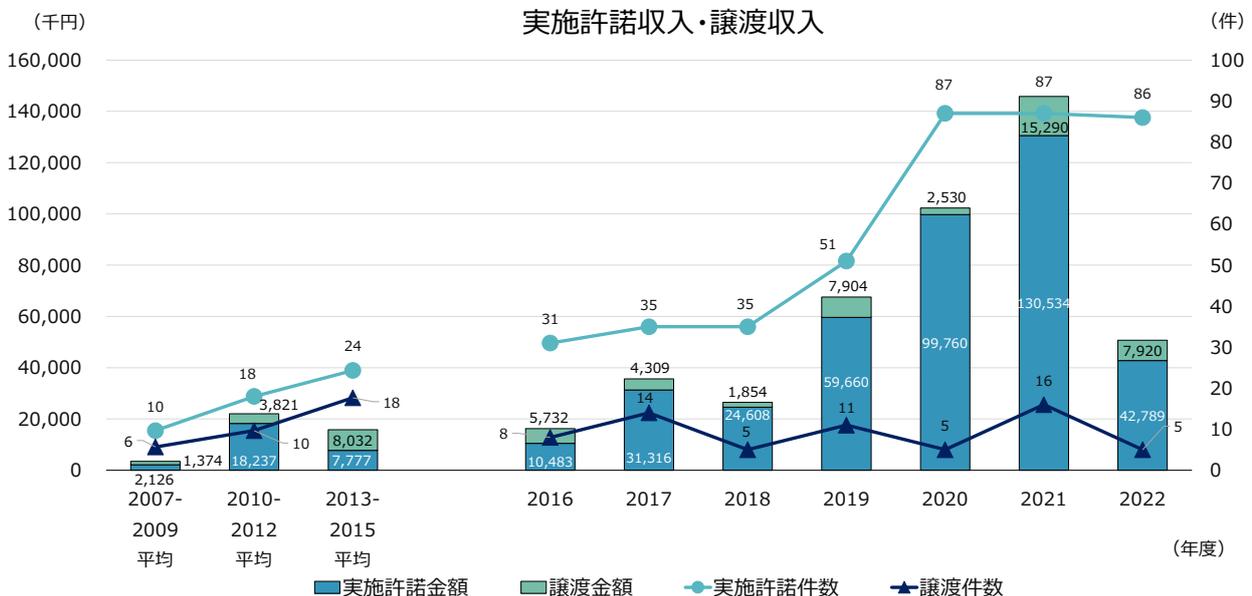
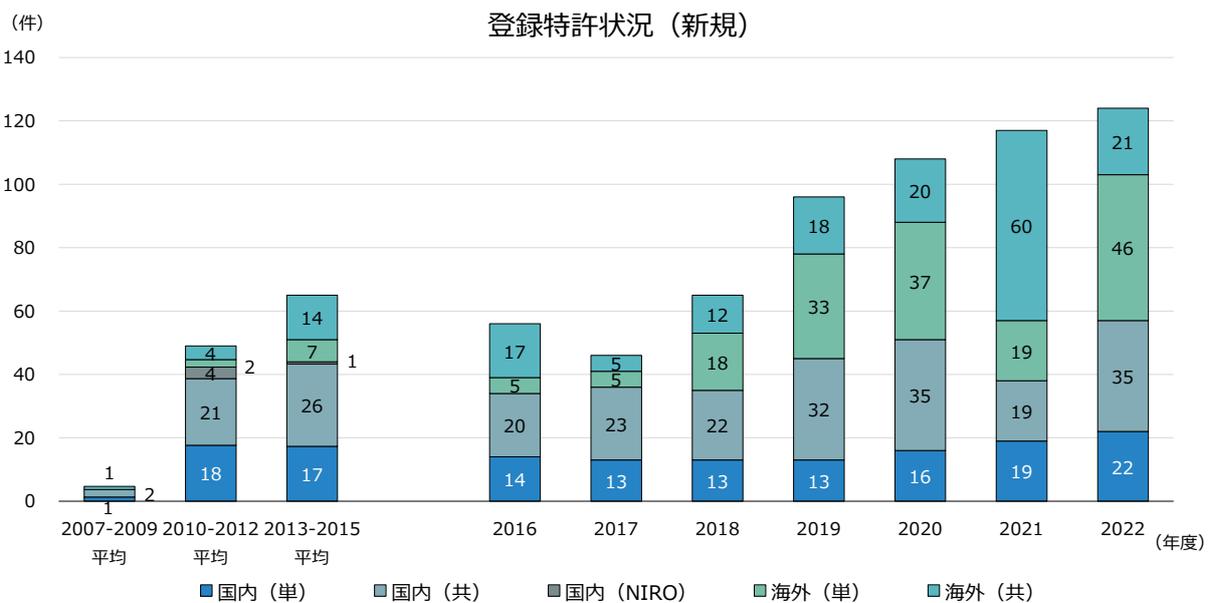
○ 17大学のうち、神戸大学の企業共著論文数は11位であった。また、総論文数における企業共著論文数の割合は10位であった。



出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、各大学における2018-2022の5年間の累計値及び割合を分析した。なお、データは2023年8月1日現在の数値である。

16-4 神戸大学の知的財産の状況

- 発明届出件数（上図）は、過去15年間、100件程度/年を安定的に推移している。
- 登録特許（中図）は、法人化以降、2011年度まで海外の登録を中心に急増し、その後は50～70件程度/年を安定的に推移していたが、2019年度以降は増加傾向にあり、2022年度には124件を記録した。
- 実施許諾金額及び譲渡金額（下図）は近年大幅に増加したが、2022年度は低迷した。（ただし、2023年度冒頭に2億9000万円の収入有）



16-5 主な大学発ベンチャー企業

- 本学では累計51社のベンチャー企業を設立している。
- 「株式会社科学技術アントレプレナーシップ（2016年設立）」、「株式会社神戸大学イノベーション（KUI、2020年設立、本学100%出資）」、「株式会社神戸大学キャピタル（KUC、2021年設立、KUIの子会社）」は、大学発ベンチャー企業の立ち上げのための出資や創業期における支援を行っており、本学における研究成果の事業化及びベンチャー企業の設立は加速している。

(2023年5月1日現在)

形態	企業名	設立年月	事業の概要
株式会社	エアールテック	2001年4月	集積回路の設計、開発、販売業務及び設計者育成
株式会社	Bio-energy	2001年8月	バイオ燃料生産、アーミング団体の開発など
有限会社	行動医科学研究所 (現：株式会社 行医研)	2002年1月	健康食品素材の研究開発、健康食品の開発
株式会社	ビークル	2002年8月	制癌剤、遺伝子治療薬、バイオナノ粒子を用いる細胞の開発など
株式会社	環境管理会計研究所	2003年4月	マテリアルフロースト会計の導入支援
株式会社	膠原病研究所	2003年6月	自己免疫疾患の治療薬開発、関節リウマチなど膠原病の治療薬の開発
株式会社	リタニアルバイオサイエンス	2004年3月	免疫賦活剤LBSカルチャー原末の研究開発、製造販売
有限会社	ジーン・アンド・ジーンテクノロジー (現：株式会社 GGT)	2004年5月	石油系炭化水素を生産する微細藻類の研究開発
株式会社	マスターオブサイエンス	2006年7月	安全性の高い医薬品の開発
株式会社	ES研	2009年3月	省エネルギー技術コンサルティング業
株式会社	センサーズ・アンド・ワークス	2011年4月	焦電型赤外線センシング技術の開発販売
株式会社	Integral Geometry Science	2012年4月	計測機器、信号・画像処理ソフトウェアの専門事業
株式会社	implusplus	2013年8月	LED電飾を使ったウェアラブル機器を主とした企画開発、コンサルティング
株式会社	ナティアス	2015年10月	ヌクレオチド原薬の製造及び製造技術ライセンス
株式会社	科学技術アントレプレナーシップ	2016年1月	ベンチャー起業コンサルタント、M&Aに関するアドバイザーなど
株式会社	ドリームファスナー	2016年3月	医療機器分野の新商品開発、商品の企画、制作、販売
株式会社	日本学術サポート	2016年6月	次世代シーケンサーを用いたデータ解析導入サポート・解析環境構築サポートサービス及びAIを活用した画像・動画解析事業を展開
株式会社	シンプロジェン	2017年2月	長鎖DNA合成技術による「正確で長い」DNAを活用した事業
株式会社	バイオレット	2017年2月	切らないゲノム編集技術を活用した事業開発
株式会社	ViSpot	2017年9月	ウイルス安全性評価試験（ウイルスクリアランス試験）受託
株式会社	イノベーション・アクセラ	2018年2月	アントレプレナーシップ教育事業、会員のネットワーキング事業とメンターの育成、シード・アクセラレーション事業
株式会社	BESTOWS	2018年8月	機械加工用アプリケーションソフトウェアの開発、販売及び保守・点検など
株式会社	アルジー・ネクサス	2019年1月	微細藻類関連バイオベンチャー
株式会社	シンアート	2019年3月	合成生物及び合成化学の融合技術に係る研究及び開発
株式会社	リチルカセキュリティ	2019年12月	サイバーセキュリティの脆弱性に関する検査技術の研究及び開発、サイバー攻撃を模した検証用コードの代行開発によるインシデントレスポンスの支援、コンサルティング、トレーニングの提供
株式会社	バックス・バイオイノベーション	2020年3月	バイオテクノロジー及びその関連技術を移転・活用して、微生物等による有用物質生産に関する受託サービスや、自社製品開発等を行う統合型バイオファウンダー企業
株式会社	レラテック	2020年11月	風力発電のための風況調査コンサルティングサービス
株式会社	日本消費者深層心理研究センター	2021年3月	消費者の深層心理を解明することによる新しいマーケティング戦略の提案
株式会社	イムノロック	2021年4月	創薬ベンチャー
株式会社	Mediest	2021年7月	AIを用いた医療ソフトウェアの開発及びデータ解析受託業務
株式会社	ユニテック	2021年7月	環境設備の開発、コンサルティング
合同会社	DsD	2022年1月	サービス（飲食業・商業施設など）の業務改善・効率化、農林水産業・製造業・まちづくりにおける意思決定支援
株式会社	バンクセラビー	2022年2月	すい臓がんの治療薬・早期診断薬開発
株式会社	TearExo	2022年4月	体外診断用医薬品並びに体外診断用医療機器の研究・開発・製造・販売、それにおける学術的・技術的サービス及び情報提供、輸出入
株式会社	テラアクソン	2022年5月	人工知能などを活用した高度ICTシステムの企画・コンサルティング、開発設計保守などの管理
株式会社	ピョ・ファーマ	2022年6月	医師、薬剤師とら業に関わる専門家達自身が薬局（Pharmacy）や病院などの医療機関の枠を越えて（Beyond）、人やペットにアプローチすることで健康長寿をサポート
株式会社	セカフィー	2023年2月	電子機器のハードウェアセキュリティ性能確保に向けた、脅威分析及び対策支援

※HP等で内容を確認できる主な企業等を掲載。

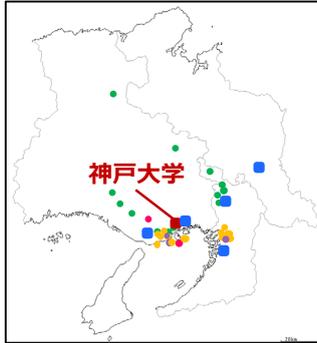
17. 国内の大学・自治体・企業等との連携協定

○ 本学は、国内の数多くの機関や企業と連携協定を結び、研究・教育・医療の各分野において、充実した社会発展への寄与に取り組んでいる。

◆ 大学間連携協定等締結状況 (2023.5.1現在)



◆ 近畿地方の大学間連携協定等締結先 (2023.5.1現在)



- = 大学 (本部所在地)
- = 自治体等 (庁舎等所在地)
- = 民間企業 (本社所在地)
- = 国立研究開発法人等 (所在地)
- = 官公庁 (庁舎)

※このページにて記されている連携協定は全学的に締結した「大学間連携協定等」であり、部局において締結された連携協定については記載していない。

○ 近畿地方の連携先との大学間連携協定等

区分	協定名称	締結日	
大	国立大学法人神戸大学と学校法人神戸薬科大学との連携に関する協定	2007年7月17日	
	国立大学法人神戸大学と国立大学法人京都大学との計算科学分野における連携協力に関する協定	2010年4月1日	
	京都大学、大阪大学及び神戸大学における相互の協力に関する協定	2013年12月21日	
	国立大学法人神戸大学と公立大学法人兵庫県立大学との連携に関する協定	2018年1月23日	
自	国立大学法人神戸大学と神戸市灘区との連携協力に関する協定	2004年12月2日	
	国立大学法人神戸大学と小野市との連携協力に関する協定	2005年1月26日	
	国立大学法人神戸大学と兵庫県朝来郡生野町（現・朝来市）との連携協力に関する協定	2005年3月23日	
	国立大学法人神戸大学と加西市との連携協力に関する協定	2009年5月19日	
	国立大学法人神戸大学と兵庫県との連携に関する協定	2010年8月2日	
	国立大学法人神戸大学と篠山市（現・丹波篠山市）との連携協力に関する協定	2010年8月30日	
	教員養成のための連携協力に関する協定（大阪府豊能地区（豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町）教育委員会）	2012年12月18日	
	国立大学法人神戸大学と神戸市との連携に関する協定	2013年5月24日	
	三木市と国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	2013年6月27日	
	神戸大学と兵庫県教育委員会との連携に関する協定	2014年1月30日	
自	国立大学法人神戸大学と神戸市教育委員会との連携に関する協定	2015年11月6日	
	国立大学法人神戸大学、株式会社三井住友銀行、神戸市による「ようご」神戸地域におけるスタートアップ・エコシステム形成促進に関する産官学連携協定	2021年8月2日	
民	国立大学法人神戸大学、兵庫県、株式会社神戸新聞社、公益財団法人地球環境戦略研究機関、株式会社三井住友銀行による脱炭素社会の推進に関する包括連携協定	2023年1月19日	
	国立大学法人神戸大学と川崎重工工業株式会社との産学連携の推進に関する協定	2006年10月23日	
	連携協力協定（本州四国連絡高速道路株式会社）	2009年7月1日	
	神戸大学と池田銀行（現、池田泉州銀行）の連携協力に関する協定	2009年8月6日	
	国立大学法人神戸大学と株式会社カネカとの包括的な産学連携推進に関する協定	2010年12月14日	
	国立大学法人神戸大学と株式会社神戸新聞社との連携に関する協定	2014年7月7日	
	国立大学法人神戸大学とバンドー化学株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2014年9月24日	
	国立大学法人神戸大学と阪神高速道路株式会社との連携に関する協定	2015年12月15日	
	国立大学法人神戸大学と小野薬品工業株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2018年3月30日	
	国立大学法人神戸大学と株式会社サントレビジョンとの連携に関する協定	2021年7月2日	
	国立大学法人神戸大学と株式会社ノーリツとの包括的な産学連携推進に関する協定	2021年11月4日	
	国立大学法人神戸大学とエア・ウォーター株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2021年12月24日	
	国立大学法人神戸大学と東洋紡株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2022年4月11日	
	国立大学法人神戸大学と株式会社ダイヤセルとの包括的な産学連携推進に関する協定	2022年6月23日	
	国立大学法人神戸大学と株式会社ラジオ関西との連携に関する協定	2023年3月1日	
	国立大学法人神戸大学とイチ・ツー・オー リテイリング株式会社との包括連携協定	2023年3月2日	
	研	国立大学法人神戸大学と独立行政法人理化学研究所 ^(※) 計算科学研究機構との計算科学、計算機科学及びこれらに関連する分野における連携、協力に関する協定	2012年5月15日
		独立行政法人防災科学技術研究所 ^(※) 兵庫耐震工学研究センターと国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	2014年9月29日
国立大学法人神戸大学と国土交通省近畿地方整備局との連携、協力に関する協定		2015年7月8日	
官	サイバー空間の脅威に対処するための連携及び協力に関する協定（兵庫県警察本部、兵庫県立大学）	2016年2月19日	
	兵庫県立工業技術センターとの連携に関する協定	2022年11月29日	

○ 近畿地方以外の連携先との大学間連携協定

区分	協定名称	締結日
大	国立大学法人神戸大学と国立大学法人東北大学との災害科学分野における連携協力に関する協定	2011年10月23日
	一橋大学、神戸大学及び大阪市立大学における教育交流に関する協定	2010年2月1日
	国立大学法人神戸大学と国立大学法人徳島大学との連携に関する協定	2018年1月23日
大・研	国立大学法人神戸大学、国立大学法人東北大学及び大学共同利用機関法人人間文化研究機構との歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業における連携、協力に関する基本協定書	2018年1月26日
自	国立大学法人神戸大学と中津市との連携に関する協定	2016年4月22日
民	国立大学法人神戸大学と一般社団法人日本プロジェクト産業協議会との連携協力に関する協定	2014年4月1日
	国立大学法人神戸大学と一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携協力に関する協定	2014年6月23日
	国立大学法人神戸大学とアステラス製薬株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2018年3月30日
	株式会社クレディセゾンと国立大学法人神戸大学による連携協定	2018年11月26日
独	国立大学法人神戸大学と独立行政法人国際協力機構との連携協定	2016年3月1日
	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構と国立大学法人神戸大学との間における包括的連携・協力関係の推進に関する協力協定	2017年6月7日
研	国立大学法人神戸大学と独立行政法人海洋研究開発機構 ^(※) との包括連携協定	2012年12月20日

【区分】大・・・大学、自・・・自治体等、民・・・民間企業等、独・・・独立行政法人、研・・・国立研究開発法人等、官・・・官公庁等 (※)・・・2018年4月1日、国立研究開発法人となった。

注：このページにて記されている連携協定は神戸大学が締結した「大学間連携協定等」であり、部局において締結された連携協定については記載していない。

18. 連携大学院等実施状況

- 本学では、ほとんどの研究科において、多様な分野で官・民・病等の組織と連携講座を設けており、2023年度は41講座となっている。
- 寄附講座、共同研究講座等も増加しており、15講座・研究部門となっている。

◎連携講座一覧(2023年7月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	連携先	開始年度		
人文学研究科	社会動態専攻	文化資源論	(財)大和文華館 (独)国立文化財機構 奈良国立博物館	2007年度		
国際文化学研究科	グローバル文化専攻	先端コミュニケーション論	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007年度		
人間発達環境学研究科	人間環境学専攻	環境先端科学	(国研)国立環境研究所 (国研)産業技術総合研究所	2007年度		
経営学研究科	経営学専攻・現代経営学専攻	マネジメント・システム設計	(株)野村総合研究所	1998年度		
		経営戦略システム設計	アクセンチュア(株)	1999年度		
		ファミリービジネス	三菱UFJフィナンシャルグループ	2023年度		
		M&A戦略設計	株式会社日本M&Aセンターホールディングス	2023年度		
理学研究科	化学専攻	構造解析化学	(公財)高輝度光科学研究センター	2007年度		
		理論生物化学	(国研)理化学研究所 計算科学研究機構	2011年度		
	生物学専攻	発生物学	(国研)理化学研究所 生命機能科学研究センター	2007年度		
		生物制御科学	住友化学(株) 健康・農業関連事業研究所	2015年度		
	惑星学専攻	惑星地球変動史	(国研)海洋研究開発機構 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台 先端技術センター	2013年度		
		応用惑星学	気象庁気象研究所	2016年度		
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学	(国研)理化学研究所 生命機能科学研究センター	2002年度		
		生化学・分子生物学	(公財)高輝度光科学研究センター	2000年度		
		微生物感染症学	(国研)医薬基盤・健康・栄養研究所 兵庫県立健康科学研究所	2007年度 2008年度		
		地域社会医学・健康科学	(独)医薬品医療機器総合機構	2011年度		
		内科学	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	2015年度		
		内科系	兵庫県立粒子線医療センター	2001年度		
			(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療センター	2008年度		
			兵庫県立こども病院	2013年度		
			兵庫県立ひょうごこころの医療センター	2020年度		
		外科学	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	2015年度		
		外科系	兵庫県立総合リハビリテーションセンター 兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター	2007年度		
			兵庫県立こども病院	2013年度		
			(地独)神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院	2022年度		
		保健学研究科	保健学専攻	リハビリテーション科学	(国研)情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター	2013年度
				パブリックヘルス	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	2023年度
		工学研究科	建築学専攻	地域減災計画	総務省消防庁消防大学校消防研究センター	2007年度
機械工学専攻	知的製造システム		(株)神戸製鋼所技術開発本部 神戸総合技術研究所	2007年度		
	機能応用モデル		(国研)情報通信研究機構	2007年度		
	開智型ものづくり		川崎重工(株) 技術開発本部	2009年度		
応用化学専攻	局所場反応・物性解析学		(国研)産業技術総合研究所 関西センター	2007年度		
	化学エネルギー変換プロセス学		(国研)産業技術総合研究所 関西センター	2007年度		
	生物機能工学		(財)サントリー生物有機科学研究所	2009年度		
	製剤設計生産工学		アステラス製薬(株)	2010年度		
	ケミカル・バイオセンシング		(国研)産業技術総合研究所	2011年度		
	環境エネルギー材料学	(国研)日本原子力研究開発機構	2018年度			
システム情報学研究科	システム情報学専攻	応用システム	三菱電機(株)	2007年度		
		ソーシャルロボティクス	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007年度		
		知能統合	(国研)理化学研究所 革新知能統合研究センター	2018年度		
		応用計算科学	(国研)海洋研究開発機構	2010年度		
		大規模計算科学	(国研)理化学研究所 計算科学研究センター	2013年度		
農学研究科	資源生命科学専攻	食料生産フィールド科学	兵庫県立農林水産技術総合センター	2007年度		
海事科学研究科	海事科学専攻	海洋環境計測科学	(国研)海洋研究開発機構	2007年度		
		地域環境科学	(財)ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター	2009年度		

◎寄附講座(2023年7月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	寄附者	講座期間
医学研究科	医科学専攻	地域社会医学・健康科学講座	兵庫県	2015年4月1日 ~ 2025年3月31日
			兵庫県病院事業管理者	2013年4月1日 ~ 2025年3月31日
			シミックホールディングス(株) BIPROGY(株)	2019年8月1日 ~ 2025年7月31日
			神戸市	2018年4月1日 ~ 2024年3月31日
		内科学講座	日本メドトロニック(株) アボットメディカルジャパン(同) ホストン・サイエンティフィックジャパン(株)	2008年10月1日 ~ 2025年3月31日
		内科系講座	神戸市	2009年10月1日 ~ 2024年3月31日
			神戸市	2015年4月1日 ~ 2024年3月31日
			シスメックス(株)	2012年10月1日 ~ 2024年9月30日
		外科学講座	兵庫県/養父市	2015年11月1日 ~ 2024年3月31日
		外科系講座	(株)メディカロイド	2016年4月1日 ~ 2024年3月31日
			神河町	2012年4月1日 ~ 2027年3月31日
			(株)サージカル・スパイン	2018年4月1日 ~ 2024年3月31日
			兵庫県病院事業管理者	2018年4月1日 ~ 2026年3月31日
			ジンマー・バイオメット(同) スミス・アンド・ネフュー(株)	2021年4月1日 ~ 2024年3月31日
セル エクソソーム セラピューティクス(株)	2021年4月1日 ~ 2025年3月31日			
農学研究科	-	アクアフォトミクス研究分野	ドクターリセラ(株)	2021年4月1日 ~ 2024年3月31日
科学技術イノベーション研究科	科学技術イノベーション専攻	バイオ・環境講座	医療法人桜希会	2023年4月1日 ~ 2026年3月31日

◎共同研究講座(2023年7月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	共同研究者	講座期間
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学講座	イーザイ(株)	2018年4月1日 ~ 2026年3月31日
		生化学・分子生物学講座	JCRファーマ(株)	2022年4月1日 ~ 2025年3月31日
		内科学講座	イーザイ(株)	2022年6月1日 ~ 2027年3月31日
		内科系講座	GEヘルスケア・ジャパン(株)	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日
			キヤノンメディカルシステムズ(株)	2020年1月1日 ~ 2024年12月31日
		外科学講座	シスメックス(株)	2023年4月1日 ~ 2024年3月31日
科学技術イノベーション研究科	科学技術イノベーション専攻	バイオ・環境講座	(株)ダイアナ SOファーマ(株) (株)ヴィオトープ摩耶	2021年4月1日 ~ 2025年3月31日
			ザントリーウェルネス(株)	2023年4月1日 ~ 2026年3月31日
			(株)日本トリム	2023年4月1日 ~ 2026年3月31日

19. 教育関係共同利用拠点

- 2014年度に教育関係共同利用拠点※への認定申請を行い、以下の3施設について認定された。
- 2018年度、2023年度に新たな拠点名で再度認定申請を行い、2028年度までの継続が決定している。

※複数大学が連携して実施することが効果的・効率的な教育上の取組や学生支援に関し、複数大学が共同で利用するための施設。当該施設が、大学教育の充実に特に資するときは、教育関係共同利用拠点として、文部科学大臣の認定を受けることができる。

内海域環境教育研究センター マリンサイト

【 拠点名 内海域の海洋生物・生態系と環境管理を学ぶ教育共同利用拠点 】

2022年度共同利用状況（学内を除く）

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	15	46	200
公立大学	2	4	14
私立大学	4	9	42
民間・独立行政法人等	25	48	62
外国の研究機関	0	0	0
計	46	107	318



2022年度実施プログラム（抜粋）

課題	概要
奈良女子大学 臨海実習	予定通り、5日間にわたって、海藻類の採集、同定と組織観察、底生動物の採集と観察、プランクトンの採集と観察などを行い、沿岸域の光合成生物および底生動物の生物多様性について学んだ。
全国公開臨海実習Aコース	海藻および微細藻類の生物多様性と沿岸環境の多様性に関する実習を実施した。
全国公開臨海実習Bコース	マリンサイト周辺の河川・ため池において、水質測定、水生動物の採集と同定などの実習を実施した。

大学院農学研究科附属 食資源教育研究センター

【 拠点名 農場と食卓をつなぐ先端農業フィールド教育拠点 】

2022年度共同利用状況（学内を除く）

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	0	0	0
公立大学	2	126	220
私立大学	8	106	189
民間・独立行政法人等	12	337	391
外国の研究機関	0	0	0
計	22	569	800



2022年度実施プログラム（抜粋）

課題	概要
大阪公立大学 大動物診療実習	利用大学開講科目「大動物診療実習」を本学で実施。6/21～6/23および10/25～10/27に子牛の身体検査・鎮静術・去勢術、雌牛の繁殖検診・健康診断などを実習した。
吉備国際大学 スマート農業	利用大学開講科目「フィールド実習Ⅱ」の一環として実施。10/15に畜産、果樹、作物分野におけるスマート農業について実習した。
兵庫県立大学 農場から食卓まで	利用大学開講科目「特別フィールドワーク」の一環として実施。10/30の日帰りで、ウシの給餌・鼻紋採取、イネ・サツマイモの収穫・調製などを実習した。
京都産業大学 農場から食卓まで	利用大学開講科目「基礎特別研究」の一環として実施。10/31～11/1の日程で、ウシの扱い・体重測定・給餌、ナシ・ダイズ・サツマイモの収穫・調製などについて実習した。

大学院海事科学研究科附属 練習船海神丸 ※2022年度より「深江丸」に代わり新船「海神丸」へ変更

【 拠点名 海洋分野に関わる海事技術・海洋環境・ヒューマンファクタを学ぶ海上アクティブラーニング教育環境の共同利用拠点 】

2022年度共同利用状況（学内を除く）

区 分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	1	37	37
公立大学	1	26	52
私立大学	3	33	52
民間・独立行政法人等	1	25	25
外国の研究機関	0	0	0
計	6	121	166



2022年度実施プログラム（抜粋）

課 題	概 要
甲南大学 科学と産業政策（集中）	フロンティアサイエンス学部開講科目「科学と産業政策」（集中）の一部として実施。本科目は、兵庫県や神戸市に集積する研究施設、及び、神戸・瀬戸内海地域の産業施設を見学しながら、科学技術振興に関する産業政策について学び、自ら立案できる能力を養成することを目的とした。2022年度カリキュラムにおいて、国立大学法人神戸大学大学院海事科学研究科様が所有する練習船「海神丸」への乗船および座学を通じて、神戸・瀬戸内海地域における海事科学・産業の重要性について学ぶとともに、海洋環境等に関する「海洋教育」の一端に触れた。
大阪府立大学 船舶工学特殊講義	「船舶工学特殊講義」の一部として実施。当該科目は、船用機関及び船舶推進装置の基礎を教えている。その中で、実際の船舶運航実務を、乗船実習を通して理解することを目指した。操練、船舶当直及び機関当直を体験し、運行実務に触れた。また、推進性能調査を行い、船舶推進に関わる動力、負荷及び熱効率についての理解を深めた。
大阪大学 船の技術史	「船の技術史」の一部として実施。大阪大学の1年生を主対象に、船舶技術史についての11回の学内座学講義の仕上げとして、練習船海神丸により大阪湾内を日帰り航海する乗船実習を行った。専門教育でなく、海事に関する一般に実際に触れることで、我が国経済を支える船舶の歴史に関する理解と関心を深めることを目的とした。具体的には、大阪大学船舶海洋工学部門の教員約1名が受講生約17名に対し、船上で実地教育を行った。船舶の操縦および海上交通ルール、海象などについて船橋で、船舶の推進動力について機関室で、船舶の避難設備について甲板上などで解説を行った。また、学生ホールで必要な座学講義も行った。
明石工業高等専門学校 専攻科特別講義	専攻科特別講義の一部として実施。本講義は、技術者としてのバックグラウンドを広げるためには、専門分野だけに止まらず専門分野外についても積極的に学び、種々の開発や研究のプロセスを学ぶことにより、技術分野を超えて普遍的な考え方と柔軟な開発対応力を養成する科目である。本講義のまとめとして、神戸大学海事科学部の練習船「海神丸」に乗船し船内演習を通して、造船・航海・通信・港湾・都市計画等、幅広い最新の科学技術について学んだ。

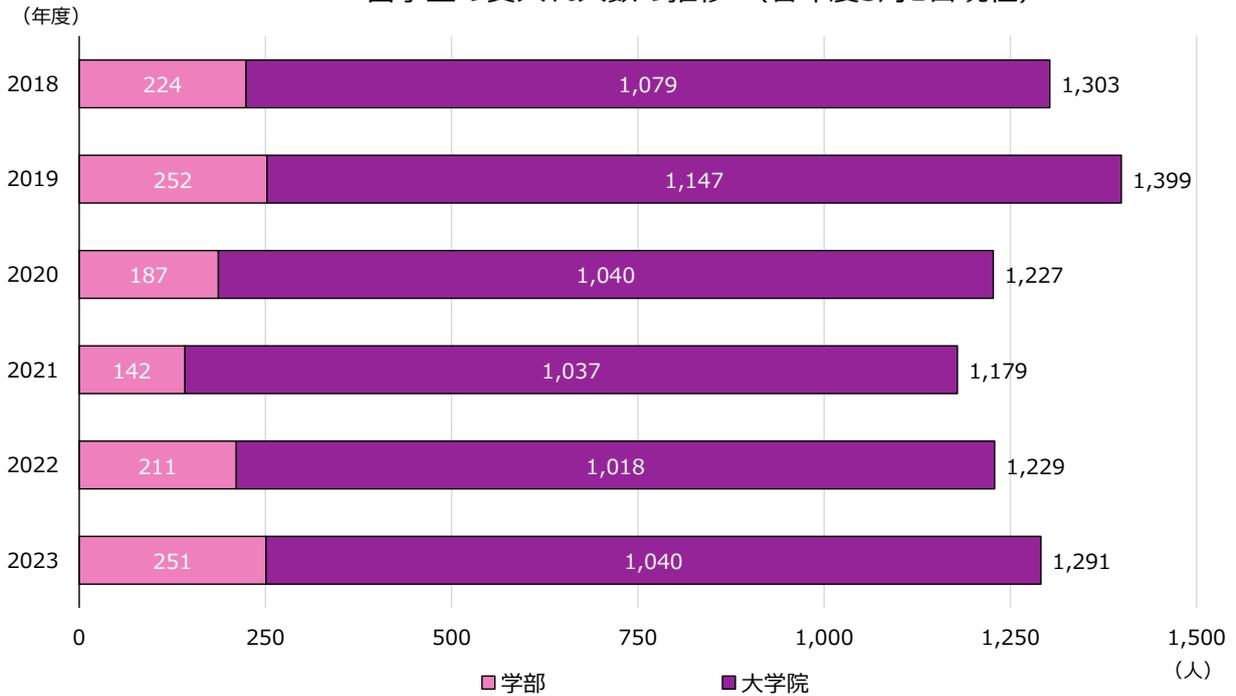
20. 留学

20-1 外国人留学生受入れ状況 — 在籍段階別 —

○ 2020年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により留学生の受入れが減少したが、本学においては2022年度、2023年度と受入れが回復している。

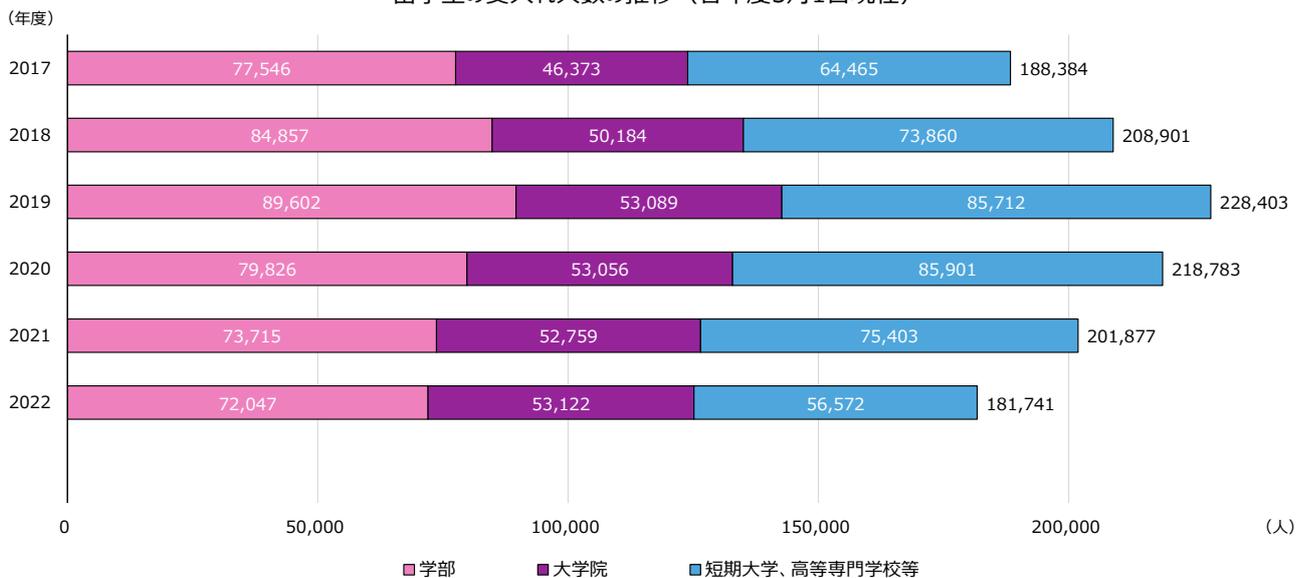
◆神戸大学◆

留学生の受入れ人数の推移（各年度5月1日現在）



◆全国◆

留学生の受入れ人数の推移（各年度5月1日現在）



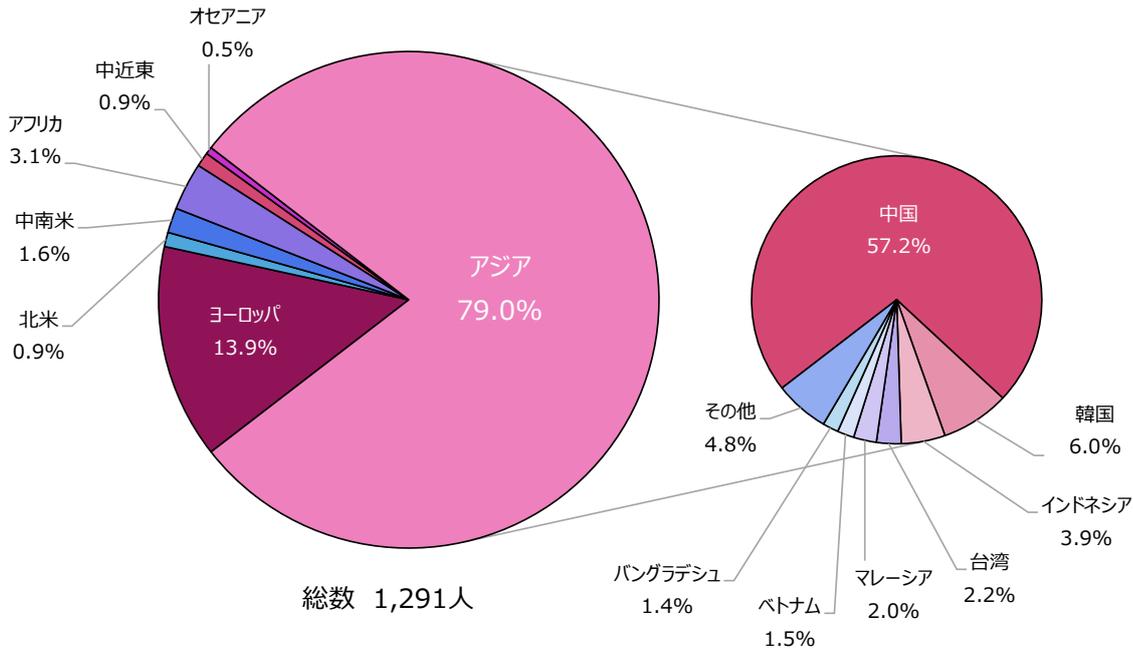
出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

20-2 外国人留学生受入れ状況 — 地域別 —

○ 留学生の出身地域別割合を全国と比較すると、ヨーロッパ出身の留学生の割合が高く、2023年度には新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復している。

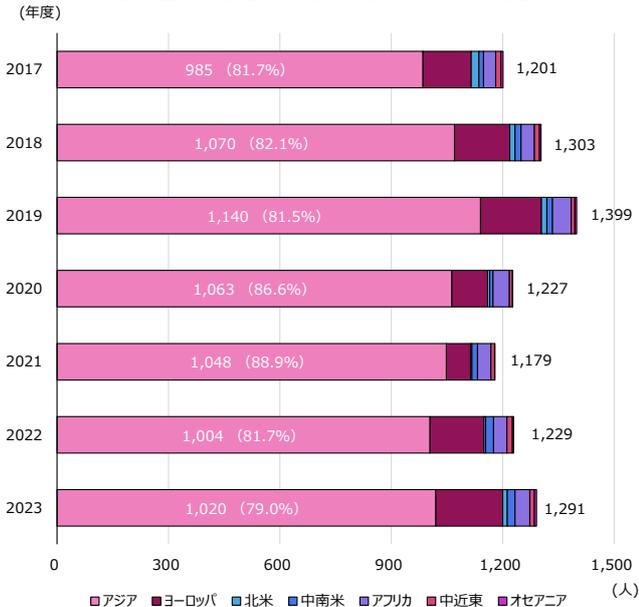
◆神戸大学◆

受入れ留学生数の地域別割合（2023年5月1日現在）



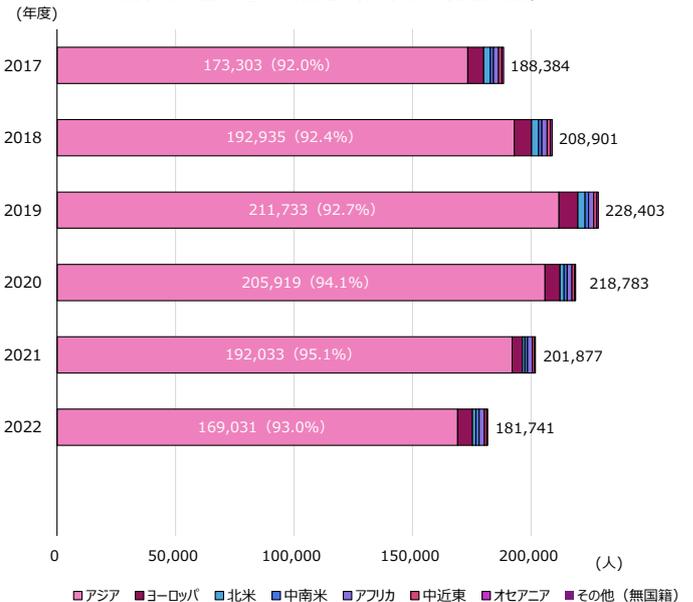
◆神戸大学◆

留学生の出身地域別割合（各年度5月1日現在）



◆全国◆

留学生の出身地域別割合（各年度5月1日現在）



出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

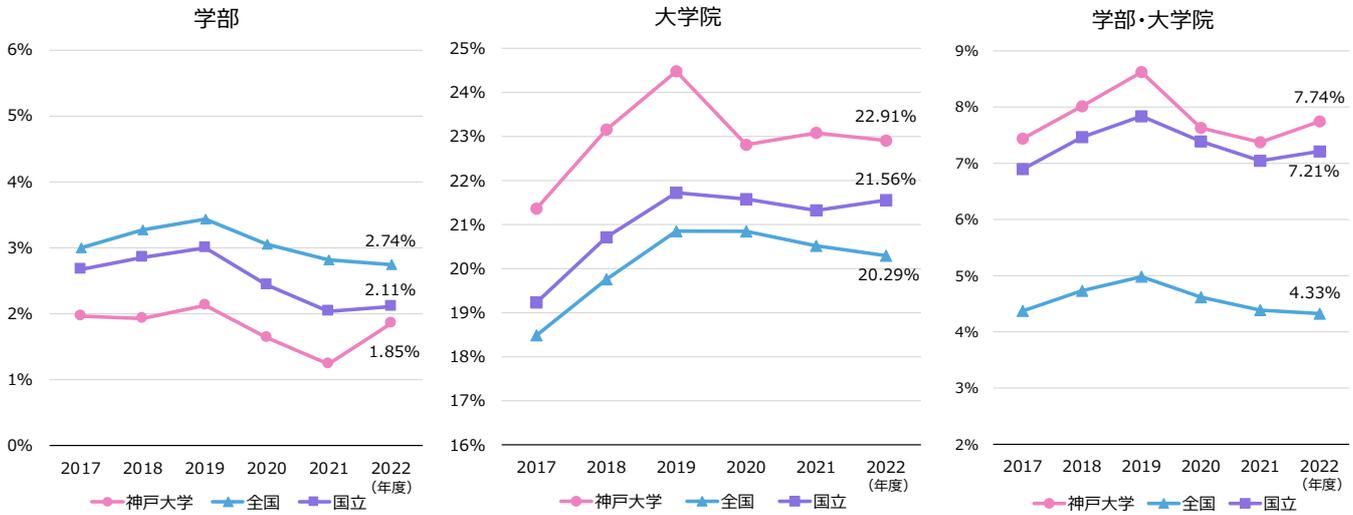
※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

※ 全国の留学生には、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、準備教育課程の留学生を含む。

※ 小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

20-3 在籍学生に占める外国人留学生の比率

○ 本学の学部留学生の割合は全国の大学及び国立大学よりも低いものの、大学院留学生の割合は高くなっている。

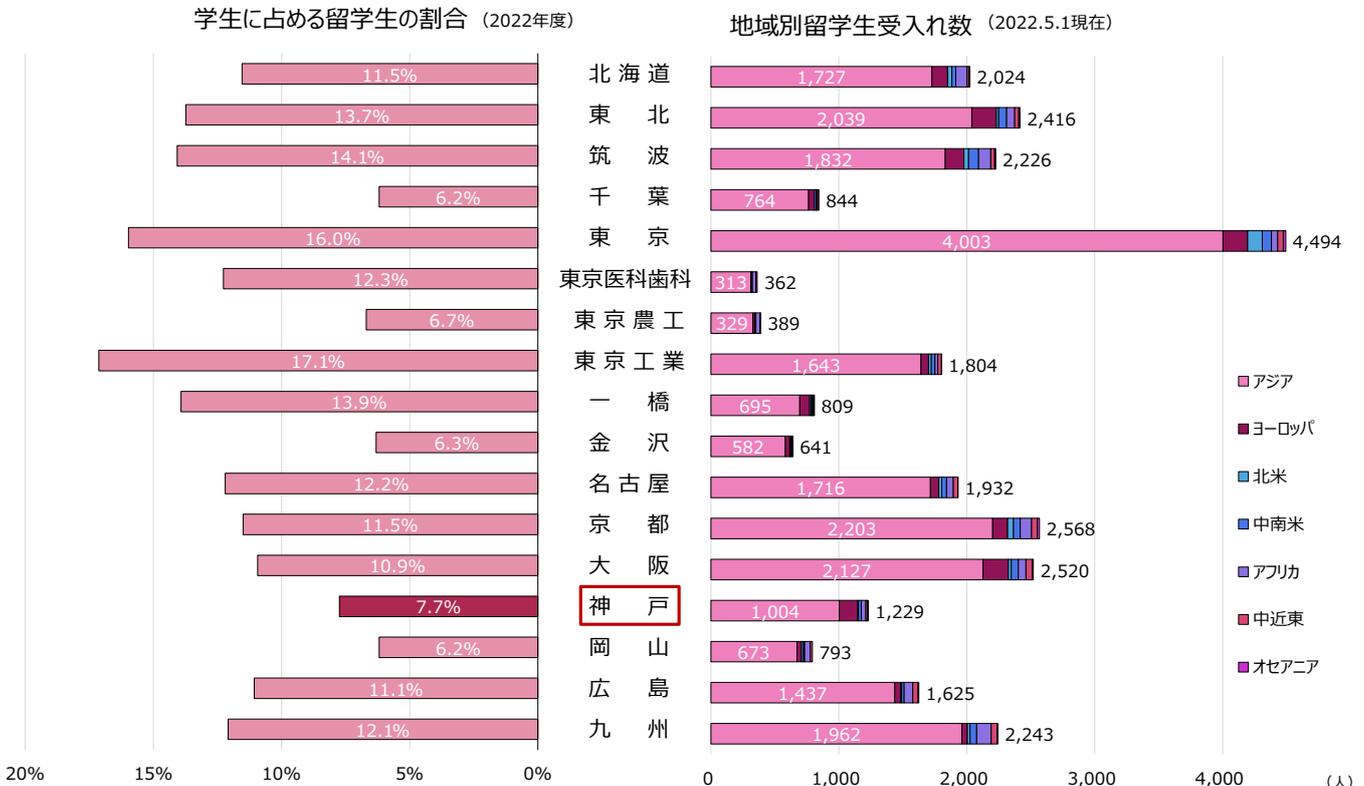


出典 (全国・国立) : (留学生数) JASSO「外国人留学生在籍状況調査」、(学生数) 文部科学省「学校基本調査」

※留学生比率 (学部・大学院留学生比率) = (学部留学生数 + 大学院留学生数) ÷ (学部学生数 + 大学院学生数) × 100

20-4 17大学の外国人留学生受入れ状況

○ 本学の学生に占める留学生の割合は7.7%であり、17大学間の比較では低い割合となっている。



出典 (学生数) : 大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報 「(7-A) 学生数」 ※別科や専攻科を含む

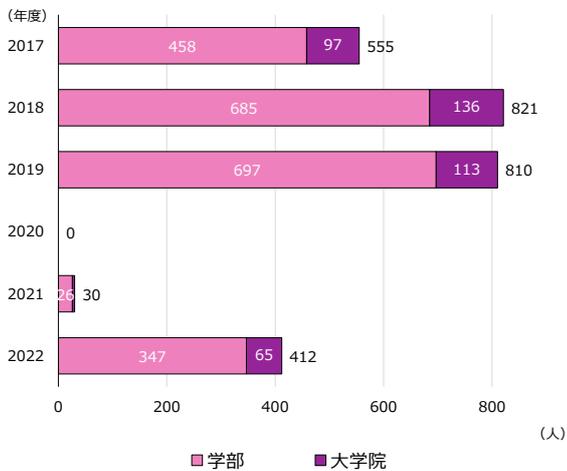
出典 (留学生数) : 大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報 「(11) 国費留学生、私費留学生、留学生以外の外国人学生」 ※留学生以外の外国人学生は含まない

※留学生の割合 = (学部留学生数 + 大学院留学生数) ÷ (学部学生数 + 大学院学生数) × 100

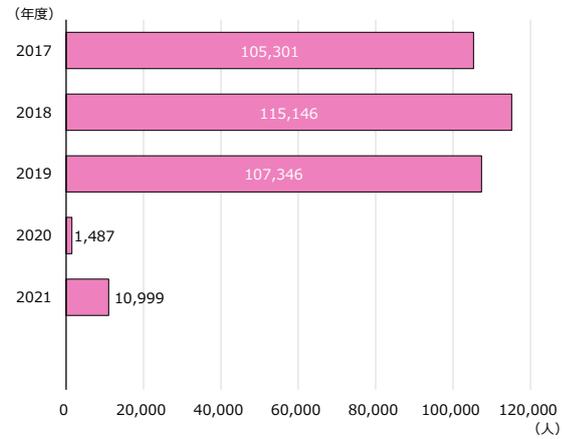
20-5 学生の海外派遣状況 — 在籍段階別 —

○ 新型コロナウイルス感染症蔓延により2020年度、2021年度と派遣人数は激減した。しかしながら、2022年度の本学の派遣人数は2019年度の半分程度まで回復した。

◆神戸大学◆



◆全国◆



出典（全国）：JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

※各年度4月1日～3月31日に派遣した人数。

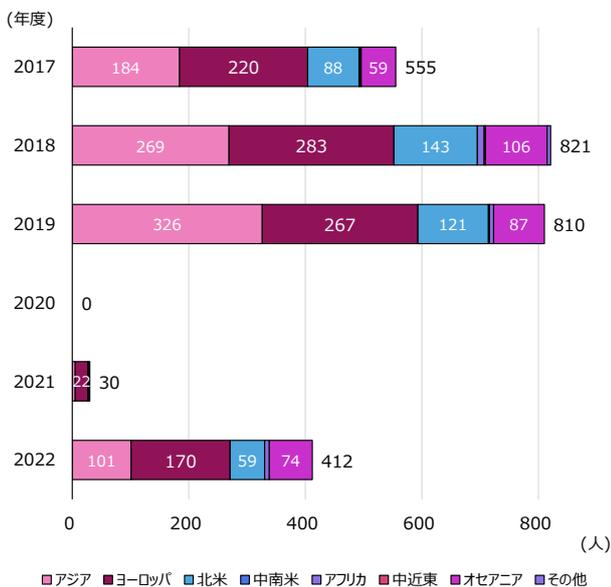
※神戸大学（左）…単位授与を伴うプログラムに基づくもの。

※全国（右）…協定等に基づく日本人留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況（在籍大学等把握分）の合計。

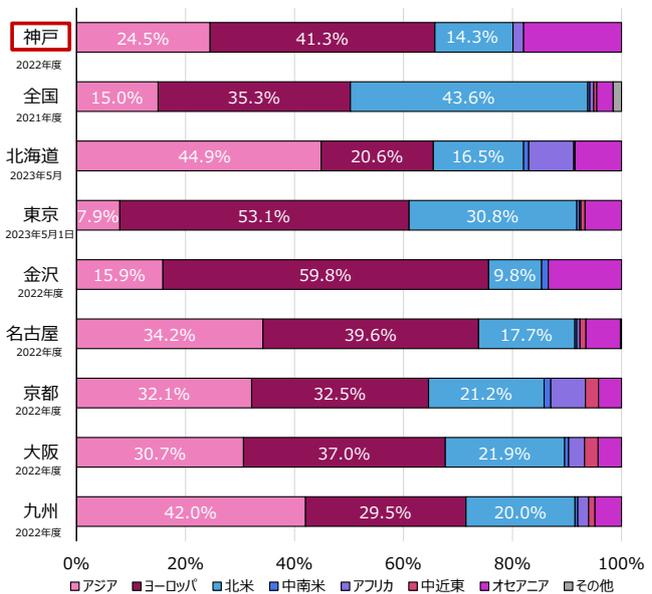
20-6 学生の海外派遣状況 — 地域別 —

○ 学生の海外派遣数について、その地域別割合を見ると（右図）、神戸大学は相対的にヨーロッパやオセアニアへの派遣比率が高く、一方で北米への派遣比率が低めになっている。

◆神戸大学◆



◆各大学◆



出典（全国）：JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

※「協定等に基づく日本人学生派遣数」を参考として記載されている「協定等に基づかない日本人学生留学状況（在籍学校において把握している限り）」の合計。

出典（各大学）：各大学のHP等

※各大学のグラフ内には、比較的割合の大きいアジア、ヨーロッパ、北米の割合のみ記載している。

※以下のとおり、大学によって定義が異なるので、単純比較はできない。

北海道大学…一人が一度に複数か国に留学した場合には、各国1名としてカウントしている

東京大学、金沢大学、大阪大学…定義の記載なし

名古屋大学…海外留学の種類・目的は交換留学、研究、語学研修、学位取得等

京都大学…令和4年度中に出発した渡航のうち、観光・帰省等の学修を伴わない私事渡航を除いた数

神戸大学…単位授与を伴うプログラムに基づくもの

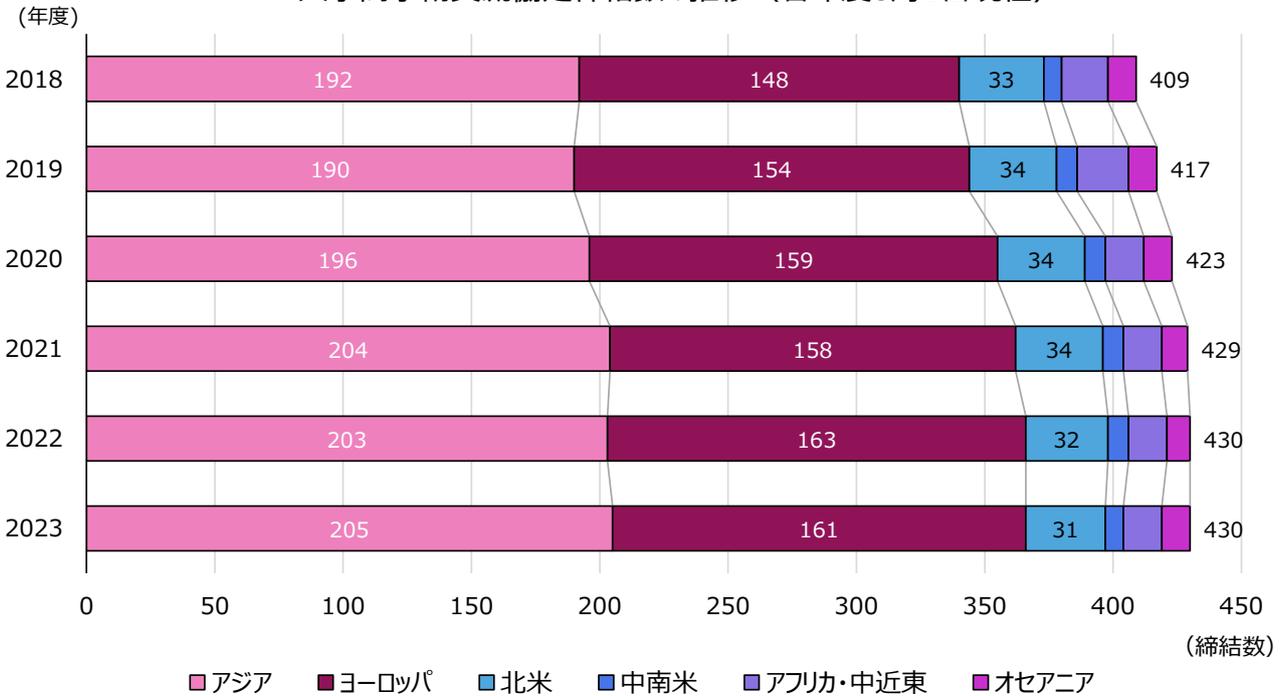
九州大学…外国人留学生を含む総数

21. 海外大学との交流状況

21-1 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

○ 大学間学術交流協定締結数は近年、アジア、ヨーロッパが全体の8割超を占めている。

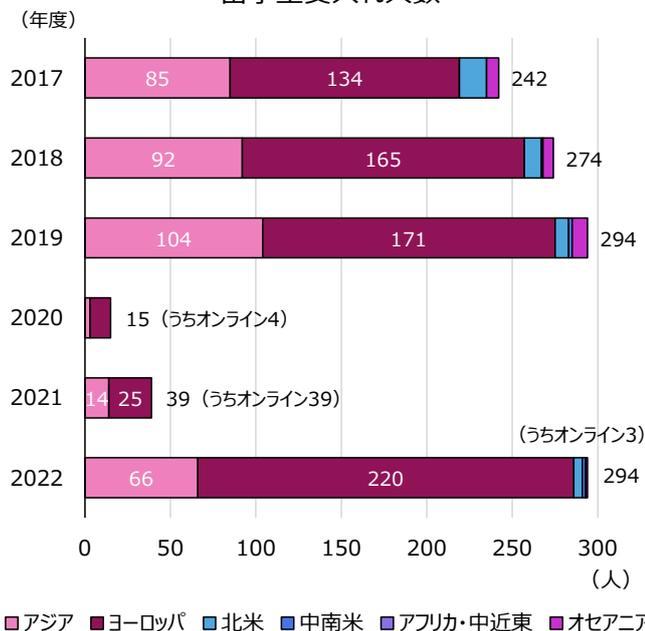
大学間学術交流協定締結数の推移（各年度5月1日現在）



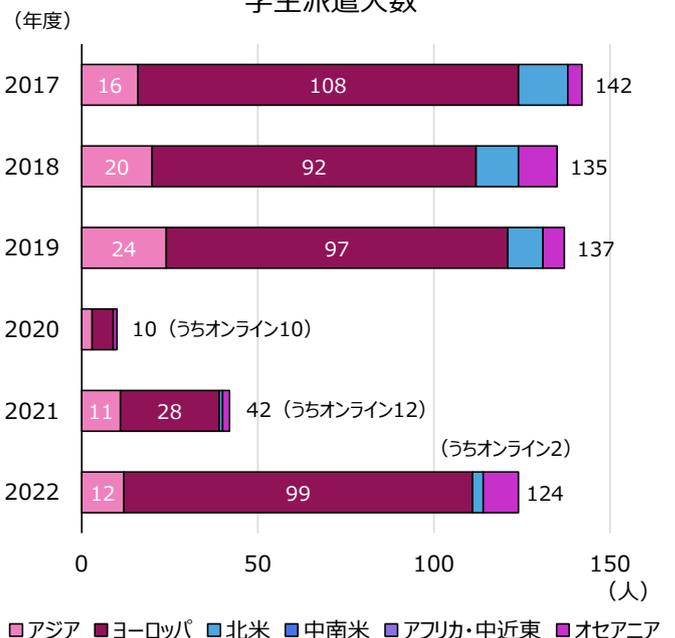
21-2 大学間学術交流協定に基づく留学生受入れ・学生派遣状況

○ 2019年度までは大学間学術交流協定数の伸びと同調して、留学生受入れ人数は増加していた。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、受入れ・派遣ともに激減したが、2021年度はオンラインの活用等により受入れ・派遣ともにやや人数が回復し、2022年度はほぼ2019年度以前の水準に戻っている。

留学生受入れ人数



学生派遣人数



21-3 ダブルディグリープログラムによる交流学生数

○ 修士課程における派遣・受入れ人数が大部分を占める。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により派遣・受入れともに減少傾向にあったが、2022年度は2019年度以前の水準に戻つつある。

○神戸大学におけるダブルディグリープログラム実施状況（2023年3月31日現在）

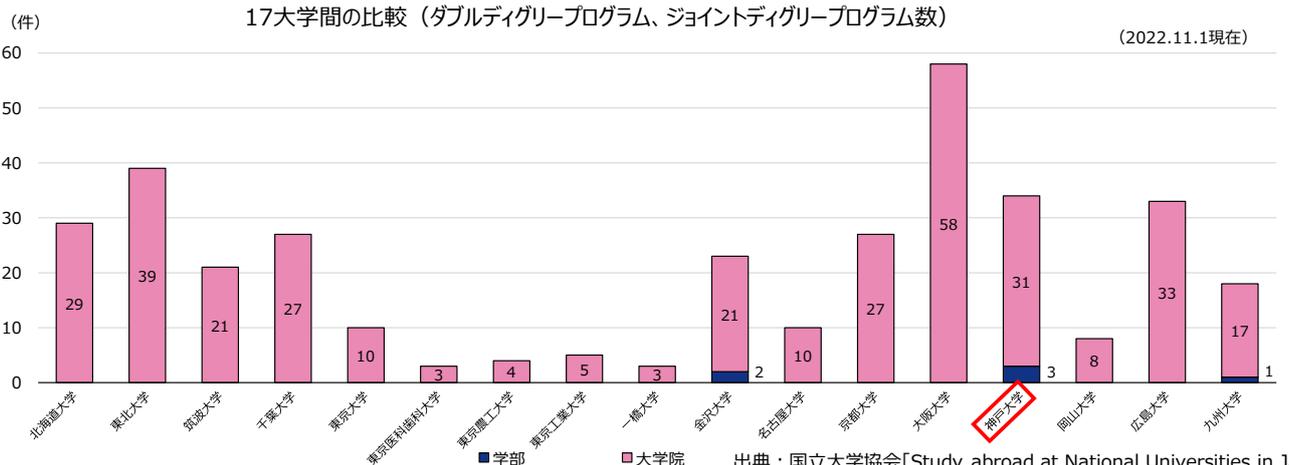
実施部局名	共同設置機関国	共同設置機関校	先方における関係部局	課程	派遣										受入											
					2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023		
人文学研究科	中国	北京外国語大学	北京日本学術センター	修士	0	1	1	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際文化学術研究科	ベルギー	ルーヴン大学	MAES	修士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	
	中国	浙江大	人文学院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イタリア	ナポリ東洋大	-		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	2	0	0	0	0	0	
	フランス	パリ大	地理・歴史・社会科学研究科		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	1	2	0	0	0	0	
	ドイツ	ハンブルク大	人文科学部アジア・アフリカ研究所		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
フランス	フランス国立東洋言語文化学院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
法学研究科	英国	エッセクス大	政治学部	修士	-	1	1	0	1	0	0	0	0	0	-	2	2	0	1	1	0	0	1	0	0	
オランダ	ヤグロ大	ヨーロッパ研究センター	-		1	1	1	0	1	0	0	0	0	-	2	1	3	0	3	0	0	0	0	0	1	
ベトナム	貿易大 ※	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	-	-	-	-		
経済学研究科	ベルギー	ルーヴン大	ヨーロッパ研究センター 人文学部・経済経営学部	修士	-	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1
	ベトナム	貿易大 ※	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	2	0	0	0	0	-	
	英国	エッセクス大	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	-	
	中国	北京外国語大	北京日本学術センター		修士 (受入れのみ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	5	1	2	3	5	5	3	5	
	中国	武漢大	外国語文学部日本語学		修士 (受入れのみ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	4	2	2	4	0	3	2	3	
	ベトナム	貿易大	日本語学		修士 (受入れのみ) の3年度編入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	1	1	2	0	0	
経営学研究科	英国	シェフィールド大	マネジメントスクール	博士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ベトナム	貿易大 ※	-	修士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-		
医学研究科	インドネシア	ガジャマダ大	医学部	博士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-		
	タイ	マヒドン大	シリワット病院医学部		0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-		
	インドネシア	パジャジャラン大	医学部		0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-		
保健学研究科	インドネシア	ガジャマダ大	医・公衆衛生・看護学部	修士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	タイ	チュムロンコン大	看護学部		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
工学研究科	インドネシア	シアクラ大	-	修士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
国際協力研究科	インドネシア	インドネシア大	経済学研究科	修士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4	2	2	3	0	0		
		ガジャマダ大	経済経営研究科		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	2	1	2	2	0	0	
		都市工学系研究科	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	0	0	0	
		政治学研究科	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	1	1	1	0	0	
	パシフィック工大	建築計画政策開発研究科	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	0	0		
	韓国	高麗大	国際大学院		2	3	0	3	3	3	2	3	5	3	2	3	1	1	2	5	2	0	0	0	2	
	中国	復旦大	国際関係・公共事務学院		2	4	0	2	0	2	3	2	2	1	2	3	0	3	2	2	2	0	0	0	0	
	ベトナム	貿易大 ※	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	
	英国	イーストアングリア大	国際開発学部		0	2	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英国	ロンドン大アジア・アフリカ研究学院	-		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
英国	サセックス大	教育社会福祉学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
米国	ピッツバーグ大	公共国際関係学研究科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
海事科学研究科	ナミビア	ナミビア大	人文社会学部	博士 (コチナ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	0		
	フランス	パリ大	社会人文学部		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	ベルギー	ブリュッセル自由大 (蘭語系)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計					4	10	4	8	7	11	9	6	7	8	19	15	26	37	26	38	31	24	8	20		

※4研究科（法学・経済学・経営学・国際協力）による、受入れのみの修士課程のダブルディグリープログラム。（2021年7月経営受入終了）（-）は、募集していないことを示す。

21-4 ダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム

— 17大学間の比較 —

○ 国立大学法人運営費交付金の「成果を中心とする実績状況に基づく配分」のグループ分けによる、グループ④及び⑤に属する国立大学17校のうち、神戸大学のダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム数は学部・大学院を合計すると3位であった。

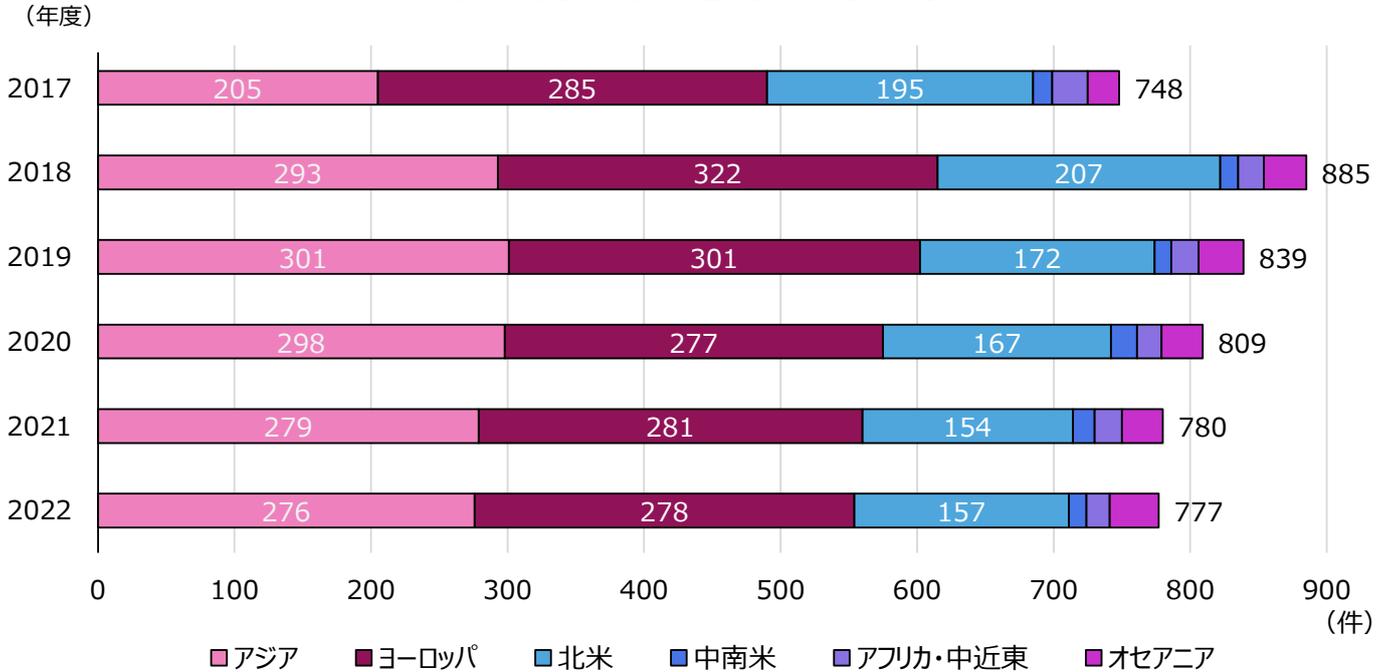


出典：国立大学協会「Study abroad at National Universities in Japan」

21-5 海外研究機関との国・地域別共同研究数

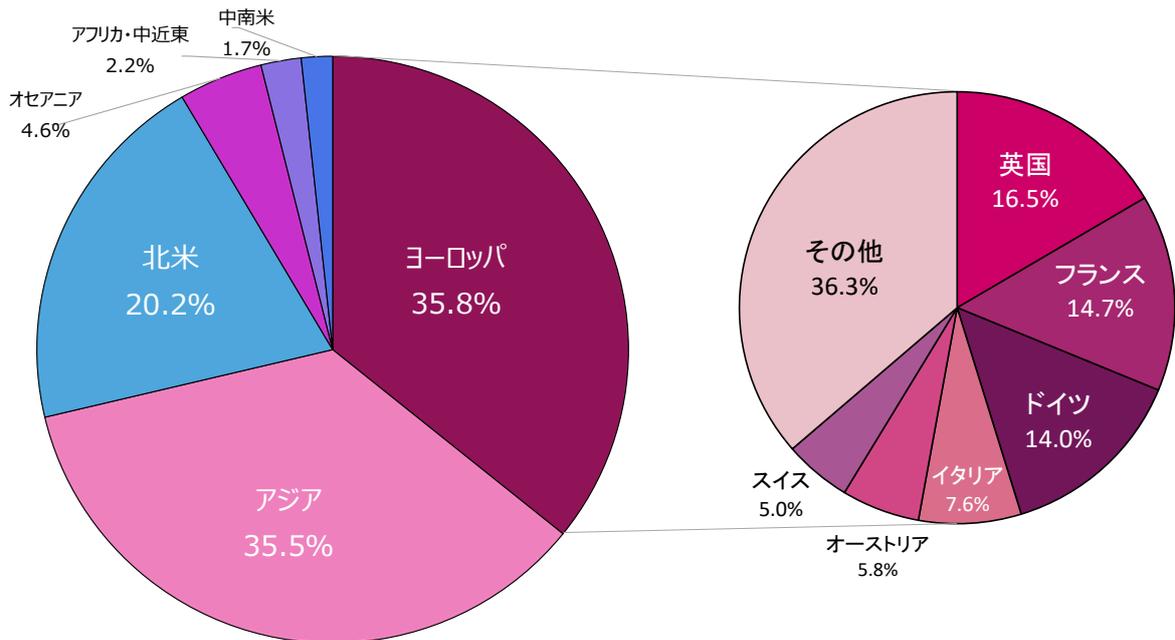
- 海外研究機関との共同研究については、アジア、ヨーロッパ、北米地域との共同研究が全体の9割程度を占めている。
- 地域別ではアジア地域とヨーロッパ地域の共同研究数がほぼ同じ割合となっている。ヨーロッパの国別に見ると、英国、フランス、ドイツの順になっており、その他さまざまな国との研究が進んでいる。

海外研究機関との地域別共同研究数



※海外研究機関とは海外の大学、研究所等を指す。

海外研究機関との共同研究の国・地域別割合（2022年度）

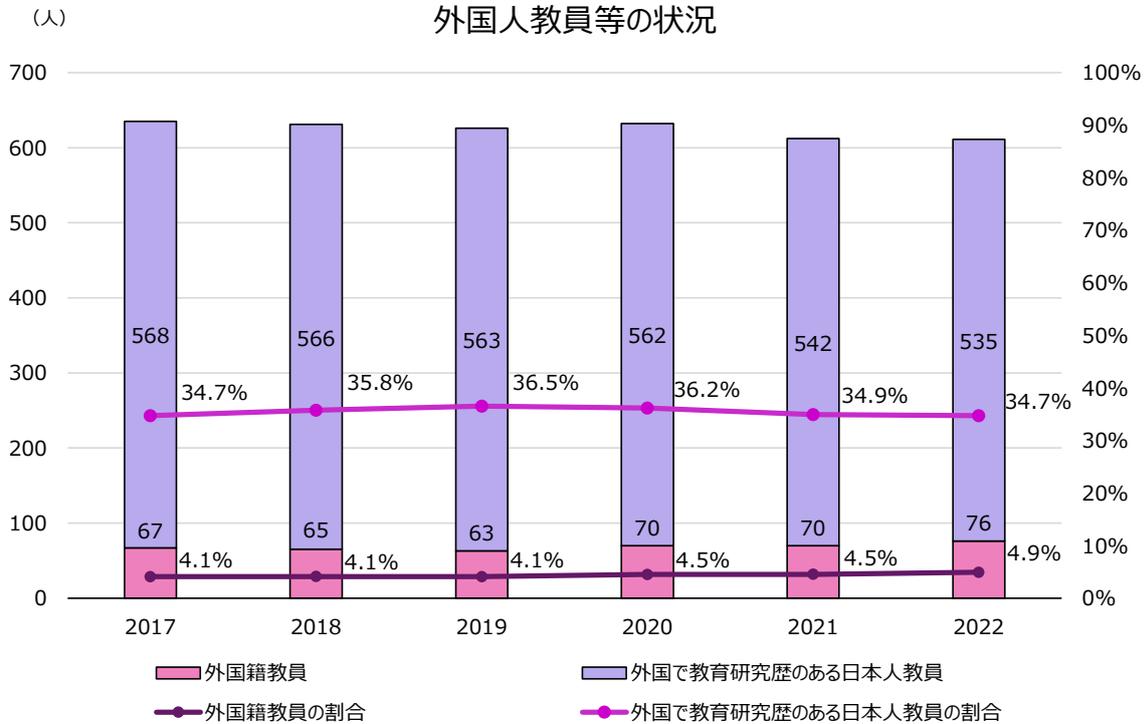


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

22. 外国人教員・研究者等交流状況

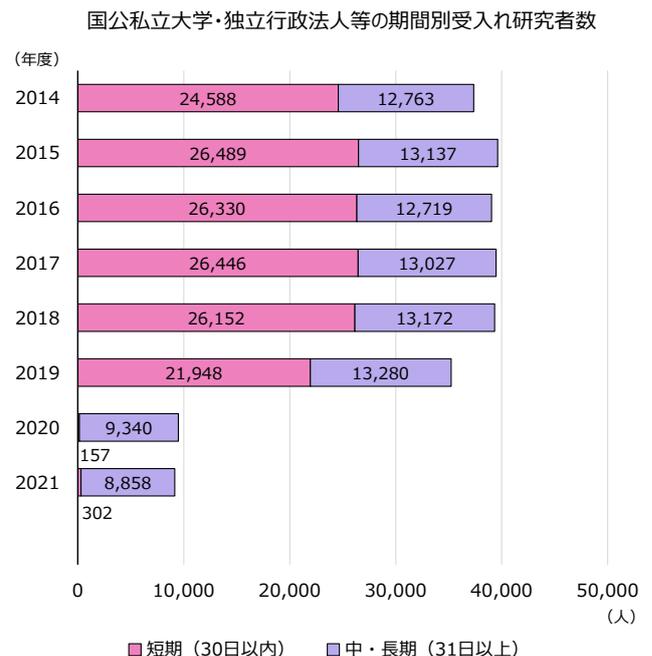
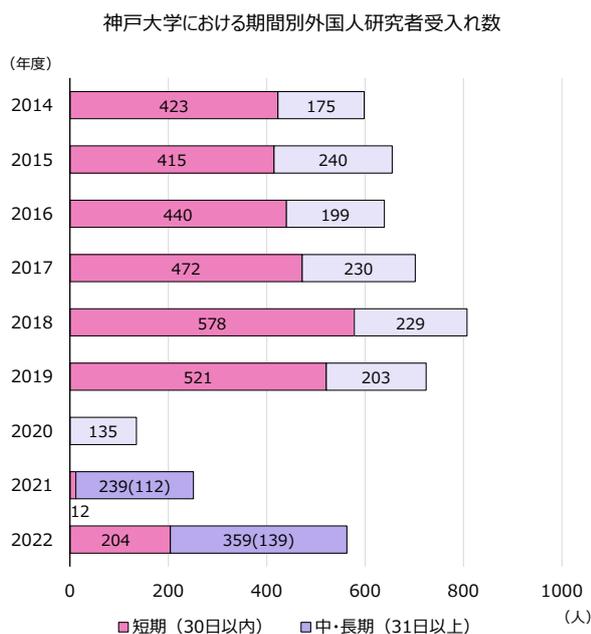
22-1 外国人教員等の状況

- 2022年、外国籍教員数が過去最高となった。
- その一方で、外国で教育研究歴のある日本人教員数は、ここ数年停滞している。



22-2 外国人研究者受入れ数の推移

- 本学における外国人研究者受入れ数については、2014年度以降は600～800名程度を推移していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により短期受入れ数、中・長期受入れ数ともに大幅に減少した。その後、徐々に回復傾向が見られる。

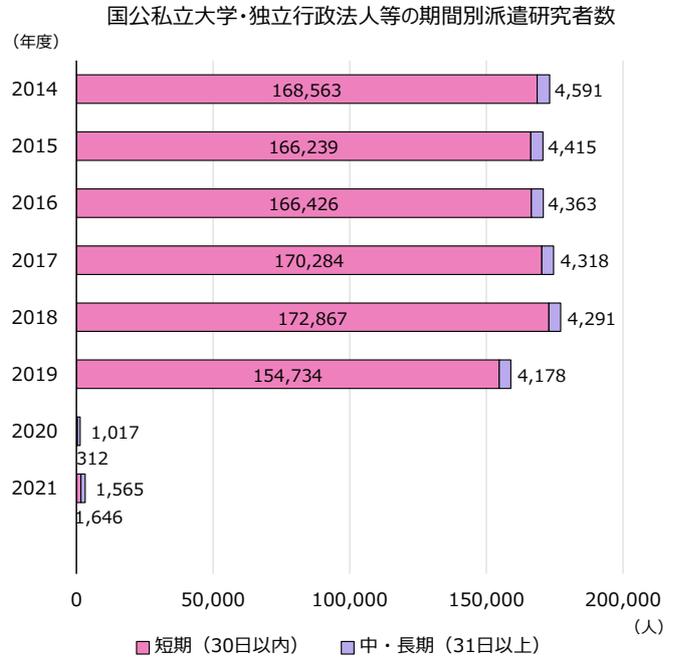
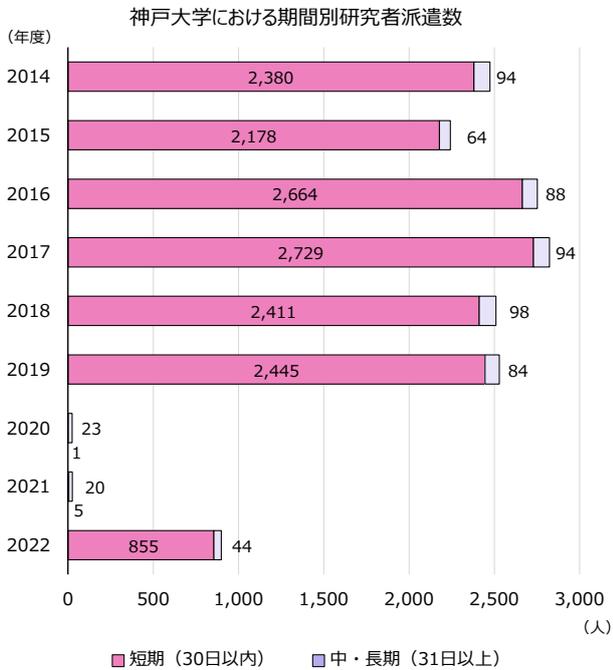


2020年度までは学生を除いた数値、2021年度以降は一部の学生(※)を含んだ数値(括弧内の数字は学生の内数を示す)。
 ※雇用契約を締結し、職務を与え研究に従事している博士課程在籍学生。

出典(右): 文部科学省「国際研究交流の概況」

22-3 研究者海外派遣数の推移

- 本学では、「若手教員長期海外派遣制度」により、中・長期派遣研究者数を毎年安定して派遣している。
- 2016年度以降は、短期派遣研究者数が増加したことにより、全体として研究者の海外派遣数は増加し、近年は2,500人超で推移していたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により短期派遣数及び中・長期派遣数ともに大幅に減少した。2022年度は以前の水準には満たないものの、回復傾向が伺える。



出典（右）： 文部科学省「国際研究交流の概況」

23. 国際化の状況

23-1 スーパーグローバル大学創成支援事業採択大学との比較

○ 本学は、外国での教育・研究経験のある教員の割合が比較的高いが、外国籍の教員の割合や外国人留学生の割合、日本人学生の海外留学者の割合については、他大学と比較すると低い水準である。

①外国籍の教員の割合

順位	大学名	外国籍教員数	専任教員数	外国籍教員の割合
1	東京大学	705	5,901	11.9%
2	広島大学	193	1,825	10.6%
3	大阪大学	362	3,650	9.9%
4	東北大学	291	3,162	9.2%
5	東京工業大学	109	1,187	9.2%
6	北海道大学	208	2,321	9.0%
7	京都大学	278	3,482	8.0%
8	名古屋大学	173	2,295	7.5%
9	筑波大学	137	1,821	7.5%
10	九州大学	161	2,327	6.9%
11	金沢大学	76	1,230	6.2%
12	岡山大学	82	1,478	5.5%
13	千葉大学	70	1,319	5.3%
14	神戸大学	76	1,541	4.9%
15	東京医科歯科大学	15	846	1.8%

(令和4年度実績)

②外国での教育・研究経験のある教員の割合

順位	大学名	外国での教育・研究経験のある教員数	専任教員数	外国での教育・研究経験のある教員の割合
1	広島大学	826	1,825	45.3%
2	九州大学	961	2,327	41.3%
3	神戸大学	611	1,541	39.6%
4	北海道大学	915	2,321	39.4%
5	岡山大学	579	1,478	39.2%
6	東北大学	1,121	3,162	35.5%
7	東京医科歯科大学	269	846	31.8%
8	金沢大学	352	1,230	28.6%
9	大阪大学	1,041	3,650	28.5%
10	名古屋大学	647	2,295	28.2%
11	千葉大学	350	1,319	26.5%
12	筑波大学	472	1,821	25.9%
13	東京大学	1,398	5,901	23.7%
14	東京工業大学	278	1,187	23.4%
15	京都大学	599	3,482	17.2%

(令和4年度実績)

③外国での教育・研究経験のある教員1人当たりの学生数

順位	大学名	全学生数	外国での教育・研究経験のある教員数	外国での教育・研究経験のある教員1人当たりの学生数
1	東京医科歯科大学	3,112	269	11.57
2	東北大学	18,083	1121	16.13
3	広島大学	15,601	826	18.89
4	九州大学	18,905	961	19.67
5	北海道大学	18,094	915	19.77
6	東京大学	28,691	1,398	20.52
7	岡山大学	13,315	579	23.00
8	大阪大学	23,943	1,041	23.00
9	名古屋大学	16,119	647	24.91
10	神戸大学	16,328	611	26.72
11	金沢大学	10,290	352	29.23
12	筑波大学	17,066	472	36.16
13	東京工業大学	10,647	278	38.30
14	京都大学	23,048	599	38.48
15	千葉大学	14,031	350	40.09

(令和4年度実績)

④外国人留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	外国人留学生数	全学生数	外国人留学生の割合
1	東京工業大学	1,845	10,647	17.3%
2	東京大学	4,651	28,691	16.2%
3	筑波大学	2,544	17,066	14.9%
4	東京医科歯科大学	412	3,112	13.2%
5	九州大学	2,473	18,905	13.1%
6	名古屋大学	2,039	16,119	12.6%
7	東北大学	2,201	18,083	12.2%
8	京都大学	2,749	23,048	11.9%
9	北海道大学	2,074	18,094	11.5%
10	大阪大学	2,733	23,943	11.4%
11	広島大学	1,711	15,601	11.0%
12	神戸大学	1,229	16,328	7.5%
13	千葉大学	941	14,031	6.7%
14	金沢大学	677	10,290	6.6%
15	岡山大学	777	13,315	5.8%

(令和4年度実績)

⑤日本人学生の海外留学者の全学生に対する割合

順位	大学名	単位取得を伴う海外留学経験者数	全学生数(外国人留学生除く)	海外留学者の割合
1	千葉大学	1,304	13,089	10.0%
2	東京医科歯科大学	214	2,645	8.1%
3	東北大学	451	15,602	2.9%
4	九州大学	435	16,485	2.6%
5	金沢大学	222	9,599	2.3%
6	広島大学	274	13,865	2.0%
7	東京工業大学	138	8,720	1.6%
8	北海道大学	250	15,984	1.6%
9	岡山大学	192	12,496	1.5%
10	筑波大学	222	14,604	1.5%
11	大阪大学	160	20,989	0.8%
12	東京大学	166	24,073	0.7%
13	神戸大学	30	15,134	0.2%
14	名古屋大学	25	15,771	0.2%
15	京都大学	26	20,586	0.1%

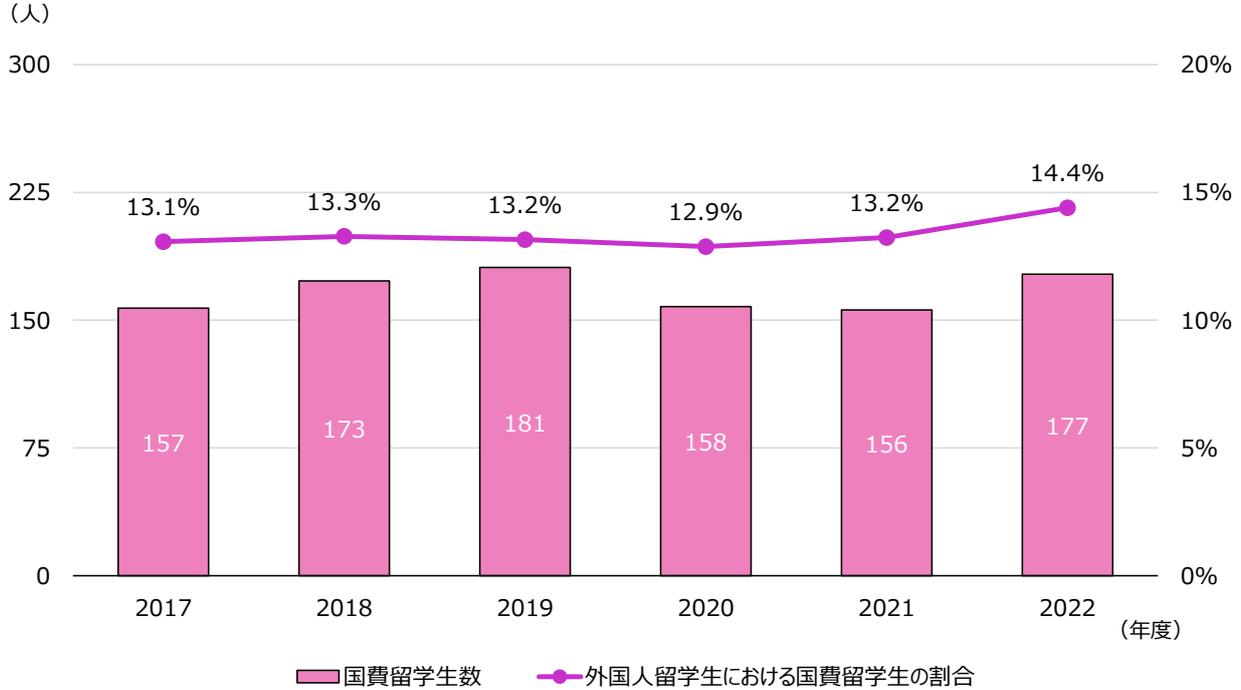
(令和3年度実績)

出典：独立行政法人 日本学術振興会
 「スーパーグローバル大学創成支援事業令和4年度（2022年度）フォローアップ結果」
 ※⑤日本人学生の海外留学者の全学生に対する割合のみ
 令和4年度データが未公開のため、令和3年度のデータを掲載している。
 17大学のうち、事業採択大学と比較
 ※ 外国籍教員数：外国籍の教員のみ
 ※ 外国での教育・研究経験のある教員数：外国籍の教員に加え、国外の大学での学位取得、通算1年以上教育研究に従事した日本人教員を含む
 ※ 外国人留学生：在留資格「留学」の者のみ計上
 ※ 日本人学生の海外留学者数：2021年4月1日から2022年3月31日までに海外の大学において留学を開始した日本人学生数
 ※ 全学生数：非正規課程の学生を含む

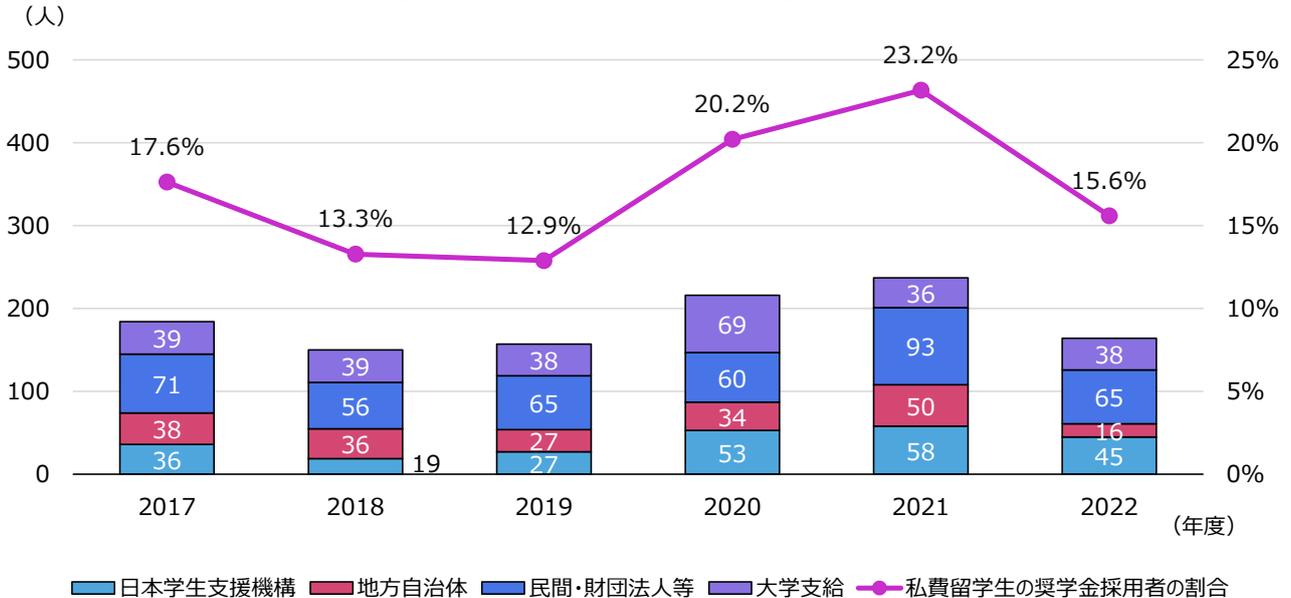
23-2 留学生への経済支援について

- 新型コロナウイルス感染症の影響により国費留学生数（上図）が一時的に減少したが、回復傾向が見られる。
- 奨学金種別で見ると、例年の傾向として民間・財団法人等の採用者数が多い。奨学金の採用者数は増加傾向であったが、2022年度は減少した。

外国人留学生における国費留学生の割合及び国費留学生数



私費留学生の奨学金採用者の割合及び奨学金種別採用者数



※日本学生支援機構による奨学金は「留学生受入れ促進プログラム（旧：文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度）」の採用者数を集計している。

24. 附属病院

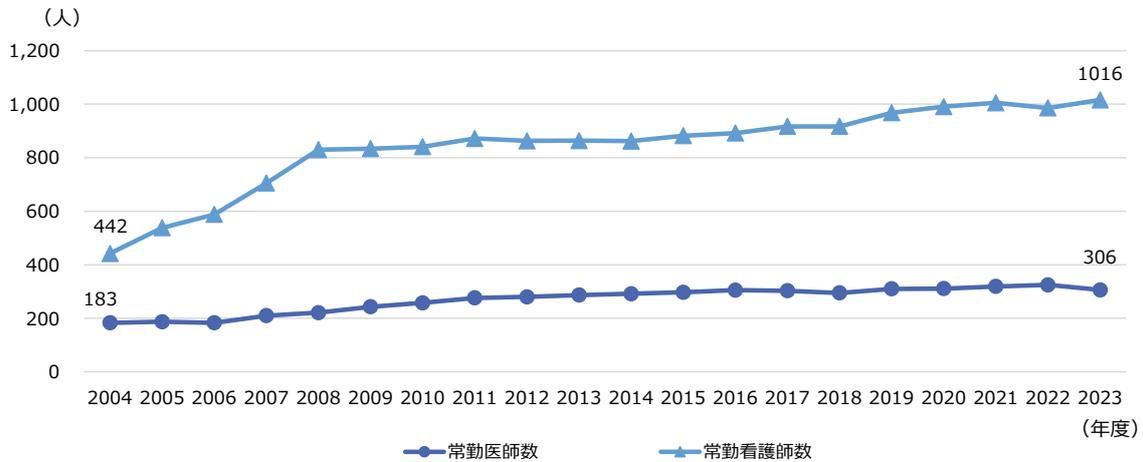
24-1 附属病院の病床数・常勤医師数・常勤看護師数

○ 2017年度に国際がん医療・研究センター（以下、ICCRC）を設置し、病床数が増加した。近年、常勤医師数は300人前後、常勤看護師数は1000人前後を推移しており、2023年度も大きな変化はなかった。

病床数		常勤医師数	常勤看護師数
一般病棟	精神病棟		
1008	46	306	1016
(うちICCRC120床)		(うちICCRC6名)	(うちICCRC46名)

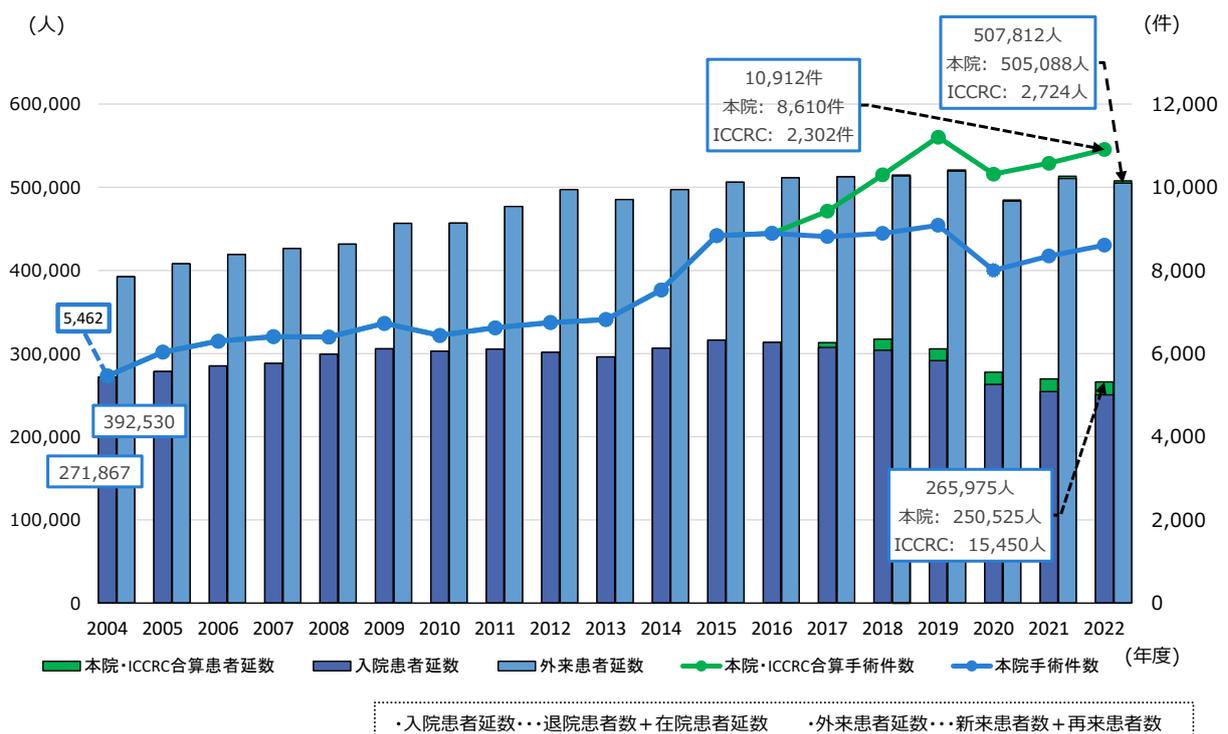
2023年5月1日現在

常勤医師数と常勤看護師数の推移



24-2 附属病院の患者数と総手術件数の推移

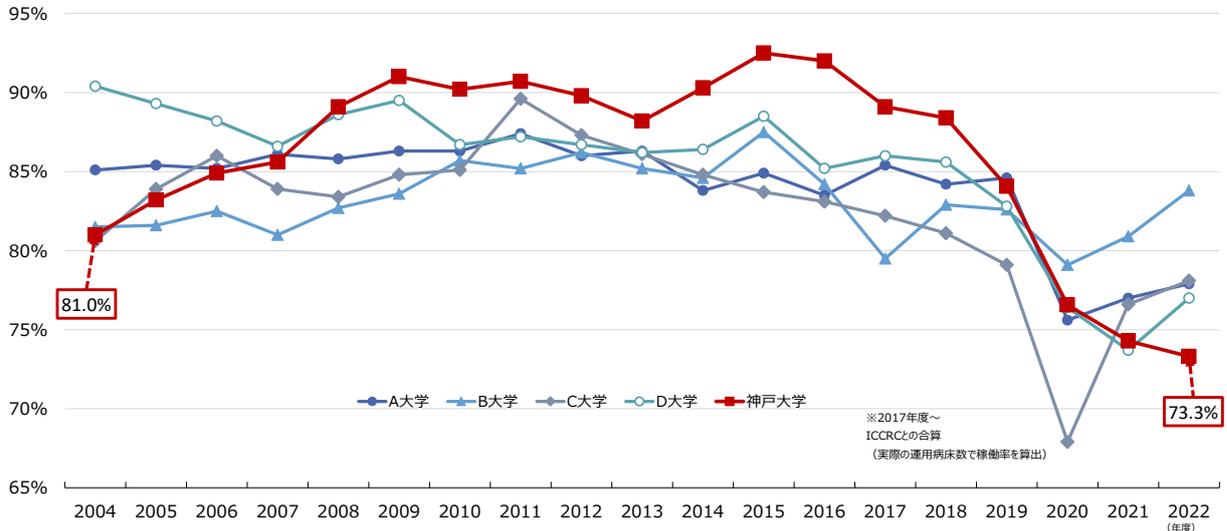
○ 外来患者延数及び手術件数は、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少したが、その後回復傾向である。



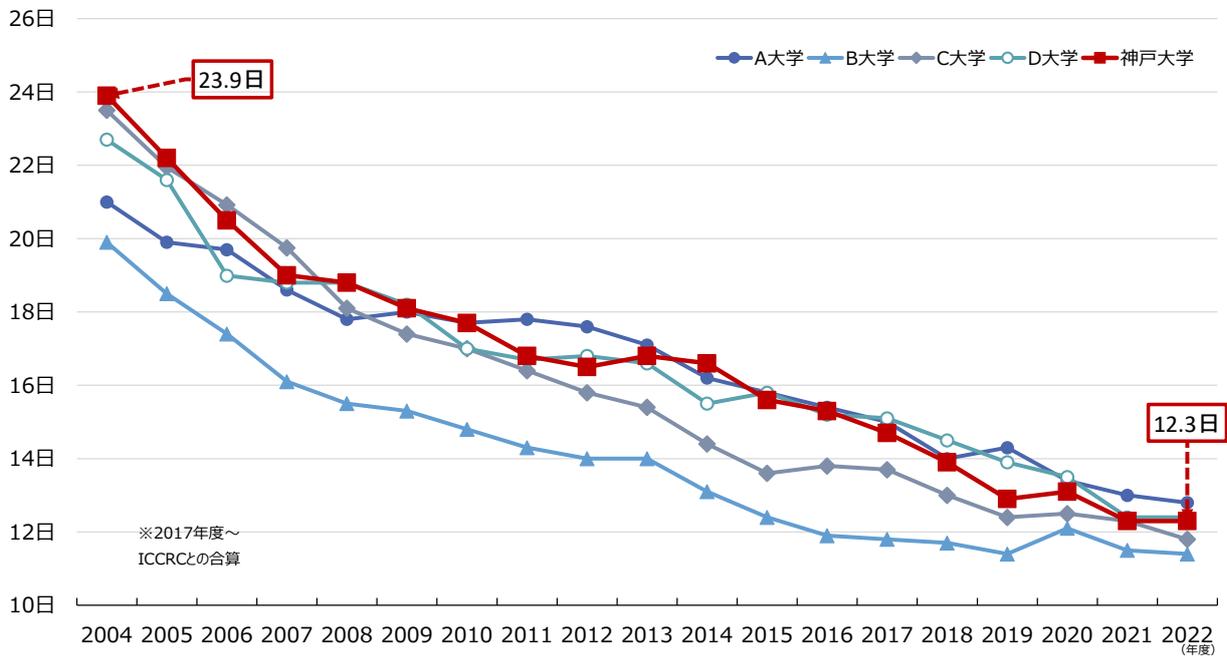
24-3 附属病院の病床稼働率・平均在院日数の推移

○ 本学の病床稼働率（上図）は高い水準にあったが、2019年から下落している。平均在院日数（一般病床）（下図）は12.3日で、5国立大学の附属病院間で比較したところ3位であった。

病床稼働率の推移（2004～2022年度）
病床数が同規模である国立5大学について比較



平均在院日数（一般病床）の推移（2004～2022年度）
病床数が同規模である国立5大学について比較



《参考》

(千円)

大学名	病床数	運営費交付金 (令和4事業年度)	大学名	病床数	運営費交付金 (令和4事業年度)
A大学	1,086床	3,462,985	C大学	999床	5,474,058
B大学	1,020床	2,823,646	D大学	932床	3,387,861
神戸大学	994床	2,801,355			

出典（病床稼働率、平均在院日数（一般病床）、病床数）：この報告に用いたデータは、国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けたものです。（承認番号：170-20230726）

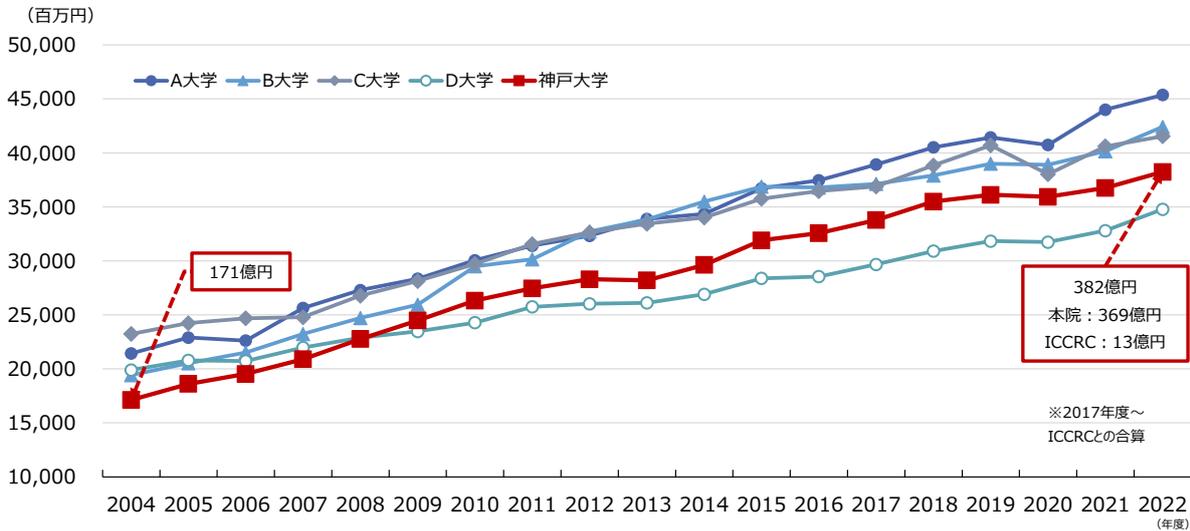
出典（運営費交付金）：各大学の財務諸表(附属病院の運営費交付金収益)

※本学の病床数は2023年6月1日時点の運用病床数

24-4 附属病院の診療報酬請求額の推移

○ 本学の2022年度診療報酬請求額は382億円であり、法人化時（2004年度）の約2.2倍となっている。

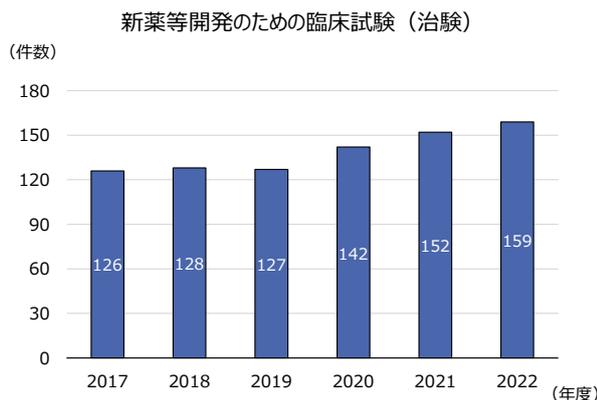
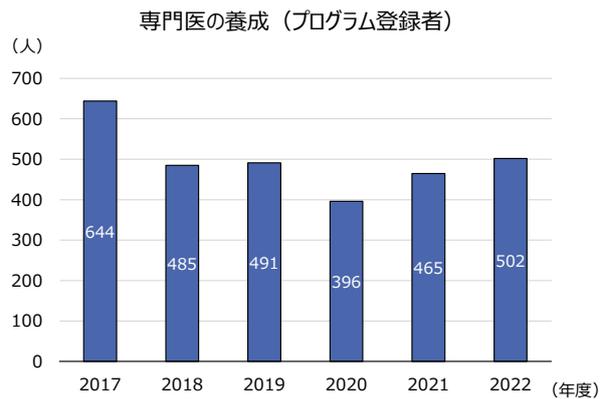
診療報酬請求額の推移（2004～2022年度）
病床数が同規模である国立5大学について比較



出典（診療報酬請求額）：この報告に用いたデータは、国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けたものです。（承認番号：170-20230726）

24-5 附属病院の取り組み —教育・研究への貢献—

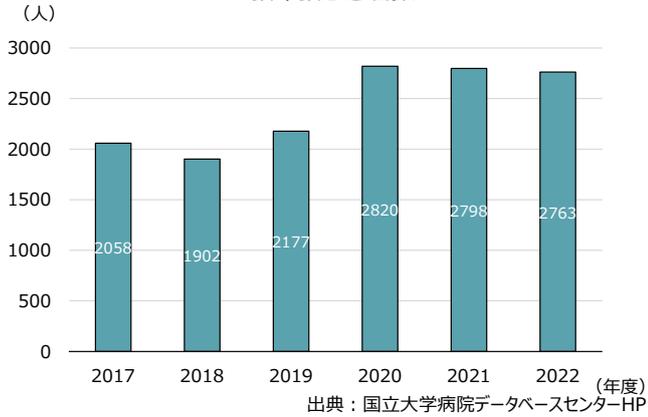
○ 2022年度、本学では初期研修医（左上図）を92人受け入れ、専門医（右上図）を502人養成した。また、新薬等開発のための臨床試験（治験）（左下図）の件数は159件と、近年増加傾向である。



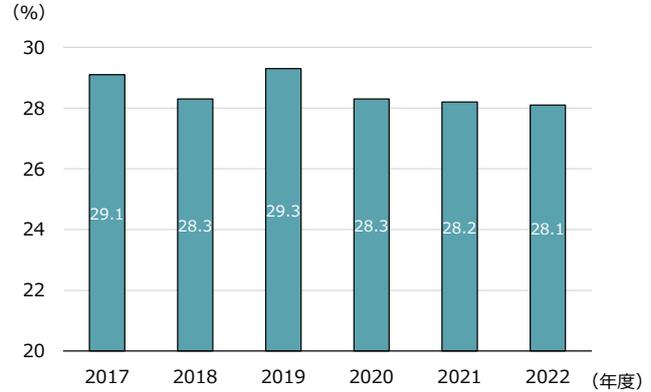
24-6 附属病院の取り組み —地域医療への貢献—

○ 毎年、恒常的に地域医療への貢献に取り組んでいる。中でも、2022年度は「公開講座等（セミナー）の主催数」（左中図）が大きく増加した。

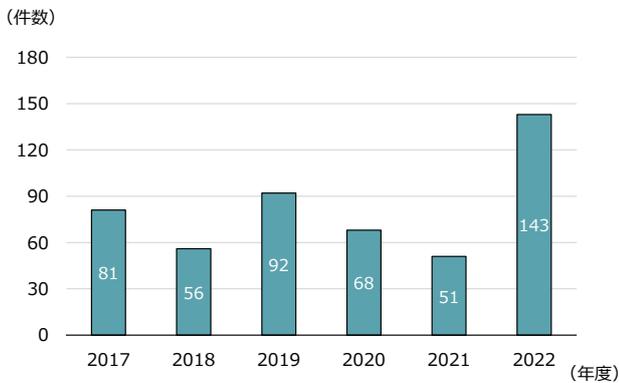
救命救急患者数



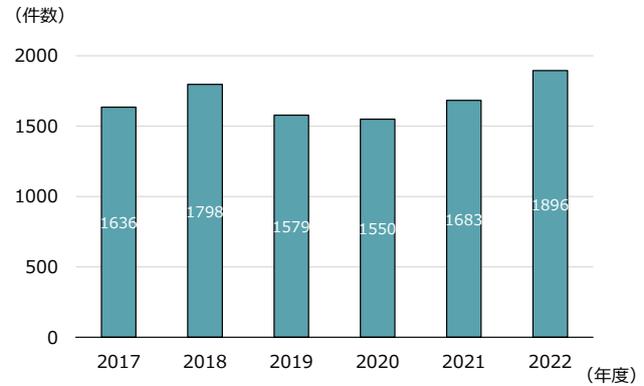
二次医療圏外からの外来患者の割合



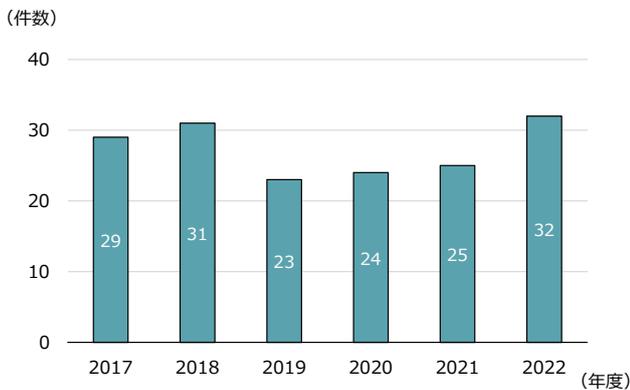
公開講座等（セミナー）の主催数



地域への医師派遣数



地域医療行政への関与件数



25. 附属学校

基本データ

2023年5月1日現在

附属学校園	生徒数	クラス数	教諭数
附属幼稚園	116	6	9
附属小学校	409	12	22
附属中等教育学校	705	18	47
附属特別支援学校	50	8	34
計	1,280	44	112

- 附属幼稚園・小学校
(文部科学省事業)
・2013年度～2016年度 文部科学省 研究開発学校指定
(2017年度～2019年度 文部科学省 研究開発学校延長指定)
- 附属中等教育学校
(文部科学省事業)
・2013年度～2016年度 文部科学省 研究開発学校指定
(2017年度～2019年度 文部科学省 研究開発学校延長指定)
・2015年度～2019年度 スーパーグローバルハイスクール (SGH) 指定
・2020年度～2024年度 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定

中等教育学校卒業生の進路状況

中等教育学校では、2015年3月に初めての卒業生を輩出し、それ以降主に大学等へ進学している。

単位：人

区分	2022年3月卒業			2023年3月卒業		
	男	女	計	男	女	計
国公立大学	23	35	58	25	27	52
海外の大学	0	0	0	0	0	0
私立大学 (大学校含む)	7	13	20	7	27	34
短期大学	0	1	1	0	0	0
各種・専門学校	0	0	0	0	0	0
就職：企業等	0	0	0	0	0	0
就職：公務員	0	0	0	0	0	0
進学準備	20	9	29	22	17	39
卒業生数	50	58	108	54	71	125

【主な進学先】

(国公立大学)
神戸大学、東京大学、京都大学、北海道大学、東北大学、大阪大学、名古屋大学、九州大学、筑波大学、東京工業大学、一橋大学、横浜国立大学、岡山大学、広島大学、大阪公立大学、兵庫県立大学 他

(私立大学)
慶応義塾大学、早稲田大学、上智大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学、神戸薬科大学 他

教育実習等の実施

附属学校部では、神戸大学の学生を中心に教育実習や介護等体験を実施している。

附属学校園	実習の種類	実習者数 (人)
附属幼稚園	教育実習	13
附属小学校		35
附属中等教育学校		67
附属特別支援学校		22
	介護等体験	130

神戸大学day等の開催

【神戸大学day】 2023年5月実施

中等教育学校では、毎年、4・5年生を対象に、神戸大学の12の学部・学科のガイダンスや講義を受講できる「神戸大学day」を実施しており、2023年度は中等教育学校内で対面により開催し、219名の生徒が受講した。

【連携授業】 2022年12月実施

2022年度には、医学部の協力により、連携授業を開催し(神戸大学医学部(楠地区)で実施)、93名の小学生及び中等教育学校生が大学の授業を受講した。



海外交流事業

2015年度より中等教育学校においてSGH (スーパーグローバルハイスクール) 事業として、「グローバルキャリア人の育成」に資するため、国内外の交流事業を行っており、2019年度は延べ192名の生徒を海外に派遣した。

また、附属小学校においても「グローバルキャリア人の基本的資質の育成」を目指し、オーストラリアに児童38名、アメリカ (ハワイ・ホノルル) に児童13名を派遣したほか、フランスのマノスクPACA国際学校に教諭を派遣するなど、2019年度は活発な国際交流事業を展開した。

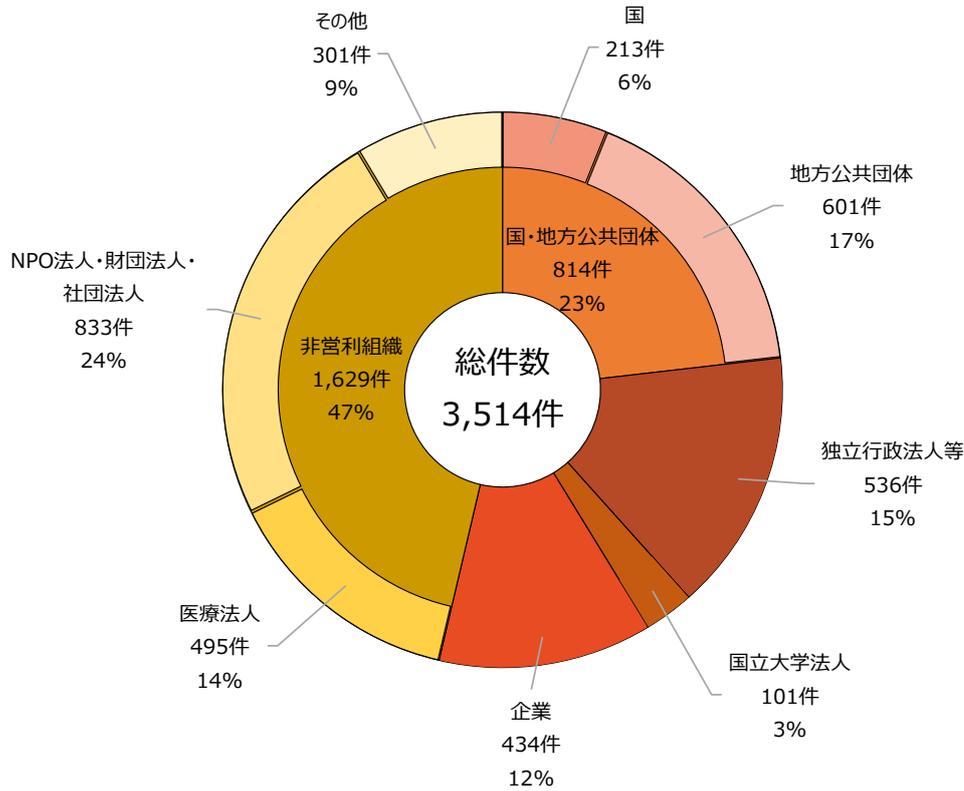
両校とも2020年度以降、新型コロナウイルス感染症のため海外交流事業を実施できていないが、2023年度からの再開に向けて準備を進めている。



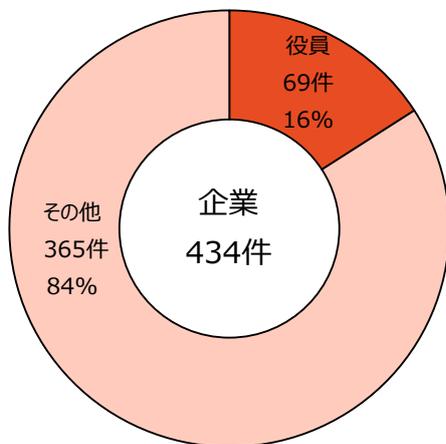
26. 学外機関への参画状況

- 本学教員の学外機関への参画状況（上図）について、国・地方公共団体及び独立行政法人等への参画が38%、企業及び非営利組織への参画が59%となっている。
- 企業への参画件数（下図）434件のうち、69件（16%）は役員としての参画である。

◆組織別参画状況（2022年度）



◆企業への参画状況（2022年度）



※ 小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

※ 2022年度に当該機関から委嘱されているものが対象（2022年以前より継続しているものを含む）。1教員が複数機関から委嘱されている場合については、複数カウントしている。

※ 他大学等で教育に従事する者（非常勤講師等）及び、短期兼業は除く。

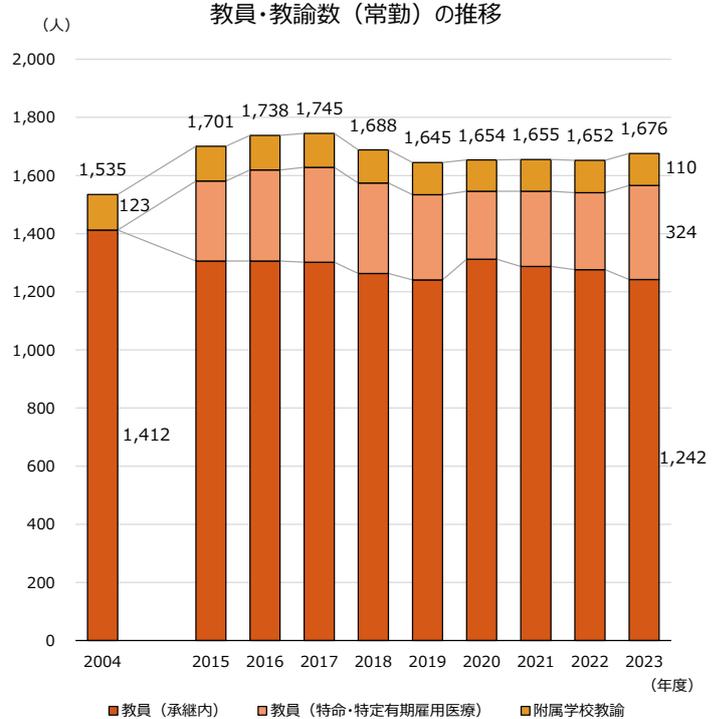
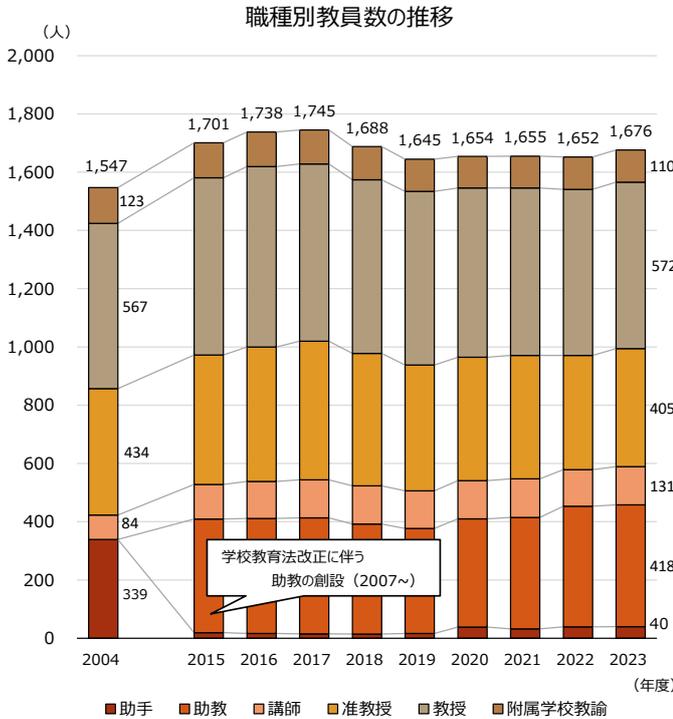
27. 教員

27-1 教員数の推移等

○ 法人化した2004年度と比べ、常勤教員（承継内）は減少し、特命教員及び特定有期雇用医療教員は増加している。

◆教員◆（神戸大学）

各年度5月1日現在

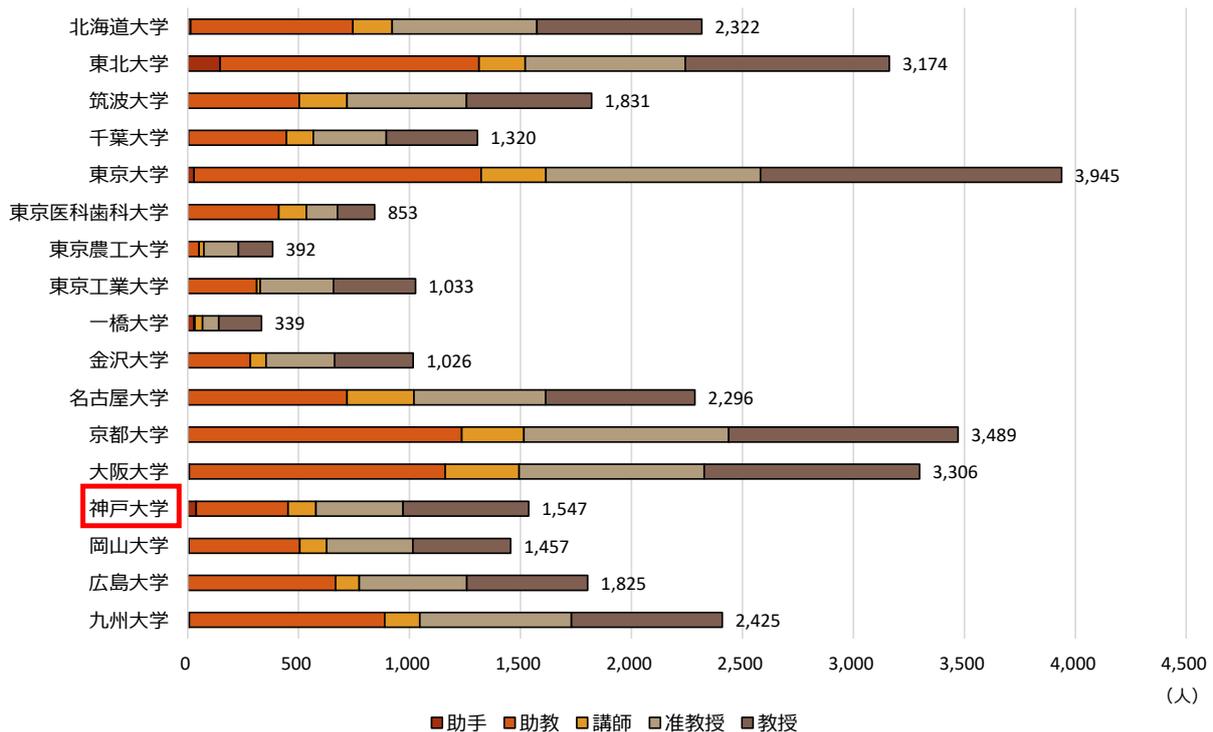


※右図2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。

◆教員◆（全国）

教員数 17大学間の比較

2022年5月1日現在



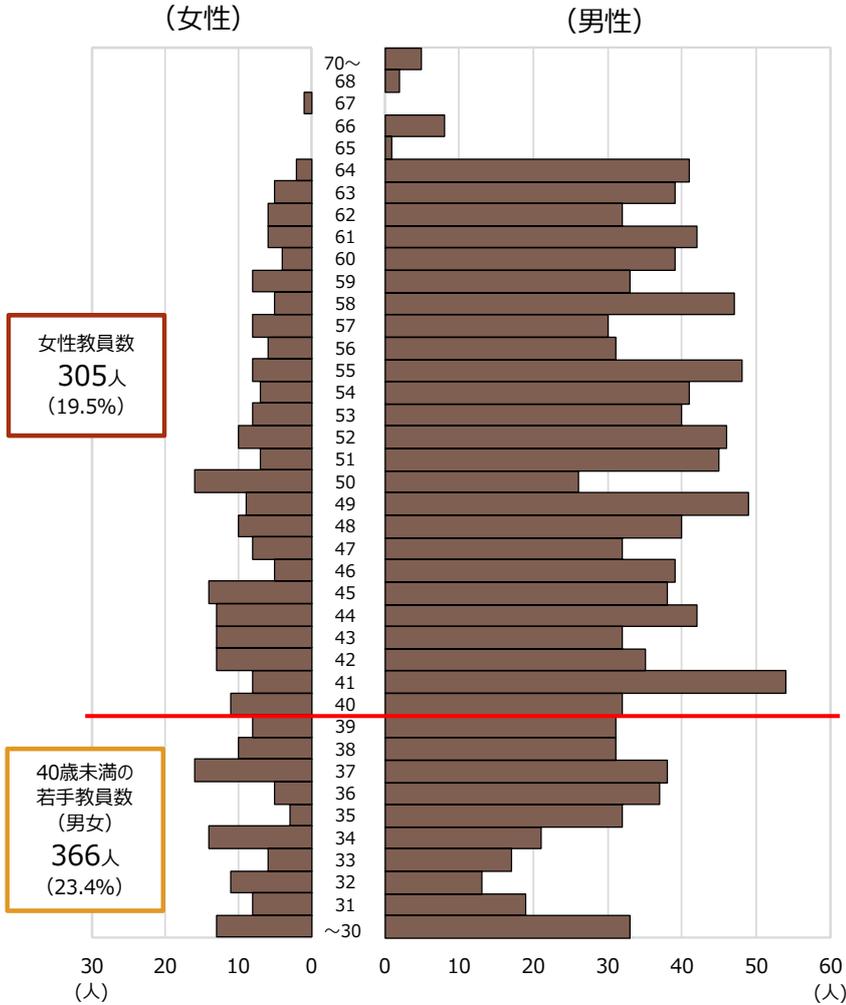
出典：大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」

27-2 若手教員・女性教員等の推移等

- 年齢が高くなるほど男性の比率が高くなっている。
- 40歳未満の若手教員数・比率（右上図）は、2020年度以降増加傾向にある。
- 女性教員（右中図）については、2018年度に比率が減少したものの、その後は増加傾向にある。

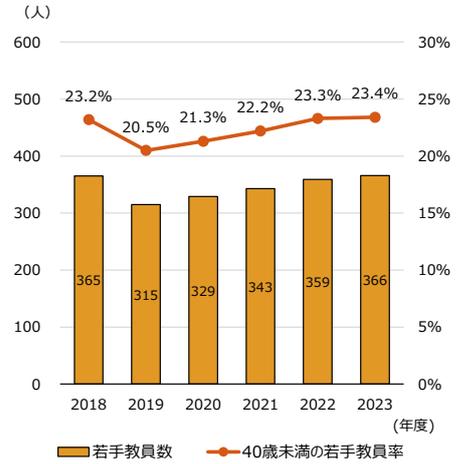
◆男女別・年齢別・職種別教員数◆（神戸大学）

2023年5月1日現在

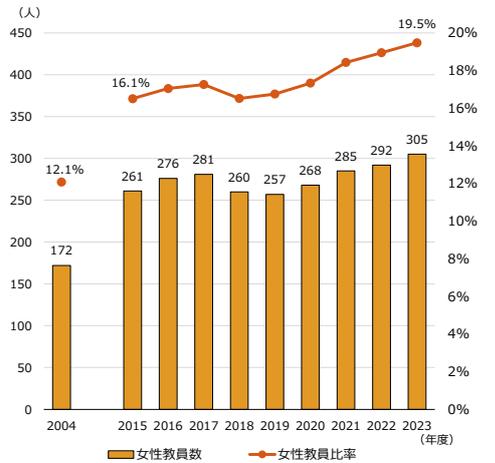


◆若手教員数・比率の推移◆ (神戸大学)

各年度5月1日現在



◆女性教員数・女性教員比率の推移◆ (神戸大学)



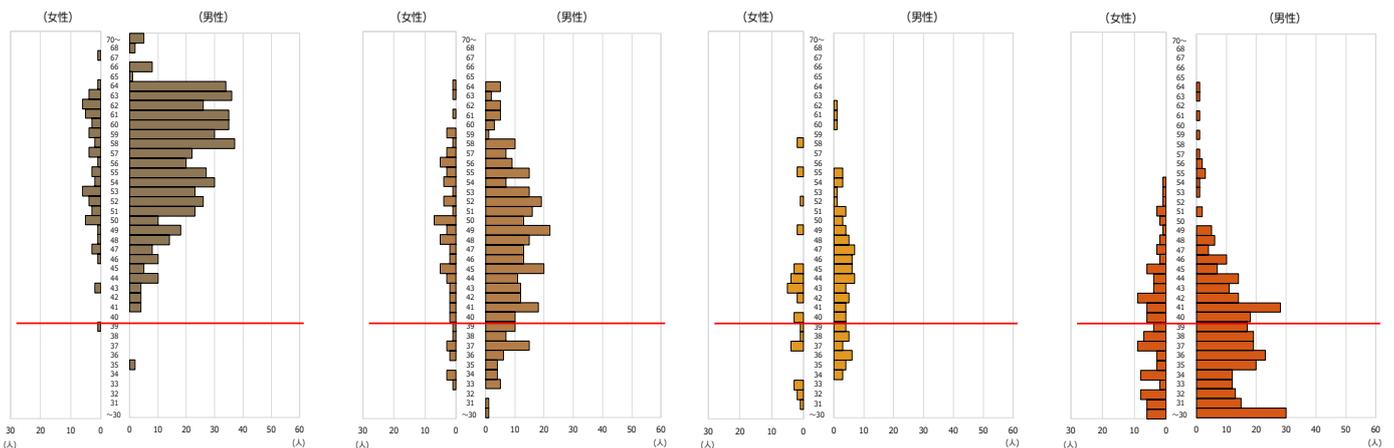
(職位別内訳)

教授 (572人)

准教授 (405人)

講師 (131人)

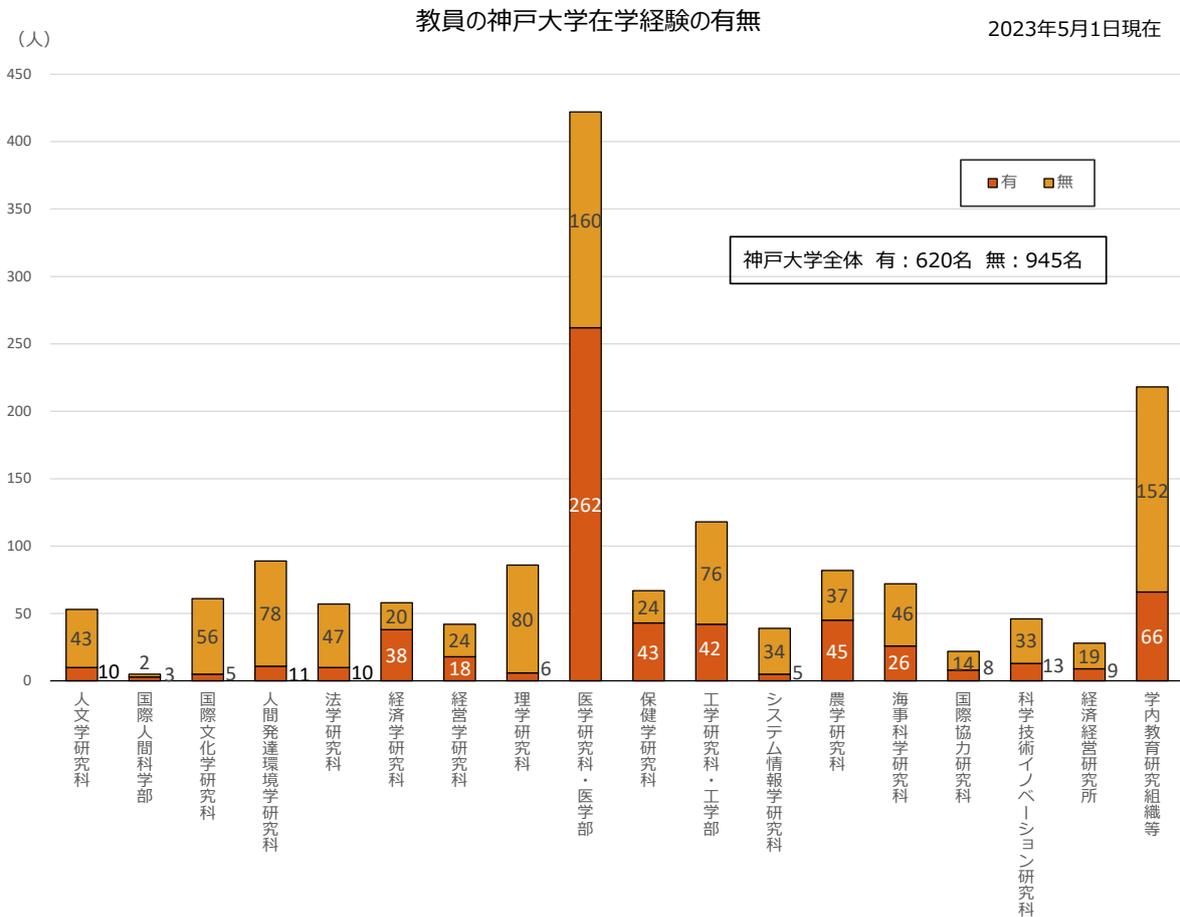
助教 (418人)



※その他：助手 (40人)
※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者を含む。

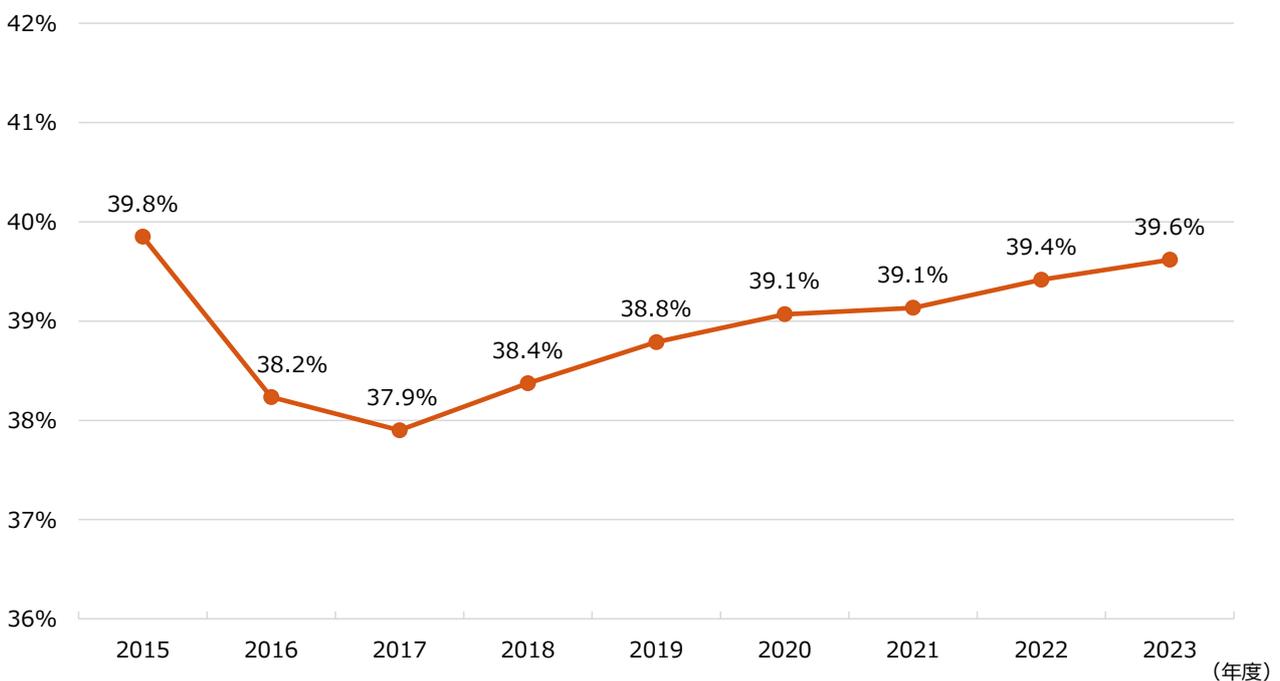
27-3 教員の神戸大学在学経験者

○ 教員の公募により幅広い人材の採用が進み、神戸大学在学経験者が減少したが、その後再び増加に転じ、40%弱となっている。



教員の神戸大学在学経験者の推移

各年度5月1日現在



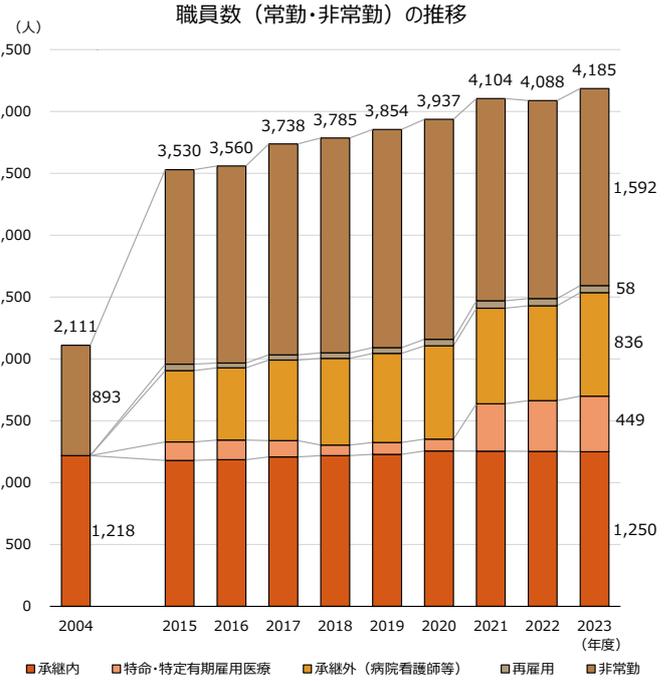
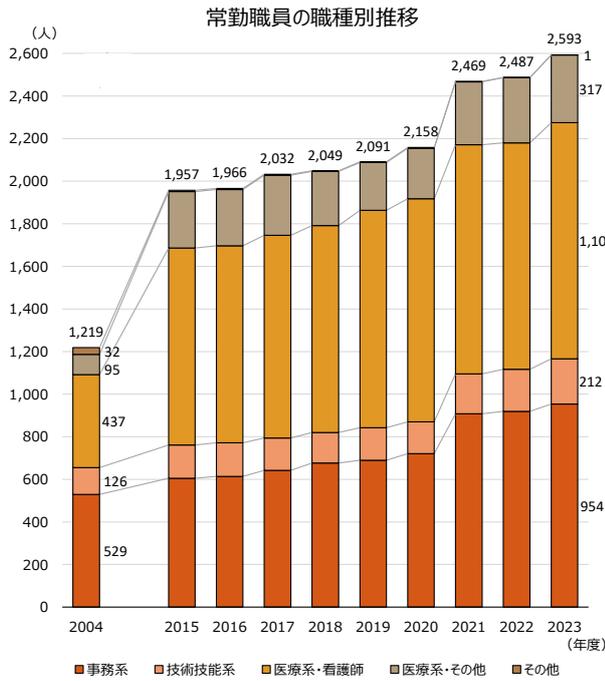
※各教員数に役員・教諭の数は含めない。休職者は含む。

28. 職員

- 法人化した2004年度と比べ、非常勤職員（右上図）は大幅に増加しており、2021年度よりフルタイム非常勤職員の雇用廃止及び特定有期雇用医療職員（一般職）の新設により常勤職員数が増加している。
- 職種別（左上図）では、医療系職員が大幅に増加していることが分かる。また、女性職員（右下図）については、法人化時に比べ人数・割合ともに大幅に増加しているが、これは看護師等の医療系職員の増加によるものである。

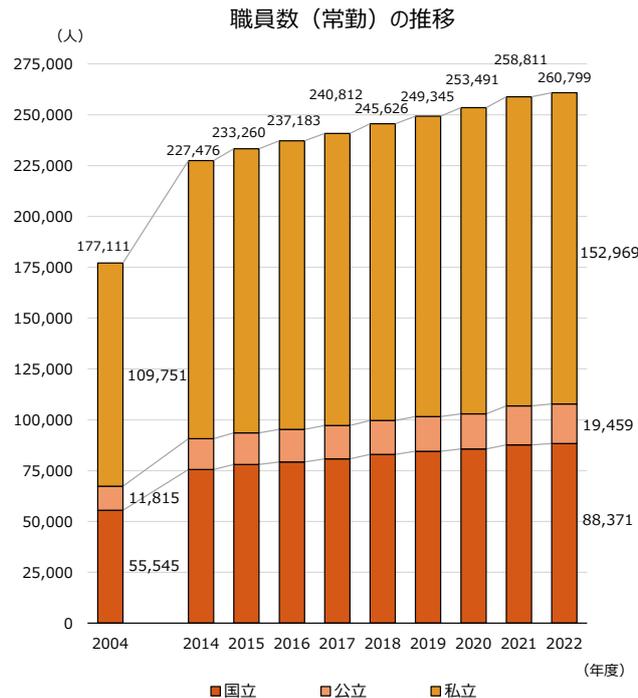
◆職員◆（神戸大学）

各年度5月1日現在



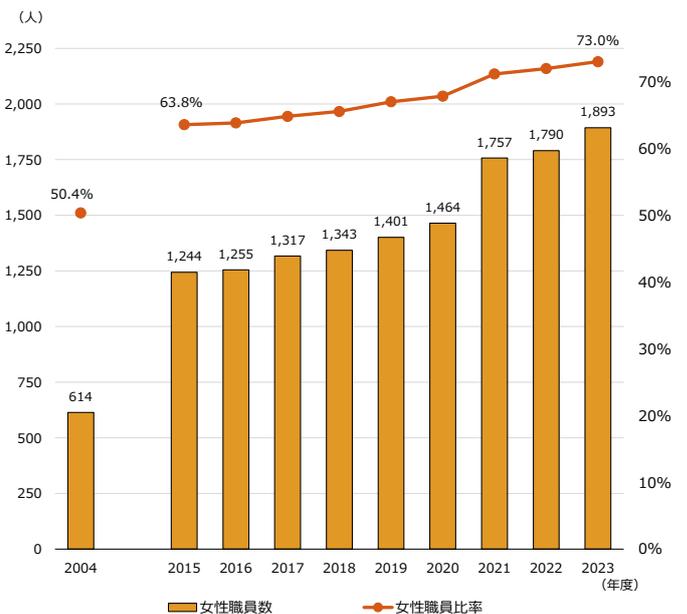
※右図2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。

◆職員◆（全国）



出典：文部科学省「学校基本調査」

◆女性職員数・女性職員比率の推移◆（神戸大学）

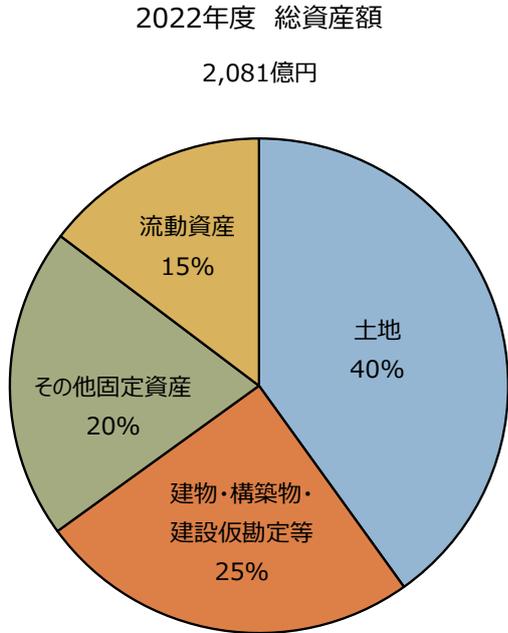
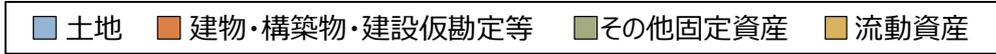


※休職者を含む。

29. 財務

29-1 貸借対照表の概要

○ 土地・建物等が総資産に占める割合（左上図）は約65%となっている。2004年度以降、新たな資産の取得があったものの、減価償却による簿価の減少に伴って、総資産額（右上図）に大きな変動はない。

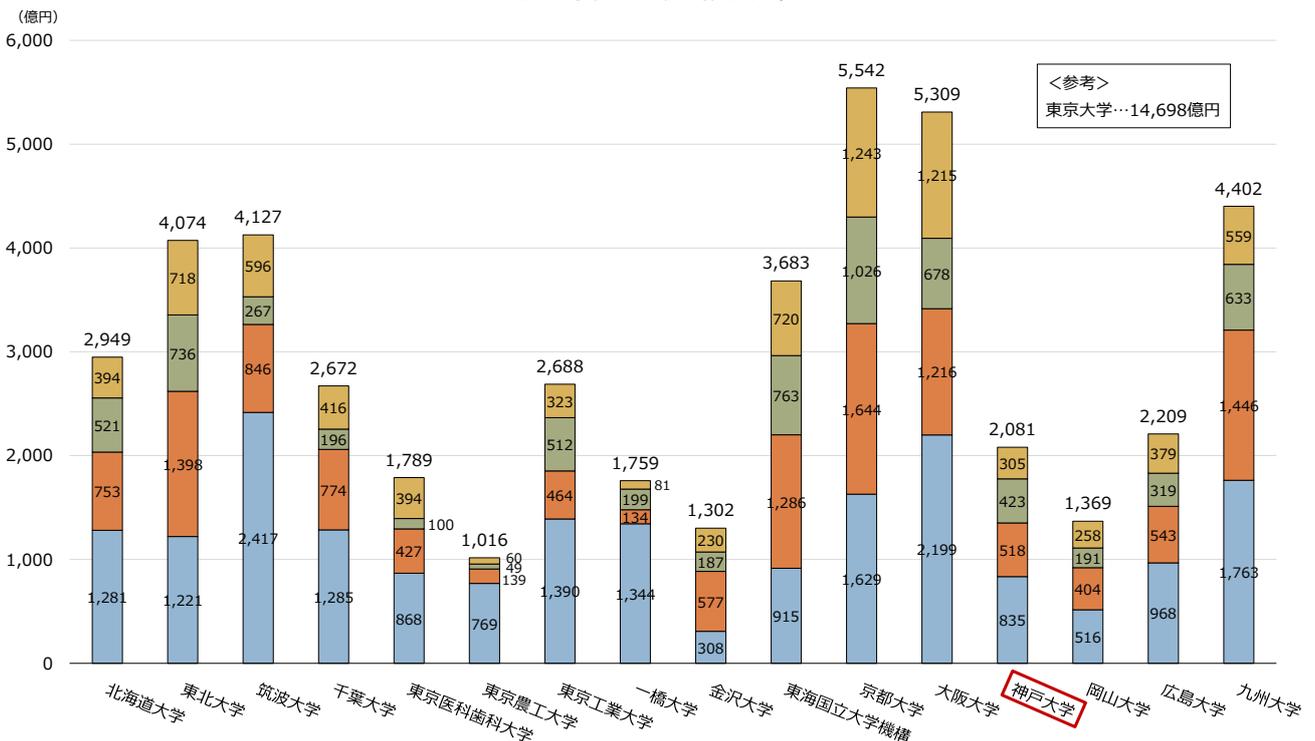


※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。



(2023年3月31日時点)

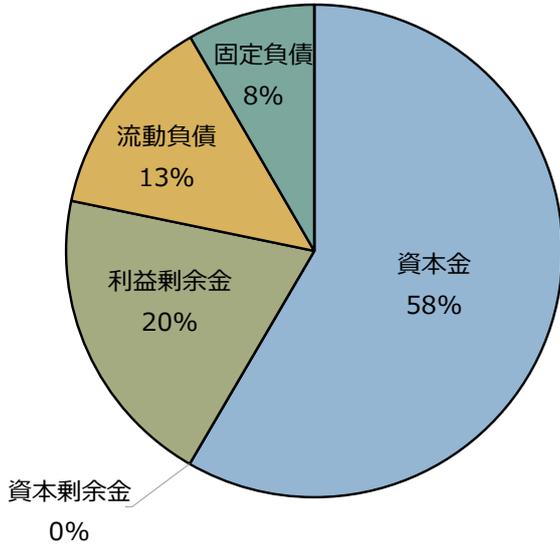
17大学間の比較（総資産）



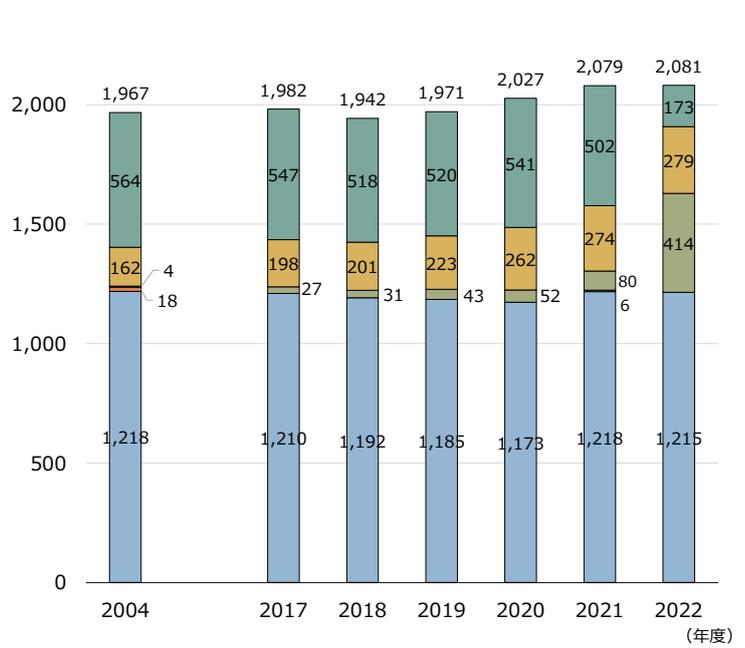
- 資本金は全額、国からの出資であり、法人化以降で大きな変動はない。
- 負債（右上図）は2013年度に、学寮整備及び病院施設新営等のための借入金の増により増えた後、順調に償還を進めている。2022年度は会計基準の改訂に伴い、資産見返負債を臨時利益に振り替えたため、固定負債が減少している。

■ 資本金 ■ 資本剰余金 ■ 利益剰余金 ■ 流動負債 ■ 固定負債

2022年度 負債・純資産の内訳
2,081億円



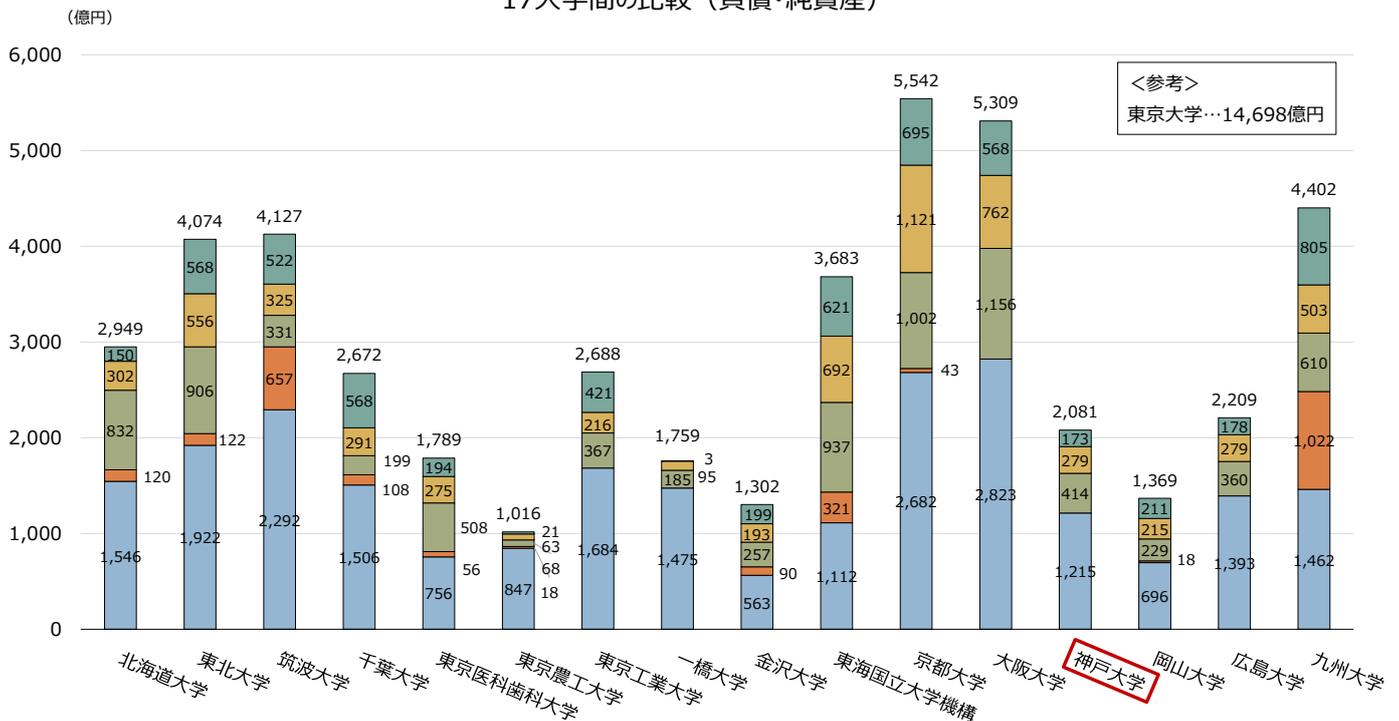
負債・純資産額の推移
(億円)



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

17大学間の比較（負債・純資産）

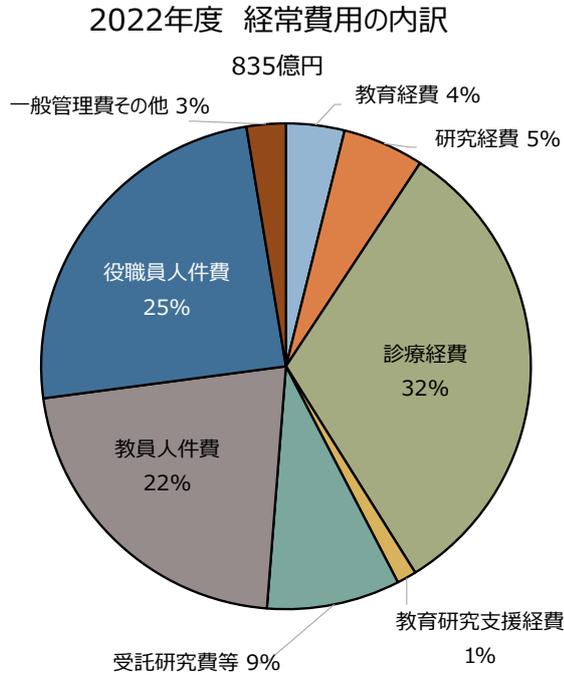
(2023年3月31日時点)



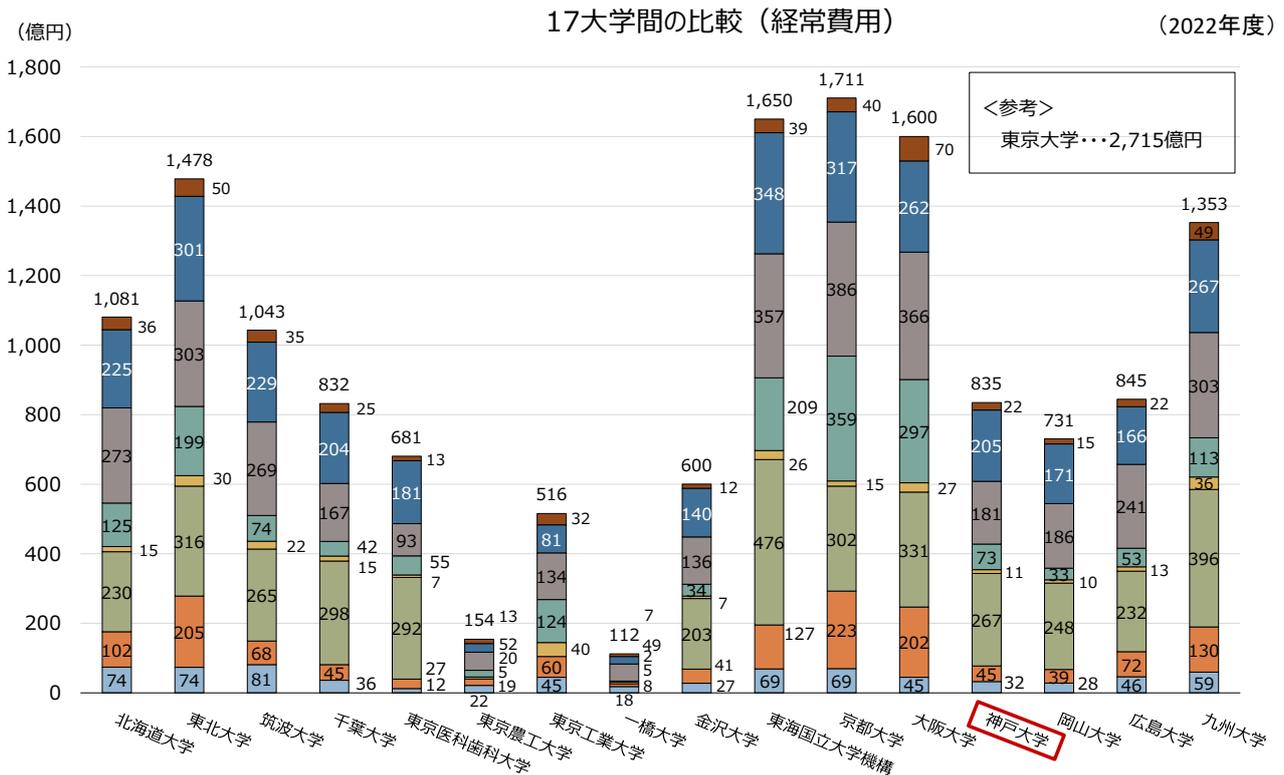
※資本剰余金がマイナスの大学は、グラフ上では資本金から除いて表示。

29-2 損益計算書の概要

○ 2004年度と比較すると（右上図）、附属病院収益の大幅な増加に伴い、診療経費や職員人件費の規模も大きく増加している。一方、教員人件費は法人化当初を下回った。

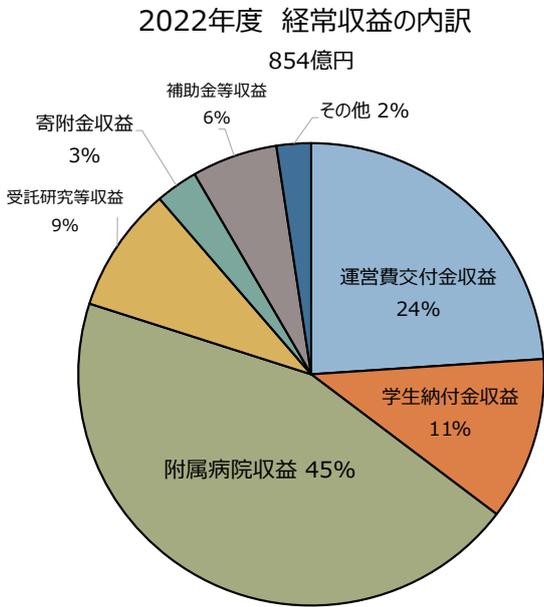


※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

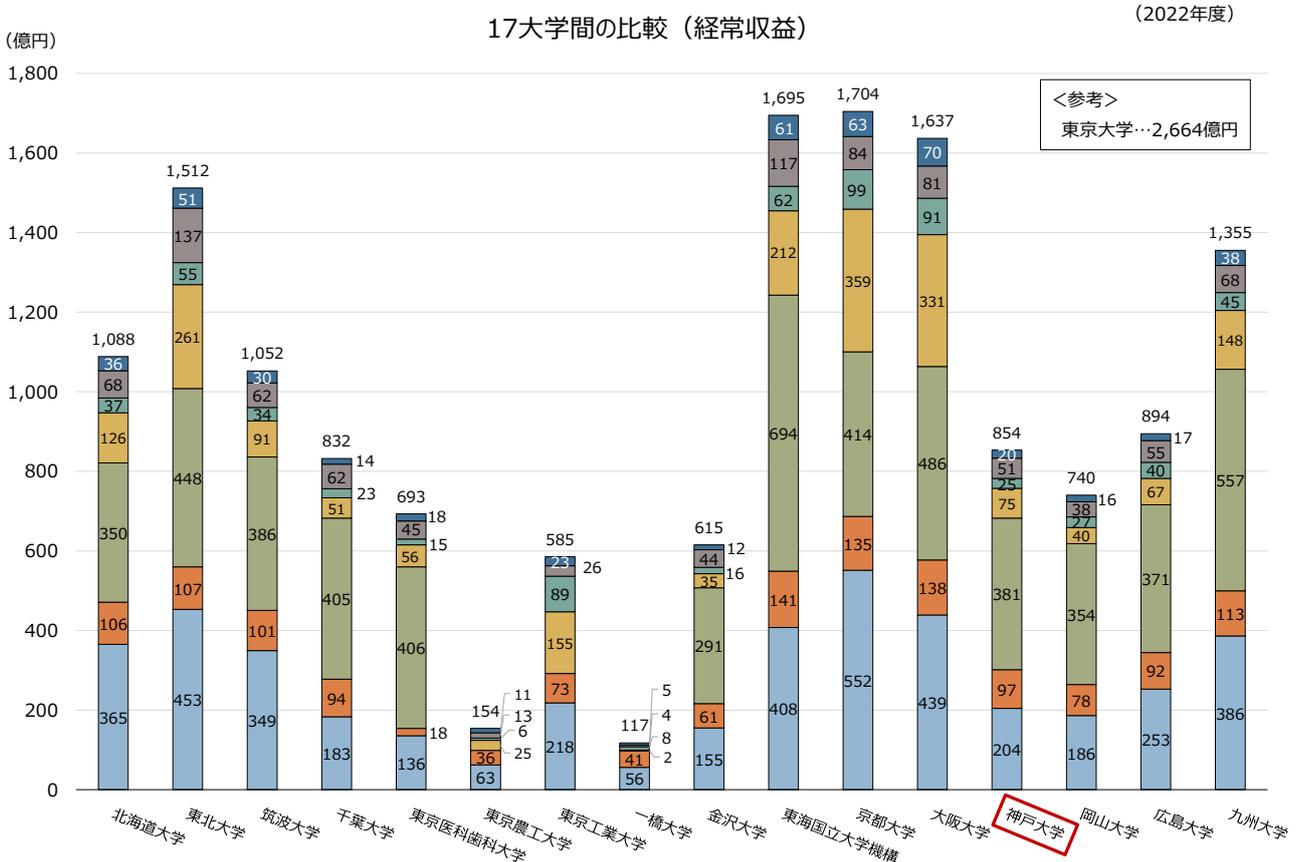
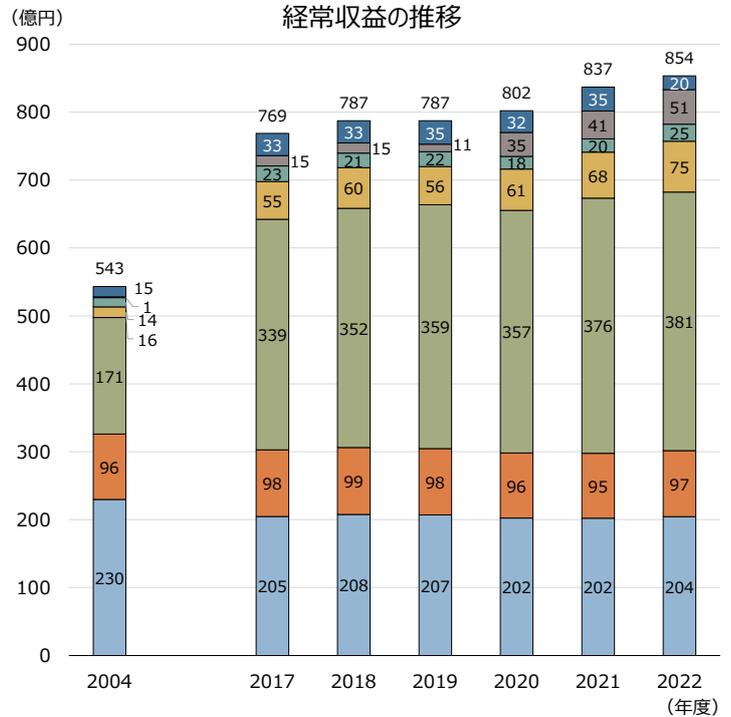


○ 附属病院収益や受託研究等収益が増加しているに伴い、経常収益の規模（右上図）は2004年度に比して1.5倍以上に増加している。

- 運営費交付金収益
- 学生納付金収益
- 附属病院収益
- 受託研究等収益
- 寄附金収益
- 補助金等収益
- その他



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

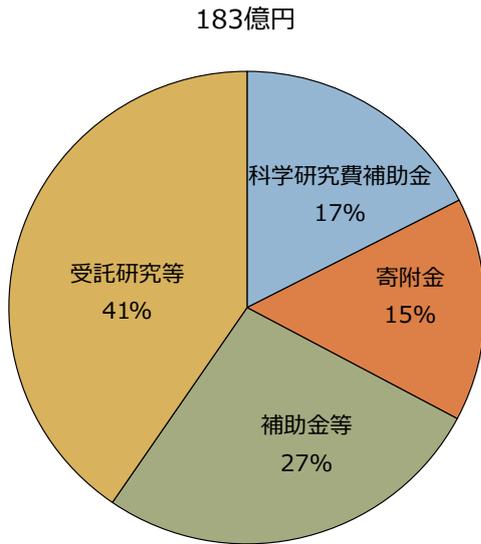


29-3 外部資金受入れ状況

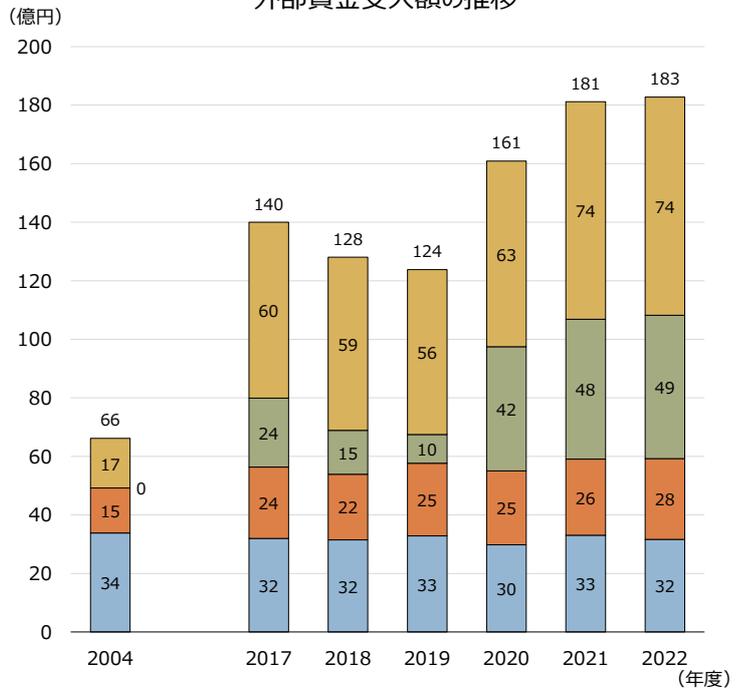
○ 外部資金の2022年度受入額（右上図）は、2004年度と比較すると大きく増加しており、特に受託研究等の増加が顕著となっている。



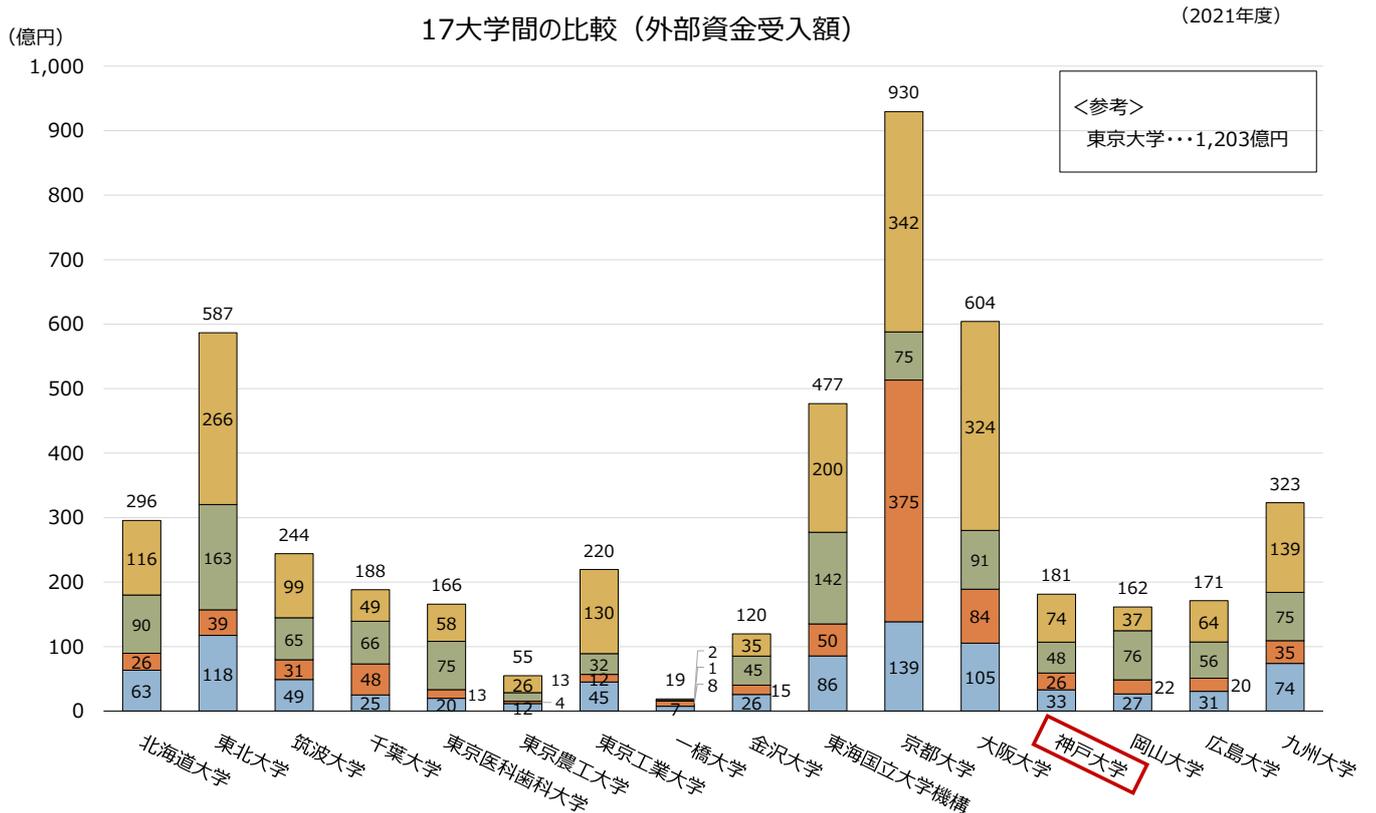
2022年度外部資金受入額の内訳



外部資金受入額の推移



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。



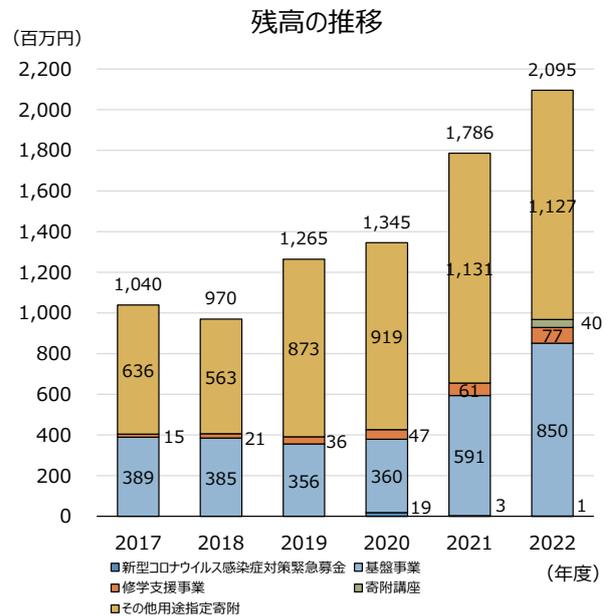
29-4 補助金・受託研究等による主な採択プログラム一覧

(単位：千円)

事業・プログラム名/取組名	実施担当部局	研究代表者名	2022年度 受入金額	採択期間 (年度)
オープンイノベーション機構の整備事業				
神戸大学オープンイノベーション推進本部（OI推進本部）	産官学連携本部	河端 俊典	112,500	2019～2023
科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業				
科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業	キャリアセンター	神戸大学長	49,863	2020～2027
神戸市大学振興・地域産業創生事業				
神戸未来医療構想	産官学連携本部	河端 俊典	322,044	2020～2024
ウイズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業				
（メニュー2A）実習等に資するシミュレータ等のDX設備整備：医学	医学研究科	神戸大学長	24,910	2021～2022
（メニュー2A）実習等に資するシミュレータ等のDX設備整備：看護学	保健学研究科	神戸大学長	10,000	2021～2022
SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム				
新生活に伴う孤独リスクの可視化と一次予防	人文学研究科	柳澤 邦昭	5,000	2021～2025
都市集合住宅高齢者の社会的孤立を予防する持続可能なコミュニティ構築	ウェルビーイング 先端研究センター	片桐 恵子	5,630	2022～2026
創発的研究支援事業				
非線形非平衡現象を駆使した化学プロセスの創成	工学研究科	日出間 るり	2,500	2021～2023
「地球」流体力学から惑星流体力学へ	理学研究科	櫻村 博基	7,700	2022～2023
革新的な省CO2型感染症対策技術等の実用化加速のための実証事業				
空港等における感染リスク見える化と殺菌性能を付与した高度スマート空調技術開発・実証	産官学連携本部	長廣 剛	48,345	2021～2022
大学の世界展開力強化事業				
異分野共創によるリスク・マネジメント専門家養成共同教育プログラム	国際協力研究科	大村 直人	12,831	2021～2025
世界的課題解決に向けた工学系グローバル人材育成のための国際共修/協働学修プログラム	工学研究科	大村 直人	13,358	2022～2026
DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業				
Society 5.0と地方創生を加速させる次世代DXリーダー育成プログラム	数理・データサイエンス センター	中村 保	31,477	2022
ムーンショット型研究開発事業				
こころの可視化と操作を可能にする脳科学的基盤開発	医学研究科	内匠 透	40,800	2022～2023
国立大学経営改革促進事業 国立大学改革・研究基盤強化推進補助金				
社会変革を先導する「異分野共創研究教育グローバル拠点」の形成に向けた経営改革	財務部	神戸大学長	462,750	2022～2025
地域中核大学イノベーション創出環境強化事業				
地域中核大学イノベーション創出環境強化事業	財務部	神戸大学長	100,000	2022～2023
次世代人材育成事業 ジュニアドクター育成塾				
神戸みらい博士育成道場	高大接続卓越 グローバル人材育成 センター	佐藤 春実	7,684	2022～2026

29-5 神戸大学基金

○ 2006年12月に設置された「神戸大学基金」は多くの支援を賜り、様々な分野において活用されている。2022年度に創立120周年を迎えることに伴い積極的な寄附依頼を行ったことにより、120周年記念基盤事業への寄附が増加した。



※2019年度は神戸大学創立120周年記念事業「神戸大学バリュースクール」設立に伴う寄附金により、一時的にその他用途指定寄附が増加。
 ※2022年度は120周年記念基盤事業に対する多くのご支援により基盤事業（120周年記念基盤事業含む）が増加。

※寄附講座については、原則、年度ごとに全額予算振替のため残高に計上されない。
 ※2022年度は左記による受入額増加に対し、複数年計画による支出やコロナ禍の影響により支出が抑えられたことにより寄附金残高が増加。
 ※その他用途指定寄附についてはクラウドファンディングにかかる寄附金を含む。
 （2019年度：2百万円、2020年度：30百万円、2021年度：14百万円、2022年度：2百万円）

◆学生への支援実績

新型コロナウイルス感染症対策緊急募金※による支援【475万円】

- ひょうご学生生活応援事業【支援者数 1,670名】
- 滞在費支援（入国後の一時待機費用の一部支援）【支援者数 103名】
- 自宅待機学生への食糧等支援【支援者数 2名】

※2020.5に立ち上げた「新型コロナウイルス感染症対策緊急募金（学生支援）」を計上。

基盤事業(120周年記念基盤事業含む)による支援【2,293万円】

- 課外活動支援【支援数 54団体】
- 災害関連ボランティア活動支援【派遣学生数 延べ190名/年間】
- 学生の国際化対応（海外留学・派遣支援）【利用者数 35名】
- 海外からの優秀な留学生の受入【利用者数 63名】

修学支援事業による支援【1,285万円】

- 「神戸大学基金」緊急奨学金【支給者数 7名】
- 「神戸大学基金」奨学金（学部新1年次生対象）【支給者数 74名】

参考：ネーミングライツによる外部資金（2018年度～2022年度）【累計 5,070万円】

※近年、積極的に実施しているネーミングライツ事業による外部資金は、神戸大学基金ではないが基金に類するものとして記載した。

2018年度：【196万円】 延べ3件実施
 2019年度：【464万円】 延べ4件実施
 2020年度：【744万円】 延べ6件実施

2021年度：【1,149万円】 延べ8件実施
 2022年度：【2,515万円】 延べ11件実施

30. 附属図書館・その他一般開放施設

30-1 附属図書館

- 学内4つのキャンパスに9つの館室を配置し教育研究支援を展開している。
- 2022年度の入館者数（右中図）は2020年度からの新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復してきている。
- 貸出冊数（中図）は学生・教職員ともに以前と同様の水準となっている。

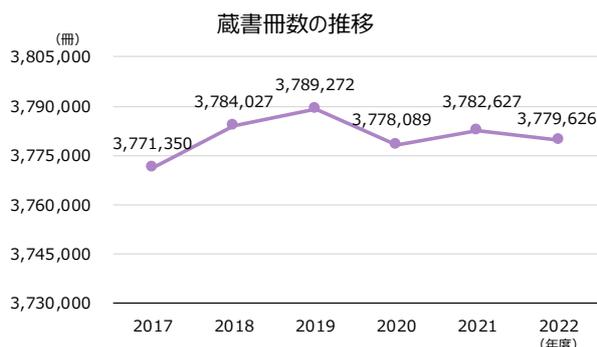
基本データ

◆蔵書冊数・貸出冊数・入館者数

(2022年度実績)

区分	蔵書冊数			貸出冊数					入館者数
	和漢書	洋書	合計	学生院生	教職員	その他	学外者	合計	
総合・国際文化学図書館	353,253	142,006	495,259	57,831	9,287	161	72	67,351	106,972
社会科学系図書館	692,262	734,857	1,427,119	75,901	11,708	105	82	87,796	98,934
自然科学系図書館	220,034	218,148	438,182	0	0	0	0	0	0
人文科学図書館	213,498	117,408	330,906	20,167	3,701	1	33	23,902	61,886
人間科学図書館	267,421	76,742	344,163	23,832	2,968	12	13	26,825	24,240
経済経営研究所図書館	121,961	148,342	270,303	1,272	966	0	3	2,241	1,136
医学分館	74,462	82,335	156,797	6,051	4,114	19	6	10,190	31,288
保健科学図書室	50,571	7,332	57,903	13,173	1,091	1	14	14,279	26,619
海事科学分館	202,291	56,703	258,994	19,425	2,331	5	11	21,772	19,198
合計	2,195,753	1,583,873	3,779,626	217,652	36,166	304	234	254,356	370,273

※自然科学系図書館は、リニューアル工事のため2022年度は閉館



◆17大学間での蔵書冊数の比較

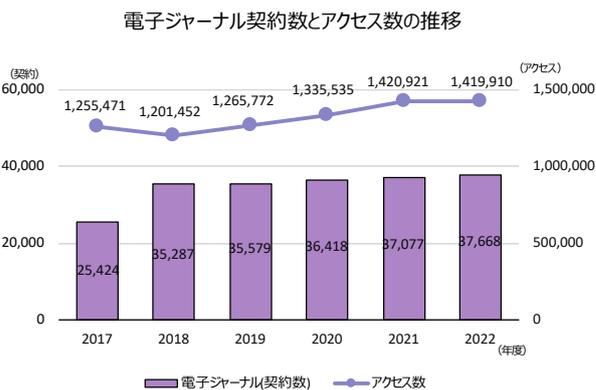
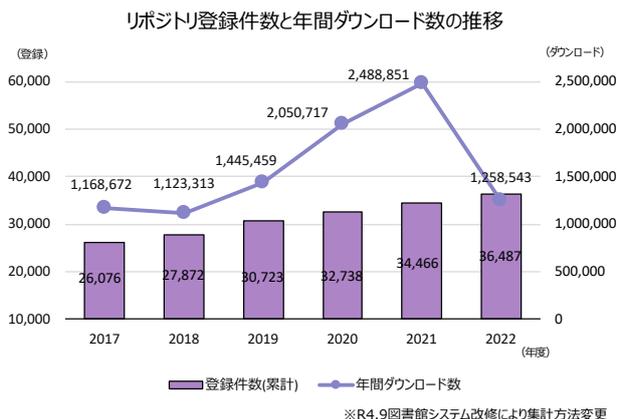
(2021年度)

大学名	冊	大学名	冊	大学名	冊
北海道大	3,780,522	東京農工大	523,709	大阪大	3,866,081
東北大	4,194,340	東京工業大	755,095	神戸大	3,782,627
筑波大	2,731,827	一橋大	2,064,554	岡山大	1,982,558
千葉大	1,272,462	金沢大	1,928,196	広島大	3,441,829
東京大	9,914,461	名古屋大	3,362,929	九州大	4,220,435
東京医科歯科大	270,024	京都大	7,305,228		

出典：各大学ホームページ

※東京医科歯科大は、2020年度の蔵書冊数

リポジトリ・電子ジャーナルの活用状況



地域・社会との連携協力



地域・社会との連携協力の一環として、2004年度より毎年資料展を実施している。2022年度は3年ぶりに会場での資料展を再開し、「古典籍でみる鎖国下の漂流」を開催。テーマの意外さを含めて好評を得ることができた。

また、前年度に引き続きデジタルアーカイブでサンテレビジョンの震災映像81件を新たに公開し、震災当日に撮影した全映像の処理が完了した。

30-2 その他一般開放施設



◆大学文書史料室 (2022年度来場者数：5,766人(常設展・特別展))

特定歴史公文書等その他神戸大学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することを目的とする施設(「国立公文書館等」指定施設)。神戸大学の伝統ある120年の歴史を貴重な歴史資料や写真等で振り返ることができる展示を実施。常設の展示会だけでなく、年1回の特別展や東京等での巡回展も開催。



◆海事博物館 (<http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/>) (2022年度来館者数：1,340人)

海事に関する資料を幅広く収集展示して教育研究の資に供し、あわせて海事の啓発に寄与することを目的とする施設。和船模型と和船の部分実物や航路図、近代から現代の船舶模型や近代の航海用具、進水式絵葉書、寄贈コレクションや書籍など約4万点を収蔵する。毎週、月・水・金の午後に開館。



◆山口誓子記念館 (2022年度来館者数：519人)

近代俳句に大きな足跡を残した山口誓子氏の居宅の母屋をほぼ忠実に復元した施設。俳句俳諧文学を中心とする国文学研究の振興や海外との学術交流等に広く寄与することを目的とし、句会や茶会等にも利用できる。



神戸大学企画部企画課

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL: (078) 803-5020